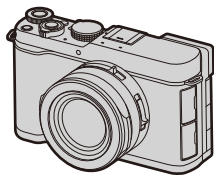


取扱説明書 詳細ガイド デジタルカメラ

品番 DC-L10

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(17～22ページ)を必ずお読みください。**
- パナソニックの会員サービス「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします。詳しくは、733ページをご覧ください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

パナソニック株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Corporation 2026

DVQP3496ZA
F0426TN0

取扱説明書について

本書は、カメラのすべての機能や操作方法を詳しく説明している「取扱説明書 詳細ガイド」です。

- 本書で説明する製品の外観と仕様は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の画像やイラストは、機能や効果を説明するためのイメージです。

❖ 本書で使用する記号について

黒いアイコンは使用可能な条件、グレーのアイコンは使用不可能な条件を表します。

例:

写真／動画／S&Qモード

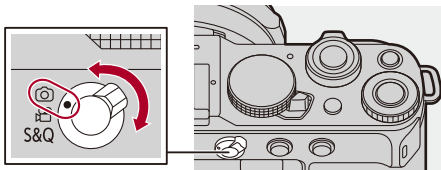


撮影モード

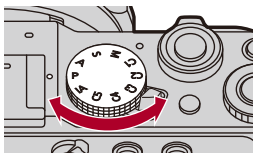


写真／動画／S&Qモードは、写真／動画/S&Q切り換えスイッチで切り換わります。

- 本書では、[📷]モード/[📹]モード/[S&Q]モードと表記します。

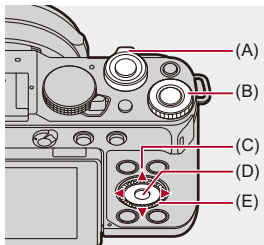



撮影モードは、モードダイヤルで切り換わります。




操作記号

本書では、カメラの操作部を以下の記号を使って説明しています。




(A)  :
ズームレバー

(B)  :
後ダイヤル

(C)  :
カーソルボタンの上下左右

(D)  :
[MENU/SET] ボタン


(E)  :
コントロールダイヤル


- その他、カメラの画面に表示されるアイコンなどを説明に使用しています。
- 本書では、メニュー項目を選ぶ手順を次のように説明しています。
例) 写真メニュー(画質)の[JPEG/HEIF 写真画質]を[STD.]に設定する


 → [] → [] → [JPEG/HEIF 写真画質] → [STD.] を選ぶ


お知らせの分類記号

本書では、お知らせを以下の記号を使って分類して、記載しています。

 : 機能を使う前にご確認くださいこと

 : 上手に使うためのヒントや撮影のポイント

 : 仕様に関するお知らせや補足事項

 : 関連する機能や情報

- 本書では-Kのモデルの画像やイラストを用いて説明しています。

目次



「安全上のご注意」を必ずお読みください(17～22ページ)

取扱説明書について	2
安全上のご注意(必ずお守りください)	17
はじめに	23
ご使用の前に.....	24
付属品.....	27
自動開閉レンズキャップの取り付け.....	29
使用できるメモリーカード.....	30
各部の名前.....	33
カメラ.....	33
ファインダー／モニターの表示.....	39
準備	41
ショルダーストラップの取り付け.....	42
バッテリーの充電.....	43
バッテリーの挿入.....	44
カメラにバッテリーを入れて充電する.....	46
電力を供給しながらカメラを使う(給電).....	49
充電／給電についてのお知らせ.....	50
エコモード.....	52
カード(別売)の挿入.....	54
モニターの向きと角度の調整.....	57
時計の設定(初めて電源を入れるとき).....	59

基本操作 **62**

カメラの構え方	63
写真/動画/S&Q切り換えスイッチ	65
撮影モードの選択	66
カメラの設定操作	67
モニター/ファインダーの表示設定	72
ファインダーの設定	72
モニターとファインダーの切り換え	73
情報表示の切り換え	76
ライブビューの縦表示	79
クイックメニュー	81
コントロールパネル	83
メニューの操作方法	85
設定リセット	90
文字の入力	91
インテリジェントオートモード	92
タッチ撮影	99
タッチ AF / タッチシャッター	99
タッチ AE	101

写真の撮影 **103**

写真を撮る	104
画像横縦比	107
画像サイズ	109
記録ファイル形式(写真)	111
JPEG/HEIF 切換	114
JPEG/HEIF 写真画質	116

動画の撮影	117
動画を撮る	118
システム周波数	126
記録ファイル形式(動画)	128
動画画質	129
動画撮影範囲	142
フォーカス／ズーム	144
フォーカスモードの選択	145
AFを使う	147
AFポイントスコープ	152
AFカスタム設定(写真)	154
フォーカスリミッター	156
AF補助光	158
フォーカス枠の移動速度	159
フォーカス枠色設定	159
AFモードの選択	160
自動認識	163
追尾	168
フルエリア	170
ゾーン(横・縦)／ゾーン	173
1点+補助／1点	175
ピンポイント	177
AFエリアの操作	179
AFエリアの移動	179
AFエリアのサイズ変更	181
AFエリアのリセット	182
タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE])	183
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作	184
縦/横位置フォーカス切換	186

近づいて撮る(マクロ撮影)	187
MFで撮る	189
ピーキング	194
ズームを使って撮る	195
クロップズーム(写真)	197
クロップズーム(動画)	199

ドライブ／シャッター／手ブレ補正 202

ドライブモードの選択	203
連写する	205
インターバル撮影	215
コマ撮りアニメ撮影	221
インターバル／コマ撮りアニメの動画	225
セルフタイマー撮影	227
ブラケット撮影	232
深度合成	239
ライブビューコンポジット撮影	242
サイレントモード	246
シャッター方式	248
長秒ノイズ除去	251
シンクロスキャン(写真)	252
下限シャッター速度	254
シャッターディレイ	255
手ブレ補正	256
手ブレ補正の設定	257

測光／露出／ISO感度 260

測光モード	261
プログラムAEモード	263

プログラムシフト	265
絞り優先AEモード	267
シャッター優先AEモード	270
マニュアル露出モード	273
設定可能なシャッタースピード(秒)	276
T(タイム)	277
プレビューモード	278
露出補正	280
iダイナミックレンジ	283
多重露出	284
ピントや露出の固定(AF / AEロック)	286
ISO感度	288
ISO感度設定(写真)	292

ホワイトバランス / 画質

293

ホワイトバランス(WB)	294
ホワイトバランスの調整	300
フォトスタイル	302
フィルター設定	315
フィルターなし同時記録	319
美肌効果	320
リアルタイムLUT	322
LUTライブラリ	324
LUTファイルのベースフォトスタイル	328
HLG撮影(HEIF形式)	332
レンズ補正	334
回折補正	334

フラッシュ **335**

外部フラッシュを使う	336
ホットシューカバーの取り外し	336
フラッシュの設定	338
フラッシュモード	339
発光モード、マニュアル発光量設定	342
フラッシュ光量調整	344
フラッシュシンクロ	345
露出補正連動	346
ワイヤレスフラッシュ撮影	347

動画の設定 **353**

動画撮影に適した表示	354
写真・動画/S&Q独立設定	355
AFを使う(動画)	356
AFカスタム設定(動画)	356
動画ライブビュー拡大表示	357
動画の明るさ、色合い	359
輝度レベル設定	359
白飛びを抑えて撮影する(二一)	361
ISO感度設定(動画)	363
音声の設定	364
録音レベル表示	365
音声入力ミュート	365
録音ゲイン切換	366
録音レベル設定	367
録音音質	368
録音レベルリミッター	370
風音キャンセラー	371
レンズ動作音低減	372

オーディオ情報表示	372
外部マイク(別売)	373
收音範囲の設定(別売:DMW-MS2)	375
風雑音の低減	375
XLRマイクロホンアダプター(別売)	376
4chオーディオ記録	379
デジタルガンマイクロホン(別売)	381
4chオーディオ記録	384
DMS1 ボタン輝度	385
主なアシスト機能	386
動画撮影時のフリッカー軽減	387
WFM表示	388
スポット輝度メーター	390
ゼブラパターン表示	391
フレーム表示	393

特殊な動画撮影 **396**

スロー & クイック動画	397
ハイフレームレート動画	411
フォーカストラッキング	414
ライブクローズ	418
Log撮影する	423
Logビューアシスト	426
HLG動画	427
HLGビューアシスト	429
シンクロスキャン(動画)	430
特殊な動画を撮影できる動画画質一覧	432

画像の再生／編集 **440**

写真の再生	441
-------------	-----

動画の再生	443
動画のリピート再生	447
写真の切り出し	449
動画分割	450
表示方法の切り換え	452
拡大表示	452
サムネイル表示	454
カレンダー表示	456
グループ画像	457
画像の消去	459
RAW現像	461
HEIF → JPEG変換	469
動画修復	470
再生メニュー	473
再生メニューでの画像の選び方	473
再生メニュー(表示方法)	475
再生メニュー(画像の加工)	478
再生メニュー(情報の付与・削除)	479
再生メニュー(画像の編集)	480
再生メニュー(その他)	482

カメラのカスタマイズ

483

Fnボタン	484
Fnボタンへの機能の登録	487
Fnボタンを使う	497
Fnスイッチ	498
Fnスイッチへの機能の登録	498
Fnスイッチを使う	499
ダイヤル動作切換	500
ダイヤルへの機能の登録	500

ダイヤルの動作を一時的に変更する	502
クイックメニューのカスタマイズ	503
クイックメニューへの登録	503
カスタムモード	510
カスタムモードへの登録	510
カスタムモードを使う	513
設定内容の呼び出し	515
カスタムメニュー	516
カスタムメニュー(画質)	517
カスタムメニュー(フォーカス/リリース)	522
カスタムメニュー(操作)	530
カスタムメニュー(モニター/表示(写真))	535
カスタムメニュー(モニター/表示(動画))	545
カスタムメニュー(レンズ/その他)	548
セットアップメニュー	550
セットアップメニュー(カード/ファイル)	551
セットアップメニュー(モニター/表示)	555
セットアップメニュー(IN/OUT)	558
セットアップメニュー(設定)	561
セットアップメニュー(その他)	563
マイメニュー	566
マイメニューへの登録	566
マイメニューの編集	567

メニュー一覧

568

写真メニュー	569
動画メニュー	572
カスタムメニュー	575
セットアップメニュー	579
マイメニュー	581

再生メニュー	582
スマートフォンで操作する	584
「LUMIX Lab」のインストール	585
「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続)	586
「LUMIX Lab」との接続(USB接続)	589
「LUMIX Lab」を使う	590
LUTライブラリ操作	590
リモート撮影	592
シャッターリモコン	594
マイフォトスタイルを編集する	596
カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る	598
写真・動画転送	600
自動画像転送(Wi-Fi)	602
位置情報記録	605
パソコンで操作する	606
パソコンとの接続(USB接続)	607
パソコンに画像を取り込む	608
パソコンに画像をコピーする	609
ソフトウェアのインストール	612
パソコン用のWebカメラとして使用する	613
Wi-Fi / Bluetooth 接続・設定	615
Wi-Fiメニュー	617
[Wi-Fi]を登録したFnボタン	619
Bluetooth機器との接続	620

他機器との接続 **623**

接続する	624
レコーダーにダビングする	625

資料 **626**

別売品のご紹介	627
別売品を使う	629
トライポッドグリップ(別売)	630
DCカプラー(別売)	631
モニター／ファインダーの表示	632
撮影画面	632
再生画面	647
メッセージ表示	652
Q&A 故障かな?と思ったら	654
電源、バッテリー	655
撮影	656
動画	660
再生	660
モニター／ファインダー	661
フラッシュ	661
Wi-Fi機能	662
パソコン	664
その他	665
使用上のお願い	666
無線機能(Wi-Fi／Bluetooth)使用上のお願い	673
本体温度上昇による動画連続記録時間	675
バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間	677
カードの写真撮影枚数、動画記録時間	680
初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧	688

各撮影モードで設定できる機能一覧.....	708
仕様.....	714
商標、ライセンス.....	726
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	729

安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険



バッテリーパック*は、誤った使いかたをしない

(*以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものを使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオープンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 極端に気圧が低い場所で充電・使用しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- 落下や衝撃を与えない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。



バッテリーの充電は、本体または専用のバッテリーチャージャー*を使用し、指定された方法で行う

(*以降は、「チャージャー」と表記)

指定以外の方法で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告



ACアダプターは、誤った使いかたをしない
感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外の入力電圧では使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
火災や爆発の原因になります。





- 粉じんの発生する場所でも使わない








外部フラッシュの発光部やAF補助光を至近距離で人に向け
ない






運転者に向かって使用すると、事故の誘発につながります。
視覚障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

	<p>ショルダーストラップ、メモリーカード、ホットシューカバーを乳幼児の手の届くところに置かない ショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。 小さな部品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <ul style="list-style-type: none">• 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。
	<p>電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない 本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 長時間で使用の場合は、三脚などをお使いください。* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。
 分解禁止	<p>分解、改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。</p>
 接触禁止	<p>雷が鳴ったら、触れない 感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 本体やACアダプターには、金属部があります。

	<p>異常・故障時には直ちに使用を中止する</p> <p>-----</p> <p>異常があったときには、バッテリーを外す</p> <ul style="list-style-type: none">• 煙が出たり、異常なおいや音がする• 映像や音声が出ないことがある• 内部に水や異物が入った• 電源プラグが異常に熱い• 本体やACアダプターが破損した <p>そのまま使うと火災・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。• 電源プラグがすぐ抜けるよう、ACアダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。• 電源を切り、販売店にご相談ください。
	<p>電源プラグは、正しく扱う</p> <p>感電や、ショートによる火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)• 根元まで確実に差し込む
	<p>ショルダーストラップは肩に掛けて使う</p> <p>けがや事故の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 首に掛けての使用はしない
	<p>病院内や航空機内など、使用が禁止／制限されている場所では、電源を切る／無線機能を無効にするなどの指示に従う</p> <p>本機からの電磁波などが、機器類に影響を及ぼすことがあります。</p>
	<p>自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くや、医療用電気機器のある場所では電源を切る</p> <p>本機からの電波が機器類に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。</p>

注意

	<p>外部フラッシュの発光部を人体やものでふさがない、ごみなどの異物が付いたまま使わない やけどや発光熱による発煙の原因となることがあります。</p>
	<p>次のような場所に放置しない 火災や感電の原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)• 油煙や湯気の当たるところ• 湿気やほこりの多いところ
	<p>布で覆うなど、本機、ACアダプターの放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない 集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す 通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 長期間使わないとき• お手入れのとき

はじめに

本章では、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

- [ご使用前に: 24](#)
- [付属品: 27](#)
- [使用できるメモリーカード: 30](#)
- [各部の名前: 33](#)

ご使用の前に

❖ カメラのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。お買い上げのカメラのファームウェアが最新のバージョンになっているかご確認ください。最新のファームウェアバージョンでのご使用をお勧めします。

- カメラのファームウェアのバージョンは、セットアップメニュー(その他)の[バージョン表示]でご確認ください。
[バージョン表示]で、ファームウェアアップデートの実行もできます。(→ [バージョン表示: 565](#))
- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index2.html>

❖ カメラの取り扱いについて

カメラを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。カメラの故障や破損の原因になります。

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。

❖ 露付き(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

❖ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

❖ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

❖ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

❖ 使用上のお願いも、併せてお読みください(→ 使用上のお願い: 666)

付属品

- 自動開閉レンズキャップの取り付け: 29

付属品をご確認ください。(品番は2026年5月現在)

バッテリーパック

DMW-BLK22

(本書ではバッテリーと表記します)

- 充電してからお使いください。



レンズキャップ*1

ADE4Z212K2Z



ホットシューカバー*1

DVKV1132Z/K(ブラック)*2

DVKV1132Z/S(シルバー)*3

DVKV1132Z/N(ゴールド)*4



ショルダーストラップ

DVPW1041Y*2,3



DVPW1042Z*4



以下は-Nのモデルだけに付属します。

自動開閉レンズキャップ*4

1PP1DCL10NZ



レンズクロス*4

DVPB1017Z



*1 お買い上げ時はカメラに装着されています。

*2 -Kのモデルに付属

*3 -Sのモデルに付属

*4 -Nのモデルに付属

- **メモリーカードは別売(市販品)です。**
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

詳しくはサイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト

<https://panasonic.jp/store/>

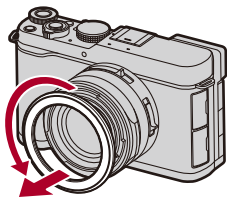


自動開閉レンズキャップの取り付け

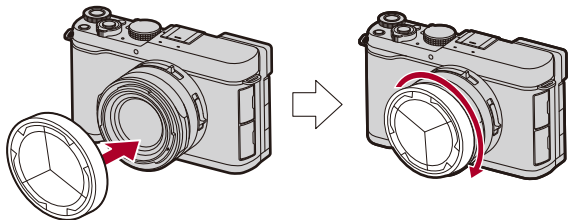
-Nのモデルに付属の自動開閉レンズキャップを使用すると、カメラから自動開閉レンズキャップを取り外すことなく撮影できます。

1 レンズフロントリングを取り外す

- レンズフロントリングの紛失にお気をつけください。



2 自動開閉レンズキャップを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す



- フィルター類と同時に取り付けることはできません。
- 自動開閉レンズキャップの中央を強く押さないでください。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは下記のとおりです。(2026年5月現在)

SDメモリーカード / SDHCメモリーカード / SDXCメモリーカード(最大512 GB)

- 本機はUHS-I / UHS-II UHS Speed Class 3規格およびUHS-II Video Speed Class 90規格のSDカードに対応しています。



- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの総称をSDカードまたはカードと表記します。
- 動作確認済みメモリーカードについての情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

❖ 本機で使用できるSDカード

以下の機能を使う場合は、対応したSDスピードクラス、UHSスピードクラス、Videoスピードクラスのカードを使用してください。

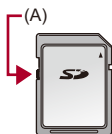
- スピードクラスとは、連続的な書き込みのために必要な最低速度を保証するための規格です。

動画撮影

動画画質のビットレート	スピードクラス	表示の例
72 Mbps以下	Class 10	CLASS10 10
	UHS Speed Class 1以上	U1
	Video Speed Class 10以上	V10
200 Mbps以下	UHS Speed Class 3	U3
	Video Speed Class 30以上	V30
400 Mbps以下	Video Speed Class 60以上	V60
600 Mbps以下	Video Speed Class 90	V90



- SDカードの書き込み禁止スイッチ(A)を「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去を禁止できます。

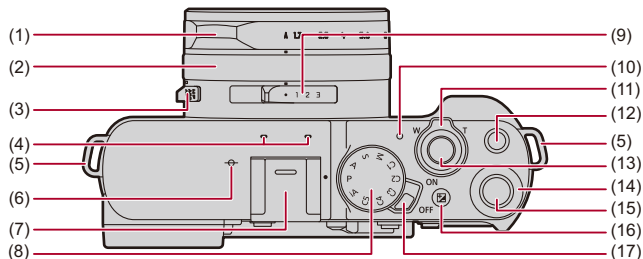


- 電磁波、静電気、カメラやカードの故障により、カードに記録されたデータが破損することがあります。大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。


各部の名前

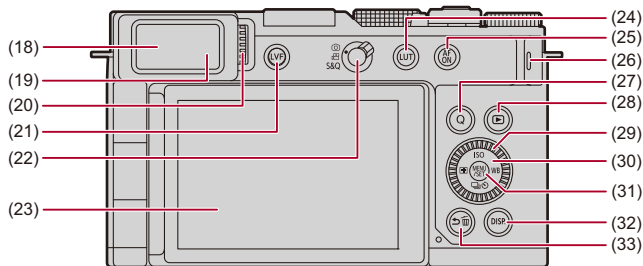
- カメラ: 33
- ファインダー／モニターの表示: 39

カメラ



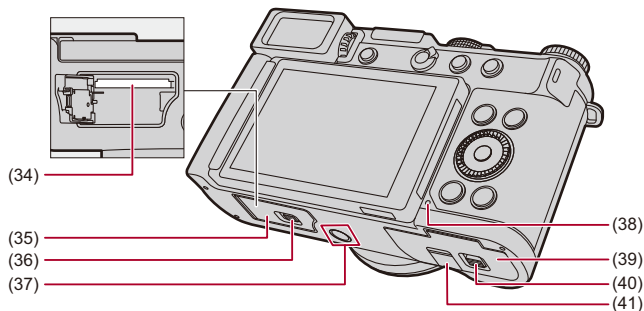
- (1) 絞りリング(→絞り優先AEモード: 267、マニュアル露出モード: 273)
- (2) コントロールリング(→MFで撮る: 189、ズームを使って撮る: 195)
- (3) フォーカス切換スイッチ(→フォーカスモードの選択: 145、近づいて撮る(マクロ撮影): 187)
- (4) ステレオマイク(→音声の設定: 364)
 - マイクを指で塞がないでください。音声記録されにくくなります。
- (5) ショルダーストラップ取り付け部(→ショルダーストラップの取り付け: 42)
- (6) [-0.5] (撮影距離基準マーク)(→MFアシスト画面での操作: 191)
- (7) ホットシュー(ホットシューカバー)(→ホットシューカバーの取り外し: 336)
- (8) モードダイヤル(→撮影モードの選択: 66)
- (9) Fnスイッチ(→Fnスイッチ: 498)
- (10) 充電ランプ(→充電ランプの表示: 47) /
NETWORK接続ランプ(→Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認: 616)
- (11) ズームレバー(→ズームを使って撮る: 195)

- (12) 動画記録ボタン(→[動画を撮る: 118](#))
- (13) シャッターボタン(→[写真を撮る: 104](#))
-Nのモデルには、ソフトリリース(市販品)を取り付けるためのねじ穴がありません。
- (14) 後ダイヤル(→[後ダイヤル: 68](#))
- (15) フォトスタイルボタン(→[フォトスタイル: 302](#)) /
Fnボタン(Fn2)(→[Fnボタン: 484](#))
- (16) [](露出補正)ボタン(→[露出補正: 280](#))
- (17) 電源スイッチ(→[時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 59](#))



- (18) ファインダー(→ [ファインダー／モニターの表示: 39](#), [モニターとファインダーの切り換え: 73](#), [モニター／ファインダーの表示: 632](#))
- (19) アイセンサー(→ [モニターとファインダーの切り換え: 73](#))
- (20) 視度調整ダイヤル(→ [ファインダーの視度の調整: 72](#))
- (21) [LVF]ボタン(→ [モニターとファインダーの切り換え: 73](#))
- (22) 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))
- (23) モニター(→ [ファインダー／モニターの表示: 39](#), [モニター／ファインダーの表示: 632](#))/
タッチパネル(→ [タッチパネル: 70](#))
- (24) [LUT]ボタン(→ [リアルタイムLUT: 322](#))
- (25) [AF ON]ボタン(→ [\[AF ON\]ボタン: 149](#))
- (26) スピーカー(→ [電子音: 558](#))
- (27) [Q](クイックメニュー)ボタン(→ [クイックメニュー: 81](#))
- (28) [▶](再生)ボタン(→ [画像の再生／編集: 440](#))
- (29) コントロールダイヤル(→ [コントロールダイヤル: 68](#))

- (30) カーソルボタン(→[カーソルボタン: 69](#))
[ISO](ISO感度)ボタン(▲)(→[ISO感度: 288](#))
[](ドライブモード)ボタン(▼)(→[ドライブモードの選択: 203](#))
[](AFモード)ボタン(◀)(→[AFモードの選択: 160](#))
[WB](ホワイトバランス)ボタン(▶)(→[ホワイトバランス\(WB\): 294](#))
Fnボタン(→[Fnボタン: 484](#))
▲:Fn8、▶:Fn9、▼:Fn10、◀:Fn11
- (31) [MENU/SET]ボタン(→[\[MENU/SET\]ボタン: 69](#)、[メニューの操作方法: 85](#))
- (32) [DISP]ボタン(→[情報表示の切り換え: 76](#))
- (33) [](戻る)ボタン(→[メニューの操作方法: 85](#))/
[](消去)ボタン(→[画像の消去: 459](#))/
Fnボタン(Fn1)(→[Fnボタン: 484](#))



(34) カードスロット(→カード(別売)の挿入: 54)

(35) カード扉(→カード(別売)の挿入: 54)

(36) カード扉ロックレバー(→カード(別売)の挿入: 54)

(37) 三脚取り付け部(→三脚/一脚: 671)

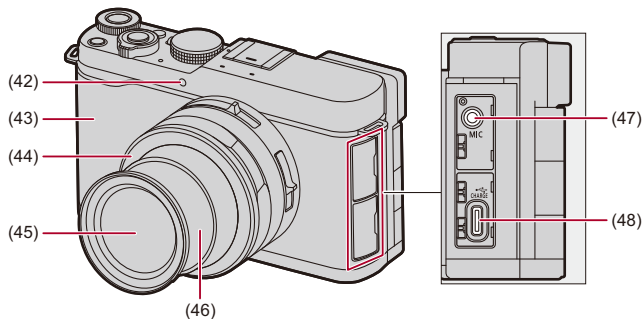
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、カメラを傷つける場合があります。

(38) カードアクセスランプ(→カードアクセス中の表示: 55)

(39) バッテリー扉(→バッテリーの挿入: 44)

(40) バッテリー扉開閉レバー(→バッテリーの挿入: 44)

(41) DCカプラー扉(→DCカプラー(別売): 631)



(42) セルフタイマーランプ(→セルフタイマー撮影: 227) /
AF補助光ランプ(→AF補助光: 158)

(43) グリップ

(44) レンズフロントリング

- 自動開閉レンズキャップを装着するときに取り外します。

(45) レンズ面

(46) レンズ鏡筒

(47) [MIC]端子(→外部マイク(別売): 373)

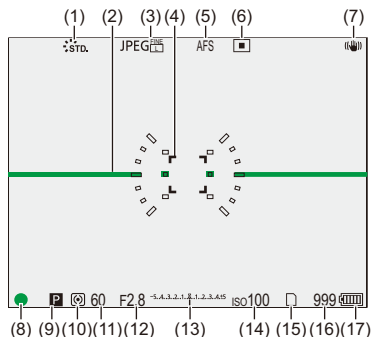
(48) USB端子(→カメラにバッテリーを入れて充電する: 46、USB端子: 624、パソコン用のWebカメラとして使用する: 613)

ファインダー／モニターの表示

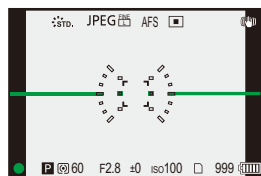
お買い上げ時、ファインダー／モニターには以下のアイコンが表示されます。

- ここに記載している以外のアイコンについて(→ [モニター／ファインダーの表示: 632](#))

ファインダー



モニター



- (1) フォトスタイル(→[フォトスタイル: 302](#))
- (2) 水準器(→[水準器表示: 543](#))
- (3) 記録ファイル形式(写真)(→[記録ファイル形式\(写真\): 111](#))/
JPEG/HEIF 写真画質(→[JPEG/HEIF 写真画質: 116](#))/
画像サイズ(→[画像サイズ: 109](#))
- (4) AFエリア(→[AFエリアの操作: 179](#))
- (5) フォーカスモード(→[フォーカスモードの選択: 145](#)、[AFを使う: 147](#)、[MFで撮る: 189](#))
- (6) AFモード(→[AFモードの選択: 160](#))
- (7) 手ブレ補正(→[手ブレ補正: 256](#))
- (8) フォーカス(緑点灯)(→[写真を撮る: 104](#)、[AFを使う: 147](#))/
記録動作表示(赤点灯)(→[動画を撮る: 118](#))
- (9) 写真/動画/S&Qモード(→[写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))/
撮影モード(→[撮影モードの選択: 66](#))
- (10) 測光モード(→[測光モード: 261](#))
- (11) シャッタースピード(→[写真を撮る: 104](#)、[シャッター優先AEモード: 270](#))
- (12) 絞り値(→[写真を撮る: 104](#)、[絞り優先AEモード: 267](#))
- (13) 露出補正值(→[露出補正: 280](#))/
マニュアル露出アシスト(→[マニュアル露出アシスト: 275](#))
- (14) ISO感度(→[ISO感度: 288](#))
- (15) カードスロット(→[カード\(別売\)の挿入: 54](#))
- (16) 写真撮影枚数(→[カードの写真撮影枚数、動画記録時間: 680](#))/
連続撮影可能枚数(→[連続撮影可能枚数: 212](#))
- (17) バッテリー残量(→[電源に関する表示: 50](#))



• [↵] ボタンを押すと、水準器の表示/非表示を切り換えることができます。

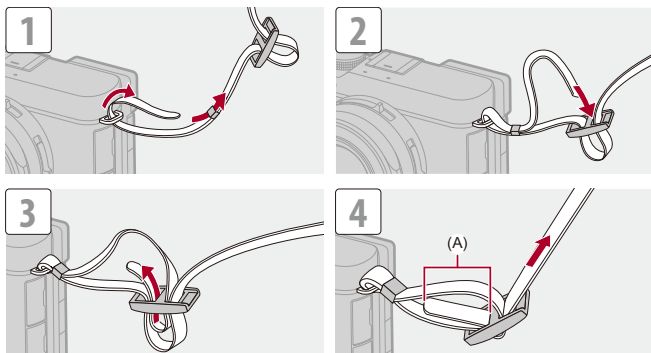
準備

撮影前に、本章を読んでカメラを準備してください。

- ショルダーストラップの取り付け: 42
- バッテリーの充電: 43
- カード(別売)の挿入: 54
- モニターの向きと角度の調整: 57
- 時計の設定(初めて電源を入れるとき): 59

ショルダーストラップの取り付け

落下防止のため、以下の手順でショルダーストラップを取り付けてください。



(A) 3 cm以上出しておく(緩んでいないかご確認ください)



- ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認してください。
- 反対側も、同じ手順で取り付けてください。
- 使用方法によっては、取り付け後に緩みが発生する場合があります。ショルダーストラップがしっかり固定されているか定期的にご確認ください。

バッテリーの充電

- バッテリーの挿入: 44
- カメラにバッテリーを入れて充電する: 46
- 電力を供給しながらカメラを使う(給電): 49
- 充電/給電についてのお知らせ: 50
- エコモード: 52

バッテリーは本機を使って充電できます。カメラの電源をオンにして、電源コンセントから電力を供給(給電)することもできます。

別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)も使用できます。

- 本機で使うことができるバッテリーはDMW-BLK22です。(2026年5月現在)

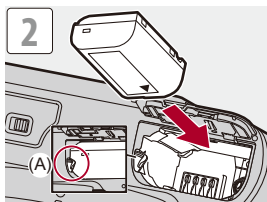
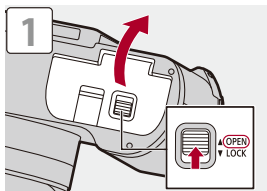


- お買い上げ時、バッテリーは充電されていないため、充電してからお使いください。

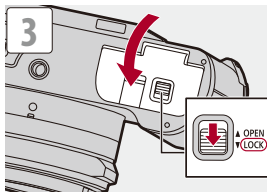
バッテリーの挿入



- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

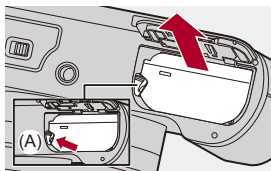


- バッテリーに(A)のレバーがかかっていることを確認してください。



❖ バッテリーの取り出し

- 1 電源スイッチを[OFF]にする
- 2 バッテリー扉を開く
- 3 (A)のレバーを矢印の方向に押し、バッテリーを取り出す
 - カードアクセスランプの消灯を確認してからバッテリーを取り出してください。(→ [カードアクセス中の表示: 55](#))

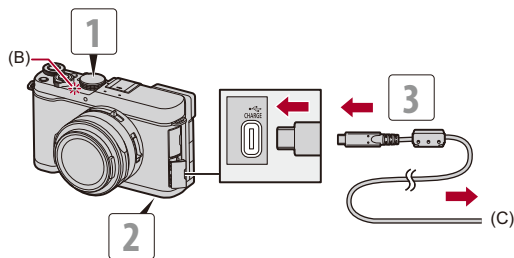


- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(カメラ内に挿入したまま長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後のバッテリーは、温かくなります。また使用中はカメラも温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出すためお気をつけください。

カメラにバッテリーを入れて充電する



- 充電には当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)、またはバッテリーチャージャー(別売:DMW-BTC15)の付属品の使用を推奨します。
- 本機は市販のACアダプターやUSB接続ケーブルで充電できます。
 - ※ 市販品のACアダプターの推奨仕様
 - DC 5 V / 3 A (15 W)出力対応
 - USB Type-C 端子
 - ※ 充電には15 W出力以上のUSB接続ケーブルをお使いください。
- 充電には5 V / 500 mA以上のACアダプターも使用できます。ただし、推奨のACアダプターより充電時間が長くなる場合があります。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。



(C) ACアダプターへ

- 1 電源スイッチを[OFF]にする
- 2 カメラにバッテリーを入れる

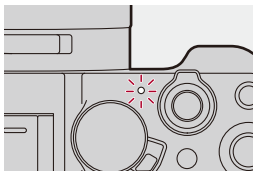
3 カメラのUSB端子とACアダプターをUSB接続ケーブルでつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)

4 ACアダプターを電源コンセントに差し込む

- 充電ランプ(B)が赤色点灯し、充電が始まります。

❖ 充電ランプの表示



充電ランプ(赤色)

点灯: 充電中

消灯: 充電完了

点滅: 充電エラー

充電時間: 約240分

- 本機と別売のACアダプター(DMW-AC11)、または別売のバッテリーチャージャー(DMW-BTC15)の付属品を使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。




- USB機器(パソコンなど)とカメラをUSB接続ケーブルでつないでも充電できません。この場合、充電時間が長くなる場合があります。



- 充電完了後は、電源との接続を解除してください。
- 充電ランプが赤く点滅するときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところでも再度充電してください。
 - バッテリーの端子部が汚れています。バッテリーを取り出して汚れを乾いた布でふき取ってください。
- 電源スイッチを[OFF]にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

電力を供給しながらカメラを使う(給電)

カメラにバッテリーを入れて充電しているときに電源をオンにすると、電力を供給(給電)しながら撮影できます。

- 給電には当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)、またはバッテリーチャージャー(別売:DMW-BTC15)の付属品の使用を推奨します。
- 本機は市販のACアダプターやUSB接続ケーブルで給電できます。
 - ※市販品のACアダプターの推奨仕様
 - DC 5 V / 3 A (15 W)出力対応
 - USB Type-C端子
 - ※給電には15 W出力以上のUSB接続ケーブルをお使いください。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。
- 給電時は、画面にが表示されます。



- USB機器(パソコンなど)とカメラをUSB接続ケーブルでつないでも給電できます。



- 給電中はバッテリーの充電はできません。
- ACアダプターを抜き差しする場合は、先にカメラの電源を切ってください。
- 使用状況によっては、バッテリー残量が減る場合があります。残量がなくなると、電源が切れます。
- 接続する機器の給電能力によっては、給電できない場合があります。
- **高温表示について**(→ [高温表示について: 125](#))

充電／給電についてのお知らせ

❖ 電源に関する表示

モニター表示




(D) USB 接続ケーブルから電源供給中

(E) バッテリー残量

	80%以上
	60%～79%
	40%～59%
	20%～39%
	19%以下
 赤色点滅	残量不足(電源表示ランプも点滅します) • バッテリーを充電または交換してください。
表示なし	DCカプラー装着

- 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。

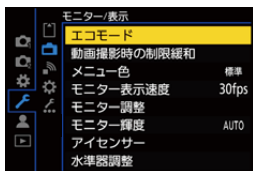


- パナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めします。純正品以外のバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。
- 純正品以外のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社では、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- USB延長ケーブルや、USB変換アダプターは使用しないでください。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
- キーボードやプリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
- 接続したパソコンが休止状態になると、充電／給電が中止されることがあります。
- 充電が完了してもバッテリー残量表示がにならない場合は、バッテリーが劣化している可能性があります。該当バッテリーのご使用はお控えください。

エコモード

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

MENU/SET → **[]** → **[]** → **[エコモード]を選ぶ**



スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。 • [スリープモード]を[OFF]に設定すると、本機の消費電力が増加する可能性があります。	
LVF/モニター自動OFF	ファインダー／モニターを消灯する時間を設定します。(電源は切りません)	
省電力ファインダー撮影	スリープするまでの時間	スリープするまでの時間を設定します。
	動作する条件	スリープが働く画面を設定します。 [コントロールパネルのみ]: コントロールパネル(→ コントロールパネル: 83)を表示しているときだけスリープします。 [撮影待機中]: 撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。

- [スリープモード]、[省電力ファインダー撮影]から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- [LVF/モニター自動OFF]から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。

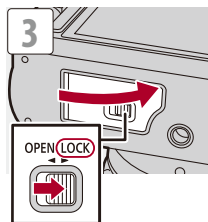
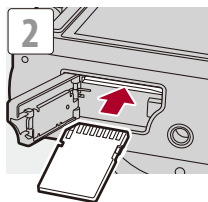
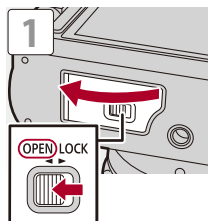


- 以下の場合は、[エコモード]が動きません。
 - パソコン接続中
 - 動画撮影／動画再生中
 - インターバル撮影中
 - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
 - [多重露出]撮影時
 - [ライブビューコンボジット撮影]時
 - [フォーカストランジション]撮影時
 - スライドショー中

カード(別売)の挿入



- 使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 551](#))



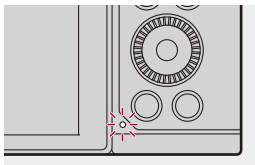
- カードの向きを図に合わせ、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



- 画像を保存するフォルダーとファイル名を設定できます：
(→ [フォルダー/ファイル設定: 552](#))

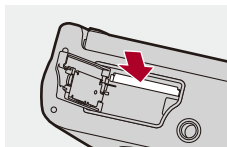
❖ カードアクセス中の表示

カードアクセス中は、カードアクセスランプが点灯します。



- カメラ使用後はカードが熱くなっていることがあります。
- アクセス中は、以下の操作をしないでください。カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります。
 - 電源を切る
 - バッテリーやカード、電源プラグを抜く
 - カメラに振動や衝撃、静電気を与える

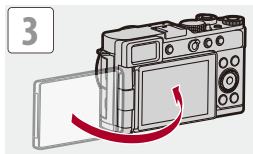
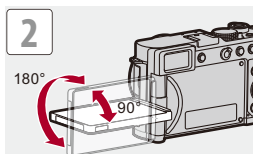
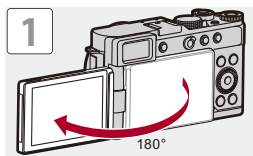
❖ カードの取り出し



- 1 カード扉を開く
- 2 「カチッ」と音がするまでカードを押して、まっすぐ引き抜く
 - カードアクセスランプの消灯を確認してから、カードを取り出してください。

モニターの向きと角度の調整

お買い上げ時はモニターが収納状態になっています。





- 調整できる角度は目安です。
- モニターに無理な力を加えないでください。傷や故障の原因になります。
- カメラを使用しないときは、モニター面を内側にして閉じてください。



- 撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できます：

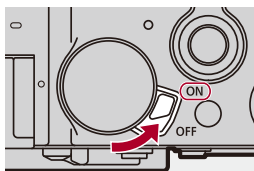
(→ [LVF/モニター表示設定: 539](#))

時計の設定 (初めて電源を入れるとき)

初めて電源を入れたときは、タイムゾーンと時計を設定する画面が表示されます。

正しい日時の情報を記録するために、ご使用の前に必ず設定してください。

1 電源スイッチを [ON] にする



2 [タイムゾーンを設定してください]と表示されたら、**MENU/SET** を押す


3 タイムゾーンを設定する

- ◀▶ でタイムゾーンを選び、**MENU/SET** を押します。
- サマータイム [**▲**☀️] (夏時間) を採用している場合は、**▲** を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度 **▲** を押してください。



(A)

(A) GMT(グリニッジ標準時)との時差

4 [時計を設定してください]と表示されたら、を押す

5 時計を設定する

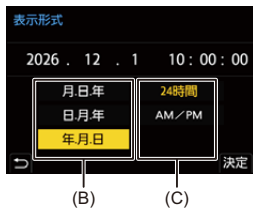
◀▶: 項目(年・月・日・時・分・秒)の選択

▲▼: 数値の選択




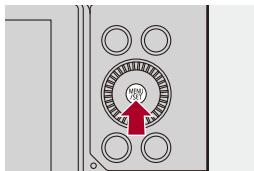
表示順・時刻表示形式を設定する場合

- ◀▶ で [表示形式] を選び、 を押すと、表示順 (B)・時刻表示形式 (C) の設定画面が表示されます。



6 決定する

-  を押します。



7 [時計を設定しました]と表示されたら、 を押す



- 時計の設定をしないでカメラを使うと、2026年1月1日 0:00:00 に設定されます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーをカメラに約24時間入れたままにしてください)



- [タイムゾーン]、[時計設定]はメニューから変更できます：
(→ [タイムゾーン: 563](#)、[時計設定: 563](#))

基本操作

カメラの基本的な操作方法や、すぐに撮影してみたいときに便利なインテリジェントオートモードについて説明しています。

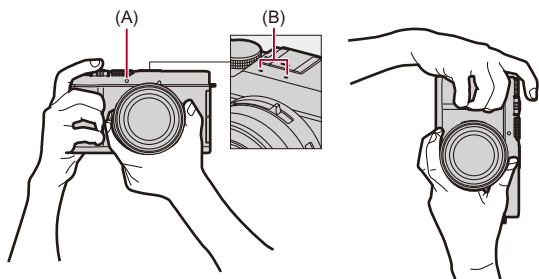
- カメラの構え方: 63
- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65
- 撮影モードの選択: 66
- カメラの設定操作: 67
- モニター/ファインダーの表示設定: 72
- クイックメニュー: 81
- コントロールパネル: 83
- メニューの操作方法: 85
- 文字の入力: 91
- インテリジェントオートモード: 92
- タッチ撮影: 99

カメラの構え方

手ブレを抑えるため、カメラが動かないように構えて撮影します。

両手でカメラを持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

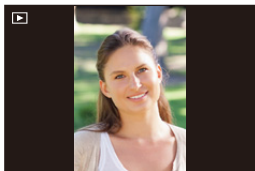
- 右手でカメラのグリップを包むようにしっかりと持ってください。
- 左手でレンズを下から支えてください。
- AF補助光ランプ(A)およびマイク(B)を指などで塞がないでください。



❖ 縦位置検出機能

縦に構えて撮影したことを検出する機能です。

初期設定では、写真を自動で縦向きにして再生します。



- [縦位置自動回転]を[OFF]にすると、写真を回転せずに再生します。(→ [縦位置自動回転: 476](#))



- カメラを大きく上や下に向けると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。

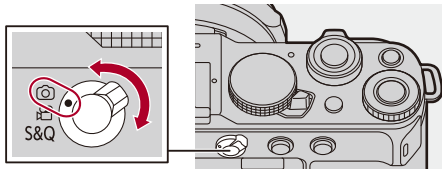


- 動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する／しないを設定できます：
(→ [動画の縦位置情報: 549](#))

写真/動画/S&Q切り換えスイッチ

撮影の目的に合わせて、写真/動画/S&Q切り換えスイッチを切り換えてください。

写真/動画/S&Q切り換えスイッチを切り換える



(写真モード)

写真撮影時に合わせます。(→ [写真を撮る: 104](#))



(動画モード)

動画撮影時に合わせます。(→ [動画を撮る: 118](#))

S&Q(スロー&クイックモード)

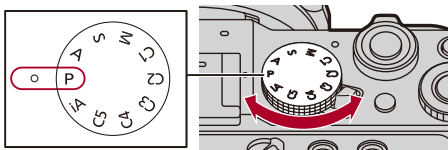
スロー&クイック動画撮影時に合わせます。(→ [スロー&クイック動画: 397](#))



- 写真メニューは[]モード時にだけ、動画メニューは[] / [**S&Q**]モード時にだけ表示されます。写真メニューや動画メニューを表示したい場合は、各モードに合わせてください。

撮影モードの選択

モードダイヤルを回して、撮影モードを選択する



iA

インテリジェントオートモード(→インテリジェントオートモード: 92)

P

プログラムAEモード(→プログラムAEモード: 263)

A

絞り優先AEモード(→絞り優先AEモード: 267)

S

シャッター優先AEモード(→シャッター優先AEモード: 270)

M

マニュアル露出モード(→マニュアル露出モード: 273)

C1 / C2 / C3 / C4 / C5

カスタムモード(→カスタムモード: 510)

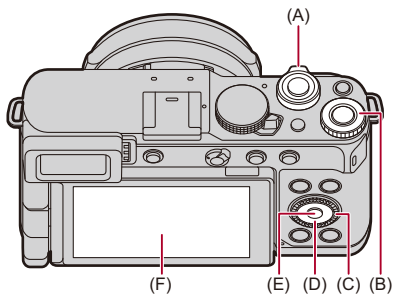


- モードダイヤルを[P] / [A] / [S] / [M]に合わせたときの写真または動画 / S&Qの露出設定を、任意の露出モードに固定できます:

(→P/A/S/M時の露出設定: 521)

カメラの設定操作

カメラの設定を変更するときは、以下の操作部を使って操作します。



(A) ズームレバー() (→ [ズームレバー: 68](#))

(B) 後ダイヤル() (→ [後ダイヤル: 68](#))

(C) コントロールダイヤル() (→ [コントロールダイヤル: 68](#))

(D) カーソルボタン() (→ [カーソルボタン: 69](#))

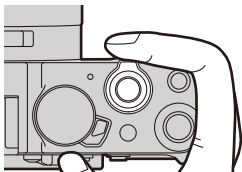
(E) [MENU/SET]ボタン() (→ [\[MENU/SET\]ボタン: 69](#))

(F) タッチパネル(→ [タッチパネル: 70](#))

❖ ズームレバー

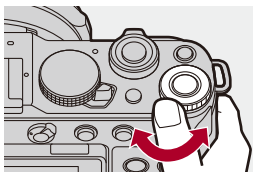
回す: 項目や数値を選択します。

- 撮影時は、ズーム操作を行います。



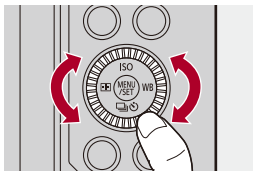
❖ 後ダイヤル

回す: 項目や数値を選択します。



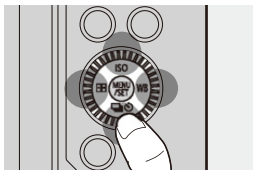
❖ コントロールダイヤル

回す: 項目や数値を選択します。



❖ カーソルボタン

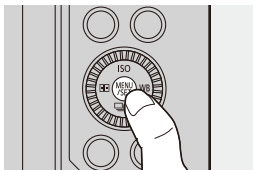
押す：項目や数値を選択します。



❖ [MENU/SET]ボタン

押す：設定内容を決定します。

- 撮影時と再生時は、メニューを表示します。

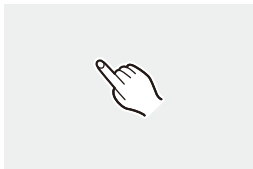


❖ タッチパネル

画面に表示されるアイコンやスライドバー、メニューなどを指で触れて操作できます。

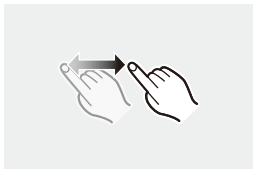
タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。



ドラッグする

タッチパネルに触れたまま指を動かす動作です。



ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを2本の指で触れたまま、広げる(ピンチアウト)動作と縮める(ピンチイン)動作です。





- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります)



- タッチ操作を無効にできます：
(→ [タッチ設定: 530](#))

モニター／ファインダーの表示設定

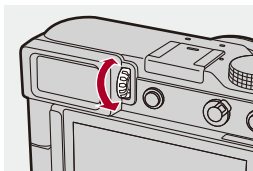
- ファインダーの設定: 72
- モニターとファインダーの切り換え: 73
- 情報表示の切り換え: 76
- ライブビューの縦表示: 79

ファインダーの設定

❖ ファインダーの視度の調整

ファインダーをのぞきながら、視度調整ダイヤルを回す

- ファインダー内の文字がはっきり見えるまで調整してください。

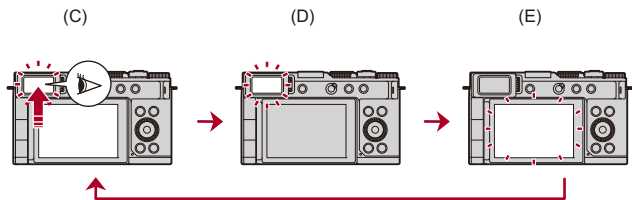
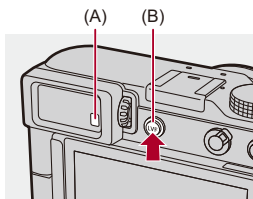


モニターとファインダーの切り換え

初期設定では、ファインダー／モニター自動切換が設定されています。ファインダーをのぞくとアイセンサー(A)が働き、モニター表示からファインダー表示に切り換わります。

[LVF]ボタン(B)で、ファインダー表示またはモニター表示に切り換えることができます。

[LVF]ボタンを押す



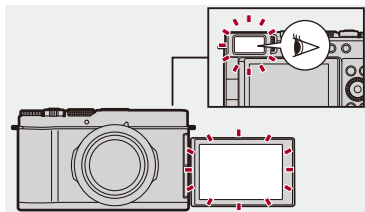
(C) ファインダー／モニター自動切換

(D) ファインダー表示

(E) モニター表示

❖ モニターとファインダーの同時表示

ファインダー／モニター自動切換(C)時、モニターをレンズ方向に向けると、ファインダーをのぞいたときでも撮影画面がモニターに表示されます。





- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 動画再生中やスライドショー中は、ファインダー／モニター自動切替が動きません。

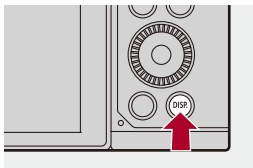


- ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます：
(→ [アイセンサーAF: 528](#))
- アイセンサーの感度を変更できます：
(→ [アイセンサー: 557](#))
- モニターのライブビュー表示速度を設定できます：
(→ [モニター表示速度: 556](#))
- モニター／ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整できます：
(→ [モニター調整／LVF調整: 556](#))
- モニター／ファインダーの輝度を調整できます：
(→ [モニター輝度／LVF輝度: 557](#))

情報表示の切り換え

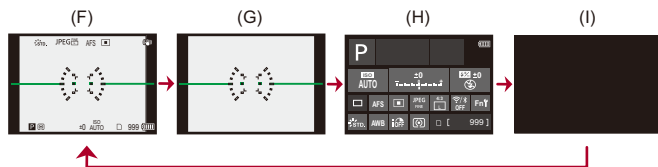
[DISP.]ボタンを押す

- 情報表示が切り換わります。



❖ 撮影画面

モニター



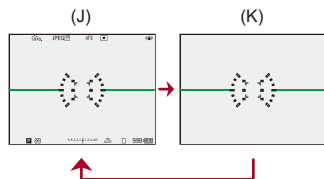
(F) 情報あり

(G) 情報なし

(H) コントロールパネル

(I) 消灯

ファインダー



(J) 情報あり

(K) 情報なし

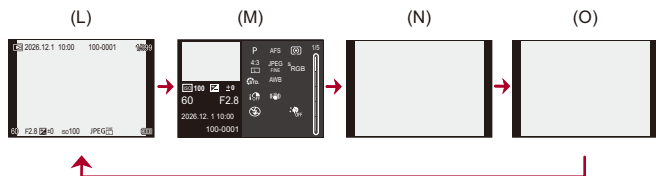


- [↔] ボタンを押すと、水準器の表示/非表示を切り換えることができます。[水準器表示](→ [水準器表示: 543](#))でも設定できます。



- コントロールパネルの操作(→ [コントロールパネル: 83](#))
- コントロールパネル、消灯画面を非表示にできます:
(→ [撮影画面の遷移\(モニター\): 544](#))
- ライブビューと情報表示が重ならないように表示を変更できます:
(→ [LVF/モニター表示設定: 539](#))
- ライブビューの境界線を表示できます:
(→ [ライブビュー境界線表示: 544](#))

❖ 再生画面



(L) 情報あり

(M) 詳細情報表示

• ▲▼を押すと、表示内容が切り換わります。(→ [詳細情報表示: 650](#))

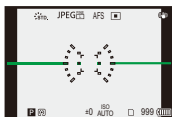
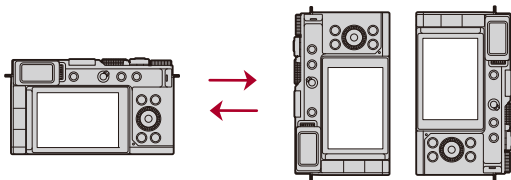
(N) 情報なし

(O) ハイライト表示なし

• カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[ハイライト表示]を[ON]にすると表示される、ハイライト表示のない画面です。この画面以外では、白飛びの起こっている部分が点滅表示されます。(→ [ハイライト表示: 541](#))

ライブビューの縦表示

カメラを縦向きにした場合に、画面も縦向きに表示します。



- 縦表示のときは、カーソルボタンの上下左右の方向も同じように回転します。画面の向きに合わせて操作してください。



- 縦表示では、長いメッセージの末尾を「...」で省略することがあります。カメラを横向きにすると全文を確認できます。
- 以下の画面は縦表示になりません。
 - Q.MENU
 - コントロールパネル
 - 再生画面
 - メニュー画面
 - [深度合成]
 - [ライブビューコンボジット撮影]
 - [多重露出]
 - [フォーカストランジション]
 - [ライブクロップ]
 - モニターをレンズ側に向けているとき



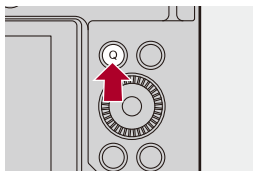
- 縦表示を無効にすることができます：
(→ [ライブビューの縦表示: 544](#))

クイックメニュー

撮影でよく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。クイックメニューの表示方法や、表示する項目の変更もできます。

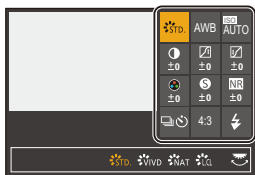
1 クイックメニューを表示する

- [Q]ボタンを押します。




2 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼◀▶ を押します。
- 設定アイコンを回しても選択できます。
- メニュー項目をタッチしても選択できます。



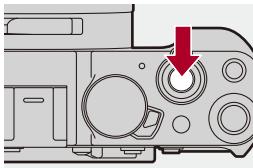
3 設定項目を選ぶ

-  を回します。
- 設定項目をタッチしても選択できます。



4 クイックメニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [Q]ボタンを押しても終了できます。



- 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。



- クイックメニューのカスタマイズができます：
(→ [クイックメニューのカスタマイズ: 503](#))

コントロールパネル

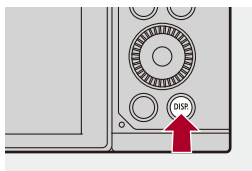
現在の撮影設定をモニターで確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。

[⌘]モード(動画モード)／[S&Q]モード(スロー & クイックモード)では、動画専用の表示に変わります。

- 画面表示について(→ [コントロールパネル\(写真モード\): 639](#)、[コントロールパネル\(動画モード／S&Qモード\): 642](#))

1 コントロールパネルを表示する

- [DISP.]ボタンを数回押します。



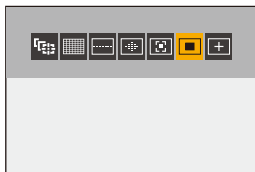
2 項目をタッチする

例) AFモードの変更



3 設定を変更する

- 設定項目をタッチします。
- 設定の変更操作については、各項目の説明ページをお読みください。



4 [決定]をタッチする



- 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。

メニューの操作方法

● 設定リセット: 90

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。

メニューの操作はカーソル、ダイヤル、ズームレバー、タッチのどれでも可能です。

メニューの構成と操作部

メニュー画面を◀▶で移動することで、メニューを操作できます。

また、メインタブ、サブタブ、ページタブ、メニュー項目は、下図で示した操作部を使うと、メニューの各階層に移動しなくても操作できます。

- アイコンやメニュー項目、設定項目をタッチしても操作できます。

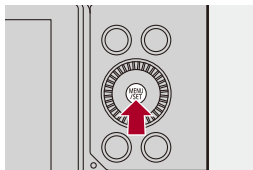


- (A) メインタブ* ([Q] ボタン)
 (B) サブタブ (◀)
 (C) メニュー項目 (☑)
 (D) ページタブ (▶)
 (E) 設定項目

* 写真メニューは[📷]モード時にだけ、動画メニューは[📹] / [S&Q]モード時にだけ表示されます。写真メニューや動画メニューを表示したい場合は、各モードに合わせてください。(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)

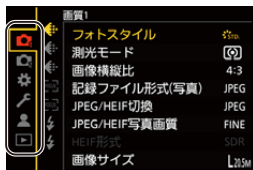
1 メニューを表示する

- **MENU/SET** を押します。





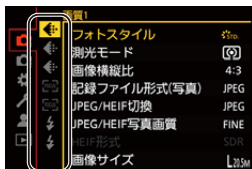
2 メインタブを選ぶ

- ▲▼でメインタブを選び、▶を押します。
-  を回してメインタブを選び、**MENU/SET** を押しても同じ操作ができます。





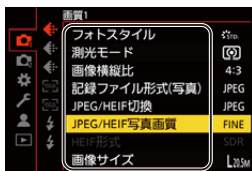
3 サブタブを選ぶ

- ▲▼でサブタブを選び、▶を押します。
- を回してサブタブを選び、を押しても同じ操作ができます。
- ページタブがある場合は、ページタブ(D)が順に切り換わったあとに、次のサブタブに切り換わります。



4 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼でメニュー項目を選び、▶を押します。
- を回してメニュー項目を選び、を押しても同じ操作ができます。



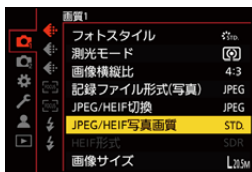
5 設定項目を選び決定する

- ▲▼で設定項目を選び、**MENU/SET**を押します。
- **OK**を回して設定項目を選び、**MENU/SET**を押しても同じ操作ができます。



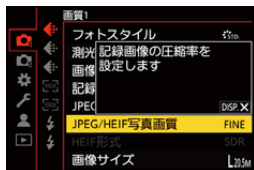
6 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- **[L]**ボタンを数回押ししても終了できます。



❖ メニュー項目や設定内容の説明を表示する

メニュー項目や設定項目を選択中に [DISP.] ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。

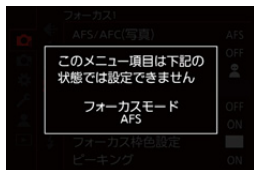


❖ グレーで表示されるメニュー項目

設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。

グレーのメニュー項目を選択中に **MENU/SET** を押すと、設定できない理由が表示されます。

- メニュー項目によっては、設定できない理由は表示されません。

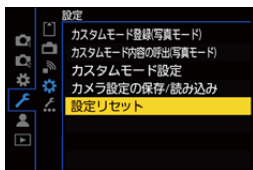


設定リセット

以下のそれぞれの設定を、初期設定に戻します。

- 撮影設定
- ネットワーク設定 ([Wi-Fi]、[Bluetooth] の設定内容)
- セットアップ／カスタム設定 ([Wi-Fi]、[Bluetooth] 以外)

 ⇒  ⇒  ⇒ **[設定リセット] を選ぶ**



- セットアップ／カスタム設定をリセットすると、再生メニューもリセットされます。
- セットアップ／カスタム設定をリセットすると、[LUTライブラリ] は初期設定に戻ります。登録したLUTは削除されます。
- フォルダー番号、時計はリセットされません。



- 初期設定とリセット対象の一覧 (⇒ [初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 688](#))

文字の入力

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 文字を入力する

- ▲▼◀▶ で文字を選び、入力する文字が表示されるまで **MENU/SET** を押し
ます。(繰り返す)
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、**↶** を右側に回して入力位置を移動し
てください。
- 項目を選んで **MENU/SET** を押しと、以下の操作ができます。
 - [切換]: **かな** (ひらがな)、**カタ** (カタカナ)、**A** / **a** (アルファベット)、
1 (数字)、**&** (記号)に文字を切り換え
 - []: 空白を入力
 - [消去]: 文字を消去
 - [<]: 入力位置を左に移動
 - [>]: 入力位置を右に移動
- パスワードを入力するときは、入力した文字数 / 入力できる文字数 (A) が表示
されます。



2 入力を終了する

- [決定] を選び、**MENU/SET** を押します。

インテリジェントオートモード

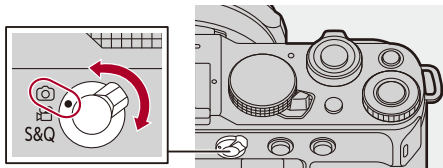


[iA]モード(インテリジェントオートモード)は、カメラにおまかせで撮影できるモードです。

被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

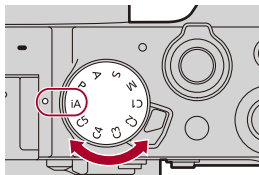
1 [📷]、[📷]または[S&Q]モードにする

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを合わせます。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))



2 撮影モードを[iA]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))



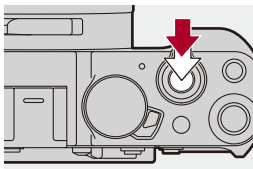
3 被写体に向けてカメラを構える

- カメラがシーンを判別すると、撮影モードのアイコンが変化します。(自動シーン判別)



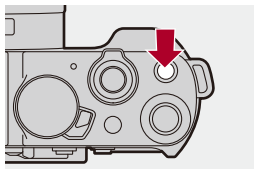
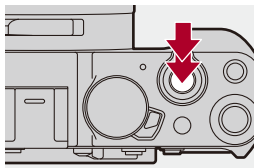
4 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントが合うとフォーカスアイコンが点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- AFモードの[AF-ON]が動き、人物に合わせてAFエリアが表示されます。



5 撮影する

- 写真を撮影するには、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するには、動画記録ボタンを押します。
[⌘] / [S&Q]モード時は、シャッターボタンを全押ししても動画を撮影できません。



- 逆光時に被写体が暗く写らないように、逆光補正が自動で働きます。

❖ 自動シーン判別の種類

		写真撮影時	動画撮影時
	i人物 ^{*1}	✓	✓
	i風景	✓	✓
	iマクロ	✓	✓
	i夜景 & 人物 ^{*2}	✓	
	i夜景	✓	
	i料理	✓	
	i夕焼け	✓	
	iローライト		✓
	iA ^{*3}	✓	✓

*1 写真メニュー(フォーカス)の[自動認識の対象]([認識する被写体])を[人物]にしているときに判別されます。

*2 外部フラッシュ使用時に判別されます。

*3 写真メニュー(フォーカス)の[自動認識の対象]([認識する被写体])を[人物]以外にしているときに判別されます。

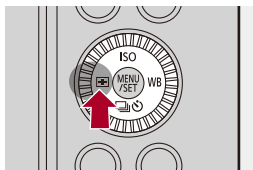


- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA](標準的な設定)で撮影します。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
- 設定どおりにすべての被写体を認識できるわけではありません。
- [自動認識の対象]([認識する被写体])が[動物]のとき、動物以外の被写体に対して動物認識する場合があります。

❖ AFモード

AFモードを切り換える

- [AF-ON] ボタン(◀)を押すごとに、AFモードが切り換わります。
- 画面をタッチして切り換えることもできます。
- [自動認識設定]は[ON]に固定されます。
- [自動認識の対象]は、[iA]モード以外の撮影モードでの設定を引き継ぎます。(→ [自動認識: 163](#))



フルエリア

対象となる被写体を認識してピントを合わせます。



- 白色のAFエリアをタッチして、ピントを合わせる被写体を切り換えることができます。

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。



被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにする



- シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。



• AFモードについて(→ [自動認識: 163](#)、[追尾: 168](#))

❖ フラッシュ

フラッシュ撮影時は、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

スローシンクロ([, [) のときは、シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにお気をつけください。



- 外部フラッシュについて (→ [外部フラッシュを使う: 336](#))

タッチ撮影

- タッチ AF / タッチシャッター: 99
- タッチ AE: 101

タッチ AF / タッチシャッター



S&Q

iA P A S M

タッチした位置にピントを合わせたり、シャッターを切ったりします。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 530](#))

1 [**⏪**]をタッチする

2 アイコンをタッチする

- タッチするたびに、アイコンが切り換わります。



☞ **AF (タッチAF)**

タッチした位置にピントを合わせます。

☞ **☞ (タッチシャッター)**

タッチした位置にピントを合わせて撮影します。

☞ **✕ (OFF)**

3 (OFF以外に設定した場合)被写体をタッチする



- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤色になったあと消えます。



- AFエリアの操作方法について(→ [AFエリアの操作: 179](#))
- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます:
(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 183](#))

タッチAE



S&Q

iA P A S M

タッチした位置に明るさを合わせます。

人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくできます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 530](#))

1 [**⏪**]をタッチする

2 [**⏩** AE]をタッチする

- タッチAEの設定画面が表示されます。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット]をタッチしてください。



4 [決定]をタッチする

❖ タッチAEの解除方法

【】をタッチする



- 以下の機能を使用中は、タッチAEは使用できません。
- [ライブクロップ]



- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます(このとき、タッチAEは使用できません):
(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 183](#))

写真の撮影

写真を撮影するための基本的な操作と設定です。

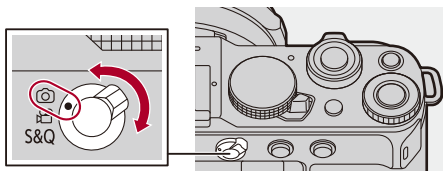
- [写真を撮る: 104](#)
- [画像横縦比: 107](#)
- [画像サイズ: 109](#)
- [記録ファイル形式\(写真\): 111](#)
- [JPEG/HEIF切替: 114](#)
- [JPEG/HEIF写真画質: 116](#)

写真を撮る



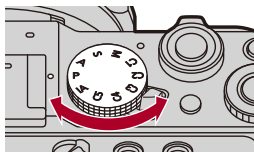
1 [📷]モードにする

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを合わせます。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))



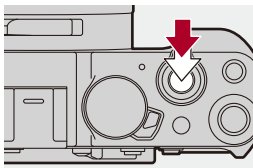
2 撮影モードを選ぶ([iA]/[P]/[A]/[S]/[M])

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))

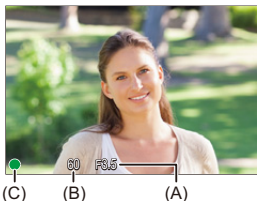


3 ピントを合わせる

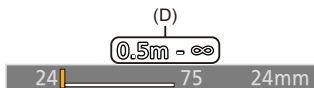
- シャッターボタンを半押し(軽く押す)します。



- 絞り値(A)とシャッタースピード(B)が表示されます。(適正な露出が得られないときは、赤く点滅します)
- ピントが合うとフォーカスアイコン(C)が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- [AF ON] ボタンを押しても同じ操作ができます。



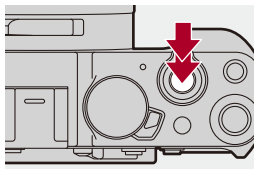
ピントの合う範囲



ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)(D)が表示されます。撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)します。



- カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[オートレビュー]を設定すると、撮影した写真を自動で表示できます。写真を表示する時間もお好みで変更できます。(→ [オートレビュー: 535](#))



- 初期設定では、ピントが合うまで撮影できません。
カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[フォーカス/リリース優先]を[バランス]または[リリース]にすると、ピントが合っていないでも撮影できます。
(→ [フォーカス/リリース優先: 522](#))

画像横縦比



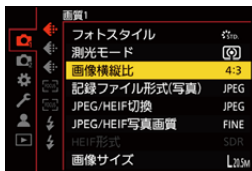
画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。

1 [📷]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [画像横縦比]を設定する

- [MENU/SET] → [📷] → [🔍] → [画像横縦比]



4:3

4:3 モニターの横縦比

3:2

一般のフィルムカメラの横縦比

16:9

16:9 テレビの横縦比

1:1

正方形横縦比



- 撮影画面にトリミング(クロップ)用のフレームを表示できます:
(→ [フレーム表示: 393](#))

画像サイズ



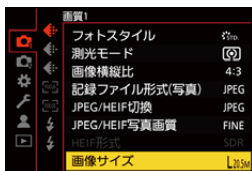
写真の画像サイズを設定します。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [画像サイズ]を設定する

- → → → [画像サイズ]



画像横縦比	画像サイズ	
4:3	L(20.5M)	5200×3904
	M(10.5M)	3744×2808
	S(5M)	2624×1968
	XS(3M)	1920×1440
3:2	L(19.5M)	5408×3608
	M(10M)	3888×2592
	S(5M)	2736×1824
	XS(2.5M)	1920×1280
16:9	L(18M)	5664×3192
	M(9.5M)	4096×2304
	S(4.5M)	2832×1592
	XS(2M)	1920×1080
1:1	L(15M)	3904×3904
	M(8M)	2816×2816
	S(4M)	1968×1968
	XS(2M)	1440×1440

- [クロップズーム(写真)]設定時は、画像サイズに [Cr] が表示されます。



- 以下の機能を使用中は、[画像サイズ]は設定できません。
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW]
 - [多重露出]

記録ファイル形式(写真)



iA P A S M

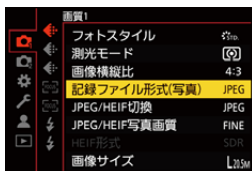
撮影する写真の記録ファイル形式を設定します。

1 [📷]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [記録ファイル形式(写真)]を設定する

- → [📷] → [🔧] → [記録ファイル形式(写真)]



JPEG

JPEG画像を記録します。

- [JPEG/HEIF切換]が[JPEG]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 114](#))

HEIF

HEIF画像を記録します。

- [JPEG/HEIF切換]が[HEIF]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 114](#))

RAW+JPEG

RAW画像とJPEG画像を同時に記録します。

- [JPEG/HEIF切換]が[JPEG]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 114](#))

RAW+HEIF

RAW画像とHEIF画像を同時に記録します。

- [JPEG/HEIF切換]が[HEIF]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 114](#))

RAW

RAW画像を記録します。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- カメラでRAW画像を現像できます。(→ [RAW現像: 461](#))
- パソコンでRAWファイルの現像、編集をする場合は、ソフトウェア(テクノロライズン「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。(→ [SILKYPIX Developer Studio SE: 612](#))



- RAW画像は[画像横縦比]によって、以下の画像サイズで記録されます。
 - [4:3]: 5208×3912
 - [3:2]: 5416×3616
 - [16:9]: 5672×3200
 - [1:1]: 3912×3912
- [RAW+JPEG]、[RAW+HEIF]の画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG/HEIF画像が同時に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[記録ファイル形式(写真)]は設定できません。
 - [多重露出]



- 1回だけRAW画像とJPEG/HEIF画像を同時に撮影する機能をFnボタンに登録できます:
 - (→ [ワンショットRAW+JPEG／ワンショットRAW+HEIF: 489](#))
- 色空間を[sRGB]または[AdobeRGB]から選択できます:
 - (→ [色空間: 520](#))

JPEG/HEIF切換



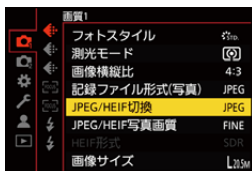
写真を記録するときのファイル形式(JPEGまたはHEIF)を設定します。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [JPEG/HEIF切換]を設定する

- → [📷] → [🔧] → [JPEG/HEIF切換]



JPEG

JPEG画像を記録します。

HEIF

HEIF画像を記録します。

- JPEGに比べて圧縮効率が高い保存形式ですが、撮影した写真の再生や印刷に対応した環境は限られます。



HEIF について

HEIF は、JPEG に比べて圧縮効率が非常に高い保存形式で、高画質のまま小さいファイル容量で記録できます。ただし、お使いのパソコンやソフトウェアによっては、HEIF ファイルの表示や編集、印刷ができない場合があります。

HEIF 画像を再生するには、HEIF に対応した環境が必要です。



- HEIF 画像は拡張子が「.HIF」のファイルとして保存されます。お使いのパソコンやソフトウェアによっては、読み込めない場合があります。その場合は、ファイルの拡張子を「.HEIC」に変更してください。



- HLG (ハイブリッドログガンマ) 方式の HEIF 画像を撮影できます：
(→ [HLG 撮影 \(HEIF 形式\): 332](#))

JPEG/HEIF 写真画質



JPEG 画像または HEIF 画像を保存するときの圧縮率を設定します。

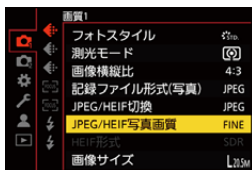
- [記録ファイル形式(写真)]が [JPEG]/[HEIF]/[RAW+JPEG]/[RAW+HEIF] のときに設定できます。(→ [記録ファイル形式\(写真\): 111](#))

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [JPEG/HEIF 写真画質]を設定する

- [MENU/SET] → [📷] → [🔍] → [JPEG/HEIF 写真画質]



FINE

画質を優先した JPEG 画像または HEIF 画像です。

STD.

標準画質の JPEG 画像または HEIF 画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合に便利です。

動画の撮影

動画を撮影するための基本的な操作と設定です。

- 動画撮影についてさらに詳しく知るには、以下の章もお読みください。
 - 動画の設定: 353
 - 特殊な動画撮影: 396
- 動画を撮る: 118
- システム周波数: 126
- 記録ファイル形式(動画): 128
- 動画画質: 129
- 動画撮影範囲: 142

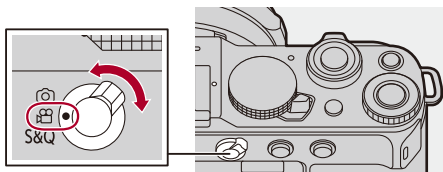
動画を撮る



本機は、さまざまな解像度の動画撮影が可能です。また、システム周波数の切り換えや、MP4(Lite)／MP4／MOVの記録ファイル形式に対応しています。

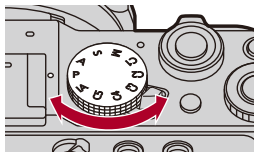
1 []または[S&Q]モードにする

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを合わせます。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))
- []モード時でも動画撮影はできますが、タッチ操作での露出や音声の設定ができないなどの制限があります。(→ [写真モードでの動画撮影の制限: 124](#))



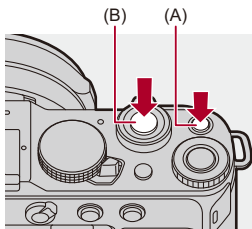
2 撮影モードを選ぶ([iA]／[P]／[A]／[S]／[M])

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))

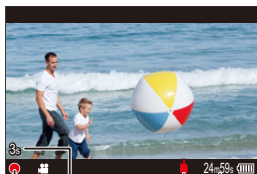


3 撮影を開始する

- 動画記録ボタン(A)を押します。
- [⌘] / [S&Q]モード時は、シャッターボタン(B)を全押ししても同じ操作ができます。
- 動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。



- 動画の記録中は、記録動作表示(C)とカードアクセス表示(D)が赤く点灯します。



(C) (F) (D) (E)

(E) 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒)

(F) 記録経過時間(h:時間、m:分、s:秒)

4 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタン(A)を押します。
- [⌘] / [S&Q]モード時は、シャッターボタン(B)を全押ししても同じ操作ができます。



- AFで動画撮影中にピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。

❖ 動画撮影中の操作

[⌘] / [S&Q]モード時は、露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。




- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→[タッチ設定: 530](#))

1 [] または [] をタッチする

2 アイコンをタッチする

F 絞り値


SS シャッタースピード


 露出補正

ISO ISO感度

 dB 録音レベル設定

(→ [録音レベル設定: 367](#))

- [] モード時に設定できません。



 スロー & クイック設定

(→ [スロー & クイック動画: 397](#))

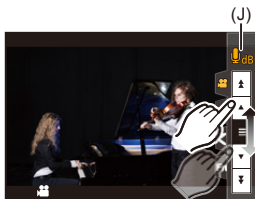
- [S&Q] モード時に設定できます。(撮影中は設定を変更できません)

3 スライダーをドラッグして設定する

[] / [] : ゆっくり設定を変える



[] / [] : 速く設定を変える

- アイコン (J) をタッチすると手順 2 の画面に戻ります。



❖ 動画撮影中の露出制御

絞り値、シャッタースピード、ISO感度は、以下の設定で動画撮影されます。

撮影モード	絞り値、シャッタースピード、ISO感度	
iA	シーンに合わせてカメラが自動で設定します。(→ 自動シーン判別の種類: 95)	
P / A / S / M	[] / [S&Q] モード	<p>カスタムメニュー(画質)の[動画/S&Qの露出設定]([P/A/S/M時の露出設定])によって切り換わります。初期設定は[モードダイヤル]に設定されています。(→ 動画/S&Qの露出設定: 521)</p> <p>[モードダイヤル]:モードダイヤルに合わせて、[P] / [A] / [S] / [M]モードを切り換えます。</p> <p>[P] / [A] / [S] / [M]:モードダイヤルにかかわらず、設定したモードで撮影します。</p>
	[] モード	<p>カスタムメニュー(画質)の[写真モードの動画露出自動制御]によって切り換わります。初期設定は[ON]に設定されています。(→ 写真モードの動画露出自動制御: 521)</p> <p>[ON]:カメラが自動で設定した値で撮影します。</p> <p>[OFF]:手動で設定した値で撮影します。</p>

❖ ファイル分割

連続記録時間、またはファイルサイズが以下の条件を超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。

(A) SDHCメモリーカード使用時

(B) SDXCメモリーカード使用時

記録ファイル形式(動画)	解像度	記録メディア	ファイル分割	
			連続記録時間	ファイルサイズ
MP4(Lite) / MP4	FHD	(A)	30分	4 GB
		(B)		
	FHD以外	(A)	30分	4 GB
		(B)	3時間4分	96 GB
MOV	すべて	(A)	30分	4 GB
		(B)	3時間4分	192 GB

❖ 写真モードでの動画撮影の制限

[📷]モードで動画を撮影した場合、以下の制限があります。

- シャッターボタンでの撮影開始/終了はできません。
- タッチ操作での露出や音声の設定はできません。
- [記録ファイル形式(動画)]や[動画画質]などの動画メニューは設定できません。あらかじめ[📷]モードにして設定してください。
- [記録ファイル形式(動画)]が[MOV]のときは、以下の動画画質では撮影できません。
 - 解像度が5.6K / 5.2K / 4.4Kの[動画画質]
 - 記録フレームレートが100.00p以上の[動画画質]



* [📷]モード時に、上記の条件の動画画質を設定していた場合、[📷]モードでは自動的に以下のように動画画質を切り換えます。

- [記録ファイル形式(動画)]:[MOV]のとき
 - [4K/30p/420/10-L]([システム周波数]:[59.94Hz(NTSC)])
 - [4K/25p/420/10-L]([システム周波数]:[50.00Hz(PAL)])
 - [4K/24p/420/10-L]([システム周波数]:[24.00Hz(CINEMA)])



- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- レンズの動作音(AFや手ブレ補正)が動画に記録される場合があります。
- 撮影終了時の動画記録ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
 - 3秒ほど長めに撮影し、再生メニュー(画像の編集)の[動画分割]で動画の終わりの部分を分割する
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく表示されることがありますが、異常ではありません。
- 対応機器で再生しても、画質や音質が悪くなる、撮影情報が正しく表示されない、再生できないといった現象が起こることがあります。このような場合は本機で再生してください。
- 以下の機能を使用中は、動画撮影はできません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ

高温表示について

- カメラの温度が上がると、画面に[>]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影など一部の機能が停止し、[>]が点灯表示されます。カメラの電源を切って、カメラの温度が下がるまでお待ちください。



- 動画撮影時に、カメラが自動で撮影を停止する温度を設定できます：
(→ [動画撮影時の制限緩和: 555](#))
- 撮影画面に動画記録中であることを示す赤色の枠を表示できます：
(→ [動画記録中の赤枠表示: 547](#))
- シャッターボタンを使用した記録開始/終了操作を無効にできます：
(→ [シャッター全押し動画記録: 528](#))
- カメラの温度上昇による撮影停止までの記録時間について：
(→ [本体温度上昇による動画連続記録時間: 675](#))

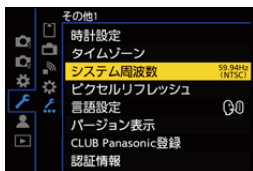
システム周波数



本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。

初期設定では、お買い上げの地域のテレビ放送方式に合ったシステム周波数が設定されています。

MENU/SET → [**設定**] → [**システム周波数**] → [**システム周波数**] を選ぶ



59.94Hz(NTSC)

放送方式がNTSCの地域向けのシステム周波数

50.00Hz(PAL)

放送方式がPALの地域向けのシステム周波数

24.00Hz(CINEMA)

映画制作用のシステム周波数



- 設定変更後は、カメラの電源を入れ直してください。
- お住まいの地域の放送方式と異なるシステム周波数で記録すると、テレビで動画を正常に再生できない場合があります。放送方式に詳しくない方や、映画用の動画制作をしない方は、お買い上げ時の設定でを使用することをお勧めします。
- 設定を変更したあとは、別のカードに入れ替え、本機でフォーマットすることをお勧めします。
- [システム周波数]の設定は、撮影時と再生時で同じ設定にしてください。

記録ファイル形式(動画)



iA P A S M

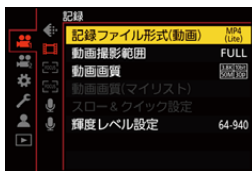
撮影する動画の記録ファイル形式を設定します。

1 [📹]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [記録ファイル形式(動画)]を設定する

- [MENU/SET] → [📹] → [🎬] → [記録ファイル形式(動画)]



MP4(Lite)

スマートフォンアプリでの編集に適したMP4のデータ形式です。

MP4

パソコンでの再生に適したデータ形式です。

MOV

映像編集に適したデータ形式です。

動画画質

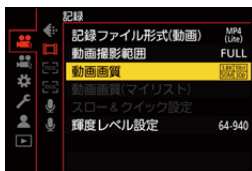


撮影する動画の画質を設定します。選択できる画質は、撮影モード、[システム周波数]、[記録ファイル形式(動画)]の設定によって異なります。
[動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。

[動画画質]の設定には、条件に合う項目だけを表示する[絞り込み](→[絞り込み: 139](#))や、よく使う動画画質を登録する[マイリスト登録](→[マイリスト登録: 140](#))も利用できます。

- 1 [📹]または[S&Q]モードにする
(→[写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))
- 2 [動画画質]を設定する

- [MENU] → [👤] → [📹] → [動画画質]



- ビットレートが72 Mbps以上の動画を撮影するには、対応したスピードクラスのSDカードが必要です。
- 使用できるカードについて(→[本機で使用できるSDカード: 31](#))

❖ 記録ファイル形式(動画): [MP4(Lite)]

- YUV、ビット数、映像圧縮: 4:2:0、10 bit、Long GOP
- 音声フォーマット: AAC(2ch)

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート(Mbps)

(C) ビデオ圧縮方式(HEVC: H.265/HEVC)

システム周波数: [59.94Hz(NTSC)]							
動画画質	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	PIXEL PIXEL					
3.8K/10bit/50M/30p	✓	✓	3840×2880	4:3	29.97p	50	HEVC
4K/10bit/70M/120p	✓	✓	3840×2160	16:9	119.88p	70	HEVC
4K/10bit/50M/60p	✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	50	HEVC
FHD/10bit/24M/120p	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	24	HEVC
FHD/10bit/16M/60p	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	16	HEVC

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]							
動画画質	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	PIXEL PIXEL					
3.8K/10bit/50M/25p	✓	✓	3840×2880	4:3	25.00p	50	HEVC
4K/10bit/70M/100p	✓	✓	3840×2160	16:9	100.00p	70	HEVC
4K/10bit/50M/50p	✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	50	HEVC
FHD/10bit/24M/100p	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	24	HEVC
FHD/10bit/16M/50p	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	16	HEVC

❖ 記録ファイル形式(動画): [MP4]

- YUV、ビット数、映像圧縮
 - [10bit]の動画画質: 4:2:0、10 bit、Long GOP
 - [8bit]の動画画質: 4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット: AAC(2ch)

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート(Mbps)

(C) ビデオ圧縮方式(**HEVC**: H.265/HEVC、**AVC**: H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数: [59.94Hz(NTSC)]							
動画画質	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	PIXEL PIXEL					
4K/10bit/100M/60p	✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	100	HEVC
4K/10bit/72M/30p	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	72	HEVC
4K/8bit/100M/30p	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC
4K/10bit/72M/24p	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	72	HEVC
4K/8bit/100M/24p	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/8bit/28M/60p	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	28	AVC
FHD/8bit/20M/30p	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	20	AVC
FHD/8bit/24M/24p	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	24	AVC

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]							
動画画質	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
	FULL	PIXEL PIXEL					
4K/10bit/100M/50p	✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	100	HEVC
4K/10bit/72M/25p	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	72	HEVC
4K/8bit/100M/25p	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/8bit/28M/50p	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	28	AVC
FHD/8bit/20M/25p	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	20	AVC

❖ 記録ファイル形式(動画):[MOV]

- YUV、ビット数、映像圧縮
 - [422/10-I]の動画画質:4:2:2、10 bit、ALL-Intra
 - [422/10-L]の動画画質:4:2:2、10 bit、Long GOP
 - [420/10-L]の動画画質:4:2:0、10 bit、Long GOP
 - [420/8-L]の動画画質:4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット:LPCM(2ch/4ch)
 - XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)接続時、[4chオーディオ記録]を[XLR]または[XLR+カメラ]にすると、4チャンネルの音声を記録できます。
 - デジタルガンマイクロホン(別売:DMW-DMS1)接続時、[4chオーディオ記録]を[OFF]以外にすると、4チャンネルの音声を記録できます。

☞:[☞]モード時にだけ設定および撮影ができます。

(A) 記録フレームレート

(B) ビットレート(Mbps)


(C) ビデオ圧縮方式(HEVC:H.265/HEVC、AVC:H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

動画画質	☞	動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.6K/60p/420/10-L	✓	✓		5632×2976	17:9	59.94p	300	HEVC
5.6K/48p/420/10-L	✓	✓		5632×2976	17:9	47.95p	300	HEVC
5.6K/30p/420/10-L	✓	✓		5632×2976	17:9	29.97p	200	HEVC
5.6K/24p/420/10-L	✓	✓		5632×2976	17:9	23.98p	200	HEVC
5.2K/30p/420/10-L	✓	✓		5184×3888	4:3	29.97p	200	HEVC
5.2K/24p/420/10-L	✓	✓		5184×3888	4:3	23.98p	200	HEVC
4.4K/60p/420/10-L	✓		✓	4352×3264	4:3	59.94p	300	HEVC
4.4K/48p/420/10-L	✓		✓	4352×3264	4:3	47.95p	300	HEVC
C4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	119.88p	300	HEVC
C4K/60p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	600	AVC
C4K/60p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	AVC
C4K/60p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	HEVC
C4K/60p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	150	AVC
C4K/48p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	600	AVC

C4K/48p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	AVC
C4K/48p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	HEVC
C4K/30p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	400	AVC
C4K/30p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	AVC
C4K/30p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	HEVC
C4K/30p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	100	AVC
C4K/24p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	AVC
C4K/24p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	HEVC
C4K/24p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	100	AVC
4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	119.88p	300	HEVC
4K/60p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	600	AVC
4K/60p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	AVC
4K/60p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	HEVC
4K/60p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	150	AVC
4K/48p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	600	AVC
4K/48p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	AVC
4K/48p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	HEVC
4K/30p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	400	AVC
4K/30p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	AVC
4K/30p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	HEVC
4K/30p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC
4K/24p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	400	AVC
4K/24p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	AVC
4K/24p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	HEVC
4K/24p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/240p/422/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	239.76p	200	AVC
FHD/240p/420/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	239.76p	200	HEVC
FHD/120p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	400	AVC
FHD/120p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	150	AVC
FHD/120p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	119.88p	150	HEVC
FHD/60p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	200	AVC

FHD/60p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	AVC
FHD/60p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	HEVC
FHD/60p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	50	AVC
FHD/48p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	200	AVC
FHD/48p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	AVC
FHD/48p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	HEVC
FHD/30p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	200	AVC
FHD/30p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	AVC
FHD/30p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	HEVC
FHD/30p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	25	AVC
FHD/24p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/24p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	HEVC
FHD/24p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	25	AVC

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]								
動画画質		動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.6K/50p/420/10-L	✓	✓		5632×2976	17:9	50.00p	300	HEVC
5.6K/25p/420/10-L	✓	✓		5632×2976	17:9	25.00p	200	HEVC
5.2K/25p/420/10-L	✓	✓		5184×3888	4:3	25.00p	200	HEVC
4.4K/50p/420/10-L	✓		✓	4352×3264	4:3	50.00p	300	HEVC
C4K/100p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	100.00p	300	HEVC
C4K/50p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	600	AVC
C4K/50p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	AVC
C4K/50p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	HEVC
C4K/50p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	150	AVC
C4K/25p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	400	AVC
C4K/25p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	AVC
C4K/25p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	HEVC
C4K/25p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	100	AVC
4K/100p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	100.00p	300	HEVC
4K/50p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	600	AVC
4K/50p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	AVC
4K/50p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	HEVC
4K/50p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	150	AVC
4K/25p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	400	AVC
4K/25p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	AVC
4K/25p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	HEVC
4K/25p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/200p/422/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	200.00p	200	AVC
FHD/200p/420/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	200.00p	200	HEVC
FHD/100p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	400	AVC
FHD/100p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	150	AVC
FHD/100p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	100.00p	150	HEVC
FHD/50p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	200	AVC

FHD/50p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	AVC
FHD/50p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	HEVC
FHD/50p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	50	AVC
FHD/25p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	200	AVC
FHD/25p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/25p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	HEVC
FHD/25p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	25	AVC

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]								
動画画質		動画撮影範囲		解像度	横縦比	(A)	(B)	(C)
		FULL	PIXEL PIXEL					
5.6K/48p/420/10-L	✓	✓		5632×2976	17:9	48.00p	300	HEVC
5.6K/24p/420/10-L	✓	✓		5632×2976	17:9	24.00p	200	HEVC
5.2K/24p/420/10-L	✓	✓		5184×3888	4:3	24.00p	200	HEVC
4.4K/48p/420/10-L	✓		✓	4352×3264	4:3	48.00p	300	HEVC
C4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	120.00p	300	HEVC
C4K/24p/422/10-I		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	AVC
C4K/24p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	HEVC
C4K/24p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	100	AVC
4K/120p/420/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	120.00p	300	HEVC
4K/24p/422/10-I		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	400	AVC
4K/24p/422/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	AVC
4K/24p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	HEVC
4K/24p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/120p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	400	AVC
FHD/120p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	150	AVC
FHD/120p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	120.00p	150	HEVC
FHD/24p/422/10-I		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/24p/420/10-L		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	HEVC
FHD/24p/420/8-L		✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	25	AVC

- 本書では、動画の解像度に応じて以下のように表記します。
 - 5.6K(5632×2976)の動画：**5.6K動画**
 - 5.2K(5184×3888)の動画：**5.2K動画**
 - 4.4K(4352×3264)の動画：**4.4K動画**
 - 3.8K(3840×2880)の動画：**3.8K動画**
 - C4K(4096×2160)の動画：**C4K動画**
 - 4K(3840×2160)の動画：**4K動画**
 - フルハイビジョン(1920×1080)の動画：**FHD動画**



- 本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動で変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、動画記録時間は短くなります。
- ALL-Intraの動画や4:2:2、10 bitの動画は、映像制作用のパソコン編集を前提とした動画です。



- [システム周波数]、[記録ファイル形式(動画)]、[動画撮影範囲]、[動画画質]の設定の組み合わせをマイリストに登録できます。(→ [マイリスト登録: 140](#))

❖ 絞り込み

[記録ファイル形式(動画)]を[MOV]に設定したときは、フレームレート、画素数(解像度)、圧縮形式(YUV、ビット数、映像圧縮)などを指定して、条件に合う動画画質だけを表示できます。

- 1 [動画画質]の設定画面で[DISP.]ボタンを押す



- 2 ▲▼で項目を選び、**MENU/SET**を押す
 - 設定: [フレームレート] / [画素数] / [圧縮形式] / [ハイブリッドログガンマ]
- 3 ▲▼で絞り込む条件を選び、**MENU/SET**を押す
- 4 [DISP.]ボタンを押して決定する
 - [動画画質]の設定画面に戻ります。

絞り込みの解除方法

手順3で、[すべて]を選ぶ

- 以下の操作をした場合も、絞り込みが解除されます。
 - [記録ファイル形式(動画)]の変更
 - [システム周波数]の変更
 - [動画画質(マイリスト)]から動画画質を選択



- 絞り込みを使って動画画質を変更すると、現在の絞り込み条件を記憶します。

❖ マイリスト登録

動画画質を選んでマイリストに登録します。登録した動画画質は[動画画質(マイリスト)]から設定できます。

[動画画質]の設定画面で[Q]ボタンを押す


- 以下の設定も同時に登録されます。
 - [システム周波数]
 - [記録ファイル形式(動画)]
 - [動画撮影範囲]



マイリストから設定する、消去する

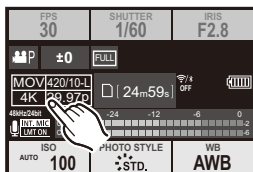
- 1 [動画画質(マイリスト)]を選ぶ
 - **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [動画画質(マイリスト)]
- 2 ▲▼で項目を選び、**MENU/SET** を押す
 - システム周波数の異なる設定項目は選択できません。
 - マイリストから消去するには、項目を選んで[Q]ボタンを押してください。

コントロールパネルから設定する

[] / [S&Q] モード時、コントロールパネルから動画画質のマイリストを表示できません。

動画画質の項目をタッチする

- マイリストに登録済みの場合は、[動画画質(マイリスト)]の設定画面が表示されます。未登録の場合は、[動画画質]の設定画面が表示されます。
- [DISP] ボタンを押すごとに、[動画画質(マイリスト)]と[動画画質]が切り換わりま
- す。
- 次に設定画面を表示するときは、最後に使用した画面が表示されます。



- 登録できる動画画質は12種類までです。

動画撮影範囲

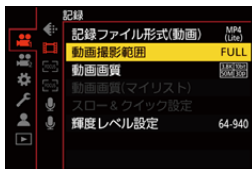


iA P A S M

動画撮影時の撮影範囲を設定します。撮影範囲によって画角も変わります。撮影範囲を狭くすると、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。

- 1 []または[S&Q]モードにする
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)
- 2 [動画撮影範囲]を設定する

- [MENU/SET] → [] → [] → [動画撮影範囲]



FULL

レンズのイメージサークルに応じた範囲で撮影します。

PIXEL/PIXEL

センサーの1ピクセルを動画の1ピクセルにして記録します。[動画画質](→[動画画質: 129](#))の解像度に応じた範囲で撮影します。

- [動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。
(→ [動画画質: 129](#))

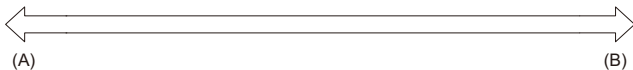
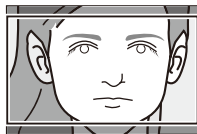
撮影範囲(例:FHD動画)



FULL



PIXEL/PIXEL



- (A) 画角: 広い / 望遠効果: なし
(B) 画角: 狭い / 望遠効果: あり

フォーカス／ズーム

撮影状況や被写体に適したフォーカスモードとAFモードを選ぶと、より快適なピント合わせができます。

● 本機は、位相差AFとコントラストAFに対応しています。

- フォーカスモードの選択: 145
- AFを使う: 147
- AFモードの選択: 160
- AFエリアの操作: 179
- 近づいて撮る(マクロ撮影): 187
- MFで撮る: 189
- ズームを使って撮る: 195

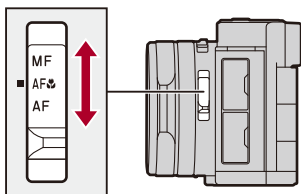
フォーカスモードの選択



被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択できます。

[AFC]ではAF追尾動作の特性をカスタマイズすることもできます。(→[AFカスタム設定\(写真\): 154](#))


1 フォーカス切換スイッチを切り換える



2 ([AF]または[AF])の場合)AFS / AFCを設定する

- 写真: → [] → [] → [AFS/AFC(写真)]
- 動画: → [] → [] → [AFS/AFC(動画)]

AFS


[]モード:

- シャッターボタンを押していないとき:ピントは動きません。
- シャッターボタンを半押ししたとき:1回だけピントを合わせます。

[] / [S&Q]モード:

- シャッターボタンを押していないとき:ピントは動きません。
- シャッターボタンを半押ししたとき:1回だけピントを合わせます。

AFC

[]モード:

- シャッターボタンを押していないとき:ピントは動きません。
- シャッターボタンを半押ししたとき:被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。

[] / [S&Q]モード:

- シャッターボタンを押していないとき:ピントは動きません。
- シャッターボタンを半押ししたとき:1回だけピントを合わせます。
- 動画撮影中は、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。

MF

手動でピントを合わせます。ピントを固定したい場合や、AFを働かせたくない場合に使います。(→[MFで撮る:189](#))



- 以下の場合にシャッターボタンを半押しすると、[AFC]は[AFS]と同じ動作をします。
 - 低照度時

AFを使う

- AFポイントスコープ: 152
- AFカスタム設定(写真): 154
- フォーカスリミッター: 156
- AF補助光: 158
- フォーカス枠の移動速度: 159
- フォーカス枠色設定: 159








AF(オートフォーカス)とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとAFモードを選択してください。

1 フォーカスモードを[AFS]または[AFC]にする

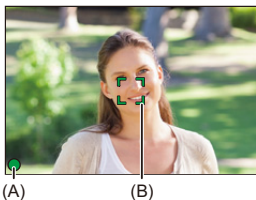
(→フォーカスモードの選択: 145)

2 AFモードを選ぶ

- [] ボタン(◀)を押してAFモードの選択画面を表示し、 で決定します。(→AFモードの選択: 160)
- [iA]モードでは、[] を押すごとに[] と[] が切り換わります。(→AFモード: 96)

3 シャッターボタンを半押しする

- AFが働きます。



	ピント	
	合っている	合っていない
フォーカスアイコン(A)	点灯	点滅
AFエリア(B)	緑	赤
合焦音	ピピッ	—

低照度AF

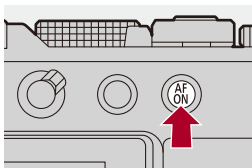
- 暗い環境では低照度AFが自動で働き、フォーカスアイコンが[**LOW**]と表示されます。
- 通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

星空AF

- 低照度AFと判定したあとに夜空の星を検知した場合は、星空AFが働きます。ピントが合うとフォーカスアイコンが[**STAR**]と表示され、ピントが合った場所にAFエリアが表示されます。
- 画面の端では、星空AFの検知ができません。

❖ [AF ON]ボタン

[AF ON]ボタンを押してもAFが働きます。





• **AFでピントが合いにくい被写体や撮影環境**

- 動きの速い被写体
- 非常に明るい被写体
- 濃淡のない被写体
- ガラス越しにある被写体
- 光るものの近くにある被写体
- 非常に暗い場所にある被写体
- 遠くと近くの被写体を同時に撮るとき



- [AFC]で撮影中に以下の操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
 - W端からT端にズームする
 - 被写体を遠くから近くに急に変える
- ピントを合わせたあとにズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ピントを合わせ直してください。
- カメラの温度が上がると、温度上昇から本機を保護するため、AFC動作を停止し、AFS動作になります。動作制限時は、撮影画面の[AFS]の表示が黄色になります。**高温表示について(→ [高温表示について: 125](#))**



- AFの作動範囲を制限できます：
(→ [フォーカスリミッター: 156](#))
- カメラのブレが小さくなると自動でピントを合わせる設定ができます：
(→ [クイック AF: 528](#))
- シャッターボタン半押し時にAFが動かないように設定を変更できます：
(→ [シャッター半押し AF: 527](#))
- 合焦音の音量や音色を変更できます：
(→ [電子音: 558](#))
- 近くの被写体を優先してAFが働くようにする機能をFnボタンに登録できます。
誤ってピントが背景に合ってしまうときに便利な機能です：
(→ [AF-ON:近側: 490](#))
- 遠くの被写体を優先してAFが働くようにする機能をFnボタンに登録できます。
柵やネット越しに撮影するときに便利な機能です：
(→ [AF-ON:遠側: 490](#))

AFポイントスコープ



S&Q

iA P A S M

AFモードが[], [], []のときに、ピント位置を拡大表示します。(それ以外のAFモードでは、画面中央が拡大表示されます)

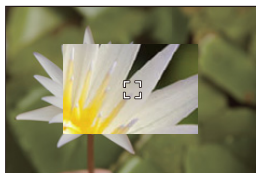
ピントを確認したり、望遠鏡のように被写体を観察したりできます。

1 Fnボタンに[AFポイントスコープ]を登録する

(→Fnボタン:484)

2 拡大表示する

- 手順1で設定したFnボタンを押したままにします。
- 押している間、ピント位置が拡大表示されます。



- 拡大表示中にシャッターボタンを半押しすると、中央の小さなAFエリアでピントを合わせ直します。
- 拡大表示中に を回して、拡大倍率を調整できます。



- 拡大表示中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
- 以下の機能を使用中は、AFポイントスコープは働きません。
 - 動画撮影、SH連写
- Wi-Fi接続など、カメラ内の処理に負荷がかかる機能を同時に使用している場合、ライブビューのフレームレートが落ちます。
- **高温表示について**(→ [高温表示について: 125](#))



- 拡大画面の表示方法を変更できます：
(→ [AFポイントスコープ設定: 526](#))

AFカスタム設定(写真)



S&Q

iA P A S M

[AFC]で写真を撮影するときのAF動作の特性を、被写体や撮影状況に合わせて選択できます。

各特性は、さらに詳細なカスタマイズができます。

1 [📷]モードにする

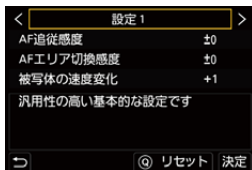
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)

2 フォーカスモードを[AFC]にする

(→フォーカスモードの選択: 145)

3 [AFカスタム設定(写真)]を設定する

● → [📷] → [FOCUS] → [AFカスタム設定(写真)]



設定1

汎用性の高い基本的な設定

設定2

被写体が一定方向に等速で進むシーンに適した設定


設定3

被写体が前後左右に動き、障害物が入りやすいシーンに適した設定

設定4

被写体の速度変化が大きいシーンに適した設定

❖ AFカスタム設定の調整

- 1 ◀▶ でAFカスタム設定の種類を選ぶ
- 2 ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する
 - [DISP] ボタンを押すと、項目の説明が画面に表示されます。
 - 初期設定に戻すには、[Q] ボタンを押してください。
- 3  を押す

AF 追従感度	被写体の動きに追従する感度を設定します。	
	+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
AF エリア切換感度	被写体の動きに合わせて AF エリアを切り換える感度を設定します。(AF モードをフルエリアに設定しているとき)	
	+	被写体が AF エリアから外れたとき、すぐに AF エリアを切り換え、ピントを合わせ続けます。
被写体の速度変化	-	AF エリアを緩やかに切り換えます。被写体の僅かな動きやカメラの前の障害物からの影響を受けにくくします。
	被写体の動きの速度変化に対して、追従する方式を設定します。	
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定値を大きくするほど、急な被写体の動きでも、ピントを合わせようとします。ただし、僅かな動きの影響を受けやすく、ピントが不安定になることがあります。 	
	0	速度変化の少ない被写体に適しています。
+1	被写体の速度が変化する被写体に適しています。	
+2		

フォーカスリミッター



S&Q

iA P A S M

AFの作動範囲を制限できます。

AFの作動範囲を制限すると、AFの合焦スピードが速くなります。

1 フォーカスモードを[AFS]または[AFC]にする

(→ [フォーカスモードの選択: 145](#))

2 [フォーカスリミッター]を設定する

- → / → → [フォーカスリミッター]

ON

下記の設定を有効にします。

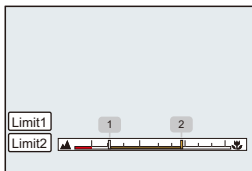
OFF


下記の設定を無効にします。

設定

- 1 MF(→MFで撮る: 189)と同じ操作でピントを確認し、[Limit1]／[Limit2]をタッチしてAFの作動範囲を設定する

- [Limit1]／[Limit2]はどちらからでも設定できます。



- 2  を押して決定する

- [DISP.]ボタンを押すと、作動範囲を初期設定に戻します。



- [フォーカスリミッター]作動中は[AfS]／[AFC]が画面に表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[フォーカスリミッター]は働きません。
 - [AF+MF]
- カメラの温度が上がリ、画面に[△]が点灯表示されている場合は、温度上昇から本機を保護するため、拡大画面は表示されません。

AF補助光



S&Q

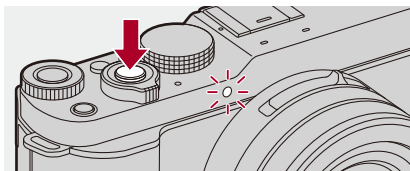
iA P A S M

暗い場所で撮影するときシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。



→ [カメラ] / [グループ] → [FOCUS] → [AF補助光] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- 補助光の有効距離: 約1.0 m～約3.0 m (W端時)

フォーカス枠の移動速度



AFエリア／MFアシストを移動させるときの速度を設定します。

→ / → → **[フォーカス枠の移動速度]**を選ぶ

設定: [高速] / [標準]

フォーカス枠色設定



フォーカス枠の色を設定できます。

→ / → → **[フォーカス枠色設定]**を選ぶ

設定する色を選んでください。

AFモードの選択

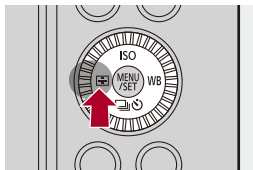
- 自動認識: 163
- 追尾: 168
- フルエリア: 170
- ゾーン(横・縦)/ゾーン: 173
- 1点+補助/1点: 175
- ピンポイント: 177



被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。ピンポイント以外のAFモードでは、被写体を認識して、自動でピントを合わせることもできます。

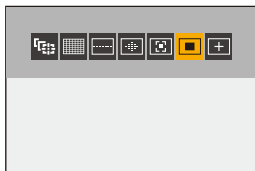
1 [MENU/SET] ボタン(◀)を押す

- AFモードの選択画面が表示されます。




2 AFモードを選ぶ

- ◀▶ で項目を選び、**MENU/SET** を押します。




 追尾

(→ [追尾: 168](#))

 フルエリア

(→ [フルエリア: 170](#))

 ゾーン(横・縦)

(→ [ゾーン\(横・縦\): 173](#))

 ゾーン


(→ [ゾーン: 174](#))

 1点+補助

(→ [1点+補助: 175](#))




 1点

(→ [1点: 175](#))

 ピンポイント

(→ [ピンポイント: 177](#))



- 以下の機能を使用中は、は使用できません。
 - インターバル撮影
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、に固定されます。
 - [ライブクロップ]



- AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定できます：
(→ [AFモード表示の制限: 524](#))

自動認識

自動認識を有効にすると、対象となる被写体を自動で認識してピントを合わせます。



- 設定どおりにすべての被写体を認識できるわけではありません。
- [自動認識の対象]([認識する被写体])が[動物]のとき、動物以外の被写体に対して動物認識する場合があります。

1 [自動認識設定]を[ON]にする

- ⇒ / ⇒ ⇒ [自動認識設定] ⇒ [ON]
- AFモードの選択画面で▲を押して、自動認識の[ON]/[OFF]を切り換えることもできます。

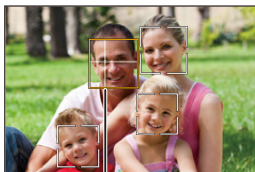
2 [自動認識の対象]を選ぶ

- ⇒ / ⇒ ⇒ [自動認識の対象]
- [認識する被写体]と[認識モード(人物)]/[被写体の部位]を選択します。
- AFモード選択画面で[DISP.]ボタンを押して選択することもできます。

認識する被写体	人物	<p>人物を認識します。 [認識モード(人物)]を[瞳・顔・体],[瞳・顔]または[アーバンスポーツ]から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AFモードアイコンに[]/[]/[]が表示されます。
	動物	<p>動物を認識します。 [被写体の部位]を[体]または[瞳・体]から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認識できる動物は、鳥、イヌ科(オオカミなどを含む)、ネコ科(ライオンなどを含む)です。 • AFモードアイコンに[]/[]が表示されます。
	車	<p>車(主にモータースポーツ)を認識します。 [被写体の部位]を[全体]または[主要部優先]から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AFモードアイコンに[]/[]が表示されます。
	バイク・自転車	<p>バイク(主にモータースポーツ)と自転車(主に競技用)を認識します。 [被写体の部位]を[全体]または[ヘルメット優先]から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AFモードアイコンに[]/[]が表示されます。
	列車	<p>鉄道車両を認識します。 [被写体の部位]を[先頭車両]または[主要部優先]から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AFモードアイコンに[]/[]が表示されます。
	飛行機	<p>飛行機、ヘリコプターを認識します。 [被写体の部位]を[機体]または[機首優先]から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AFモードアイコンに[]/[]が表示されます。
認識モード(人物)	<p>([認識する被写体]が[人物]のとき) ピントを合わせる部位や人物を選択します。 [アーバンスポーツ]選択時は、プレイキンなどのストリートダンスやアーバンスポーツ(BMX/スケートボード/パルクール/フリースタイルフットボール)のシーンで、複雑な動きをするアスリートに特化して認識します。</p>	
被写体の部位	<p>([認識する被写体]が[人物]以外のとき) ピントを合わせる部位を選択します。 [認識する被写体]の設定によって、選択できる部位が異なります。</p>	

❖ [AF-ON] のとき

対象となる被写体を認識すると、AFエリアが表示されます。複数の被写体を認識した場合は、AFエリアも複数表示され、その中からピントを合わせる被写体を選択できます。



(A)

黄色

ピントを合わせる対象のAFエリアです。カメラが自動で選びます。

- 人物の瞳を認識すると、AFエリア内に十字線を表示します。(A)

動物の瞳の場合は、十字線は表示されません。

ピントを合わせる瞳を指定できます。(→ [ピントを合わせる被写体の指定: 170](#))

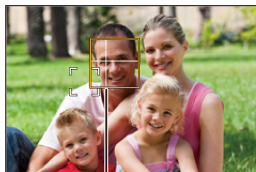
白色

複数の被写体を認識すると表示されます。

❖ [AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]のとき

対象となる被写体がAFエリア内に一部でも入ると自動認識してピントを合わせます。

- AFエリア内で瞳を認識すると瞳認識(B)が働きます。ピントを合わせる瞳の切り換えはできません。



(B)



- [自動認識設定]は[+]を除くすべてのAFモードに適用されます。
- 人物の瞳を認識した場合、カメラに近い側の瞳にピントを合わせます。露出は顔に合わせます。([測光モード]を[☉]に設定時)
- [自動認識の対象]によって、AFモードの[■]で一度に認識できる被写体の数が異なります。
[人物]([瞳・顔・体],[瞳・顔]):最大15(体の認識は最大3)
[人物]([アーバンスポーツ]):最大3
[動物]([体],[車],[バイク・自転車],[列車],[飛行機]):最大3
[動物]([瞳・体]):最大1
- カメラの設定によっては、自動認識が使用できない場合があります。



- 自動認識が働いたときに、自動露出の測光範囲が瞳・顔を優先しないようにできます:
(→ [マルチ測光時の顔優先: 519](#))
- 主要な被写体だけに自動認識枠を表示させる設定ができます:
(→ [自動認識枠の複数表示: 526](#))
- 人物の瞳を認識したときの表示方法を設定できます:
(→ [人物瞳認識表示: 527](#))

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。

追尾を開始する

- AFエリアに被写体を入れて、シャッターボタンを半押しします。シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。
- 追尾に失敗したときは、AFエリアが赤色で点滅します。
- [AFS]のときは、AFエリアの位置でピントを合わせます。追尾は動きません。




- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 179](#))



- [AF-ON] / [S&Q]モード時および動画撮影中は、シャッターボタンを離しても追尾を維持します。追尾を解除するには、 を押す、または  をタッチしてください。



- 自動認識が働いているときは認識した被写体を追尾します。
- 自動認識が[ON]で対象となる被写体がないときにシャッターボタンを半押しすると、追尾待機の状態になります。その状態でAFエリア内に対象となる被写体が入ると追尾を開始します。
- [測光モード]を[☉]にすると、露出も合わせ続けます。
- カメラの設定によっては、 が使用できない場合があります。

フルエリア

カメラが最適なAFエリアを選んでピントを合わせます。

複数のAFエリアが選ばれるときは、選ばれたすべてのAFエリアでピントが合います。

フォーカスモードを[AFC]にしているときは、フルエリアのエリア内に被写体を入れて撮影すると、被写体にピントを合わせ続けることができます。

❖ ピントを合わせる被写体の指定

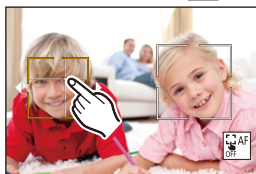
自動認識を[ON]にしているときは、複数の被写体が認識されます。

ピントを合わせたい被写体に白色のAFエリアが表示されているときに、黄色のAFエリアに変えることができます。

● タッチ操作

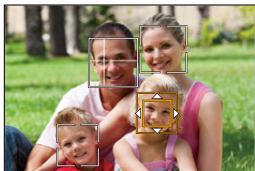
白色のAFエリアが表示されている被写体をタッチする

- AFエリアが黄色に変わります。
- 指定を解除するには、[AF OFF]をタッチしてください。



● ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する



- 3 白色のAFエリアが黄色になったら、**MENU/SET**を押す
• 指定を解除するには、**MENU/SET**を押してください。





- [自動認識の対象]が[動物]([瞳・体])のときは、認識できる被写体の数は最大1になります。(認識されていない被写体に白色のAFエリアは表示されません)
別の被写体にピントを合わせたいときは、タッチ操作で認識されていない被写体に切り換えてください。

❖ 任意の位置にAFエリアを設定する




[]のAFエリアを任意の位置に設定できます。

● タッチ操作

撮影画面の任意の位置をタッチして、[決定]をタッチする

- []をタッチすると、[]に戻ります。

● ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動し、を押して決定する
 - もう一度  を押すと []に戻ります。



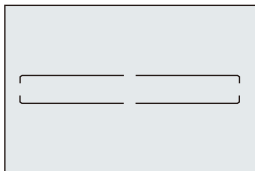
- 設定したAFエリアは、移動したり大きさを変更したりできます。(→[AFエリアの操作: 179](#))

☰ ゾーン(横・縦) / ☰ ゾーン

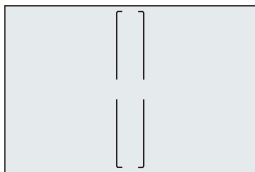
☰ ゾーン(横・縦)

フルエリアのうち、縦方向と横方向のゾーンでピント合わせができます。

横方向



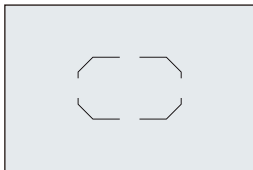
縦方向



- 横方向と縦方向を切り換えるには、AFエリア設定画面で▲▼◀▶を押してください。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 179](#))




ゾーン

フルエリアのうち、中央の楕円形ゾーンでピント合わせができます。




- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 179](#))




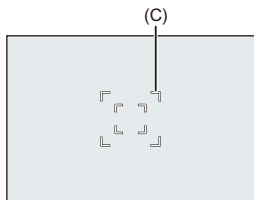
- 以下の場合、はに切り換わります：
 - 動画撮影中
 - モード時
 - [S&Q]モード時

 1点+補助 /  1点

 1点+補助

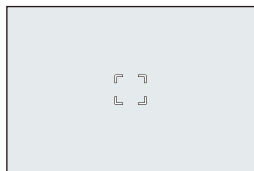
1点のAFエリア内で重点的にピントを合わせます。1点のAFエリアから被写体が外れた場合も、補助AFエリア(C)内でピントを合わせます。

- [] では追従が難しい、動きのある被写体を撮影するときに有効です。

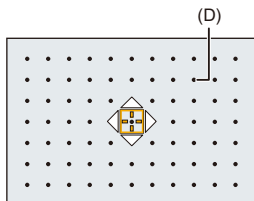


 1点

ピント位置を指定します。



1点のAFエリアを最小まで縮小すると、撮影画面にドット(D)が表示されます。ドットが表示されている位置にAFエリアを設定できます。



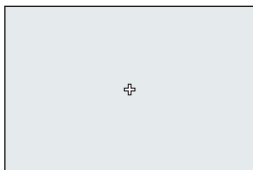
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 179](#))



- 以下の機能を使用中は、1点のAFエリアを最小まで縮小できません。
 - 動画撮影中
 - [AF-ON]モード時
 - [S&Q]モード時
 - [クロップズーム(写真)]



ピンポイント

小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するために画面が拡大表示されます。






- AFエリアを設定すると、拡大画面が表示されます。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 179](#))








- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、は使用できません。
- では、自動認識は働きません。



- 以下の機能を使用中は、がに切り換わります。
 - 動画撮影中
 - モード時
 - [S&Q]モード時

拡大画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	[+]の移動
—	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	—	画面を拡大/縮小
		拡大表示の切り換え(画面の一部/画面全体) 
[DISP.]	[リセット]	拡大表示をやめる

- 約3倍～6倍に拡大できます。
- []をタッチして写真を撮影できます。



- 拡大画面の表示方法を変更できます：
(→ [ピンポイントAF設定: 525](#))

AFエリアの操作

- AFエリアの移動: 179
- AFエリアのサイズ変更: 181
- AFエリアのリセット: 182
- タッチした位置にピントと明るさを合わせる ([AF+AE]): 183
- タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作: 184
- 縦/横位置フォーカス切換: 186



AFエリアの移動

❖ タッチ操作

初期設定では、画面をタッチすると、タッチした位置にピントを合わせません。(→ [タッチ設定: 530](#))


撮影画面をタッチする

- AFエリアの設定画面が表示されます。
[決定]をタッチするか、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアが設定されません。




- タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。(→ [タッチした位置にピントと明るさを合わせる \(\[AF+AE\]\): 183](#))
- タッチした位置にピントを合わせてシャッターを切ることができます。(→ [タッチAF / タッチシャッター: 99](#))

❖ ボタン操作

- 1 AFモードの選択画面で▼を押す
 - AFエリアの設定画面が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
 - を押すか、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアが設定されます。



- [測光モード]が[]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。



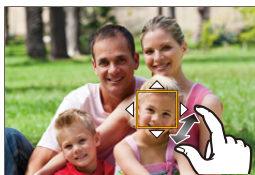
- AFエリアのループ移動を設定できます：
(→ [フォーカス枠のループ移動: 529](#))
- AFエリア／MFアシストの移動画面を表示する機能をFnボタンに登録できます：
(→ [フォーカスエリア選択: 491](#))
- カーソルボタンを使って、AFエリアやMFアシストを移動できます：
(→ [ダイレクトフォーカス移動: 525](#))

AFエリアのサイズ変更

❖ タッチ操作

AFエリアの設定画面で、AFエリアをピンチアウト/ピンチインする

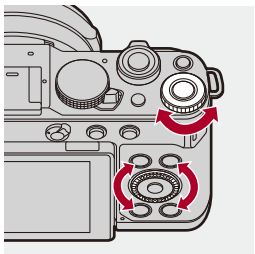
- [決定]をタッチするか、シャッターボタンを半押しして決定します。



❖ ダイヤル操作

または を回す

- [MENU/SET] を押すか、シャッターボタンを半押しして決定します。



- [.....]、[+]では、AFエリアの大きさは変更できません。

AFエリアのリセット

❖ タッチ操作

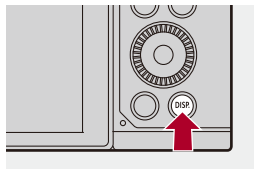
AFエリアの設定画面で[リセット]をタッチする

- 1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

❖ ボタン操作

AFエリアの設定画面で[DISP.]ボタンを押す

- 1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。



タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE])

1 [タッチAF]を設定する

- **MENU/SET** ⇒ **[設定]** ⇒ **[AFモード]** ⇒ [タッチ設定] ⇒ [タッチAF] ⇒ [AF+AE]

2 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所に**[AF]**と同じ働きのAFエリアが表示されます。AFエリアの中央には明るさを合わせる点が配置されます。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 179](#))






3 [決定]をタッチする

- 撮影画面で**[AF/ON AE]**(**[AF]**、**[ON AE]**設定時は**[AF/ON AE]**)をタッチすると、**[AF+AE]**の設定が解除されます。

タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作

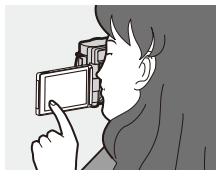
ファインダー表示中にモニターをタッチして、AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

1 [タッチパッドAF]を設定する

-  →  →  → [タッチ設定] → [タッチパッドAF] → [絶対位置] / [相対位置1] ~ [相対位置7]

2 AFエリアを移動する

- ファインダー表示中にモニターをタッチします。
- AFエリアの操作方法(→[AFエリアの操作: 179](#))



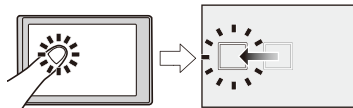
3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

❖ 設定項目(タッチパッドAF)

絶対位置

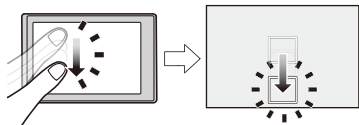
タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。



相対位置1(全域)／相対位置2(右半分)／相対位置3(右上)／相対位置4(右下)／相対位置5(左半分)／相対位置6(左上)／相対位置7(左下)

タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーのAFエリアが移動します。

ドラッグ操作を検知する範囲を選択します。






OFF

縦/横位置フォーカス切換

カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置を別々に記憶します。縦位置は左右の2種類を記憶します。



 →  →  → [縦/横位置フォーカス切換]を選ぶ

ON

縦位置と横位置を別々に記憶します。

OFF

縦位置と横位置を同じ設定にします。



- MF時は、MFアシストの位置を記憶します。


近づいて撮る(マクロ撮影)

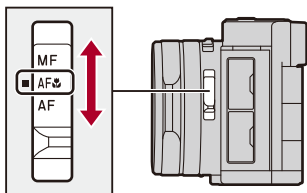


S&Q

iA P A S M

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

フォーカス切換スイッチを[AF 



- ズームを最も広角(W端)にすると、レンズから3 cmまで接近して撮影できます。
- ピントの合う範囲は、ズーム操作をしたときなどに表示されます。(→ [ピントの合う範囲: 105](#))



- 近距離で撮影する場合、下記にお気をつけください。
 - 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
 - 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
 - フラッシュを使用しないことをお勧めします。
 - ピントの合う範囲が非常に狭くなります。ピントを合わせたあとにカメラと被写体の距離が変わると、ピントが合いにくくなります。
 - 画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

MFで撮る

- [ピーキング: 194](#)



MF(マニュアルフォーカス)とは手動ピント合わせのことです。ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

1 フォーカスモードを[MF]にする

(→ [フォーカスモードの選択: 145](#))

2 []ボタン(◀)を押す

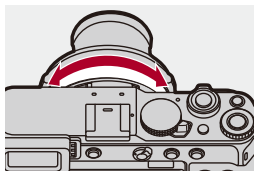
- MFアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。

3 ピント位置を選ぶ

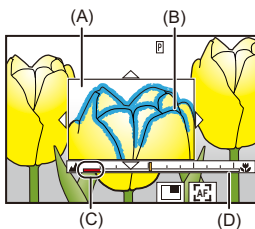
- ▲▼◀▶ でピント位置を選びます。
- ピント位置を中央に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。

4 ピントを合わせる

- コントロールリングを回します。




- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 撮影距離の目安が表示されます。(MFガイド)



- (A) MFアシスト(拡大画面)
(B) ピーキング
(C) ∞(無限)を示す目安
(D) MFガイド


5 MFアシスト画面を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
-  を押しても同じ操作ができます。

6 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。

❖ MFアシスト画面での操作

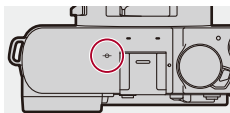
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	拡大表示位置の移動
—	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	—	画面を拡大/縮小
		拡大表示の切り換え (画面の一部*1/画面全体*2)
[DISP.]	[リセット]	1回目:MFアシストの位置を中央に戻す 2回目:MFアシストの拡大倍率を初期設定に戻す
[AF ON]		AFが働きます。

*1 約3倍～6倍に拡大できます。

*2 約3倍～20倍に拡大できます。(動画撮影中および [P] / [S&Q] モード時は最大6倍)



- 撮影画面でコントロールリングを回しても、MFアシスト画面を表示できます。コントロールリングを回して拡大表示した場合は、操作をやめて一定時間が経過すると、アシスト画面を終了します。
- MF時に[AF ON]ボタンを押すと、AFが働きます。
- MFアシスト画面は動画撮影中にも表示できます。
- 撮影距離基準マークは、撮像面の位置を示しています。撮影距離を実測するときの基準になります。



- [クロップズーム(写真)]が[ON]のとき、MFアシストの拡大倍率は約3倍～6倍になります。
- [クロップズーム(動画)]が[ON]のとき、MFアシストの拡大倍率は3倍に固定されます。
- 以下の機能を使用中は、MFアシストは表示されません。
 - SH連写中
- 以下の機能を使用して動画撮影中は、MFアシスト画面を表示できません。
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - [ライブクロップ]
- カメラの温度が上がり、画面に[△]が点灯表示されている場合は、温度上昇から本機を保護するため、MFアシスト画面は表示されません。
高温表示について(→ [高温表示について: 125](#))



- ピーキングの感度や表示方法を変更できます：
(→ [ピーキング: 194](#))
- MFアシストの位置を縦位置と横位置で別々に記憶できます：
(→ [縦/横位置フォーカス切替: 186](#))
- 拡大画面の表示方法を変更できます：
(→ [MFアシスト: 523](#))
- MFガイドの表示単位を変更できます：
(→ [MFガイド: 524](#))
- コントロールリングの操作を無効にできます：
(→ [コントロールリングロック: 524](#))
- MFアシストのループ移動を設定できます：
(→ [フォーカス枠のループ移動: 529](#))
- 電源を切ったときのピント位置を記憶します：
(→ [レンズ位置メモリー: 548](#))
- ピントの移動量を設定できます：
(→ [MF時コントロールリング制御: 548](#))
- AFエリア/MFアシストの移動画面を表示する機能をFnボタンに登録できます：
(→ [フォーカスエリア選択: 491](#))
- カーソルボタンを使って、AFエリアやMFアシストを移動できます：
(→ [ダイレクトフォーカス移動: 525](#))


ピーキング

MF動作中に、ピントが合っている部分(画面上で輪郭がはっきりした部分)に色を付けて表示します。

 →  /  →  → **[ピーキング]**を選ぶ

ON	ピーキング表示を行います。	
OFF	—	
設定	ピーキング感度	マイナス方向に設定すると、色を付けて表示される範囲が狭くなるため、より厳密なピント合わせができます。
	表示色	ピントが合っている部分に表示する色を設定できます。
	AFS時の表示	[ON]に設定すると、フォーカスモードの[AFS]でシャッターボタンを半押ししたときにも、ピーキング表示ができます。
	MF時の表示	[ライブビュー時の表示] : 撮影画面でピーキング表示します。 [ライブビュー拡大時の表示] : MFアシスト画面、動画ライブビュー拡大表示画面でピーキング表示します。 [シャッター操作時の表示] : [OFF]にすると、シャッターを押したときにピーキングを非表示にします。



- タッチタブを表示すると(→ **タッチ設定: 530**)、の**[PEAK]**をタッチして[ON]/[OFF]を切り換えることができます。
- [ライブビューブースト]使用中は、[ピーキング]は動きません。

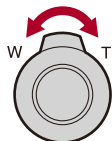
ズームを使って撮る

- クロップズーム(写真): 197
- クロップズーム(動画): 199

ズームレバーまたはコントロールリングを操作して、望遠または広角にズーミングします。

ズームレバーを使う場合

ズームレバーを回す



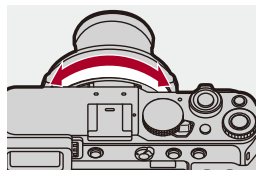
(T)側:望遠

(W)側:広角

コントロールリングを使う場合(AF時のみ)

コントロールリングを回す*

* コントロールリングに割り当てる設定を[ズーム]または[ステップズーム]にすると、ズーム操作ができます。(→ [AF時コントロールリング設定: 548](#))



時計回りに回す:望遠

反時計回りに回す:広角

- 焦点距離(35 mm フィルムカメラ換算)が撮影画面に表示されます。

0.5m - ∞

24 | _____ | 75 24mm



- ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
- ピントは、ズームしたあとに合わせてください。
- ズームレバーまたはコントロールリングを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。



- ズーム動作やズーム速度を設定できます：
(→ [ズーム設定: 531](#))
- 焦点距離を非表示にできます：
(→ [焦点距離: 541](#))

クロップズーム(写真)



S&Q

iA P A S M

画像の中央部を切り出して、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [クロップズーム(写真)]を設定する

• → → → [クロップズーム(写真)]

ON	クロップズームを有効にします。	
OFF	—	
設定	下限画像サイズ	[画像サイズ]が小さいほど高倍率でズームできます。 [M]:最大1.4倍 [S]:最大2.0倍 [XS]:最大約2.7倍
	記録画像サイズの固定	[ON]:常に[下限画像サイズ]で設定した[画像サイズ]で記録します。 [OFF]:ズーム位置によって[画像サイズ]が変化します。

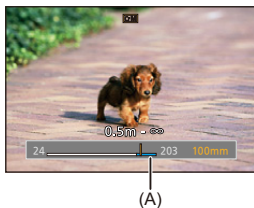
❖ [クロップズーム(写真)]を使う

1 [クロップズーム(写真)]を[ON]にする

- MENU/SET ⇒ [📷] ⇒ [🔍] ⇒ [クロップズーム(写真)] ⇒ [ON]

2 🔄を回して、ズーム操作を行う

- [タッチタブ]を[ON]に設定している場合は、タッチズームを使って拡大/縮小できます。



(A) クロップズーム領域



- RAW画像はクロップされずに記録されます。



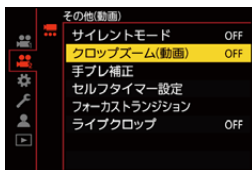
- 以下の機能を使用中は、[クロップズーム(写真)]は使用できません。
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW]
 - [多重露出]

クロップズーム(動画)



画像の中央部を切り出して、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。

- 1 [📷]または[S&Q]モードにする
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)
- 2 [クロップズーム(動画)]を設定する
 - [MENU/SET] ⇒ [👤] ⇒ [⋮] ⇒ [クロップズーム(動画)]




ON	クロップズームを有効にします。
OFF	—

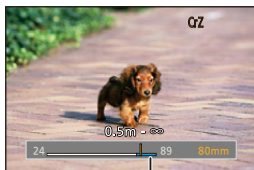
❖ [クロップズーム(動画)]を使う

- 1 [クロップズーム(動画)]を[ON]にする

• **MENU SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [クロップズーム(動画)] ⇒ [ON]

- 2  を回して、ズーム操作を行う

• [タッチタブ]を[ON]に設定している場合は、タッチズームを使って拡大/縮小できます。



(B)

(B) クロップズーム領域

❖ [動画画質]とクロップ倍率

[動画画質]	最大クロップ倍率
5.6K動画、5.2K動画、4.4K動画	—
3.8K動画(30p/25p)	約1.2倍
C4K動画(120p/100p/60p/50p/48p)	—
C4K動画(30p/25p/24p)	約1.3倍
4K動画(120p/100p/60p/50p/48p)	—
4K動画(30p/25p/24p)	約1.4倍
FHD動画(240p/200p/120p/100p/60p/50p/48p)	—
FHD動画(30p/25p/24p)	約2.7倍



- 以下の機能を使用中は、[クロップズーム(動画)]は使用できません。
 - [スロー & クイック設定]のフレームレートが30 fpsを超える[S&Q]動画
 - ライブクロップ
- [クロップズーム(動画)]を[ON]に設定したときは、消費電力が上がり、バッテリーの消費が早くなります。また、カメラの温度上昇が早くなります。

ドライブ／シャッター／手ブレ補正

本章では、ドライブモードで撮影できる機能や、手ブレ補正機能について説明しています。

- [ドライブモードの選択: 203](#)
- [連写する: 205](#)
- [インターバル撮影: 215](#)
- [コマ撮りアニメ撮影: 221](#)
- [インターバル／コマ撮りアニメの動画: 225](#)
- [セルフタイマー撮影: 227](#)
- [ブラケット撮影: 232](#)
- [深度合成: 239](#)
- [ライブビューコンポジット撮影: 242](#)
- [サイレントモード: 246](#)
- [シャッター方式: 248](#)
- [手ブレ補正: 256](#)

ドライブモードの選択

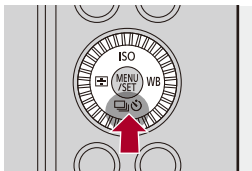
**iA P A S M**

撮影状況に合わせて、ドライブモードを単写、連写などに切り換えることができます。


1 [📷]モードにする

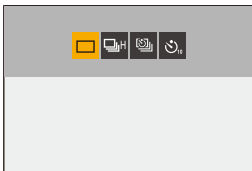
(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)

2 [📷📷]ボタン(▼)を押す



3 ドライブモードを選ぶ

- ◀▶ で項目を選び、**MENU/SET** を押します。
-  を回しても選択できます。




 **単写**

シャッターを押すごとに1枚ずつ撮影します。

 **連写(→連写する: 205)**

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。



 **インターバル/コマ撮り撮影(→インターバル撮影: 215、コマ撮りアニメ撮影: 221)**

インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

 **セルフタイマー(→セルフタイマー撮影: 227)**

シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。



- ドライブモードごとの詳細設定画面をFnボタンで呼び出すことができます：
[] → [] → [Fnボタン設定] → [写真モード時設定] → [ドライブモード設定]

連写する



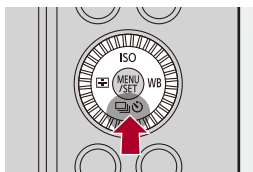
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

高画質で連写ができる[H]、[M]、[L]と、電子シャッターで超高速連写するSH連写から、撮影状況に合わせて連写設定を選択できます。

1 [📷]モードにする

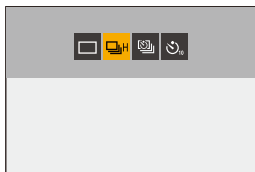
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [📷🔄]ボタン(▼)を押す





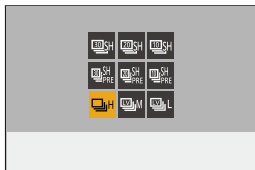
3 ◀▶で[連写]を選び、▲を押す

- 🔄を回しても選択できます。



4 連写速度を選ぶ

- ▲▼◀▶ で項目を選び、**MENU/SET** を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- 写真メニューの[連写設定]でも設定できます。



[SH30]

電子シャッターで30コマ/秒の超高速連写をします。

[SH20]

電子シャッターで20コマ/秒の超高速連写をします。

[SH10]

電子シャッターで10コマ/秒の高速連写をします。

[SH30 PRE]

30コマ/秒の超高速でプリ連写します。(→ [SH プリ連写: 208](#))

[SH20 PRE]

20コマ/秒の超高速でプリ連写します。(→ [SH プリ連写: 208](#))

[SH10 PRE]

10コマ/秒の高速でプリ連写します。(→ [SH プリ連写: 208](#))

[H]

高速で連写します。

[M]

中速で連写します。

[L]

低速で連写します。

5 メニューを終了する

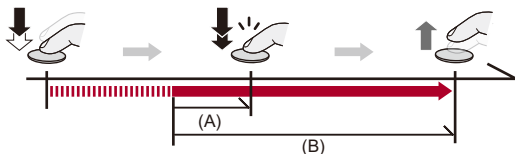
- シャッターボタンを半押しします。

6 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。

❖ SHプリ連写

撮影前にシャッターボタンを半押ししていると、全押しする0.5秒前からの写真を記録します。



(A) 0.5秒

(B) 記録される範囲

- SHプリ連写中は、撮影画面に[PRE]と表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたまま約1分経過すると、全押し前のコマを保存できなくなります。シャッターボタンを半押しし直してください。

❖ 連写速度

	メカシャッター	電子シャッター	連写中のライブビュー
[SH30] / [SH30 PRE]	—	30 コマ/秒 (AFS、 AFC、MF)	なし
[SH20] / [SH20 PRE]		20 コマ/秒 (AFS、 AFC、MF)	
[SH10] / [SH10 PRE]		10 コマ/秒 (AFS、 AFC、MF)	
[H](高速)	11 コマ/秒 (AFS、MF) 9 コマ/秒 (AFC)		なし (AFS、MF) あり (AFC)
[M](中速)	7 コマ/秒 (AFS、MF) 5 コマ/秒 (AFC)		あり
[L](低速)	2 コマ/秒 (AFS、AFC、MF)		あり

- [画像サイズ]やフォーカスモードなど、撮影時の設定によって、連写速度は低下する場合があります。

❖ 最大撮影可能コマ数

	記録ファイル形式(写真)				
	[JPEG]	[RAW+JPEG]	[RAW]	[HEIF]	[RAW+HEIF]
[SH30] / [SH30 PRE]	45コマ ^{*1}			35コマ ^{*1}	
[SH20] / [SH20 PRE]					
[SH10] / [SH10 PRE]					
[H](高速)	100コマ 以上 ^{*2,3}	40コマ以上 ^{*2,3}	55コマ 以上 ^{*2,3}	35コマ 以上 ^{*2,3}	25コマ以上 ^{*2,3}
[M](中速)					
[L](低速)					

- 当社測定条件による撮影時。

撮影条件によっては最大撮影可能コマ数が少なくなる場合があります。

- *1 最大撮影コマ数まで撮影すると、撮影が停止します。

SHプリ連写時は、プリ連写で記録される枚数を含みます。

- *2 途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。

- *3 Nextorage製UHS-II UHS Speed Class 3対応SDXCメモリーカード使用時

❖ プリ連写でシャッターボタン全押し前と全押し後に保存できるコマ数

連写速度	記録ファイル形式(写真)	全押し前	全押し後
[SH30 PRE]	[JPEG] [RAW+JPEG] [RAW]	15コマ	30コマ
	[HEIF] [RAW+HEIF]	15コマ	20コマ
[SH20 PRE]	[JPEG] [RAW+JPEG] [RAW]	10コマ	35コマ
	[HEIF] [RAW+HEIF]	10コマ	25コマ
[SH10 PRE]	[JPEG] [RAW+JPEG] [RAW]	5コマ	40コマ
	[HEIF] [RAW+HEIF]	5コマ	30コマ

❖ 連続撮影可能枚数

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が撮影画面に表示されます。

例) 20枚のとき: [r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
 - [H]/[M]/[L]連写のとき: [r0]と表示されると、連写速度が低下します。
 - SH連写のとき: [r0]と表示されると、連写が停止します。
また、撮影後に連続撮影可能枚数が最大に戻るまで[r]の表示を継続します。

❖ 連写時のピント

フォーカスモード	フォーカス/リリース優先 (→フォーカス/リリース優先: 522)	[SH30] / [SH30 PRE] / [SH20] / [SH20 PRE] / [SH10] / [SH10 PRE]	[H]	[M] / [L]
AFS	フォーカス	1コマ目のピントに固定		
	バランス			
	リリース			
AFC	フォーカス	予測ピント	常時ピント	
	バランス	予測ピント		
	リリース			
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス		

- [AFC]で被写体が暗い場合は、ピントは1コマ目に固定されます。
- 予測ピント時は、連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
- 常時ピント時は、連写速度が遅くなることがあります。

❖ 連写時の露出

フォーカスモード	[SH30] / [SH30 PRE] / [SH20] / [SH20 PRE] / [SH10] / [SH10 PRE]	[H]	[M] / [L]
AFS	1コマ目の露出に固定		1コマごとに露出を調整
AFC	1コマごとに露出を調整		
MF	1コマ目の露出に固定		



- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大撮影可能コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、連写は働きません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

SH連写について

- [シャッター方式]は[電子シャッター]に固定されます。
- SH連写中は、設定できるシャッタースピードに制限があります。
 - [SH30] / [SH30 PRE]: 下限1/60まで
 - [SH20] / [SH20 PRE]: 下限1/60まで
 - [SH10] / [SH10 PRE]: 下限1/60まで
- 連写撮影中、絞りは固定されます。
- 撮影した画像は、1つの連写グループとして記録されます。(→ [グループ画像: 457](#))
- カメラの温度が上がると、温度上昇から本機を保護するため、SH連写を停止し、H連写として動作します。動作制限時は、撮影画面の[H](連写)の表示が黄色になります。

高温表示について(→ [高温表示について: 125](#))

SHプリ連写について

- 以下の場合、シャッターボタン全押し前のコマは保存されません。
 - タッチシャッター撮影時
 - カスタムメニュー(フォーカス/レリーズ)の[シャッター半押しレリーズ]を[ON]に設定時
- 周囲の温度が高かったり、連続でプリ連写撮影を行ったりした場合は、温度上昇から本機を保護するため、半押ししてもプリ連写が使用できないことがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- カードの空き容量が少ない場合、半押ししてもプリ連写が使用できないことがあります。

インターバル撮影

**iA P A S M**

設定した撮影間隔で自動的に撮影します。時間経過を追って動植物などの被写体を撮影するのに適しています。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、グループ画像を動画にすることもできます。(→ [グループ画像: 457](#))

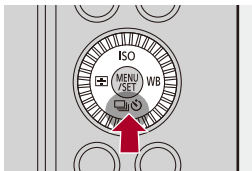


- 時計が正しく設定されているか確認してください。(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 59](#))
- [撮影間隔]を長く設定し、撮影待機中に電源が自動的に切れる場合は、オートフォーカスでインターバル撮影することをお勧めします。


1 [📷]モードにする

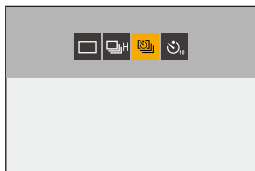
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [📷🕒]ボタン(▼)を押す



3 ◀▶で[インターバル/コマ撮り撮影]を選び、▲を押す

- を回しても選択できます。



4 [撮影方法]を[インターバル撮影]に設定する

- 写真メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]でも設定できます。



5 撮影の設定をする

撮影方法

インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。

撮影間隔設定

[ON]: 次の撮影までの間隔を設定できます。

[OFF]: 撮影間隔を空けずに連続で撮影します。

開始時刻

[即時開始]: シャッターボタンを全押しすると、撮影が始まります。

[2秒後開始]: シャッターボタンを全押ししてから2秒後に撮影が始まります。

[開始時刻設定]: 設定した時刻から、撮影が始まります。

撮影枚数/撮影間隔

撮影枚数と撮影間隔を設定します。

撮影枚数と撮影間隔を自動で計算して設定できます。(→ [インターバル撮影の設定アシスト: 218](#))

- [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、[撮影間隔]が使用できません。

露出平滑化

連続するコマで大きく明るさが変化しないように、自動で露出を調整します。

撮影開始時のフォルダー作成

[新規フォルダー作成]:[ON]にすると、インターバル撮影を開始するごとにフォルダーを新規作成します。

[ファイル番号リセット]:[ON]にすると、フォルダーを新規作成するごとにファイル番号をリセットします。

6 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

7 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- [開始時刻設定]を設定したときは、開始時刻までスリープ状態になります。
- 撮影待機中に一定時間何も操作しないと、スリープ状態になります。
- 撮影は自動で終了します。


8 動画を作成する

(→ [インターバル/コマ撮りアニメの動画: 225](#))

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[インターバル動画作成]で、動画を作成できます。(→ [インターバル動画作成: 478](#))

❖ インターバル撮影の設定アシスト

[撮影枚数] / [撮影間隔] の設定画面で [DISP.] ボタンを押すと、作成する動画のフレームレートや時間、撮影所要時間から、[撮影枚数] と [撮影間隔] を自動で計算して設定できます。

- 1 ▲▼で項目を選び、を押す



作成動画フレームレート

作成する動画のフレームレートを設定します。1 fps～99 fpsの範囲で設定できます。

作成動画時間

作成する動画の再生時間を設定します。00m01s～99m59sの範囲で設定できます。

インターバル撮影時間

インターバル撮影の所要時間を設定します。00h00m01s～99h59m59sの範囲で設定できます。

- 2 [DISP.] ボタンを押して決定する
- [はい] を選ぶと設定を反映します。



- [撮影枚数]は1枚～9999枚の範囲で設定できます。
- [撮影間隔]は00m01s～99m59sの範囲で設定されます。割り切れないときは、小数点以下を切り捨てます。
- 撮影できない設定の場合は、[撮影枚数]または[撮影間隔]が赤字で表示されます。
- [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、インターバル撮影設定の自動計算はできません。

❖ インターバル撮影中の動作

スリープ状態でシャッターボタンを半押しすると、電源が入ります。

- インターバル撮影中に[Q]ボタンを押すと、以下の操作ができます。

継続

撮影に戻ります。(撮影中のみ)

一時停止

撮影を中断します。(撮影中のみ)

再開

撮影を再開します。(一時停止中のみ)

- シャッターボタンを押しても再開できます。

終了

インターバル撮影を終了します。



- 複数のカードに記録すると、1つの動画にできません。
- 標準露出を優先するため、設定どおりの撮影間隔や撮影枚数で撮影されない場合があります。また、画面に表示される終了予定時刻どおりに終わらない場合があります。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
電源スイッチを[OFF]にして、バッテリーやカードを交換できます。電源スイッチを[ON]にして、シャッターボタンを全押しすると、撮影が再開されます。(ただし、カードを交換したあとに撮影した画像は、別のグループ画像として保存されます)
- [M]モードでISO感度を[AUTO]以外に設定しているときは、[露出平滑化]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[インターバル撮影]は使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

コマ撮りアニメ撮影



iA P A S M

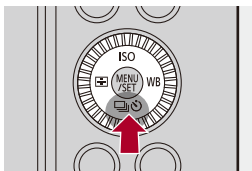
被写体を少しずつ動かしながら写真を撮影します。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、ストップモーション動画を作成できます。

(→ [グループ画像: 457](#))

1 [📷]モードにする

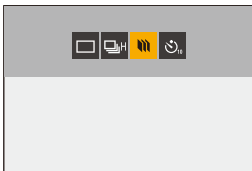
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [📷🔄]ボタン(▼)を押す



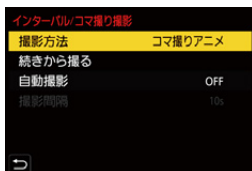
3 ◀▶で[インターバル/コマ撮り撮影]を選び、▲を押す

- を回しても選択できます。



4 [撮影方法]を[コマ撮りアニメ]に設定する

- 写真メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]でも設定できます。



5 撮影の設定をする

撮影方法

インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。

続きから撮る

撮影済みのコマ撮り画像に、続けて撮影できます。

- 画像を選択したあと、手順 **7**へ進んでください。

自動撮影

[ON]: 設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。

[OFF]: 1コマずつ手動で写真を撮影します。

撮影間隔

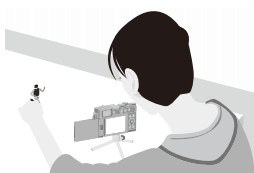
[自動撮影]の撮影間隔を設定します。

6 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

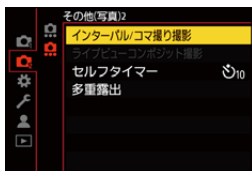
7 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 被写体を少しずつ動かしながら、撮影を繰り返してください。
- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影中に[▶]ボタンを押すと、コマ撮りした画像を再生できます。不要な画像は[🗑️]ボタンを押して消去してください。撮影画面に戻るには、もう一度[▶]ボタンを押してください。



8 撮影を終了する

- [MENU/SET] を押し、写真メニューから[インターバル/コマ撮り撮影]を選んで終了します。



9 動画を作成する

(→ [インターバル/コマ撮りアニメの動画: 225](#))

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[コマ撮りアニメ作成]で、動画を作成できます。(→ [コマ撮りアニメ作成: 478](#))



- 最大9999コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されません。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。
- 標準露出を優先するため、フラッシュ撮影したときなどは、設定どおりの撮影間隔で自動撮影されない場合があります。
- 1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。
- 以下の機能を使用中は、[コマ撮りアニメ]は使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

インターバル/コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮り撮影後に、続けて動画を作成できます。

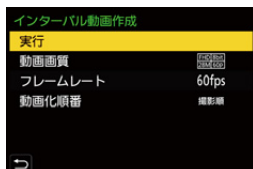
- 撮影については、以下をお読みください。
 - インターバル撮影: 215
 - コマ撮りアニメ撮影: 221
- 動画の作成は、再生メニューの[インターバル動画作成](→[インターバル動画作成: 478](#))、[コマ撮りアニメ作成](→[コマ撮りアニメ作成: 478](#))からでも可能です。

1 撮影後に表示される確認画面で、[はい]を選ぶ

2 動画の作成方法を設定する

3 [実行]を選ぶ

- [MP4]の記録ファイル形式で動画が作成されます。



実行

動画を作成します。

動画画質

動画の画質を設定します。

フレームレート

1秒当たりのコマ数を設定します。

数字が大きいほど滑らかな動画になります。

動画化順番

【撮影順】:撮影した順番で画像をつなげます。

【逆順】:撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

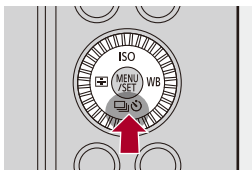


- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定すると、動画は作成できません。
- 記録時間が30分を超える動画は作成できません。
- 以下の場合は、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
 - SDHCメモリーカードを使用し、4Kの[動画画質]に設定
 - FHDの[動画画質]に設定
- 以下の機能を使用中は、[インターバル動画作成]／[コマ撮りアニメ作成]は使用できません。
 - [自動画像転送(Wi-Fi)](転送する画像が存在するとき)

セルフタイマー撮影

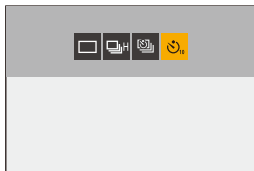


1 [MENU/SET]ボタン(▼)を押す



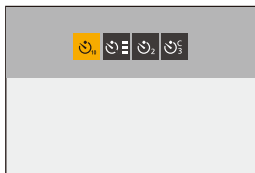
2 ◀▶で[セルフタイマー]を選び、▲を押す

- 設定ダイヤルを回しても選択できます。
- 動画撮影時は、動画メニュー(その他(動画))の[セルフタイマー設定]で[動画時のセルフタイマー]を[ON]に設定してください。



3 セルフタイマーの時間を選ぶ

- ◀▶ で項目を選び、MENU/SET を押します。
- 時計の針を回しても選択できます。
- 写真/動画メニューでも設定できます。(→ [セルフタイマーの時間を設定する:230](#))



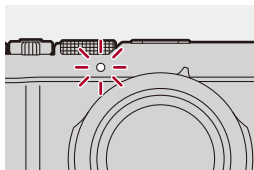
4 構図を決め、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。






5 撮影する

- シャッターボタン、動画記録ボタンを押します。
- セルフタイマーランプが点滅後、撮影または動画記録を開始します。









❖ セルフタイマーの時間を設定する

写真:  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [セルフタイマー]を選ぶ

動画:  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [セルフタイマー設定] ⇒ [セルフタイマー]を選ぶ*


* 動画メニュー(その他(動画))の[セルフタイマー設定]で[動画時のセルフタイマー]を[ON]にすると設定できます。

	10秒後に撮影します。	
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。(動画撮影時は[]と同じ動作になります)	
	2秒後に撮影します。 • シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。	
 ~  (カスタム)	[カスタムの時間]で選んだ時間経過後に撮影します。	
設定	カスタムの時間	撮影までの時間を設定します。 [30秒] / [20秒] / [15秒] / [10秒] / [9秒] / [8秒] / [7秒] / [6秒] / [5秒] / [4秒] / [3秒] / [2秒]
	カウントダウン表示	セルフタイマーがカスタムするとき、撮影画面にカウントダウンを表示します。



•セルフタイマー撮影をするときは、三脚の使用をお勧めします。



- 写真メニュー(その他)の[セルフタイマー]と、[セルフタイマー設定](動画メニュー(その他))の[セルフタイマー]は連動しています。
- 以下の機能を使用中は、は使用できません。
 - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]
 - [ブラケット]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

ブラケット撮影



iA P A S M

シャッターボタンを押すと、露出、絞り、フォーカス、またはホワイトバランス(調整値または色温度)の設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。



- 絞りブラケットは以下の場合に選択できます。
 - [A]モード
 - [M]モード(ISO感度を[AUTO]に設定したとき)
- ホワイトバランス(色温度)ブラケットは、ホワイトバランスを[], [], [], []に設定したときに選択できます。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

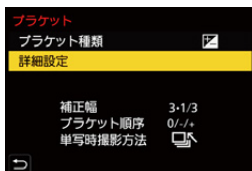
2 [ブラケット種類]を設定する

- → [📷] → [] → [ブラケット] → [ブラケット種類]



3 [詳細設定]を設定する

- [詳細設定]については、各ブラケットのページをお読みください。



4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

5 ピントを合わせて撮影する

❖ 設定項目(ブラケット種類)

露出ブラケット

シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(露出ブラケット\): 236](#))

絞りブラケット

シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(絞りブラケット\): 236](#))

FOCUS フォーカスブラケット

シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(→ [詳細設定\(フォーカスブラケット\): 237](#))

WB ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ [詳細設定\(ホワイトバランスブラケット\): 238](#))

WB ホワイトバランス(色温度)ブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの色温度を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ [詳細設定\(ホワイトバランス\(色温度\)ブラケット\): 238](#))

OFF

❖ ブラケットの解除方法

手順2で[OFF]に設定する



- 以下の機能を使用中は、ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケットは使用できません。
 - [iA]モード
 - 連写
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW+JPEG]、[RAW+HEIF]、[RAW]
 - [フィルター設定]
- 以下の機能を使用中は、ブラケット撮影は使用できません。
 - SH連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]

❖ 詳細設定(露出ブラケット)

補正幅

撮影枚数と露出補正幅を設定します。


[3・1/3](3枚撮影・1/3 EV幅)～[7・1](7枚撮影・1 EV幅)

ブラケット順序

画像の撮影順を設定します。

単写時撮影方法

[□]: シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。

[]: 1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

- 設定枚数分がすべて撮影されるまで[BKT]アイコンが点滅します。



- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

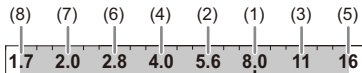
❖ 詳細設定(絞りブラケット)

撮影枚数

[3]/[5]: 開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。

[ALL]: すべての絞り値で撮影。

開始位置をF8.0に設定しているときの例



(1) 1枚目、(2) 2枚目、(3) 3枚目…(8) 8枚目

❖ 詳細設定(フォーカスブラケット)

補正幅

ピント合わせの幅を設定します。

- ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。

撮影枚数

撮影枚数を設定します。

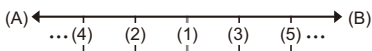
- 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連写されます。

ブラケット順序

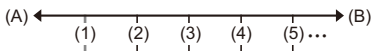
[0/-/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。

[0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

【ブラケット順序】:[0/-/+]設定時の例



【ブラケット順序】:[0/+]設定時の例



(A) フォーカス: 近い

(B) フォーカス: 遠い

(1) 1枚目、(2) 2枚目…(5) 5枚目…







- [フォーカスリミッター]を設定しているときは、設定したAFの作動範囲内で撮影します。
- フォーカスブラケット撮影した写真は、1つのグループ画像として表示されます。(→ [グループ画像: 457](#))

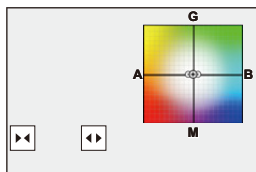
❖ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット)

☰ または ⚙️ を回して補正幅を設定し、 を押す


右回し:横方向([A]~[B])



左回し:縦方向([G]~[M])

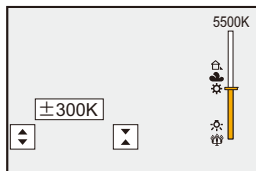
•  /  /  /  をタッチしても補正幅を設定できます。



❖ 詳細設定(ホワイトバランス(色温度)ブラケット)

☰ または ⚙️ を回して補正幅を設定し、 を押す

•  /  をタッチしても補正幅を設定できます。



深度合成



S&Q

iA P A S M

ピント位置を自動的に変更しながら撮影し、ピントが広い範囲に合った画像に合成します。

被写体に寄って大きく映し被写界深度が深い写真を撮影するときや、前景と後景に分かれる風景を撮影するときに便利です。



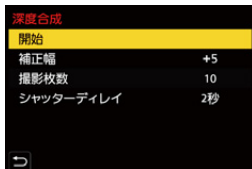
- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。
- 静止した被写体を撮影することをお勧めします。動いている被写体を撮影すると、正しく合成されない場合があります。
- 絞り値をF5.6～F11の範囲に設定して撮影することをお勧めします。
- 適切な[補正幅]は被写体により異なります。事前に試し撮りを行うことをお勧めします。

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65](#))

2 [深度合成]を設定する

- → → → [深度合成]



開始

深度合成での撮影を開始します。

補正幅

ピント合わせの幅を設定します。

- ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。

撮影枚数

撮影枚数を設定します。

- 撮影される画像は、設定した撮影枚数より少なくなる場合があります。また、画像を合成するときに、撮影した画像をすべて使用しない場合があります。

シャッターディレイ

シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。

3 深度合成を開始する

- [開始]を選び、を押します。


4 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。
- 撮影後に合成を行います。撮影環境や撮影枚数によっては、画像の合成に時間がかかることがあります。

5 深度合成を終了する

- [Q]ボタンを押します。



- 深度合成では、以下の設定で撮影されます。
 - シャッター方式:[電子シャッター]([長秒ノイズ除去]を[OFF]に設定時)/[電子シャッター+NR]([長秒ノイズ除去]を[ON]に設定時)
- 深度合成では、撮影画面にグレーの枠が表示されます。深度合成後の画像では、枠外部分はクロップされて記録されません。深度合成前の画像は、クロップされない状態で記録されます。
- 撮影を中止した場合、撮影した画像は保存されますが、画像の合成は行われません。
- 撮影した画像の変化が大きい場合、合成に失敗することがあります。
- 深度合成した画像は以下のファイル形式で保存されます。
 - [記録ファイル形式(写真)]:[JPEG]/[RAW+JPEG]/[RAW]
JPEG形式で保存
 - [記録ファイル形式(写真)]:[HEIF]/[RAW+HEIF]
HEIF形式で保存
- 深度合成で撮影した画像は、グループ画像()として扱われます。(合成した画像を除く)(→ [グループ画像: 457](#))

ライブビューコンポジット撮影



複数回撮影した画像の、明るく変化した部分だけを合成します。設定した露光時間(シャッタースピード)で撮影するごとに合成した画像が表示され、仕上がりを確認しながら撮影できます。

全体の明るさを抑えて撮影できるため、明るい夜景を背景にして、星や花火の光跡を撮影するとき便利です。



- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 [📷]モードにする

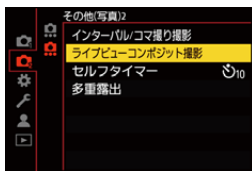
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))

3 [ライブビューコンポジット撮影]を設定する

- **MENU/SET** → [📷] → [🔧] → [ライブビューコンポジット撮影]







4 ライブビューコンポジット撮影を開始する

- [開始]を選び、を押します。

5 構図を決めて、カメラを固定する

6 シャッタースピードとISO感度を設定する

- を回してシャッタースピードを設定します。
- [ISO]ボタン()を押し、またはを回してISO感度を設定します。
- シャッタースピードは、60秒～1/1.6秒の範囲で設定できます。使用するフォトスタイルによって、ISO感度を設定できる範囲は異なります。
- ISO感度は、100～1600([拡張ISO感度]設定時: 50～1600)の範囲で設定できます。

7 ノイズリダクション用の画像を取得する

- シャッターボタンを全押しします。

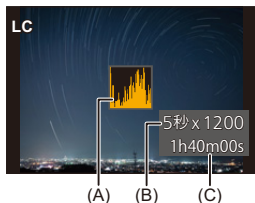
8 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 手順6の設定に従って撮影し、ノイズリダクション処理をした画像を1コマごとに合成します。

(A) ヒストグラム表示

(B) シャッタースピード×合成した枚数

(C) 経過時間



9 撮影を終了する

- シャッターボタンを全押しします。
- 1回のライブビューコンポジット撮影につき、最大3時間まで撮影できます。
(3時間を超えると、自動的に撮影を終了します)

10 [ライブビューコンポジット撮影]を終了する

- [Q]ボタンを押します。

❖ 設定項目(ライブビューコンポジット撮影)

開始

ライブビューコンポジット撮影を開始します。

シャッターディレイ

シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。

[8秒] / [4秒] / [2秒] / [1秒] / [OFF]



- [長秒ノイズ除去]は[ON]に固定されます。
- フラッシュ撮影時は、1コマ目だけ発光します。
- ノイズリダクション用の画像を取得したあとは、一部のメニューが表示されません。
- 以下の操作をすると、ノイズリダクション用の画像が破棄されます。再度手順**7**の操作をしてください。
 - シャッタースピード/ISO感度を変更する
 - 再生モードに切り換える
- シャッターボタンを全押しして撮影を終了するときは、最後の画像が合成されない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、[ライブビューコンポジット撮影]は使用できません。
 - [シャッター方式]の[電子シャッター]、[電子シャッター+NR]
 - [フィルター設定]
 - [サイレントモード]

サイレントモード



iA P A S M

カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。

スピーカーからの音声は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。

- 以下の設定が固定されます。
 - [フラッシュモード]: [🚫] (発光禁止)
 - [AF補助光]: [OFF]
 - [シャッター方式]: [電子シャッター]
 - [電子音音量]: [🔇] (OFF)
 - [合焦音音量]: [🔇] (OFF)
 - [シャッター音音量]: [🔇] (OFF)

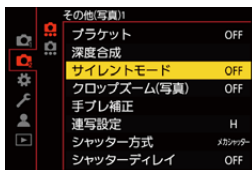
写真の場合:

- 1 [📷]モードにする
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)
- 2 [サイレントモード]を設定する
 - [MENU/SET] → [📷] → [🔇] → [サイレントモード]

動画の場合:

- 1 [📹]モードにする
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)
- 2 [サイレントモード]を設定する
 - [MENU/SET] → [📹] → [🔇] → [サイレントモード]

設定: [ON] / [OFF]



- [ON]に設定していても、以下の機能は点灯/点滅します。
 - 充電ランプ/NETWORK接続ランプ
 - カードアクセスランプ
 - セルフタイマーランプ
- 以下の機能を使用中は、[サイレントモード]は使用できません。
 - [ライブビューコンボジット撮影]
- 本機能のご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

シャッター方式

- 長秒ノイズ除去: 251
- シンクロスキャン(写真): 252
- 下限シャッター速度: 254
- シャッターディレイ: 255



iA P A S M

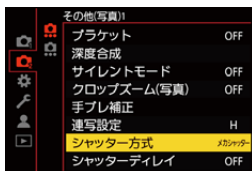
写真撮影時のシャッター方式を選びます。

1 [📷]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)

2 [シャッター方式]を設定する

- → → → [シャッター方式]



自動切換

撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。

メカシャッター

メカシャッター方式で撮影します。

電子シャッター

電子シャッター方式で撮影します。

電子シャッター+NR

電子シャッター方式で撮影します。遅いシャッタースピードで撮影したときは、撮影後にシャッターを閉じて長秒ノイズ除去を行います。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了をメカシャッターで行う方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式
フラッシュ	✓	—
シャッタースピード	T(タイム、最大約60秒間) ^{*1} 、 60秒～1/2000秒	T(タイム、最大約60秒間) ^{*1} 、 60秒～1/32000秒
シャッター音	電子シャッター音 ^{*2}	電子シャッター音 ^{*2}

*1 [M]モード時に設定できます。

*2 セットアップメニュー(IN/OUT)の[電子音]の[シャッター音音量]と[シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。(→ [電子音: 558](#))

- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。



- シャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押した数秒後にシャッターを切る設定ができます：

(→ [シャッターディレイ:255](#))



- 画面に[E]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- 電子シャッターで動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、電子シャッターで撮影すると、横しまが記録されることがあります。このようなときは、シャッター速度を遅くすると横しまが軽減されることがあります。

長秒ノイズ除去



S&Q

iA P A S M

遅いシャッタースピードで撮影したときに発生するノイズを、カメラが自動で取り除きます。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [長秒ノイズ除去]を設定する

• → → → [長秒ノイズ除去]

設定: [ON] / [OFF]



- ノイズ除去中は撮影できません。
- 以下の機能を使用中は、[長秒ノイズ除去]は動きません。
 - 動画撮影、SH連写
 - 電子シャッター([電子シャッター+NR]使用時を除く)、[サイレントモード]

シンクロスキャン(写真)



シャッタースピードを微調整することで、光源のちらつきや横しまを軽減します。

シンクロスキャンで設定したシャッタースピードは、通常撮影したシャッタースピードとは別に保存されます。シンクロスキャンの設定画面で、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出して調整できます。

1 [📷]モードにする

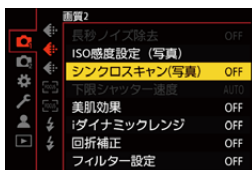
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)

2 撮影モードを[S]または[M]にする




●モードダイヤルを合わせます。(→撮影モードの選択: 66)

3 [シンクロスキャン(写真)]を設定する

●**MENU/SET** → [📷] → [🔧] → [シンクロスキャン(写真)] → [ON]



4 シャッタースピードを設定する

-  または  を回して数値を選び、 を押します。
- シャッタースピードは1/48.0秒～1/8192.0秒の範囲で設定できます。
- ▲▼を押すと、1/4TV刻みでシャッタースピードが変化します。◀▶を押すと、細かく調整できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出すことができます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しまが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。



- 撮影画面の表示と撮影結果が異なる場合があります。事前に試し撮りを行うことをお勧めします。
- [シンクロスキャン(写真)]の設定値で動画を撮影するには、[写真モードの動画露出自動制御]を[OFF]に設定してください。
- 以下の機能を使用中は[シンクロスキャン(写真)]は使用できません。
 - メカシャッター

下限シャッター速度



S&Q

iA P A S M

ISO感度[AUTO]時のシャッタースピードの下限を設定します。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [下限シャッター速度]を設定する

- → [📷] → [] → [下限シャッター速度]

AUTO

シャッタースピードの下限をカメラが自動で設定します。

1/32000～1/1



- 適正な露出が得られない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなる場合があります。

シャッターディレイ



S&Q

iA P A S M

手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [シャッターディレイ]を設定する

-  → [📷] → [👁️] → [シャッターディレイ]

設定: [8秒] / [4秒] / [2秒] / [1秒] / [OFF]



• 以下の機能を使用中は、[シャッターディレイ]は使用できません。

- 動画撮影、SH連写
- [ライブビューコンポジット撮影]


手ブレ補正

- [手ブレ補正の設定: 257](#)



本機では、手ブレを自動で感知して補正します。



- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に手ブレ警告アイコン[- 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。



- 手ブレ補正が働いているときに、振動や動作音がすることがありますが故障ではありません。

手ブレ補正の設定

撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。

写真:  →  →  → [手ブレ補正]を選ぶ

動画:  →  →  → [手ブレ補正]を選ぶ

動作設定

撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ補正)を設定します。(→ [動作設定: 258](#))

電子手ブレ補正(動画)

動画撮影中の電子手ブレ補正を設定します。(→ [電子手ブレ補正\(動画\): 259](#))



- 以下の機能を使用中は、[電子手ブレ補正(動画)]は使用できません。
 - [S&Q]モード
 - [ライブクロップ]
 - 記録フレームレートが100.00p以上の[動画画質]

❖ 動作設定

撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ補正)を設定します。

通常

上下、左右の動きに対する手ブレを補正します。

流し撮り(左右)


上下の動きに対する手ブレを補正します。左右方向に流し撮りするときに適しています。

流し撮り(上下)

左右の動きに対する手ブレを補正します。上下方向に流し撮りするときに適しています。

OFF

手ブレ補正機能をOFFにします。


- 以下の機能を使用中は、[動作設定]は[[]](通常)に切り換わります。
 - [P]モード
 - [S&Q]モード
 - 動画撮影

❖ 電子手ブレ補正(動画)

動画撮影中の上下、左右の動きに対する手ブレを補正します。

ON

電子手ブレ補正(動画)をONにします。

- 動画撮影中、画面に[]が表示されます。
-

OFF

電子手ブレ補正(動画)をOFFにします。



- 焦点距離、記録する動画モードなどの撮影条件により、補正効果は変化します。
- [電子手ブレ補正(動画)]を使用すると、解像感が低下する場合があります。
- 以下の場合、[電子手ブレ補正(動画)]は[OFF]に固定されます。
 - 記録フレームレートが100.00p以上の[動画画質]

測光／露出／ISO感度

本章では、露出を決定するための撮影モードやISO感度について説明しています。

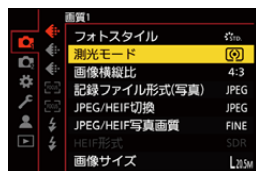
- 測光モード: 261
- プログラムAEモード: 263
- 絞り優先AEモード: 267
- シャッター優先AEモード: 270
- マニュアル露出モード: 273
- プレビューモード: 278
- 露出補正: 280
- 多重露出: 284
- ピントや露出の固定(AF／AEロック): 286
- ISO感度: 288

測光モード



明るさを測る方式を切り換えることができます。

MENU/SET → [**📷**] / [**👤**] → [**⚙️**] → [測光モード] を選ぶ



📷 (マルチ測光)

画面全体の明るさの配分を評価して、露出が最適になるように測光する方式です。

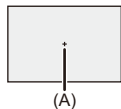
👤 (中央重点)

画面中央部に重点を置いて測光する方式です。

📷 (スポット)

スポット測光ターゲット(A)周辺の極めて狭い部分を測光する方式です。


- AFエリアを移動すると、スポット測光ターゲットも合わせて移動します。



📷 (ハイライト重点)

白飛びしないように、画面のハイライト部分に重点を置いて測光する方式です。舞台撮影などに適しています。



- 標準露出の基準値を調整できます：
(→ [基準露出レベル調節: 518](#))
- 1回だけ測光モードを[](スポット)にして撮影できる機能をFnボタンに登録できます：
(→ [ワンショットスポット測光: 489](#))

プログラムAEモード

- プログラムシフト: 265



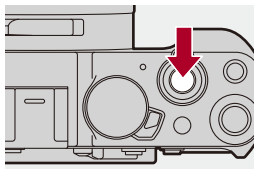
[P]モード(プログラムAEモード)では、被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。同じ露出のままでシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトもできます。

1 撮影モードを[P]にする

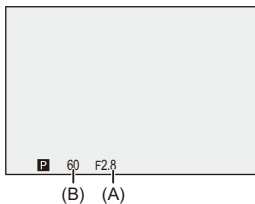
- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))

2 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。



- 適正な露出が得られないときは、絞り値(A)とシャッタースピード(B)の数値が赤色で点滅します。



3 撮影する

プログラムシフト

カメラが自動で設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。

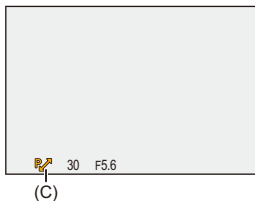
より背景をぼかす(絞り値を小さくする)、動きを表現する(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。(約10秒間)



2 数値が表示されている間に、 または を回す

- 撮影画面にプログラムシフトアイコン(C)が表示されます。



3 撮影する

プログラムシフトの解除方法

- 電源スイッチを[OFF]にする
- プログラムシフトアイコンが消えるまで、 または  を回す



- 以下の機能を使用中は、プログラムシフトは使用できません。
- フラッシュ



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
(→ [ダイヤル設定: 534](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
(→ [露出メーター: 541](#))

絞り優先AEモード



[A]モード(絞り優先AEモード)では、絞り値を設定して撮影できます。シャッタースピードはカメラが自動で設定します。



絞り値が小さい

背景をぼかしやすくなります。





絞り値が大きい

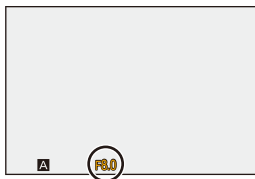
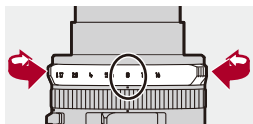
背景までピントが合った状態にします。

1 撮影モードを[A]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))

2 絞りリングを回して絞り値を選ぶ

- 絞りリングの位置を[A]に合わせて、 または  で絞り値を設定できます。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

❖ 被写界深度の性質

絞り値	小さい	大きい
レンズの焦点距離	望遠	広角
被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいとき	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいとき



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 278](#))

[A]モードで常に絞り効果のプレビューを働かせ、被写界深度を確認しながら撮影できます:

(→ [常時プレビュー: 535](#))

- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。



- ダイアルの動作をカスタマイズできます:

(→ [ダイアル設定: 534](#))

- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:

(→ [露出メーター: 541](#))

シャッター優先AEモード



[S]モード(シャッター優先AEモード)では、シャッタースピードを設定して撮影できます。

絞り値はカメラが自動で設定します。



シャッタースピードが遅い
動きを表現しやすくなります。



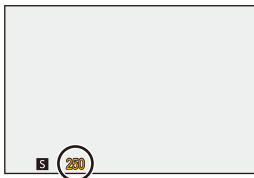
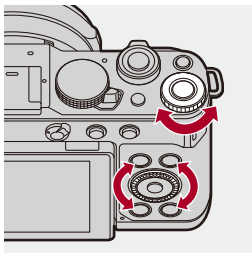
シャッタースピードが速い
動きを止めやすくなります。

1 撮影モードを[S]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))

2 シャッタースピードを設定する

-  または  を回します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 278](#))
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
(→ [ダイヤル設定: 534](#))
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：
(→ [露出メーター: 541](#))

マニュアル露出モード

- 設定可能なシャッタースピード(秒): 276
- T(タイム): 277





[M]モード(マニュアル露出モード)では、絞り値とシャッタースピードを手動で設定して撮影します。

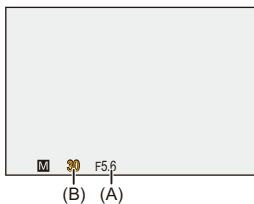
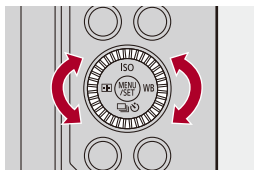
初期設定では、ISO感度が[AUTO]に設定されています。そのため、絞り値とシャッタースピードに応じてISO感度が設定されます。ISO感度[AUTO]設定時は露出補正も使用できます。

1 撮影モードを[M]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))

2 絞り値とシャッタースピードを設定する


- 絞りリングを回して絞り値(A)を、を回してシャッタースピード(B)を設定します。
- 絞りリングの位置を[A]に合わせると、で絞り値を設定できます。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

❖ マニュアル露出アシスト

ISO感度を[AUTO]以外に設定したときに、マニュアル露出アシスト(例：+1)が撮影画面に表示されます。

現在の露出値と、カメラが測光した標準露出(± 0)との差を確認できます。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

設定可能なシャッタースピード(秒)

- **メカシャッター:**

T(タイム、最大約60秒間)、60～1/2000

- **電子シャッター:**

T(タイム、最大約60秒間)、60～1/32000

- **電子シャッター+NR:**

T(タイム、最大約60秒間)、60～1/32000



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ [プレビューモード: 278](#))

[M]モードで常に絞り効果、シャッタースピード効果のプレビューを働かせ、被写界深度や被写体の動きを確認しながら撮影できます:

(→ [常時プレビュー: 535](#))

- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。



- ダイアルの動作をカスタマイズできます:

(→ [ダイヤル設定: 534](#))

- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:

(→ [露出メーター: 541](#))

T(タイム)

シャッタースピードをT(タイム)に設定し、シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開いた状態になります。(最大約60秒間*)

シャッターボタンをもう一度押し、シャッターが閉じます。

花火や夜景、星空の撮影で、長時間シャッターを開いておきたいときに使います。

* シャッター方式が[電子シャッター]の場合や[長秒ノイズ除去]が[OFF]の場合は、ISO感度に応じて、60秒より速くなります。

ISO感度が200のときで約30秒、ISO感度が400のときで約15秒になります。



- タイム撮影中は、三脚の使用をお勧めします。
- タイム撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、写真メニュー(画質)の[長秒ノイズ除去](→長秒ノイズ除去:251)を[ON]にして撮影することをお勧めします。



- 以下の機能を使用中は、タイムは使用できません。
 - SH連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - [ブラケット]
 - [ライブビューコンポジット撮影]

プレビューモード

**iA P A S M**

実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、絞り効果を撮影画面で確認できます。

また、絞り効果に加えてシャッタースピード効果も同時に確認できます。

1 [Ⓢ]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 Fnボタンに[プレビュー]を登録する

(→Fnボタン:484)

3 絞り効果を確認する

●手順2で設定したFnボタンを押します。

●ボタンを押すごとに、効果の確認画面が切り換わります。

絞り効果: **OFF**

シャッタースピード効果: **OFF**



絞り効果: **ON**

シャッタースピード効果: **OFF**



絞り効果: **ON**

シャッタースピード効果: **ON**



- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/32000秒です。
- [常時プレビュー]の設定によっては、表示されない確認画面があります。



- [A]／[M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果を確認できます：
(→ [常時プレビュー: 535](#))
- ボタンを押している間だけ絞り効果を確認できる機能をFnボタンに登録できます：
(→ [プレビュー\(絞りのみ\): 493](#))

露出補正

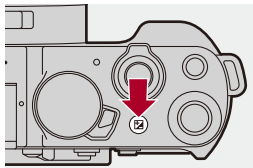
- iダイナミックレンジ: 283



カメラが決めた標準露出では明るすぎたり暗すぎたりする場合に露出補正できます。

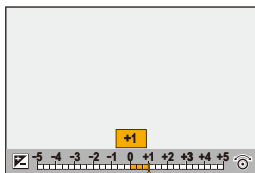
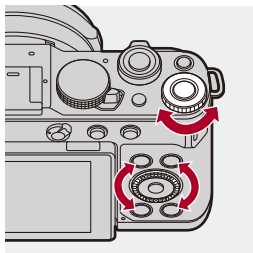
露出補正できる範囲は、1/3 EVステップ、 ± 5 EVです。動画撮影では ± 3 EVの範囲になります。

1 [] ボタンを押す



2 露出を補正する

-  または  を回します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



- [M]モードでは、ISO感度を[AUTO]に設定すると露出補正できます。
- 露出補正值が ± 3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押し、またはAEロックすると、撮影画面に反映されます。
- 設定した露出補正值は、電源を切っても記憶しています。



- 標準露出の基準値を調整できます：
(→ [基準露出レベル調節: 518](#))
- 電源を切ると露出補正值をリセットするように設定できます：
(→ [露出補正リセット: 520](#))
- 露出補正画面で露出ブラケットの設定とフラッシュ発光量の調整ができます：
(→ [露出補正画面の操作: 533](#))
- 絞り値やシャッタースピードを標準露出に合わせる機能をFnボタンに登録できます：
(→ [ワンブッシュAE: 490](#))

iダイナミックレンジ



S&Q

iA

P

A

S

M

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を補正します。



⇒ **[iダイナミックレンジ]**を選ぶ

設定: [AUTO]／[強]／[中]／[弱]／[OFF]



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、[iダイナミックレンジ]は使用できません。
 - [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log]、[リアルタイムLUT]、[ハイブリッドログガンマ]
 - [フィルター設定]
 - [ライブビューコンポジット撮影]

多重露出



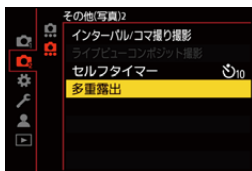
1枚の画像に最大4回の露光をした効果を得ることができます。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [多重露出]を設定する

- [MENU/SET] → [📷] → [🔧] → [多重露出]



開始

多重露出の露出を開始します。

自動ゲイン補正

撮影枚数に応じて自動で明るさを調整します。

再生画像と多重

撮影済みのRAW画像に多重露出ができます。[開始]を選択後に、重ねる画像の選択画面が表示されます。

- [開始]を選択後、シャッターボタンを全押しすると、多重露出を開始します。
- 撮影することにプレビューが表示され、以下の操作ができます。
 - [次の撮影](シャッターボタンを半押ししても同じ操作ができます)
 - [撮り直し]
 - [完了]: 写真を記録し、多重露出の撮影を終了します。



- 写真を記録すると、多重露出の撮影は自動で終了します。
- 記録前に多重露出の撮影を終了するには、撮影画面で[Q]ボタンを押してください。



- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- [再生画像と多重]を設定できるのは、本機で撮影したRAW画像だけです。
- 以下の機能を使用中は、[多重露出]は使用できません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [フィルター設定]
 - [ライブビューコンポジット撮影]

ピントや露出の固定(AF／AEロック)



撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時に便利です。

1 Fnボタンに[AE LOCK]、[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]を登録する

(→Fnボタン:484)

- [Fn3]～[Fn7]には登録できません。

AE LOCK

露出を固定します。

AF LOCK

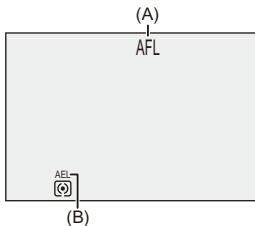
ピントを固定します。

AF/AE LOCK

ピントと露出を固定します。

2 ピントや露出を固定する

- Fn ボタンを押したままにします。
- ピントがロックされると、AFロックアイコン(A)が表示されます。
- 露出がロックされると、AEロックアイコン(B)が表示されます。



3 Fn ボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



- AEロック中でも、プログラムシフトを設定できます。



- Fn ボタンを押し続けなくても、ロックを維持するようにできます：
(→ [AF/AEロック維持: 522](#))
- AFロック中に手でピントを微調整できます：
(→ [AF+MF: 523](#))

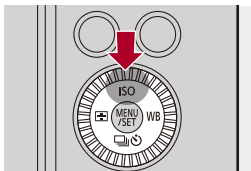
ISO感度

- ISO感度設定(写真): 292



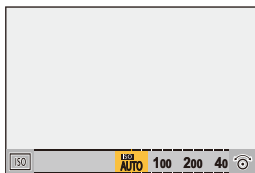
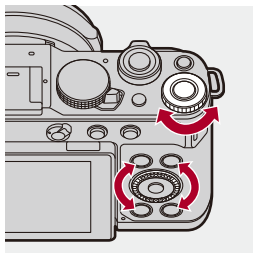
光に対する感度(ISO感度)を設定できます。

1 [ISO]ボタン(▲)を押す



2 ISO感度を選ぶ

-  または  を回します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



ISO感度の性質


ISO感度を上げると、暗い場所でもシャッタースピードを速くして、手ブレや被写体ブレを防ぐことができます。ただし、ISO感度が高いほど、撮影した画像のノイズも多くなります。

❖ 設定項目(ISO感度)

AUTO

明るさに応じて、自動でISO感度を調整します。

- 写真撮影時: 最大 3200^{*1}
 - 動画撮影時:
 - 最大 6400^{*2}(センサー出力 60 fps 以下)
 - 最大 3200^{*3}(センサー出力 61 fps 以上)
-

[]モード時:

100^{*4}～25600

[]／[S&Q]モード時:

100^{*4}～12800(センサー出力 60 fps 以下)

100^{*4}～3200^{*5}(センサー出力 61 fps 以上)

それぞれのISO感度に固定します。

*1 初期設定。[ISO感度設定(写真)]によって上限を変更できます。

*2 初期設定。[ISO感度設定(動画)]によって上限を変更できます。

*3 初期設定。[拡張ISO感度]を[ON]にすると、[ISO感度設定(動画)]によって上限を6400に設定できます。

*4 カスタムメニュー(画質)の[拡張ISO感度](→ [拡張ISO感度: 518](#))を[ON]にすると、下限値50までISO感度を拡張できます。

*5 カスタムメニュー(画質)の[拡張ISO感度](→ [拡張ISO感度: 518](#))を[ON]にすると、上限値12800までISO感度を拡張できます。

- 以下の機能を使用中は、設定できるISO感度に制限があります。
 - [フィルター設定]: 上限3200まで
 - [多重露出]: 下限100、上限3200まで
 - [フォトスタイル]の[709ライク]: 下限100まで
 - [フォトスタイル]の[V-Log]:
 - 写真: 下限500、上限12800まで
 - ([拡張ISO感度]設定時: 下限125まで)
 - 動画: 下限500(センサー出力60 fps以下)／250(センサー出力61 fps以上)まで
 - ([拡張ISO感度]設定時: 下限125まで)
 - [フォトスタイル]の[スタンダード(HLG)],[モノクローム(HLG)],[ハイブリッドロゴガンマ]:
 - 写真: 下限250、上限12800まで
 - 動画: 下限250まで
 - [ライブビューコンポジット撮影]: 上限1600まで
- [フォトスタイル]を[リアルタイムLUT]に設定しているときは、適用するLUTファイルのベースフォトスタイルによって、使用できるISO感度の範囲が変わります。



- ISOオートの上限と下限を設定できます:
 - (→ [ISO感度設定\(写真\): 292](#)、[ISO感度設定\(動画\): 363](#))
- ISO感度の設定値の刻みを変更できます:
 - (→ [ISO感度ステップ: 518](#))
- 設定できるISO感度の範囲を拡張できます:
 - (→ [拡張ISO感度: 518](#))
- ISOオート時のシャッタースピードの下限を設定できます:
 - (→ [下限シャッター速度: 254](#))
- ISO感度の設定画面でISOオートの上限を設定できます:
 - (→ [ISO感度画面の操作: 532](#))
- ISOオートをFnボタンに登録できます:
 - 撮影画面で登録したボタンを押すたびに、ISOオートの[ON]／[OFF]が切り換わります。([OFF]のときは、元のISO感度に戻ります)
 - (→ [Fnボタン: 484](#))

ISO感度設定(写真)



S&Q

iA P A S M

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [ISO感度設定(写真)]を設定する

• → [📷] → [🔧] → [ISO感度設定(写真)]

ISOオート下限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限を設定します。

- 100 ~ 12800の範囲で設定できます。

ISOオート上限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の上限を設定します。

- 200 ~ 25600の範囲で設定できます。
-



- 以下の機能を使用中は、[ISO感度設定(写真)]は使用できません。
- [ライブビューコンポジット撮影]

ホワイトバランス／画質

本章では、ホワイトバランスやフォトスタイルなど、イメージどおりの画像を撮影するための機能について説明しています。

- ホワイトバランス(WB): 294
- フォトスタイル: 302
- フィルター設定: 315
- 美肌効果: 320
- リアルタイムLUT: 322
- LUTライブラリ: 324
- HLG撮影(HEIF形式): 332
- レンズ補正: 334

ホワイトバランス(WB)

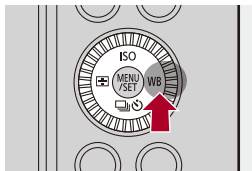
- ホワイトバランスの調整: 300



ホワイトバランス(WB)は、被写体を照らす光の色の影響を補正する機能です。白いものを白く、見た目に近い色に補正します。

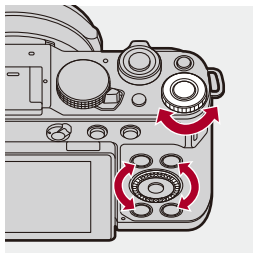
通常はオート([AWB]、[AWBc]または[AWBw])で適切なホワイトバランスが得られます。画像の色合いが思ったとおりにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに設定してください。

1 [WB]ボタン(▶)を押す



2 ホワイトバランスを選ぶ

-  または  を回します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

❖ 設定項目(ホワイトバランス)

AWB

オート

AWBc

オート(白熱電球下で赤みを抑えます)

AWBw

オート(白熱電球下で赤みを残します)



晴天



曇天



晴天の日陰



白熱灯



フラッシュ

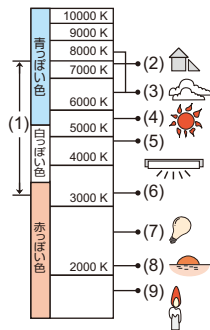


セットモード1~4(→[ホワイトセット登録: 299](#))



色温度1~4(→[色温度設定: 299](#))

* 動画撮影では[AWB]と同じ動作をします。



- (1) [AWB]が働く範囲
- (2) 日陰
- (3) 曇り空
- (4) 太陽光
- (5) 白色蛍光灯
- (6) ハロゲン電球
- (7) 白熱電球
- (8) 日の出・日の入り前
- (9) ろうそく



- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、[]～[]をご使用ください。






- [フィルター設定]使用中は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。



- オートホワイトバランスを一時的にロックできます：
(→ [AWBロック設定: 519](#))






❖ ホワイトセット登録

撮影場所の光源下で白いものを撮影して、白く写るようにホワイトバランスを調整します。


- 1 [WB]ボタン(▶)を押し、[]～[]のいずれかを選ぶ
- 2 ▲を押し
- 3 画面中央の枠内に白いものを映し、を押し
 - ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。

❖ 色温度設定

ホワイトバランスの色温度を数値で設定します。

- 1 [WB]ボタン(▶)を押し、[]～[]のいずれかを選ぶ
- 2 ▲を押し
 - 色温度の設定画面が表示されます。
- 3 ▲▼で色温度を選び、を押し
 -  または  を回すと、ホワイトバランス(色温度)ブラケットの設定ができます。(→ [詳細設定\(ホワイトバランス\(色温度\)ブラケット\): 238](#))



- 2500K～10000Kまで設定できます。
- [] / [S&Q]モード時、撮影画面にケルビン値が表示されます。

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、色合いを調整できます。

1 [WB]ボタン(▶)を押す

2 ホワイトバランスを選び、▼を押す

- 調整画面が表示されます。

3 色合いを調整する

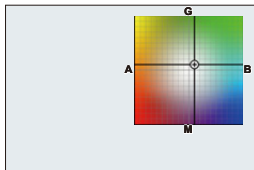
◀:[A](アンバー:オレンジ系)

▲:[G](グリーン:緑系)

▶:[B](ブルー:青系)

▼:[M](マゼンタ:赤系)

- グラフをタッチしても調整できます。
- 調整していない状態に戻すには、[DISP]ボタンを押してください。
- ☂ または ⚙ を回すと、ホワイトバランスブラケットの設定ができます。
(→詳細設定(ホワイトバランスブラケット): 238)



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



- ホワイトバランスを調整すると、撮影画面のアイコンが調整した色に変わります。G方向に調整すると[+]が、M方向に調整すると[-]が表示されます。

フォトスタイル

[カメラ] [人物] S&Q

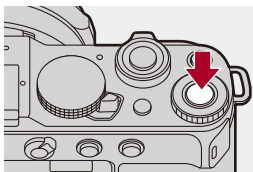
iA P A S M

被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。フォトスタイルごとに画質調整ができます。


カメラに読み込んだLUTファイルを適用した写真や動画を撮影することもできます。

- [フォトスタイル]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。(→ [Fnボタン: 484](#))


フォトスタイルボタンを押す



- 以下の操作でも表示できます。
[MENU/SET] ⇒ [カメラ] / [人物] ⇒ [Fn] ⇒ [フォトスタイル]を選ぶ
- [LUT]ボタンを押したあと、[Q]ボタンを押してフォトスタイル画面を表示させることもできます。

 **STD. スタンダード**

標準的な設定


 ^{HLG}**STD. スタンダード(HLG)**

標準的な設定


• [HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定しているときに選択できます。

 **VIVID ヴィヴィッド**

彩度とコントラストが高めの鮮やかな設定

 **NAT ナチュラル**

彩度とコントラストを抑えた柔らかな設定

 **L.CLAS L.クラシック**


彩度が低めの淡い色調と軟調なコントラストのフィルム風の設定

 **L.CLAS N L.クラシックネオ**

爽やかなシアン味を感じる色調と軟調なコントラストのフィルム風の設定

 **L.CLAS G L.クラシックゴールド**

温かな黄色味を感じる色調と適度なコントラストのフィルム風の設定

 **FLAT フラット**

彩度とコントラストが低めの誇張を抑えた設定

 **LAND 風景**


青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した設定

 **PORT 人物**

人物撮影に適した柔らかな印象の設定

 **MONO モノクローム**

色味を抜いた単色の設定

 ^{HLG}**MONO モノクローム(HLG)**

色味を抜いた単色の設定

• [HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定しているときに選択できます。

 **L.MONO L.モノクローム**

階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ設定

 **L.モノクロームD**


ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ設定

 **L.モノクロームS**


ポートレートに適した柔らかな印象のモノクロ設定

 **LEICAモノクローム**


LEICAのモノクロームを踏襲した、深い黒と白のコントラストが特徴のモノクロ設定

 **シネライク A2**

ダイナミックレンジとコントラストのバランスを重視したガンマカーブとニュートラルな色調で映画感覚に仕上げる設定

 **シネライク D2**

ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定

 **シネライク V2**

コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定

 **709ライク**

Rec.709相当のガンマカーブで、高輝度部分を圧縮(二一)して白飛びを抑える設定
(→ [白飛びを抑えて撮影する\(二一\): 361](#))

- Rec.709とは「ITU-R Recommendation BT.709」の略称で、ハイビジョン放送の規格です。
-

V-Log V-Log

ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブの設定(→[Log撮影する: 423](#))




- ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

LUT リアルタイムLUT

[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用できます。(→[LUTライブラリ: 324](#))

- 初期設定では[Sample LUT1]が適用されています。
- 適用するLUTファイルによって、ベースとなるフォトスタイルは自動で設定されます。(LUTファイルにベースフォトスタイル情報がないときは、[V-Log]を選択できません)
- ベースとなるフォトスタイルを変更したいときは、マイフォトスタイルを使用してください。
- 撮影画面で[LUT]ボタンを押してもフォトスタイルを[リアルタイムLUT]に変更できません。(→[リアルタイムLUT: 322](#))

適用するLUTファイルを選ぶ

- 1 ▲▼で[LUT]を選び、[LUT]ボタンを押す
- 2  または  で適用するLUTファイルを選び、 を押す
- 3 シャッターボタンまたは動画記録ボタンを押して撮影する

HLG ハイブリッドログガンマ^{*1}

HLG方式の動画を撮影するための設定(→[HLG 動画: 427](#))

MY MY PHOTO STYLE 1^{*2}～MY PHOTO STYLE 10^{*2}



フォトスタイルを好みに合わせて画質調整し、マイフォトスタイルとして登録できません。(→ [設定をマイフォトスタイルに登録する: 314](#))


- 初期設定では[MY PHOTO STYLE 4]までが表示されています。

LUTファイルを適用する

画質調整で、[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを2つまで適用できます。

(→ [LUTライブラリ: 324](#))

- LUTファイルを2つ適用する場合、[LUT1]を適用した画像に対して[LUT2]が適用されません。
- フォトスタイルは適用するLUTファイル(LUTファイルを2つ適用する場合は[LUT1])のベースフォトスタイルになります。
画像編集ソフトで作成したLUTファイルを適用するときは、作成時にベースとしたフォトスタイルと同じ[フォトスタイル]を選んでください。異なる[フォトスタイル]を選ぶと、画像を正しく表示／記録できない場合があります。
- 画質調整で[LUT1]または[LUT2]を適用しているときは、 MY]は LUT]に変わります。

*1  / [S&Q]モードで10 bitの[動画画質]に設定しているときだけ選択できます。
(→ [動画画質: 129](#))

*2 [フォトスタイル設定]の[フォトスタイル表示の制限]で、メニューに表示する項目を設定できます。(→ [フォトスタイル設定: 517](#))



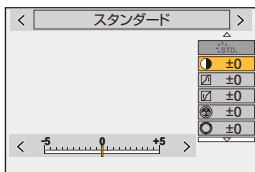
- [iA]モード時は、他の撮影モードと動作が異なります。
 - [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
 - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。
 - 画質調整できません。
- [フォトスタイル]を以下に設定したときは、使用できるISO感度の範囲が変化します。(→ [設定項目 \(ISO感度\): 290](#))
 - [709ライク]、[V-Log]、[スタンダード (HLG)]、[モノクローム (HLG)]、[ハイブリッドログガンマ]、[リアルタイムLUT] (ベースフォトスタイルが[709ライク]、[V-Log]、[スタンダード (HLG)]、[モノクローム (HLG)]、[ハイブリッドログガンマ])
- [709ライク]ではニーモードを設定できます。(→ [白飛びを抑えて撮影する \(ニー\): 361](#))
- [リアルタイムLUT]の画質調整で[LUT]を[OFF]にすると、[フォトスタイル]はベースとなるフォトスタイルと同じ動作になります。
- [フィルター設定]使用中は、[フォトスタイル]は使用できません。




- フォトスタイルの詳細な設定ができます：
(→ [フォトスタイル設定: 517](#))

❖ 画質調整

- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整する
 - 調整した項目に[*]が表示されます。



- 3  を押す
 - 画質調整すると、撮影画面のフォトスタイルアイコンに[*]が表示されます。

設定項目(画質調整)

コントラスト

画像の明暗差を調整します。

ハイライト

明部の明るさを調整します。

シャドウ

暗部の明るさを調整します。

彩度

色の鮮やかさを調整します。

色調

青み、黄色みを調整します。

色相

赤を基準とした場合、紫／マゼンタ方向または黄色／緑方向に色相を回転させ、全体の色合いを調整します。

フィルター効果

- 黄**:コントラストを強調します。(効果:弱)青空をくっきりと撮影できます。
オレンジ:コントラストを強調します。(効果:中)青空を色濃く撮影できます。
赤:コントラストを強調します。(効果:強)青空をさらに色濃く撮影できます。
緑:人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。

OFF

粒状

弱／**中**／**強**:粒状感の強弱を設定します。

OFF

色ノイズ

ON:粒状感に色味を追加します。

OFF

シャープネス

画像の輪郭を調整します。

NR ノイズリダクション

ノイズリダクションの効果を調整します。



- 効果を強めた場合、解像感が僅かに低下する場合があります。
-

ISO ISO感度*3

ISO感度を設定します。(→ISO感度: 288)




WB ホワイトバランス*3

ホワイトバランスを設定します。(→ホワイトバランス(WB): 294)

- [WB]選択中に[]ボタンを押すと、ホワイトバランスの設定画面が表示されます。もう一度[]ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
-

LUT LUT1 LUT2 LUT



プリセットまたは[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用します。(→LUTライブラリ: 324)

- 1 [フォトスタイル]の[リアルタイムLUT]または[MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]のいずれかを選ぶ
 - 2 ▲▼で[LUT]を選び、[LUT]ボタンを押す
 - 3  または  で適用するLUTファイルを選び、 を押す
-

LUT LUT1 LUT2 LUT濃度

LUTファイルの効果を調整します。

*3 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択中に、以下を設定すると使用できません。

[] → [] → [フォトスタイル設定] → [マイフォトスタイル設定] → [調整項目の追加] → [ISO感度]／[ホワイトバランス] → [ON]

- フォトスタイルの種類により、画質を調整できる項目は変わります。

	STD. STD. VIVID NAT L.CLAS L.CLAS N L.CLAS G FLAT LAND PORT CNEA2 CNEA2 CNEV2	MONO HLG MONO L.MONO L.MONOD L.MONOS LEICA MONO	709L HLG	V-Log	LUT
	✓	✓			✓ ^{*4}
	✓	✓			✓ ^{*4}
	✓	✓			✓ ^{*4}
 (彩度)	✓		✓	✓ ^{*5}	✓
 (色調)		✓			✓ ^{*4}
	✓		✓		✓ ^{*4}
		✓			
	✓	✓	✓	✓ ^{*5}	✓
	✓ ^{*6}		✓ ^{*6}	✓ ^{*5, 6}	✓ ^{*4, 6}
	✓	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	✓
LUT / LUT LUT1 / LUT1 LUT2 / LUT2	✓ ^{*7}	✓ ^{*7}	✓ ^{*7}	✓ ^{*7}	✓

- *4 ベースのフォトスタイルによっては、調整できない場合があります。
- *5 マイフォトスタイルでLUTファイルを適用したときに設定できます。
- *6 [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。
- *7 [フォトスタイル]がマイフォトスタイルの場合にLUTファイルを2つまで設定できます。



- [粒状]と[色ノイズ]の効果は、[📷]モードでの撮影画面では確認できません。
- 動画を撮影する場合、[粒状]の効果を確認するため、事前に試し撮りを行うことをお勧めします。
- 撮影した動画をテレビで見る場合、テレビ側のフレーム補間処理の設定によっては、[粒状]が波打つように見えることがあります。その場合はフレーム補間処理の設定をオフにしてください。
- RAW画像には[LUT]を適用できません。[記録ファイル形式(写真)]を[RAW]にして撮影した場合は、ライブビューと再生画面のサムネイル表示にだけLUTファイルを適用します。
- 以下の機能を使用中は、[粒状]は使用できません。
 - [📷]モードで動画撮影
 - [S&Q]モード
 - 解像度がC4Kを超える[動画画質]
- 以下の機能を使用中は、[粒状]と[色ノイズ]は使用できません。
 - [美肌効果]
- [動画画質]と設定の組み合わせによっては、[粒状]が使用できない場合があります。

❖ LUTファイルを適用して撮影したときのレンジ属性

フォトスタイルにLUTファイルを適用して撮影した動画のレンジ属性は以下ようになります。

【リアルタイムLUT】のベースフォトスタイル／マイフォトスタイル	適用するLUTファイル	【輝度レベル設定】	レンジ属性
[V-Log]	[Vlog_709]	[16-255]([64-1023])固定	⇒ ビデオレンジ
	[Vlog_709]以外	[0-255]([0-1023])固定	⇒ フルレンジ
[ハイブリッドログガンマ]	すべて	[64-940]固定	⇒ ビデオレンジ
上記以外	すべて	[0-255]([0-1023])	⇒ フルレンジ
		[16-235]([64-940)]／ [16-255]([64-1023])	⇒ ビデオレンジ



- 画像編集ソフトで動画を編集する場合は、フルレンジ用のLUTファイルの使用をお勧めします。
- 画像編集ソフトを使ってLUTファイルを生成するときは、【輝度レベル設定】を[0-255]([0-1023])または[16-235]([64-940])に設定して撮影した動画ファイルの使用をお勧めします。
- 写真を撮影するときは、フルレンジ用のLUTファイルを使用してください。ビデオレンジ用のLUTファイルを適用して撮影すると、画像を正しく表示／記録できないことがあります。
- 適用したLUTファイルのレンジ属性と動画ファイルのレンジ属性が異なると、画像編集ソフトで画像が正しく生成されないことがあります。画像編集ソフトに動画ファイルを読み込むときは、動画ファイルごとに正しいレンジ設定を選んでください。
- 本機でLUTファイルを適用して撮影した画像と、画像編集ソフトでLUTファイルを適用した結果は、完全には一致しません。

❖ 設定をマイフォトスタイルに登録する



- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 画質を調整する
 - マイフォトスタイルでは、画質調整のいちばん上にフォトスタイルの種類が表示されます。ベースとなるフォトスタイルを選択してください。
- 3 [DISP.]ボタンを押す
- 4 ([MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択時)
 - ▲▼ で[現在の設定を登録]を選び、 を押す
- 5 ▲▼ で登録先の番号を選び、 を押す
 - 確認画面が表示されます。
 - 確認画面で[DISP.]ボタンを押すと、マイフォトスタイルの名前を変更できます。
 - 入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。
 - 文字の入力方法(→ [文字の入力: 91](#))



- [スタンダード(HLG)], [モノクローム(HLG)]は、マイフォトスタイルに登録できません。

❖ マイフォトスタイルの登録内容の変更

- 1 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]のいずれかを選ぶ
- 2 [DISP.]ボタンを押し、項目を設定する

登録された設定の呼出

現在の設定を登録

名称変更

デフォルトに戻す

フィルター設定

- [フィルターなし同時記録: 319](#)



画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。

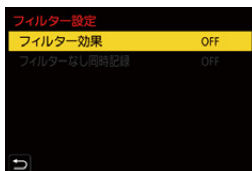
フィルターごとに効果を調整できます。また、効果のない写真も同時に撮影できます。

1 [📷]または[📹]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

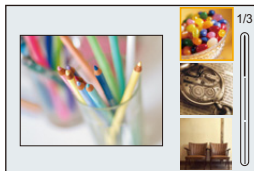
2 [フィルター効果]を設定する

- → [📷]/[📹] → [🔍] → [フィルター設定] → [フィルター効果] → [設定]





3 フィルターを選ぶ

- ▲▼で選択し、**MENU/SET**を押します。
- 作例写真をタッチしても選択できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、通常表示、ガイド表示の順に画面が切り換わります。ガイド表示では、各フィルターの説明が表示されます。



❖ フィルター効果の調整

フィルター効果の調整ができます。

- 1 フィルターを選ぶ
- 2 撮影画面で[WB]ボタン(▶)を押す
- 3  または  を回して設定する
 - 撮影画面に戻るには、**MENU/SET**を押すか、シャッターボタンを半押ししてください。
 - フィルター効果を調整すると、撮影画面のフィルターアイコンに[*]が表示されます。



フィルター	調整できる項目
ポップ	鮮やかさ
レトロ	色合い
オールドデイズ	コントラスト
ハイキー	色合い
ローキー	色合い
セピア	コントラスト
クロスプロセス	色合い
ブリーチバイパス	コントラスト

❖ タッチ操作でフィルターを設定する



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定:530](#))

- 1 [📷]をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする
 [📷]: フィルターの入/切
 [POP]: フィルター
 [🔍]: フィルター効果の調整





- ホワイトバランスは[AWB]に、フラッシュは[Ⓣ](発光禁止)に固定されます。
- ISO感度の上限は3200になります。
- フィルターによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[フィルター効果]は使用できません。
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [多重露出]
 - [ライブクロップ]



- Fn ボタンで[フィルター効果]の設定画面を表示しているときに[DISP.]ボタンを押すと、フィルター選択画面が表示されます。

フィルターなし同時記録



S&Q

iA P A S M

フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [フィルターなし同時記録]を設定する

- → → → [フィルター設定] → [フィルターなし同時記録]

設定: [ON] / [OFF]



- 以下の機能を使用中は、[フィルターなし同時記録]は使用できません。
 - 連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW+JPEG]、[RAW+HEIF]、[RAW]
 - [ブラケット]

美肌効果



iA P A S M

肌を滑らかにします。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [美肌効果]を設定する

• → [📷] → [🔧] → [美肌効果]

強

肌に対して強い肌補正を行います。

中

肌に対して中程度の肌補正を行います。

弱

肌に対して弱い肌補正を行います。

OFF

肌の補正を無効にします。

[OFF]以外に設定すると、撮影画面に[🔧]が表示されます。

撮影画面では肌補正を行いません。撮影後の画像に対して補正を行います。



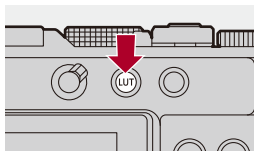
- 肌に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときやフォトスタイルによっては、効果が分かりにくい場合があります。
- RAW画像に[美肌効果]は適用されません。
- 以下の機能を使用中は、[美肌効果]は使用できません。
 - [フォトスタイル]の[モノクローム]／[モノクローム(HLG)]／[L.モノクローム]／[L.モノクロームD]／[L.モノクロームS]／[LEICAモノクローム]／[V-Log]
 - 連写
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [多重露出]
 - [深度合成]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
 - [フィルター設定]
 - フォーカスブラケット撮影

リアルタイムLUT



フォトスタイルを[リアルタイムLUT]に設定し、LUTファイルを適用します。



1 [LUT]ボタンを押す



- お買い上げ後、初めて設定するときなど、「LUMIX Lab」のダウンロードサイトへのQRコードが表示される場合があります。

2 LUTを選ぶ



- ◀▶ で選択し、**MENU/SET** を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- ▼ を押すと、画質調整ができます。(→ [画質調整: 308](#))
 - ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整し、**MENU/SET** を押す
 - 調整した項目に[*]が表示されます。
- [DISP.]ボタンを押すと、LUTファイルがリスト表示されます。
- [Q]ボタンを押すと、フォトスタイル画面に切り換えます。(→ [フォトスタイル: 302](#))
- [LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを適用できます。(→ [LUTライブラリ: 324](#))
- 初期設定では[Sample LUT1]が適用されています。

LUTライブラリ

- [LUTファイルのベースフォトスタイル: 328](#)



S&Q

iA P A S M

フォトスタイルやLUTビューアシストで使用するLUTファイルをカメラに登録します。

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Lab」を使用すると、スマートフォン内のLUTファイルをカメラの[LUTライブラリ]に登録できます。

(→ [LUTライブラリ操作: 590](#))



- 使用できるLUTファイル:

- 「VARICAM 3DLUT REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠した「.vlt」形式
- 「.cube」形式

- 「.cube」形式のLUTファイルは、2ポイント～33ポイントの3D LUTに対応しています。

- カメラにはフルレンジ用のLUTファイルを読み込むことをお勧めします。レンジ属性が異なる場合、画像が正しく表示/記録されない場合があります。

- ファイル名に使用できる文字数は、カードのファイルシステムによって異なります。(ファイル名は半角英数字をお使いください)

FAT32(SDメモリーカード/SDHCメモリーカード):8文字まで(拡張子を除く)

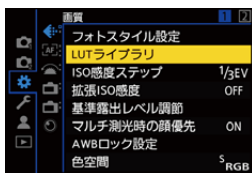
exFAT(SDXCメモリーカード):255文字まで(拡張子を含む)

- LUTファイルは、カードのルートディレクトリー(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)に、拡張子を「.vlt」または「.cube」にして保存してください。
- SDRで撮影する場合はSDR用のLUTファイルを使用し、HLGで撮影する場合はHLG用のLUTファイルを使用してください。

1 LUTファイルを保存したカードをカメラに入れる

2 [LUTライブラリ]を選ぶ

- **MENU/SET** ⇒ [設定] ⇒ [LUTライブラリ]



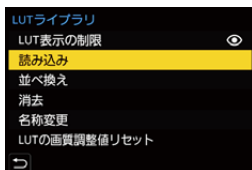
3 登録先を選ぶ

- ▲▼で選択し、**MENU/SET**を押します。
- 登録済みの項目を選択すると、LUTファイルを上書きして登録します。



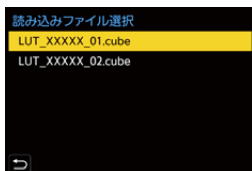
4 [読み込み]を選ぶ

- ▲▼で選択し、**MENU/SET** を押します。
- [LUT表示の制限]を選ぶと、LUTの選択画面で表示させるかどうかの設定ができます。
- [並べ換え]を選ぶと、LUTファイルの表示順を変更できます。
- [消去]を選ぶと、登録済みのLUTファイルを消去します。
- [名称変更]を選ぶと、LUTファイルの登録名を変更できます。
- [LUTの画質調整値リセット]を選ぶと、カメラで変更した画質調整値をリセットします。



5 読み込むLUTファイルを選ぶ

- ▲▼で選択し、**MENU/SET** を押します。





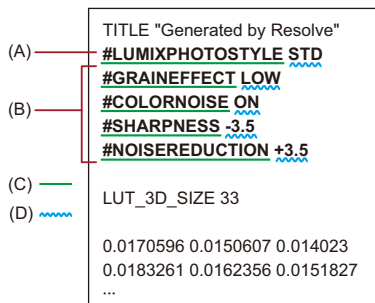
- 初期設定では、[Vlog_709]と3つのサンプルLUTが登録されています。
- LUTファイルは、39ファイルまで登録できます。
- [Vlog_709]は、[並べ換え]、[消去]および[名称変更]はできません。また、[Vlog_709]は[LUT表示の制限]で非表示にできません。
- サンプルLUTの[並べ換え]および[消去]はできますが、[設定リセット]を行うと初期設定に戻ります。
- 作成時にフォトスタイル情報(ベースフォトスタイル)を設定したLUTファイル(「.cube」形式のみ)には、ベースフォトスタイルのアイコンが表示されます。

LUTファイルのベースフォトスタイル

リアルタイムLUTでは、LUTファイルに設定されたフォトスタイル情報(ベースフォトスタイル)を判別してフォトスタイルを決定します。自作したLUTファイル(「.cube」形式のみ)には、ベースフォトスタイルの情報を付与できます。LUTファイルをテキストエディターで開き、タイトル行の下にフォトスタイル情報を挿入してください。

- LUTファイルに画質調整の情報も付与できます。
- テキストエディターに文字コードの選択機能がある場合はUTF-8を選んでください。

例) LUTファイル(「.cube」形式)



- (A) フォトスタイル情報
- (B) 画質調整情報
- (C) 識別タグ
- (D) 設定値

- 識別タグと設定値の間には半角スペースが必要です。
- フォトスタイル情報がない、または正しく設定されていない場合のベースフォトスタイルは[V-Log]になります。(ただし、[HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定しているときは、ベースフォトスタイルは[スタンダード(HLG)]になります)
- フォトスタイル情報がない場合、画質調整情報の読み取りはできません。

フォトスタイル情報一覧

- #LUMIXPHOTOSTYLE STD: スタンダード
- #LUMIXPHOTOSTYLE STDHLG: スタンダード(HLG)
- #LUMIXPHOTOSTYLE VIVID: ヴィヴィッド
- #LUMIXPHOTOSTYLE NAT: ナチュラル
- #LUMIXPHOTOSTYLE LCLAS: L.クラシック
- #LUMIXPHOTOSTYLE LCLASN: L.クラシックネオ
- #LUMIXPHOTOSTYLE LCLASG: L.クラシックゴールド
- #LUMIXPHOTOSTYLE FLAT: フラット
- #LUMIXPHOTOSTYLE LAND: 風景
- #LUMIXPHOTOSTYLE PORT: 人物
- #LUMIXPHOTOSTYLE MONO: モノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE MONOHLG: モノクローム(HLG)
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONO: L.モノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONOD: L.モノクロームD
- #LUMIXPHOTOSTYLE LMONOS: L.モノクロームS
- #LUMIXPHOTOSTYLE LEICAMONO: LEICAモノクローム
- #LUMIXPHOTOSTYLE CNEA2: シネライク A2
- #LUMIXPHOTOSTYLE CNED2: シネライク D2
- #LUMIXPHOTOSTYLE CNEV2: シネライク V2
- #LUMIXPHOTOSTYLE 709L: 709ライク
- #LUMIXPHOTOSTYLE VLOG: V-Log
- #LUMIXPHOTOSTYLE HLG: HLG

設定可能な画質調整情報と設定値について

画質調整情報に付与できる識別タグと設定値は以下になります。

設定値は、カメラとLUMIX Labそれぞれで認識する設定値を記載でき、LUTファイル読み取り時に判別します。

LUMIX Labの設定値が記載されたLUTファイルをカメラで読み取る場合、カメラの設定値は下記の表に従って読み取ります。

(A) ベースフォトスタイルが[V-Log]以外

(B) ベースフォトスタイルが[V-Log]

画質調整情報	識別タグ	設定値		
		カメラ		LUMIX Lab
		(A)	(B)	
粒状	#GRAINEFFECT	OFF	OFF	L0
		LOW	LOW	L1～L33
		STD	STD	L34～L66
		HIGH	HIGH	L67～L100
色ノイズ	#COLORNOISE	OFF	OFF	L0
		ON	ON	L1

シャープネス/ ノイズリダクション	#SHARPNESS/ #NOISEREDUCTION	-5	0	L0~L4
		-4.5	+0.5	L5~L9
		-4	+1	L10~L14
		-3.5	+1.5	L15~L19
		-3	+2	L20~L24
		-2.5	+2.5	L25~L29
		-2	+3	L30~L34
		-1.5	+3.5	L35~L39
		-1	+4	L40~L44
		-0.5	+4.5	L45~L49
		0	+5	L50~L54
		+0.5	+5.5	L55~L59
		+1	+6	L60~L64
		+1.5	+6.5	L65~L69
		+2	+7	L70~L74
		+2.5	+7.5	L75~L79
		+3	+8	L80~L84
		+3.5	+8.5	L85~L89
		+4	+9	L90~L94
		+4.5	+9.5	L95~L99
+5	+10	L100		

- ベースフォトスタイルが以下の場合、[色ノイズ]は無効になります。
 - [モノクローム]/[モノクローム(HLG)]/[L.モノクローム]/[L.モノクロームD]/[L.モノクロームS]/[LEICAモノクローム]

HLG撮影(HEIF形式)



iA P A S M

HLG方式のダイナミックレンジの広いHEIF画像を撮影します。
白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。
撮影したHEIF画像は、HLG方式に対応した機器で再生することで観賞できます。

- HLG(ハイブリッドログガンマ)とは、HDR映像のためのトーンカーブ(ガンマカーブ)方式の1つです。
- [記録ファイル形式(写真)]が[HEIF]または[RAW+HEIF]のときに設定できます。
(→ [記録ファイル形式\(写真\): 111](#))
- [JPEG/HEIF切換]が[HEIF]のときに設定できます。(→ [JPEG/HEIF切換: 114](#))

HLG方式のHEIF画像

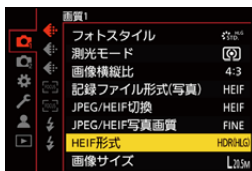
- 圧縮方式: HEVC
- カラーサンプリング: 4:2:0
- ビット数: 10 bit

1 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定する

- **MENU/SET** → [📷] → [🔧] → [HEIF形式]



HDR(HLG)

ダイナミックレンジの広い画像をハイブリッドログガンマ方式で記録します。

SDR

SDR形式で記録します。



- [HDR(HLG)]設定時の[フォトスタイル]は[スタンダード(HLG)]/[モノクローム(HLG)]/[リアルタイムLUT]だけ選択できます。

レンズ補正

- 回折補正: 334

回折補正



S&Q

iA P A S M

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。



→ [カメラ] / [人] → [戻る] → [回折補正] を選ぶ

設定: [AUTO] / [OFF]



- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。

フラッシュ

ホットシューに外部フラッシュを装着すると、フラッシュ撮影が可能になります。また、ワイヤレスフラッシュ撮影に対応した外部フラッシュを本機に装着すると、離れた位置にある外部フラッシュをワイヤレスで制御することもできます。

- 外部フラッシュの取扱説明書もお読みください。
- 動作確認済みの外部フラッシュについては、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

- 外部フラッシュを使う: 336
- フラッシュの設定: 338
- ワイヤレスフラッシュ撮影: 347

外部フラッシュを使う

- [ホットシューカバーの取り外し: 336](#)



S&Q

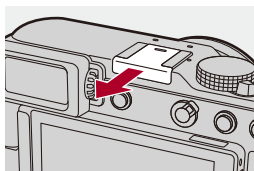
iA P A S M

ホットシューカバーの取り外し

外部フラッシュを取り付ける前に、ホットシューカバーを取り外してください。

外部フラッシュの取り付け方について詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

ホットシューカバーを矢印の方向に引いて取り外す



❖ フラッシュ撮影時のお知らせ



- 以下の機能を使用中は、フラッシュ撮影できません。
 - 電子シャッター、[サイレントモード]
 - [フィルター設定]
 - SH連写
- フラッシュに物を近づけないでください。熱や光で変形、変色することがあります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中はフラッシュが発光せずに撮影されます。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- 外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュの設定

- フラッシュモード: 339
- 発光モード、マニュアル発光量設定: 342
- フラッシュ光量調整: 344
- フラッシュシンクロ: 345
- 露出補正連動: 346



カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できます。




フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定します。

1 [Ⓞ]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [フラッシュモード]を設定する

●  →  →  → [フラッシュモード]


 (強制発光) /  (赤目軽減強制発光)

フラッシュが強制的に発光します。逆光下や蛍光灯などの照明下での撮影に適しています。

 S (スローシンクロ) /  S (赤目軽減スローシンクロ)





フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景も明るく写します。

- シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。

 (発光禁止)

フラッシュは発光しません。








- フラッシュは2回発光します。特に[], [] 設定時は、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。
- 以下を設定しているときは、[], [] は使用できません。
 - [発光モード]: [マニュアル]
 - [フラッシュシンクロ]: [後幕]
 - [ワイヤレスモード]: [ON]
- 外部フラッシュ側の設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できないことがあります。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。




❖ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(✓: 設定可、—: 設定不可)

撮影モード					
P / A	✓	✓	✓	✓	✓
S / M	✓	✓	—	—	✓



- [iA]モード時は、[iA]または[]に設定できます。[iA]では、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

発光モード、マニュアル発光量設定

フラッシュの発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。



- 一部の外部フラッシュ装着時に、設定した内容が有効になります。
上記以外は、フラッシュ側で設定してください。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 発光モードを設定する

- → [📷] → [⚡] → [発光モード]

TTL

フラッシュの発光量をカメラが自動で設定します。

マニュアル

フラッシュの発光量を手動で設定します。

- [TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンでも、意図どおりの撮影ができます。
- 撮影画面のフラッシュアイコンに発光量([1/1]など)が表示されます。

3 ([マニュアル]設定時)[マニュアル発光量設定]を選び、

を押す

4 ◀▶で発光量を設定し、を押す

- [1/1](フル発光)～[1/128]の範囲で、1/3段ごとに設定できます。



フラッシュ光量調整

TTLの発光モードでフラッシュ撮影するとき、フラッシュの発光量を調整できます。

1 [Q]モードにする

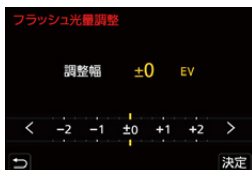
(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [フラッシュ光量調整]を選ぶ

●  → [Q] → [⚡] → [フラッシュ光量調整]

3 ◀▶で発光量を調整し、を押す

● -3 EV~+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。



- 撮影画面に[⚡]が表示されます。
- ワイヤレスフラッシュ撮影時のフラッシュ光量調整について(→ [フラッシュ光量調整: 351](#))
- 以下を設定しているときは、[フラッシュ光量調整]は使用できません。
 - [発光モード]: [マニュアル]
 - [ワイヤレスモード]: [ON]

フラッシュシンクロ

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。

1 [📷]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [フラッシュシンクロ]を設定する

●  →  →  → [フラッシュシンクロ]

先幕

一般的なフラッシュ撮影の方法です。



後幕

被写体の後方に光源が写り、躍動感が出ます。





- [後幕]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[先幕]に固定されます。
 - [ワイヤレスモード]
 - [ライブビューコンポジット撮影]
- シャッタースピードが速いときは、効果が十分に得られないことがあります。

露出補正連動

露出補正量(→[露出補正: 280](#))に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。

1 [📷]モードにする

(→[写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [露出補正連動]を設定する

-  →  →  → [露出補正連動]

設定: [ON] / [OFF]

ワイヤレスフラッシュ撮影



S&Q

iA P A S M

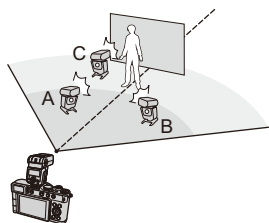
外部フラッシュを使って、ワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つの発光グループとカメラのホットシューに装着したフラッシュの発光を別々に制御できます。

❖ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。

設置例

発光グループA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合



- 設置範囲は周辺の環境により異なります。
- ワイヤレスフラッシュの設置台数は、1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎると、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると、影響を緩和できます。(→ [ワイヤレス通信光量: 352](#))

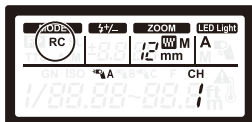
1 カメラに外部フラッシュを取り付ける

(→ [ホットシューカバーの取り外し: 336](#))



2 ワイヤレスフラッシュの設定を[RC]モードにして配置する

• ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

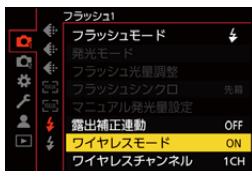


3 [📷]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

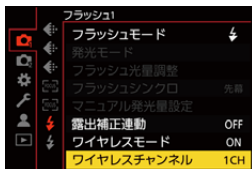
4 カメラのワイヤレスフラッシュ機能を有効にする

- **MENU/SET** ⇒ **[カメラアイコン]** ⇒ **[ワイヤレスフラッシュアイコン]** ⇒ **[ワイヤレスモード]** ⇒ **[ON]**



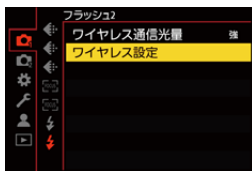
5 [ワイヤレスチャンネル]を設定する

- ワイヤレスフラッシュ側と同じチャンネルを選びます。



6 [ワイヤレス設定]を設定する

- 発光モードと発光量を設定します。



- [ワイヤレスモード]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。

❖ 設定項目(ワイヤレス設定)

- テスト発光するには、[DISP.] ボタンを押してください。

ワイヤレスフラッシュ設定		
外部フラッシュ	TTL	±0 EV
Aグループ	TTL	+1/3 EV
Bグループ	AUTO	
Cグループ	マニュアル	1/2




DISP. テスト発光

外部フラッシュ	発光モード	<p>[TTL]: カメラが自動で発光量を設定します。</p> <p>[AUTO]: 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。</p> <p>[マニュアル]: 外部フラッシュの発光量を手動で設定します。</p> <p>[OFF]: 外部フラッシュは通信発光だけ行いません。</p>
	フラッシュ光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	<p>[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

Aグループ／B グループ／C グループ	発光モード	<p>[TTL]:カメラが自動で発光量を設定します。</p> <p>[AUTO]:ワイヤレスフラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。</p> <p>[マニュアル]:ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で設定します。</p> <p>[OFF]:設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。</p>
	フラッシュ光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	<p>[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

❖ ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。

 →  →  → [ワイヤレス通信光量]を選ぶ


設定: [強] / [中] / [弱]

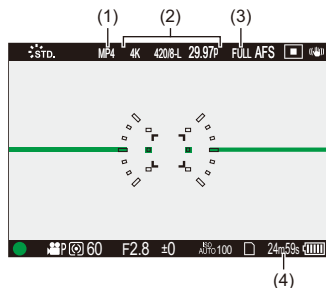
動画の設定

動画を撮影するときの設定について説明しています。

- 動画撮影に適した表示: 354
- 写真・動画/S&Q独立設定: 355
- AFを使う(動画): 356
- 動画の明るさ、色合い: 359
- 音声の設定: 364
- 外部マイク(別売): 373
- XLRマイクロホンアダプター(別売): 376
- デジタルガンマイクロホン(別売): 381
- 主なアシスト機能: 386

動画撮影に適した表示

[] / [S&Q] モード時は、撮影画面の以下の部分が、動画撮影に適した表示に切り換わります。




- (1) 記録ファイル形式(動画) (→ [記録ファイル形式\(動画\): 128](#))
 - (2) 動画画質 (→ [動画画質: 129](#)) / スロー & クイック設定 (→ [スロー & クイック動画: 397](#))
 - (3) 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 142](#))
 - (4) 動画記録時間 (→ [動画記録時間\(h:時間, m:分, s:秒\): 682](#))
- お買い上げ時の表示例です。ここに記載している以外のアイコンについて (→ [モニター/ファインダーの表示: 632](#))

写真・動画/S&Q独立設定



初期設定では、[📷]モード時と[📷]／[S&Q]モード時とで露出やホワイトバランスなどの設定は別々になります。写真撮影時と動画撮影時の設定を独立させるか共通にするかを選択できます。

 → [⚙️] → [🏠] → [写真・動画/S&Q独立設定]を選ぶ

絞り値/SS/ISO/露出補正／ホワイトバランス／フォトスタイル／測光モード／AFモード：

[独立]: [📷]モードと[📷]／[S&Q]モードの撮影設定を分けます。

[共通]: [📷]モードと[📷]／[S&Q]モードの撮影設定が連動します。



- [iA]モードはカメラが自動で最適な撮影設定をするため、本機能の設定にかかわらず、独立した撮影設定になります。
- [独立]から[共通]に変更した場合、[📷]モードの設定内容が適用されます。([📷]／[S&Q]モードの設定内容は消去されます)

AFを使う(動画)

- [AFカスタム設定\(動画\): 356](#)
- [動画ライブビュー拡大表示: 357](#)

AFカスタム設定(動画)



[AFC]で動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

1 [📷]または[S&Q]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [AFカスタム設定(動画)]を設定する

- → → → [AFカスタム設定(動画)]

ON	下記の設定を有効にします。	
OFF	下記の設定を無効にします。	
設定	AF駆動速度	[+]側: 速いスピードでピントを合わせます。 [-]側: 緩やかなスピードでピントを合わせます。
	AF追従感度	[+]側: 被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 [-]側: 被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。

- [DISP.] ボタンを押すと、項目の説明が画面に表示されます。

動画ライブビュー拡大表示



S&Q

iA P A S M

AFモードが[]、[]、[]のとき、またはMFで撮影中に、ピント位置を拡大表示します。(AFモードが[]、[]のときは、画面中央が拡大表示されます)

動画撮影中にもピント位置を拡大して確認できます。

- 1 Fnボタンに[動画ライブビュー拡大表示]を登録する(→Fnボタン:484)
- 2 []または[S&Q]モードにする
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)
- 3 ピント位置を拡大表示する
 - 手順1で設定したFnボタンを押します。
 - 拡大表示画面の操作は、MFアシスト画面の操作と同じです。(→MFアシスト画面での操作:191)





- 以下の機能を使用すると、拡大表示の倍率は3倍に固定されます。
 - [クロップズーム(動画)]
- 以下の機能を使用して動画撮影中は、動画ライブビュー拡大表示画面を表示できません。
 - 記録フレームレートが60.00pを超えるハイフレームレート動画用の[動画画質]
 - [ライブクロップ]



- 拡大表示画面の表示方法を変更できます：
(→ [動画ライブビュー拡大表示設定: 529](#))

動画の明るさ、色合い

- 輝度レベル設定: 359
- 白飛びを抑えて撮影する(二一): 361
- ISO感度設定(動画): 363

輝度レベル設定



S&Q

iA P A S M

動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

動画の基準である [16-235] や [16-255]、写真と同様に輝度の全域を使用する [0-255] を設定できます。

- 1 [S&Q] または [S&Q] モードにする
(→ 写真/動画/S&Q 切り換えスイッチ: 65)

- 2 [輝度レベル設定] を設定する

- → → → [輝度レベル設定]

[0-255]([0-1023])

フルレンジで動画を記録するための設定です。

[16-235]([64-940])

ビデオレンジで動画を記録するための設定です。

[16-255]([64-1023])

ビデオレンジで動画を記録するための設定です。

- 使用するモニター、動画再生ソフト、動画編集ソフトによっては、正しい階調で表示されない場合があります。



- 10 bitの[動画画質]に設定しているときは、設定項目が[0-1023]、[64-940]、[64-1023]に切り換わります。
- [フォトスタイル]を[V-Log]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])に設定しているときは、[0-255]([0-1023])に固定されます。ただし、[フォトスタイル]を[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])に設定、またはマイフォトスタイルでフォトスタイルを[V-Log]に設定しても、[Vlog_709]のLUTファイルを適用したときは、[16-255]([64-1023])に固定されます。
- [フォトスタイル]を[ハイブリッドログガンマ]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[ハイブリッドログガンマ])に設定しているときは、[64-940]に固定されます。

白飛びを抑えて撮影する(二)



[フォトスタイル]を[709ライク]に設定すると、ニーを調整して白飛びを抑えた撮影ができます。

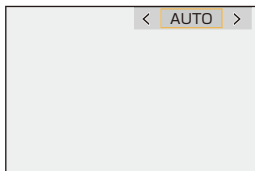
1 [フォトスタイル]を[709ライク]に設定する

- → [カメラ] / [ビデオ] → [設定] → [フォトスタイル] → [709ライク]

2 [Q]ボタンを押す

3 ニー設定を選ぶ

- ◀▶ で設定項目を選びます。



AUTO

自動で高輝度部分の圧縮レベルを調整します。



MANUAL

圧縮を開始する輝度(ニーマスターポイント)と圧縮の強さ(ニーマスタースロープ)を任意に設定します。

▲▼で項目を選び、◀▶で調整する


[POINT]:ニーマスターポイント

[SLOPE]:ニーマスタースロープ

-  を回すとニーマスターポイントを、 を回すとニーマスタースロープを調整できます。
 - 以下の範囲で設定できます。
 - ニーマスターポイント:80.0~107.0
 - ニーマスタースロープ:0~99
-

OFF

4 決定する

-  を押します。

ISO感度設定(動画)



ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。

- 1 [📷]または[S&Q]モードにする
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)
- 2 [ISO感度設定(動画)]を設定する
• → [👤] → [🔧] → [ISO感度設定(動画)]

❖ 設定項目(ISO感度設定(動画))

ISOオート下限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限を設定します。

- センサー出力60 fps以下:100 ~ 6400の範囲で設定できます。
- センサー出力61 fps以上:100 ~ 1600 / 3200*の範囲で設定できます。

ISOオート上限設定

ISO感度[AUTO]時のISO感度の上限を設定します。

- センサー出力60 fps以下:200 ~ 12800の範囲で設定できます。
- センサー出力61 fps以上:200 ~ 3200 / 6400*の範囲で設定できます。

* [拡張ISO感度]設定時



• 使用するフォトスタイルによって、ISO感度を設定できる範囲は異なります。

音声の設定

- 録音レベル表示: 365
- 音声入力ミュート: 365
- 録音ゲイン切替: 366
- 録音レベル設定: 367
- 録音音質: 368
- 録音レベルリミッター: 370
- 風音キャンセラー: 371
- レンズ動作音低減: 372
- オーディオ情報表示: 372




録音レベル表示

録音レベルを撮影画面に表示します。

1 [🔊]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [録音レベル表示]を設定する

●  → [👤] → [🔊] → [録音レベル表示]を選ぶ

ON	録音レベルを撮影画面に表示します。	
OFF	—	
設定	録音レベルの表示サイズを設定します。	
	表示サイズ	[大]/[小]



• [録音レベルリミッター]が[OFF]のとき、[録音レベル表示]は[ON]に固定されます。


音声入力ミュート

音声入力をミュートにします。

1 [🔊]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [音声入力ミュート]を設定する

●  → [👤] → [🔊] → [音声入力ミュート]

設定: [ON]/[OFF]



• 撮影画面に[🔊]が表示されます。

録音ゲイン切換

音声入力のゲインを切り換えます。

1 [⌘]モードにする

(→[写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [録音ゲイン切換]を設定する

•  →  →  → [録音ゲイン切換]

標準

標準の入力ゲイン設定です。(0 dB)

低

音量が大きい環境で、音声入力を抑えて記録します。(-12 dB)



- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、CH3/CH4の録音ゲインを調整できます。(→[4chオーディオ記録: 379](#))
- [マイク端子]を[LINE]にして、外部音声機器を接続しているときは、[録音ゲイン切換]は使用できません。

録音レベル設定

録音レベルを手動で調整します。

1 [⏏]モードにする


(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [録音レベル設定]を設定する

-  → [] → [] → [録音レベル設定]
- ◀▶ で録音レベルを調整し、 を押す。

設定: [MUTE] / [-18 dB] ~ [+12 dB]



- 1 dBごとに調整できます。
- 動画記録中にも設定できます。
- 表示されるdB値は目安です。
- [MUTE]に設定すると、撮影画面にが表示されます。
- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、CH3 / CH4の録音レベルを調整できます。(→ [4chオーディオ記録: 379](#))

録音音質

[記録ファイル形式(動画)]が[MOV]のときの動画の音質を設定します。XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)またはデジタルガンマイクホン(別売:DMW-DMS1)を接続すると、32bit フロート録音ができます。

1 [⦿]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [録音音質]を設定する

●  ⇒  ⇒  ⇒ [録音音質]

96kHz/32bit

96kHz/32bitのフロート形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプターを接続し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のときに設定できます。
- デジタルガンマイクホンを接続し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のときに設定できます。

48kHz/32bit

48kHz/32bitのフロート形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプターを接続し、[4chオーディオ記録]が[XLR]または[OFF]のときに設定できます。
 - デジタルガンマイクホン接続時に設定できます。
-

96kHz/24bit

96kHz/24bitのリニア形式で音声を記録します。

- XLRマイクロホンアダプター、ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)、ステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)接続時に設定できます。
- デジタルガンマイクロホンを接続し、[4chオーディオ記録]が[OFF]のときに設定できます。

48kHz/24bit

48kHz/24bitのリニア形式で音声を記録します。



- 以下の場合は、[48kHz/16bit]に固定されます。
 - [記録ファイル形式(動画)]を[MP4(Lite)]/[MP4]に設定時
- フロート形式とリニア形式の切り換えを行うと、記録音量が変化する場合があります。

録音レベルリミッター

録音レベルを自動で調整し、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

1 [⌘]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [録音レベルリミッター]を設定する

•  →  →  → [録音レベルリミッター]

設定: [ON] / [OFF]




風音キャンセラー

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

1 [⌘]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [風音キャンセラー]を設定する

●  →  →  → [風音キャンセラー]

強

強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減します。

標準

音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減します。

OFF




機能をオフにします。



- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- [風音キャンセラー]は、内蔵マイクにだけ働きます。外部マイク接続時は[風音低減]が表示されます。(→ [風雑音の低減: 375](#))

レンズ動作音低減

動画撮影中に記録されるズーム動作音を低減します。

 →  →  → **[レンズ動作音低減]**を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- 設定時は通常と音質が変わる場合があります。

オーディオ情報表示

音声の設定や記録状況をまとめて確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。

- オーディオ情報表示画面の操作は、コントロールパネルの操作と同じです。(→ [コントロールパネル: 83](#))

1 Fnボタンに[オーディオ情報表示]を登録する

(→ [Fnボタン: 484](#))

2 オーディオ情報を表示する

- 手順 **1** で設定した Fn ボタンを押します。
- コントロールパネル(動画モード / S&Q モード)の音声表示エリアをタッチしても表示できます。
- 画面表示について(→ [オーディオ情報表示: 645](#))

外部マイク(別売)

- 収音範囲の設定(別売:DMW-MS2): 375
- 風雑音の低減: 375



iA P A S M

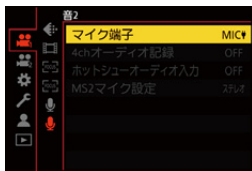
ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクよりも高音質なハイレゾ音声を記録できます。

1 [マイク]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)

2 接続する機器に合わせて[マイク端子]を設定する

- [MENU/SET] → [マイク] → [マイク] → [マイク端子]



MIC⇩マイク入力(Plug-in Power)

カメラの[MIC]端子から電源供給が必要な外部マイクを接続するとき

MICマイク入力

カメラの[MIC]端子から電源供給が不要な外部マイクを接続するとき

LINEライン入力

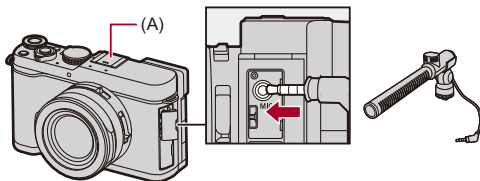
ライン出力する外部音声機器を接続するとき

- ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)装着時は、[MIC Ψ]に固定されます。
- [MIC Ψ]設定時に、電源供給が不要な外部マイクを接続すると、接続した外部マイクが故障する場合があります。接続前にご確認ください。

3 電源スイッチを[OFF]にする

4 カメラに外部マイクをつなぎ、カメラの電源を入れる

- 外部マイクをカメラのホットシュー(A)に取り付ける場合は、ホットシューカバーを取り外してください。(→ [ホットシューカバーの取り外し: 336](#))



5 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する

(→ [録音音質: 368](#))



- ステレオマイクロホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- 外部マイク接続中は、画面に[EXT]が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、外部マイクを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

收音範囲の設定(別売:DMW-MS2)

ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)使用時、マイクの收音範囲を設定できます。

1 [⏏]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [MS2マイク設定]を設定する

-  →  →  → [MS2マイク設定]

ステレオ

広い範囲の音を收音します。

ガン

周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を收音します。




風雑音の低減

外部マイク接続時の風雑音を低減します。

1 [⏏]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [風音低減]を設定する

-  →  →  → [風音低減]

設定: [強] / [中] / [弱] / [OFF]



• [風音低減]を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。

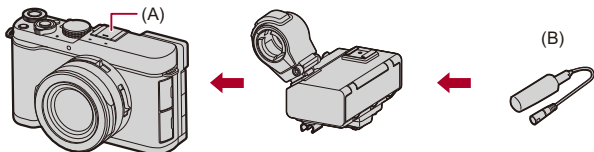
XLRマイクロホンアダプター(別売)

- 4chオーディオ記録: 379



iA P A S M

XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR2)を装着すると、市販のXLRマイクなどを使用して高音質な32bitフロート録音や4チャンネルの音声記録ができます。(→ [録音音質: 368](#)、[4chオーディオ記録: 379](#))






(A) ホットシュー

(B) 市販のXLRマイクなど

準備:

- カメラの電源を切り、ホットシューカバーを取り外す(→ [ホットシューカバーの取り外し: 336](#))

1 ホットシューにXLRマイクロホンアダプターを取り付け、カメラの電源を入れる

- [MENU]モードにする(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65](#))
-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ホットシューオーディオ入力]
- XLRマイクロホンアダプターを装着すると、[ホットシューオーディオ入力]が自動で[ON]になります。

ON

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声を記録します。

OFF

カメラの内蔵マイクの音声を記録します。

2 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する (→ [録音音質:368](#))



別売のXLRマイクロホンアダプターDMW-XLR1について

DMW-XLR1(別売)もお使いいただけますが、以下の制約があります。

- 以下の機能は使用できません。
 - [4chオーディオ記録]の[XLR]
 - [録音音質]の[96kHz/32bit]、[48kHz/32bit]
- DMW-XLR2(別売)をお使いいただくことをお勧めします。



- XLRマイクロホンアダプター装着時は、画面に[XLR]が表示されます。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、以下の制限があります。
 - [ホットシューオーディオ入力]を[ON]に設定し、[4chオーディオ記録]が[XLR]または[OFF]のとき、以下の設定が固定されます。
 - [録音レベルリミッター]:[OFF]
 - [風音キャンセラー]:[OFF]
 - [ホットシューオーディオ入力]を[ON]に設定し、[4chオーディオ記録]が[XLR]または[OFF]のとき、[録音ゲイン切換]や[録音レベル設定]は使用できません。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、XLRマイクロホンアダプターを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- カメラの電源を入れた直後に動画撮影を開始すると、冒頭に無音区間ができる場合があります。
- 詳しくは、XLRマイクロホンアダプターの取扱説明書をお読みください。
- カメラの温度が上がり、画面に[△]が点灯表示されている場合は、温度上昇から本機を保護するため、XLRマイクロホンアダプターの動作を停止します。

4chオーディオ記録


市販のXLRマイクなどを接続したXLRマイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR2)を使って、4チャンネルの音声を記録できます。

内蔵マイクの代わりにステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を使用すると、96kHz/24bitのハイレゾ音声での4チャンネル記録も可能です。(→外部マイク(別売): 373)

1 [🔊]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)

2 [4chオーディオ記録]を設定する

●  → [👤] → [🔊] → [4chオーディオ記録]

XLR

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2 / CH3 / CH4に記録します。

XLR+カメラ

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2に記録します。

CH3 / CH4にはカメラの内蔵マイクまたはカメラに接続した外部マイクの音声を記録します。

OFF

XLRマイクロホンアダプターに接続した機器の音声をCH1 / CH2に記録します。



- [4chオーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、画面に[4ch]と表示されます。
- [記録ファイル形式(動画)]が[MP4(Lite)]／[MP4]のときは設定できません。
- [ホットシューオーディオ入力]が[OFF]のときは設定できません。

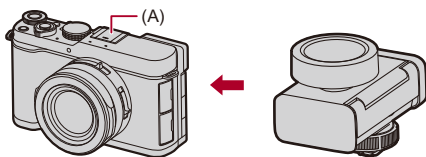
デジタルガンマイクロホン(別売)

- 4chオーディオ記録: 384
- DMS1 ボタン輝度: 385



iA P A S M

デジタルガンマイクロホン(別売:DMW-DMS1)を装着すると、高音質な32bitフロート録音やバックアップ録音(4chオーディオ記録)ができます。
(→ 録音音質: 368、4chオーディオ記録: 384)






(A) ホットシュー

準備:

- カメラの電源を切り、ホットシューカバーを取り外す(→ [ホットシューカバーの取り外し: 336](#))

1 ホットシューにデジタルガンマイクロホンを取り付け、カメラの電源を入れる

- [MENU/SET]モードにする(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65](#))
-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ホットシューオーディオ入力]
- デジタルガンマイクロホンを装着すると、[ホットシューオーディオ入力]が自動で[ON]になります。

ON

デジタルガンマイクロホンの音声を記録します。

OFF

カメラの内蔵マイクの音声を記録します。

2 [録音音質]で記録する音声の音質を設定する (→ [録音音質:368](#))



- デジタルガンマイクロホン本体でCH1 / CH2の指向性を設定できます。
- デジタルガンマイクロホン装着時は、画面に[DMS1]が表示されます。
- デジタルガンマイクロホン装着時は、以下の制限があります。
 - [ホットシューオーディオ入力]が[ON]のとき、以下の設定が固定されます。
 - [録音レベルリミッター]:[OFF]
 - [風音キャンセラー]:[OFF]
 - [ホットシューオーディオ入力]が[ON]のとき、[録音ゲイン切換]や[録音レベル設定]は使用できません。
- デジタルガンマイクロホン装着時は、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- デジタルガンマイクロホン装着時は、デジタルガンマイクロホンを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- カメラの電源を入れた直後に動画撮影を開始すると、冒頭に無音区間ができる場合があります。
- 詳しくは、デジタルガンマイクロホンの取扱説明書をお読みください。
- カメラの温度が上がり、画面に[△]が点灯表示されている場合は、温度上昇から本機を保護するため、デジタルガンマイクロホンの動作を停止します。




4chオーディオ記録

デジタルガンマイクロホン(別売:DMW-DMS1)を使って、4チャンネルの音声を記録できます。

1 [🔊]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 [4chオーディオ記録]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [4chオーディオ記録]
- CH1 / CH2はデジタルガンマイクロホンで設定した指向性に合わせて記録します。

DMS1 バックアップ1

デジタルガンマイクロホンの音声をCH1 / CH2 / CH3 / CH4に記録します。

- CH3は全範囲の指向性でバックアップ音声として記録します。
- CH4は全範囲の指向性でCH3より20 dB小さい音でバックアップ音声として記録します。

DMS1 バックアップ2

デジタルガンマイクロホンの音声をCH1 / CH2 / CH3 / CH4に記録します。

- CH3はCH1と同じ指向性でCH1より20 dB小さい音でバックアップ音声として記録します。
- CH4はCH2と同じ指向性でCH2より20 dB小さい音でバックアップ音声として記録します。

OFF




デジタルガンマイクロホンの音声をCH1 / CH2に記録します。



- [4ch オーディオ記録]を[OFF]以外に設定しているときは、画面に[4ch]と表示されます。
- [記録ファイル形式(動画)]が[MP4(Lite)]／[MP4]のときは設定できません。
- [ホットシューオーディオ入力]が[OFF]のときは設定できません。

DMS1 ボタン輝度

デジタルガンマイクロホンの指向性ボタンが点灯するときの輝度を設定できます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [ホットシューオーディオ入力] ⇒ [設定]
⇒ [DMS1 ボタン輝度]を選ぶ

設定: [H]／[M]／[L]

主なアシスト機能

- 動画撮影時のフリッカー軽減: 387
- WFM表示: 388
- スポット輝度メーター: 390
- ゼブラパターン表示: 391
- フレーム表示: 393



- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))には、センターマーカーやセーフティゾーンマーカーなどの表示アシスト機能があります。
(→ [カスタムメニュー\(モニター/表示\(動画\)\)](#): 545)

動画撮影時のフリッカー軽減



S&Q

iA P A S M

[]モードで動画撮影する場合に、動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。

- [写真モードの動画露出自動制御]が[ON]のときに設定できます。(→ [写真モードの動画露出自動制御: 521](#))

1 []モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [動画撮影時のフリッカー軽減]を設定する

- → [] → [] → [動画撮影時のフリッカー軽減]

1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120

OFF



- 動画のフレームレートより遅い数値には設定できません。

WFM表示



S&Q

iA P A S M

撮影画面にウェーブフォームを表示します。ウェーブフォームは、表示サイズを変更できます。

1 [WFM表示]を設定する

- → → → [WFM表示]

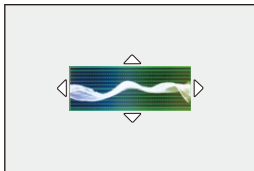
ON

ウェーブフォームを表示します。

OFF

2 表示する位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で選択し、 を押します。
- タッチ操作でも移動できます。
- を回すと、ウェーブフォームの大きさを変更できます。
- 位置を中央に戻すには [DISP.] ボタンを押してください。もう一度 [DISP.] ボタンを押すと大きさを初期設定に戻すことができます。



❖ 画面の表示

ウェーブフォーム

- 本機のウェーブフォームでは、輝度値を以下として表示します。

0 % (IRE^{*}) = 輝度値 16 (8 bit) / 64 (10 bit)

100 % (IRE^{*}) = 輝度値 235 (8 bit) / 940 (10 bit)

* IRE : Institute of Radio Engineers



(A) 109 % (IRE) (点線)

(B) 100 % (IRE)

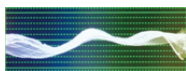
(C) 50 % (IRE)

(D) 0 % (IRE)

(E) -4 % (IRE) (点線)

(F) 0 % ~ 100 % の間は、10 % ごとに点線を表示

表示例:



- Fn ボタンに機能を登録すると、動画撮影中に表示 / 非表示を切り換えることができます。(→ [Fn ボタン: 484](#))
- 撮影画面上でドラッグしても位置を移動できません。
- 縦表示にすると、ウェーブフォームは非表示になります。

スポット輝度メーター



S&Q

iA P A S M

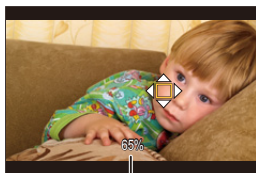
被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。

1 [スポット輝度メーター]を設定する

- → [設定] → → [スポット輝度メーター] → [ON]

2 輝度を測る位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で選択し、 を押します。
- 撮影画面上で枠をドラッグしても位置を移動できます。
- 位置を中央に戻すには[DISP]ボタンを押してください。



(G)

(G) 輝度値

❖ 測定範囲

-7%～109%(IRE)の範囲を測定できます。

- [フォトスタイル]が[V-Log]のときは、Stopの単位で測定します。(18%グレーの出力レベルを0 Stopで換算します)

ゼブラパターン表示



S&Q

iA P A S M

基準値より明るい部分をしま模様で表示します。

また、基準と幅を設定して、指定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示することもできます。



ゼブラ1



ゼブラ2



ゼブラ1+2



→ [設定] → [] → [ゼブラパターン表示] を選ぶ

ゼブラ1	基準値より明るい部分をゼブラ1のしま模様で表示します。	
ゼブラ2	基準値より明るい部分をゼブラ2のしま模様で表示します。	
ゼブラ1+2	[ゼブラ1]、[ゼブラ2]の両方を表示します。	
OFF	—	
設定	基準の明るさを設定します。	
	ゼブラ1	[50%]～[105%] / [基準/幅]
	ゼブラ2	[50%]～[105%] / [基準/幅]

❖ [設定]で[基準/幅]を選択したとき

[基準]で設定した明るさを中心に、[幅]で設定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示します。

- [基準]は0%～109%(IRE)の範囲で設定できます。
- [幅]は±1%～±10%(IRE)の範囲で設定できます。
- [フォトスタイル]が[V-Log]のときは、Stopの単位で設定します。(18%グレーの出力レベルを0 Stopで換算します)



- [基準/幅]設定時は、[ゼブラ1+2]は選択できません。

フレーム表示



S&Q

iA P A S M

設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。(最大3つ)
後工程でトリミング(クロップ)するときの画角をイメージしながら撮影
できます。



⇒ [設定] ⇒ [フレーム表示] ⇒ [フレーム表示] を選ぶ

ON	撮影画面に枠を表示します。	
OFF	—	
設定	フレーム1	[フレーム1]/[フレーム2]/[フレーム3]の 設定をお読みください。
	フレーム2	
	フレーム3	
	フレームマスク	枠の外側の不透明度を設定します。 [100%]/[75%]/[50%]/[25%]/[OFF]
	ライブビューの タッチ操作	[ON]に設定しているときは、撮影画面でフレ ームをタッチすると、[サイズ・位置設定]の設定画 面が表示されます。 [ON]/[OFF]

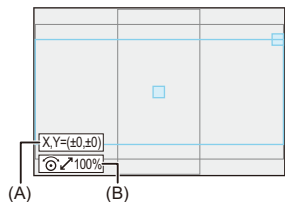
[フレーム1]/[フレーム2]/[フレーム3]の設定

フレーム横縦比	枠の横縦比を設定します。 [2.39:1]/[2.35:1]/[2.00:1]/[17:9]/ [1.85:1]/[16:9]/[3:2]/[4:3]/[5:4]/[7:6] /[1:1]/[6:7]/[4:5]/[3:4]/[2:3]/[9:16] /[9:17]/[カスタム]/[OFF]
フレーム色	枠の色を設定します。
サイズ・位置設定	フレームの大きさと位置を設定します。

❖ [サイズ・位置設定]を選択したとき

フレームの横縦比を維持したまま、フレームの大きさと位置を変更できます。

- [フレーム横縦比]で[カスタム]を選択した場合は、フレームの高さや幅と位置を変更できます。(→[フレーム横縦比]の[カスタム]の設定方法: 395)
- ▲▼◀▶で中心の位置を移動します。
- 🌞 または 📏 で大きさを設定します。
- 撮影画面上でフレーム内の中心の枠をドラッグすると位置を移動できます。フレームの右上の枠をドラッグすると大きさを変更できます。
- [Q] ボタンを押すと、変更するフレームを切り換えます。



(A) 中心の座標 (画面中央を0とする)

(B) フレームの大きさ

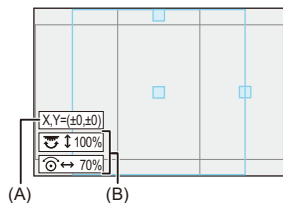
- フレームの大きさは20%～100%の範囲で設定できます。
- [DISP] ボタンを押すと、1回目はフレームの位置を中央に戻します。2回目はフレームの大きさを初期設定に戻します。

❖ [フレーム横縦比]の[カスタム]の設定方法

[フレーム横縦比]の[カスタム]の設定は、[サイズ・位置設定]で行います。

- 1 [フレーム表示]メニューで[設定]を選ぶ
- 2 [フレーム1]～[フレーム3]のいずれかを選び、[フレーム横縦比]で[カスタム]を選ぶ
- 3 [サイズ・位置設定]を選ぶ

- ▲▼◀▶ で中心の位置を移動します。
- 🌞 でフレームの高さ、🌀 でフレームの幅を設定します。
- 撮影画面上でフレーム内の中心の枠をドラッグすると位置を移動できます。フレーム上部または右端の枠をドラッグすると高さや幅を変更できます。
- [Q] ボタンを押すと、変更するフレームを切り換えます。



- (A) 中心の座標 (画面中央を0とする)
 (B) フレームの高さと幅

- フレームの高さと幅は20%～100%の範囲で設定できます。
- [DISP.] ボタンを押すと、1回目はフレームの位置を中央に戻します。2回目はフレームの高さと幅を初期設定に戻します。

特殊な動画撮影

本章では、スローモーション／クイックモーション動画やLog撮影など、応用的な動画撮影について説明しています。

- スロー & クイック動画: 397
- ハイフレームレート動画: 411
- フォーカストランジション: 414
- ライブクロップ: 418
- Log撮影する: 423
- HLG動画: 427
- シンクロスキャン(動画): 430
- 特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 432

スロー&クイック動画



S&Q

iA P A S M

[S&Q]モードでは、記録フレームレートと異なるフレームレートで撮影し、MOV形式のスローモーション動画、クイックモーション動画を作成できます。

スローモーション動画(オーバークランク撮影)

フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより多く設定してください。

例) 29.97pの[動画画質]に設定しているときに60 fpsで撮影すると、1/2倍速になります。

クイックモーション動画(アンダークランク撮影)

フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより少なく設定してください。

例) 29.97pの[動画画質]に設定しているときに15 fpsで撮影すると、2倍速になります。



- 映像圧縮方式がALL-Intraの動画画質は、スロー&クイック動画を撮影できません。
- スローモーション動画は、記録するデータ量が増えるため、カードの書き込み速度が足りない場合、記録が停止することがあります。

1 [S&Q]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

- [記録ファイル形式(動画)]が[MOV]になります。







2 スロー&クイック動画を撮影できる動画画質を選ぶ

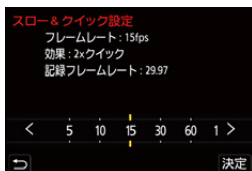
●  →  →  → [動画画質]

- スロー&クイック動画を撮影できる項目には、[S&Q可能]と表示されます。
- スロー&クイック動画を撮影できる動画画質 (→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧:432](#))



3 フレームレートを設定する

-  →  →  → [スロー&クイック設定]
-  または  を回して数値を選び、 を押します。



❖ フレームレートの組み合わせと再生速度

[動画撮影範囲]が[FULL]のとき

フレームレート	システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]	
	5.6K/29.97p	5.6K/23.98p
1 fps	30×クイック	24×クイック
2 fps	15×クイック	12×クイック
5 fps	6×クイック	4.8×クイック
10 fps	3×クイック	2.4×クイック
15 fps	2×クイック	1.6×クイック
30 fps	効果なし(1×)	1.25×スロー
60 fps	2×スロー	2.5×スロー
75 fps		
100 fps		
120 fps		
150 fps		
180 fps		
200 fps		
240 fps		
300 fps		

フレームレート	システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]		
	C4K/59.94p 4K/59.94p	C4K/29.97p 4K/29.97p	C4K/23.98p 4K/23.98p
1 fps	60×クイック	30×クイック	24×クイック
2 fps	30×クイック	15×クイック	12×クイック
5 fps	12×クイック	6×クイック	4.8×クイック
10 fps	6×クイック	3×クイック	2.4×クイック
15 fps	4×クイック	2×クイック	1.6×クイック
30 fps	2×クイック	効果なし(1×)	1.25×スロー
60 fps	効果なし(1×)	2×スロー	2.5×スロー
75 fps	1.25×スロー	2.5×スロー	3.13×スロー
100 fps	1.67×スロー	3.33×スロー	4.17×スロー
120 fps	2×スロー	4×スロー	5×スロー
150 fps			
180 fps			
200 fps			
240 fps			
300 fps			

フレームレート	システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]		
	FHD/59.94p	FHD/29.97p	FHD/23.98p
1 fps	60×クイック	30×クイック	24×クイック
2 fps	30×クイック	15×クイック	12×クイック
5 fps	12×クイック	6×クイック	4.8×クイック
10 fps	6×クイック	3×クイック	2.4×クイック
15 fps	4×クイック	2×クイック	1.6×クイック
30 fps	2×クイック	効果なし(1×)	1.25×スロー
60 fps	効果なし(1×)	2×スロー	2.5×スロー
75 fps	1.25×スロー	2.5×スロー	3.13×スロー
100 fps	1.67×スロー	3.33×スロー	4.17×スロー
120 fps	2×スロー	4×スロー	5×スロー
150 fps	2.5×スロー	5×スロー	6.25×スロー
180 fps	3×スロー	6×スロー	7.5×スロー
200 fps	3.33×スロー	6.67×スロー	8.33×スロー
240 fps	4×スロー	8×スロー	10×スロー
300 fps	5×スロー	10×スロー	12.5×スロー

フレームレート	システム周波数:[50.00Hz(PAL)]		
	5.6K/25.00p	C4K/50.00p 4K/50.00p	C4K/25.00p 4K/25.00p
1 fps	25×クイック	50×クイック	25×クイック
2 fps	12.5×クイック	25×クイック	12.5×クイック
5 fps	5×クイック	10×クイック	5×クイック
10 fps	2.5×クイック	5×クイック	2.5×クイック
15 fps	1.67×クイック	3.33×クイック	1.67×クイック
30 fps	1.2×スロー	1.67×クイック	1.2×スロー
60 fps	2.4×スロー	1.2×スロー	2.4×スロー
75 fps		1.5×スロー	3×スロー
100 fps		2×スロー	4×スロー
120 fps		2.4×スロー	4.8×スロー
150 fps			
180 fps			
200 fps			
240 fps			
300 fps			

フレームレート	システム周波数:[50.00Hz(PAL)]	
	FHD/50.00p	FHD/25.00p
1 fps	50×クイック	25×クイック
2 fps	25×クイック	12.5×クイック
5 fps	10×クイック	5×クイック
10 fps	5×クイック	2.5×クイック
15 fps	3.33×クイック	1.67×クイック
30 fps	1.67×クイック	1.2×スロー
60 fps	1.2×スロー	2.4×スロー
75 fps	1.5×スロー	3×スロー
100 fps	2×スロー	4×スロー
120 fps	2.4×スロー	4.8×スロー
150 fps	3×スロー	6×スロー
180 fps	3.6×スロー	7.2×スロー
200 fps	4×スロー	8×スロー
240 fps	4.8×スロー	9.6×スロー
300 fps	6×スロー	12×スロー

フレームレート	システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]	
	5.6K/24.00p	C4K/24.00p 4K/24.00p
1 fps	24×クイック	24×クイック
2 fps	12×クイック	12×クイック
5 fps	4.8×クイック	4.8×クイック
10 fps	2.4×クイック	2.4×クイック
15 fps	1.6×クイック	1.6×クイック
30 fps	1.25×スロー	1.25×スロー
60 fps	2.5×スロー	2.5×スロー
75 fps		3.13×スロー
100 fps		4.17×スロー
120 fps		5×スロー
150 fps		
180 fps		
200 fps		
240 fps		
300 fps		

フレームレート	システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]
	FHD/24.00p
1 fps	24×クイック
2 fps	12×クイック
5 fps	4.8×クイック
10 fps	2.4×クイック
15 fps	1.6×クイック
30 fps	1.25×スロー
60 fps	2.5×スロー
75 fps	3.13×スロー
100 fps	4.17×スロー
120 fps	5×スロー
150 fps	6.25×スロー
180 fps	7.5×スロー
200 fps	8.33×スロー
240 fps	10×スロー
300 fps	12.5×スロー

[動画撮影範囲]が[PIXEL/PIXEL]のとき

フレームレート	システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]		
	C4K/59.94p 4K/59.94p	C4K/29.97p 4K/29.97p	C4K/23.98p 4K/23.98p
1 fps	60×クイック	30×クイック	24×クイック
2 fps	30×クイック	15×クイック	12×クイック
5 fps	12×クイック	6×クイック	4.8×クイック
10 fps	6×クイック	3×クイック	2.4×クイック
15 fps	4×クイック	2×クイック	1.6×クイック
30 fps	2×クイック	効果なし(1×)	1.25×スロー
60 fps	効果なし(1×)	2×スロー	2.5×スロー
75 fps	1.25×スロー	2.5×スロー	3.13×スロー
100 fps	1.67×スロー	3.33×スロー	4.17×スロー
120 fps	2×スロー	4×スロー	5×スロー
150 fps			
180 fps			
200 fps			
240 fps			
300 fps			

フレームレート	システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]		
	FHD/59.94p	FHD/29.97p	FHD/23.98p
1 fps	60×クイック	30×クイック	24×クイック
2 fps	30×クイック	15×クイック	12×クイック
5 fps	12×クイック	6×クイック	4.8×クイック
10 fps	6×クイック	3×クイック	2.4×クイック
15 fps	4×クイック	2×クイック	1.6×クイック
30 fps	2×クイック	効果なし(1×)	1.25×スロー
60 fps	効果なし(1×)	2×スロー	2.5×スロー
75 fps	1.25×スロー	2.5×スロー	3.13×スロー
100 fps	1.67×スロー	3.33×スロー	4.17×スロー
120 fps	2×スロー	4×スロー	5×スロー
150 fps			
180 fps			
200 fps			
240 fps			
300 fps			

フレーム レート	システム周波数:[50.00Hz(PAL)]			
	C4K/50.00p 4K/50.00p	C4K/25.00p 4K/25.00p	FHD/50.00p	FHD/25.00p
1 fps	50×クイック	25×クイック	50×クイック	25×クイック
2 fps	25×クイック	12.5×クイック	25×クイック	12.5×クイック
5 fps	10×クイック	5×クイック	10×クイック	5×クイック
10 fps	5×クイック	2.5×クイック	5×クイック	2.5×クイック
15 fps	3.33×クイック	1.67×クイック	3.33×クイック	1.67×クイック
30 fps	1.67×クイック	1.2×スロー	1.67×クイック	1.2×スロー
60 fps	1.2×スロー	2.4×スロー	1.2×スロー	2.4×スロー
75 fps	1.5×スロー	3×スロー	1.5×スロー	3×スロー
100 fps	2×スロー	4×スロー	2×スロー	4×スロー
120 fps	2.4×スロー	4.8×スロー	2.4×スロー	4.8×スロー
150 fps				
180 fps				
200 fps				
240 fps				
300 fps				

フレームレート	システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]	
	C4K/24.00p 4K/24.00p	FHD/24.00p
1 fps	24×クイック	24×クイック
2 fps	12×クイック	12×クイック
5 fps	4.8×クイック	4.8×クイック
10 fps	2.4×クイック	2.4×クイック
15 fps	1.6×クイック	1.6×クイック
30 fps	1.25×スロー	1.25×スロー
60 fps	2.5×スロー	2.5×スロー
75 fps	3.13×スロー	3.13×スロー
100 fps	4.17×スロー	4.17×スロー
120 fps	5×スロー	5×スロー
150 fps		
180 fps		
200 fps		
240 fps		
300 fps		

❖ スロー&クイック動画撮影時のシャッタースピード

スロー&クイック動画撮影時は、[スロー & クイック設定]のフレームレートによってシャッタースピードの下限が変わります。

フレームレート	シャッタースピードの下限	
	AFS / AFC	MF
1 fps	1/30 秒	1/8 秒
2 fps		
5 fps		1/10 秒
10 fps		
15 fps		
30 fps	1/30 秒	1/30 秒
60 fps	1/60 秒	1/60 秒
75 fps	1/80 秒	1/80 秒
100 fps	1/100 秒	1/100 秒
120 fps	1/125 秒	1/125 秒
150 fps		1/160 秒
180 fps		1/200 秒
200 fps		
240 fps		1/250 秒
300 fps		1/320 秒



- スロー & クイック撮影中は、音声は記録されません。
- フレームレートを 150 fps 以上に設定すると、MF に切り換わります。(撮影開始前だけ、[AF ON] ボタンを押すと自動でピントを合わせます)

ハイフレームレート動画



iA P A S M

高フレームレートのMP4(Lite)動画またはMOV動画をカードに記録できません。

対応したソフトウェアでフレームレートを変換することで、スローモーション動画に仕上げることができます。スロー & クイックモードではできない、音声記録が可能です。

1 [動画]モードにする

(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

2 [記録ファイル形式(動画)]を[MP4(Lite)]または[MOV]に設定する

- → [動画] → [記録ファイル形式(動画)] → [MP4(Lite)]
／[MOV]

3 ハイフレームレート動画用の動画画質を選ぶ

- → [動画] → [動画画質]
- [動画画質]をフレームレートで絞り込むと、条件に合ったフレームレートの動画画質だけを表示できます。(→ [絞り込み: 139](#))
- ハイフレームレート動画用の動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 432](#))


❖ ハイフレームレート動画撮影時のシャッタースピード

ハイフレームレート動画撮影時は、動画の記録フレームレートによってシャッタースピードの下限が変わります。

動画の記録 フレーム レート	シャッタースピードの下限			
	[iA]		[P] / [A] / [S] / [M]	
	AFS / AFC	MF	AFS / AFC	MF
47.95p	1/25 秒		1/50 秒	
48.00p				
50.00p				
59.94p	1/30 秒		1/60 秒	
100.00p	1/100 秒			
119.88p / 120.00p	1/125 秒			
200.00p	1/200 秒			
239.76p	1/250 秒			



ハイフレームレート動画撮影時のAFについてのお知らせ

- 記録フレームレートが200.00p以上の[動画画質]に設定したときは、AFの動作は以下ようになります。
 - AFモードは[ - 自動認識は使用できません。
 - [クイックAF]は使用できません。
 - [アイセンサーAF]は使用できません。

フォーカストランジション



iA P A S M

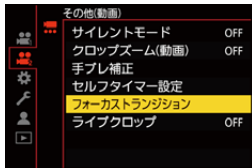
フォーカス位置を、現在の位置から事前に登録した位置に滑らかに移動します。

1 [👤]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

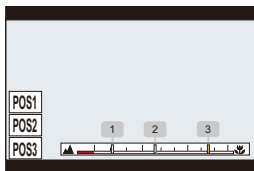
2 [フォーカストランジション]を選ぶ

- [MENU/SET] → [👤] → [👤] → [フォーカストランジション]
- [フォーカス位置を設定してください]のメッセージが表示されたら、[MENU/SET] を押してください。



3 フォーカス位置の設定をする

- MF(→MFで撮る: 189)と同じ操作でピントを確認し、[POS1]、[POS2]、[POS3]をタッチしてフォーカス位置を設定してください。



4 フォーカス位置を登録する

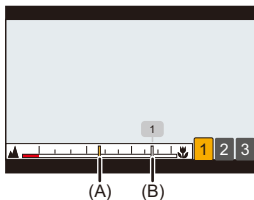
- **MENU/SET** を押してフォーカス位置を登録します。

5 撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- 撮影前に[DISP]ボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。(→設定項目(フォーカストランジション): 416)
- [フォーカストランジションレック]を設定したときは、撮影開始と同時に、フォーカストランジションを開始します。

6 フォーカストランジションを開始する

- ◀▶ で [1]、[2]または [3] を選び、**MENU/SET** を押します。
- [フォーカストランジションウエイト]を設定したときは、設定した時間が経過したあと、フォーカストランジションを開始します。



- (A) 現在のフォーカス位置
(B) 登録したフォーカス位置

7 フォーカストランジションを終了する

- [Q] ボタンを押します。

8 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタンを押します。

❖ 設定項目(フォーカストランジション)

フォーカス位置設定

フォーカス位置を登録します。

フォーカストランジション速度

フォーカス位置を移動する速さを設定します。

- 移動速度:[SH] (速い)～[SL] (遅い)

フォーカストランジションレック

撮影開始と同時にフォーカストランジションを開始します。

- [フォーカス位置設定]で登録した位置を選んでください。

フォーカストランジションウエイト

フォーカストランジションを開始するまでの時間を設定します。

- [↵] ボタンを押すと、撮影画面が表示されます。



- フォーカス位置の設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。
- レンズの最短撮影距離付近、または無限遠付近では、フォーカス位置が移動する速さが低下します。
- [フォーカストランジション]使用中は、登録したフォーカス位置以外にピントを合わせられません。
- 以下の操作をすると、フォーカス位置の登録が解除されます。
 - 電源スイッチの操作
 - ズーム操作
 - フォーカスモードの切り換え
 - 撮影モードの切り換え
- 以下の機能を使用中は、[フォーカストランジション]は使用できません。
 - [ライブクロップ]

ライブクロップ

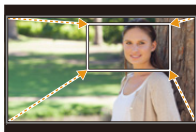


iA P A S M

ライブビューで表示される画像の範囲から一部を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームの動作を加えた4K／FHD動画を記録できます。



パン



ズームイン



• カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 [MENU]モードにする




(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)

2 ライブクロップを撮影できる動画画質を選ぶ

●  →  →  → [動画画質]

● ライブクロップを撮影できる動画画質(→特殊な動画を撮影できる動画画質一覧:432)

3 パンやズームの効果を設定する

●  →  →  → [ライブクロップ] → [設定]

動作時間

2～40秒の間で設定します。

イーズ設定

効果を選択します。

[リニア]:等速で移動します。

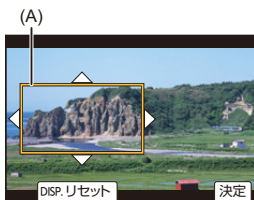
[イーズイン]:徐々に加速します。

[イーズアウト]:徐々に減速します。

[イーズインアウト]:加速したあと減速します。

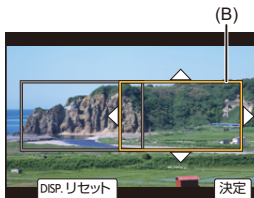
4 切り出し枠を設定する

- **MENU/SET** → [人] → [] → [ライブクロップ] → [設定] → [切り出し枠設定]
- 切り出しを開始する範囲を選び、**MENU/SET** を押します。



(A) 切り出し開始枠

- 切り出しを終了する範囲を選び、**MENU/SET** を押します。



(B) 切り出し終了枠

- 開始枠、終了枠の位置／大きさを設定し直すには、◀を押してください。
- []を押すと、設定した効果を確認できます。

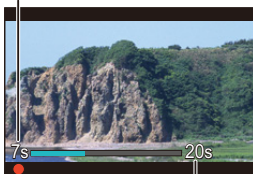
5 ライブクロップ撮影を有効にする

- **MENU/SET** ⇒ [**👤**] ⇒ [**📷**] ⇒ [ライブクロップ] ⇒ [ON]
- ライブクロップを撮影できない動画画質を選んでいる場合は、撮影できる動画画質に切り換わります。

6 ライブクロップ撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画記録ボタンを押してください。





(C)





(D)

- (C) 記録経過時間
- (D) 設定した動作時間

❖ 切り出し枠の設定操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	枠の移動
	ピンチアウト/ ピンチイン	枠を細かく拡大／縮小
	—	枠を拡大／縮小
[DISP.]	[リセット]	開始枠: 枠の位置と大きさを初期設定に戻す 終了枠: 枠の位置と大きさの設定を解除する
	[決定]	枠の位置と大きさの決定




- AFモードは[]に切り換わります。
- 切り出す範囲内で明るさの測定とピント合わせを行います。ピント位置を固定する場合は、フォーカスモードを[MF]に設定してください。
- [測光モード]は[](マルチ測光)に固定されます。

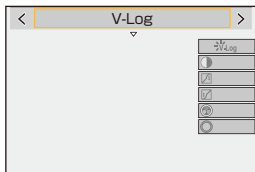
Log撮影する

- Logビューアシスト:426



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、Log撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

 → [📷] / [👤] → [🔍] → [フォトスタイル] → [V-Log]を選
ぶ



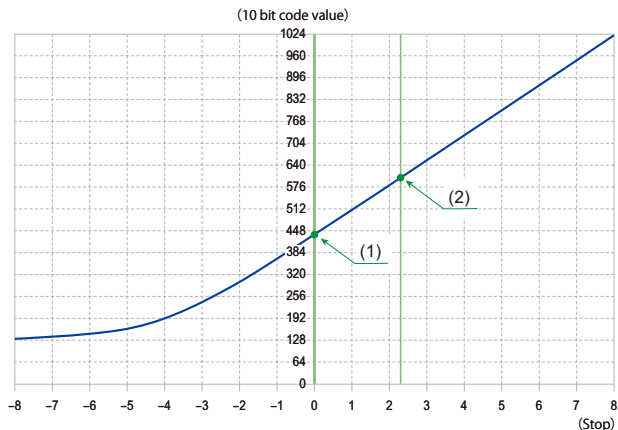
- LUT(ルックアップテーブル)を使ってポストプロダクション処理ができます。
[V-Log]用のLUTファイルは、下記サポートサイトからダウンロードできます。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>

❖ [V-Log]設定時のISO感度

ISO感度は500～12800(センサー出力60 fps以下)または250～3200(センサー出力61 fps以上)の範囲で設定できます。[拡張ISO感度]設定時は125～12800の範囲で設定できます。

❖ [V-Log]設定時の露出

[V-Log]のカーブ特性は、「V-Log/V-Gamut REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠しています。[V-Log]に設定した場合は、反射率18%のグレーを撮像したときの標準露出が、IREで42%になります。



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定時				
反射率(%)	IRE(%)	Stop	10 bit code value	12 bit code value
0	7.3	—	128	512
(1) 18	42	0.0	433	1732
(2) 90	61	2.3	602	2408

• Stopの単位で輝度を表示する場合、本機はIRE 42%を0 Stopに換算します。



• Stopの単位で輝度を確認できます：

(→ スポット輝度メーター: 390、ゼブラパターン表示: 391)

Logビューアシスト

[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、撮影画面は暗く表示されます。
[Logビューアシスト]を使用すると、LUTファイルを適用した映像をモニター／ファインダーやスマートフォンに表示できます。



⇒ [設定] ⇒ [カメラ] ⇒ [Logビューアシスト]を選ぶ

LUT選択(V-Log)

プリセットまたは[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルから適用するLUTファイルを選びます。(→ [LUTライブラリ: 324](#))

LUTビューアシスト(モニター)

LUTファイルを適用した映像を本機のモニター／ファインダーに表示します。

LUTビューアシスト(アプリ)

LUTファイルを適用した映像をスマートフォン用アプリケーション「LUMIX Lab」で確認できます。



- LUTファイルを適用しているときは、撮影画面に[LUT]が表示されます。
- [フォトスタイル]が[V-Log]のとき、ベースフォトスタイルが[V-Log]以外のLUTファイルは適用できません。
- [フォトスタイル]の画質調整で[LUT]を適用しているときは、[LUTビューアシスト(モニター)]／[LUTビューアシスト(アプリ)]は働きません。

HLG 動画

- HLG ビューアシスト: 429



HLG方式のダイナミックレンジの広い動画を撮影します。白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。

撮影した動画は、HLG方式に対応した機器(テレビなど)で再生することで観賞できます。

- HLG(ハイブリッドログガンマ)とは、HDR映像のためのトーンカーブ(ガンマカーブ)方式の1つです。




1 [] または [S&Q] モードにする (→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))

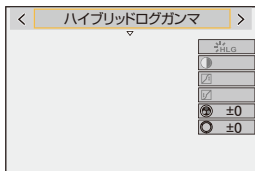
2 HLG 動画を撮影できる動画画質を選ぶ

- → → → [動画画質]
- HLG動画を撮影できる項目には、[HLG可能]と表示されます。
- HLG動画を撮影できる動画画質(→ [特殊な動画を撮影できる動画画質一覧: 432](#))



3 [フォトスタイル]を[ハイブリッドログガンマ]に設定する

-  →  →  → [フォトスタイル] → [ハイブリッドログガンマ]






- 本機のモニター／ファインダーは、HLG方式の表示に対応していません。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]で、確認に変換した映像を、本機のモニター／ファインダーに表示できます。
(→ [HLGビューアシスト: 429](#))

❖ [ハイブリッドログガンマ]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は250になります。

HLGビューアシスト

HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示します。

 ⇒  ⇒  ⇒ **[HLGビューアシスト]** ⇒ **[モニター]**を
選ぶ

MODE1

空などの明るさを重視して変換します。

- 撮影画面に [MODE1] が表示されます。

MODE2

主要な被写体の明るさを重視して変換します。

- 撮影画面に [MODE2] が表示されます。

OFF

色域と明るさを変換せずに表示します。

- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。
-

シンクロスキャン(動画)



シャッタースピードを微調整することで、映像のちらつきや横しみを軽減します。

シンクロスキャンで設定したシャッタースピードは、通常撮影したシャッタースピードとは別に保存されます。シンクロスキャンの設定画面で、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出して調整できます。

1 []または[S&Q]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)




2 露出モードを[S]または[M]に設定する

- モードダイヤルを合わせます。(→撮影モードの選択: 66)
- [P/A/S/M時の露出設定]の[動画/S&Qの露出設定]で設定することもできます。(→動画/S&Qの露出設定: 521)

3 [シンクロスキャン(動画)]を設定する

- → [] → [] → [シンクロスキャン(動画)] → [ON]

4 シャッタースピードを設定する

-  または  を回して数値を選び、 を押します。
- シャッタースピードは1/24秒～1/8192.0秒の範囲で設定できます。(シャッタースピードの下限は、記録する動画のフレームレートによって変わります)
- ▲▼を押すと、1/4TV刻みでシャッタースピードが変化します。◀▶を押すと、細かく調整できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出すことができます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しまが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。



- 撮影画面の表示と撮影結果が異なる場合があります。事前に試し撮りを行うことをお勧めします。

特殊な動画を撮影できる動画画質一覧

S&Q : スロー & クイック動画を撮影できる動画画質

HFR : ハイフレームレート動画用の動画画質

Live Crop : [ライブクロップ]を使用できる動画画質

HLG : HLG動画を撮影できる動画画質

❖ 記録ファイル形式(動画) : [MP4(Lite)]

システム周波数 : 59.94Hz(NTSC)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
3.8K/10bit/50M/30p				✓
4K/10bit/70M/120p		✓		✓
4K/10bit/50M/60p				✓
FHD/10bit/24M/120p		✓		✓
FHD/10bit/16M/60p				✓

システム周波数 : 50.00Hz(PAL)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
3.8K/10bit/50M/25p				✓
4K/10bit/70M/100p		✓		✓
4K/10bit/50M/50p				✓
FHD/10bit/24M/100p		✓		✓
FHD/10bit/16M/50p				✓

❖ 記録ファイル形式(動画):[MP4]

システム周波数:59.94Hz(NTSC)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
4K/10bit/100M/60p			✓	✓
4K/10bit/72M/30p			✓	✓
4K/8bit/100M/30p			✓	
4K/10bit/72M/24p				✓
4K/8bit/100M/24p				
FHD/8bit/28M/60p				
FHD/8bit/20M/30p			✓	
FHD/8bit/24M/24p				

システム周波数:50.00Hz(PAL)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
4K/10bit/100M/50p			✓	✓
4K/10bit/72M/25p			✓	✓
4K/8bit/100M/25p			✓	
FHD/8bit/28M/50p				
FHD/8bit/20M/25p			✓	

❖ 記録ファイル形式(動画):[MOV]

システム周波数:59.94Hz(NTSC)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
5.6K/60p/420/10-L				✓
5.6K/48p/420/10-L		✓		✓
5.6K/30p/420/10-L	✓			✓
5.6K/24p/420/10-L	✓			✓
5.2K/30p/420/10-L				✓
5.2K/24p/420/10-L				✓
4.4K/60p/420/10-L				✓
4.4K/48p/420/10-L		✓		✓
C4K/120p/420/10-L		✓		✓
C4K/60p/422/10-I				✓
C4K/60p/422/10-L				✓
C4K/60p/420/10-L	✓			✓
C4K/60p/420/8-L				
C4K/48p/422/10-I		✓		✓
C4K/48p/422/10-L		✓		✓
C4K/48p/420/10-L		✓		✓
C4K/30p/422/10-I				✓
C4K/30p/422/10-L				✓
C4K/30p/420/10-L	✓			✓
C4K/30p/420/8-L				
C4K/24p/422/10-I				✓
C4K/24p/422/10-L				✓
C4K/24p/420/10-L	✓			✓
C4K/24p/420/8-L				
4K/120p/420/10-L		✓		✓
4K/60p/422/10-I				✓

4K/60p/422/10-L			✓	✓
4K/60p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/60p/420/8-L				
4K/48p/422/10-I		✓		✓
4K/48p/422/10-L		✓		✓
4K/48p/420/10-L		✓		✓
4K/30p/422/10-I				✓
4K/30p/422/10-L			✓	✓
4K/30p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/30p/420/8-L			✓	
4K/24p/422/10-I				✓
4K/24p/422/10-L			✓	✓
4K/24p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/24p/420/8-L			✓	
FHD/240p/422/10-L		✓		✓
FHD/240p/420/10-L		✓		✓
FHD/120p/422/10-I		✓		✓
FHD/120p/422/10-L		✓		✓
FHD/120p/420/10-L		✓		✓
FHD/60p/422/10-I				✓
FHD/60p/422/10-L			✓	✓
FHD/60p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/60p/420/8-L				
FHD/48p/422/10-I		✓		✓
FHD/48p/422/10-L		✓		✓
FHD/48p/420/10-L		✓		✓
FHD/30p/422/10-I				✓
FHD/30p/422/10-L			✓	✓
FHD/30p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/30p/420/8-L			✓	

FHD/24p/422/10-I				✓
FHD/24p/422/10-L			✓	✓
FHD/24p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/24p/420/8-L			✓	

システム周波数: 50.00Hz(PAL)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
5.6K/50p/420/10-L				✓
5.6K/25p/420/10-L	✓			✓
5.2K/25p/420/10-L				✓
4.4K/50p/420/10-L				✓
C4K/100p/420/10-L		✓		✓
C4K/50p/422/10-I				✓
C4K/50p/422/10-L				✓
C4K/50p/420/10-L	✓			✓
C4K/50p/420/8-L				
C4K/25p/422/10-I				✓
C4K/25p/422/10-L				✓
C4K/25p/420/10-L	✓			✓
C4K/25p/420/8-L				
4K/100p/420/10-L		✓		✓
4K/50p/422/10-I				✓
4K/50p/422/10-L			✓	✓
4K/50p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/50p/420/8-L				
4K/25p/422/10-I				✓
4K/25p/422/10-L			✓	✓
4K/25p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/25p/420/8-L			✓	
FHD/200p/422/10-L		✓		✓
FHD/200p/420/10-L		✓		✓
FHD/100p/422/10-I		✓		✓
FHD/100p/422/10-L		✓		✓
FHD/100p/420/10-L		✓		✓
FHD/50p/422/10-I				✓

FHD/50p/422/10-L			✓	✓
FHD/50p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/50p/420/8-L				
FHD/25p/422/10-I				✓
FHD/25p/422/10-L			✓	✓
FHD/25p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/25p/420/8-L			✓	

システム周波数: 24.00Hz(CINEMA)

動画画質	S&Q	HFR	Live Crop	HLG
5.6K/48p/420/10-L		✓		✓
5.6K/24p/420/10-L	✓			✓
5.2K/24p/420/10-L				✓
4.4K/48p/420/10-L		✓		✓
C4K/120p/420/10-L		✓		✓
C4K/24p/422/10-I				✓
C4K/24p/422/10-L				✓
C4K/24p/420/10-L	✓			✓
C4K/24p/420/8-L				
4K/120p/420/10-L		✓		✓
4K/24p/422/10-I				✓
4K/24p/422/10-L			✓	✓
4K/24p/420/10-L	✓		✓	✓
4K/24p/420/8-L			✓	
FHD/120p/422/10-I		✓		✓
FHD/120p/422/10-L		✓		✓
FHD/120p/420/10-L		✓		✓
FHD/24p/422/10-I				✓
FHD/24p/422/10-L			✓	✓
FHD/24p/420/10-L	✓		✓	✓
FHD/24p/420/8-L			✓	

画像の再生／編集

本章では、写真や動画の再生、消去方法を説明します。RAW形式で撮影した写真の現像や、再生できない動画ファイルの修復もできます。

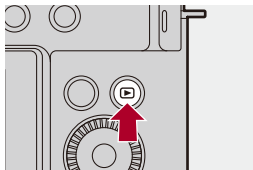
• 本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。

- [写真の再生: 441](#)
- [動画の再生: 443](#)
- [表示方法の切り換え: 452](#)
- [グループ画像: 457](#)
- [画像の消去: 459](#)
- [RAW現像: 461](#)
- [HEIF→JPEG変換: 469](#)
- [動画修復: 470](#)
- [再生メニュー: 473](#)

写真の再生

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



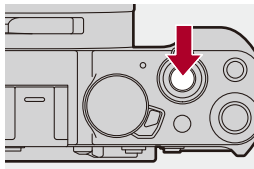
2 写真を選ぶ

- ◀▶ で写真を選びます。
- ◀▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- ⚙ を回しても選ぶことができます。
- 画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。



3 再生を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [▶] ボタンを押しても再生を終了できます。



- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) によって制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。Exif とは、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです。



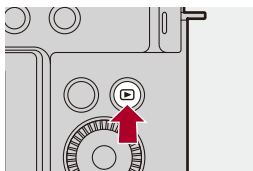
- 撮影画面／再生画面の切り換えを Fn ボタンに登録できます：
(→ [撮影／再生切換: 493](#)、[撮影／再生切換: 495](#))

動画の再生

- 動画のリピート再生: 447
- 写真の切り出し: 449
- 動画分割: 450

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



2 動画を選ぶ

- 画像の選び方について(→ [写真の再生: 441](#))
- 動画には動画アイコン[🎬]が表示されます。
- 画面に動画の記録時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。



(A) 動画の記録時間

3 動画を再生する

- ▲ を押します。
- 画面中央の[▶]をタッチしても再生できます。

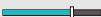





- (B) 再生経過時間
(C) 再生バー

4 再生を終了する

- ▼ を押します。

❖ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶ /	再生／一時停止
▼	—	停止
◀	—	早戻し再生 ・もう一度◀を押すと、早戻し速度が速くなります。 コマ戻し(一時停止中)
▶	—	早送り再生 ・もう一度▶を押すと、早送り速度が速くなります。 コマ送り(一時停止中)
—		表示するコマの選択
	保存	写真の切り出し(一時停止中)(→ 写真の切り出し: 449)
	—	音量を下げる
		音量を上げる



- 本機で再生できる動画のファイル形式はMP4(Lite)、MP4およびMOVです。
- 現在の設定と異なる[システム周波数]で記録した動画は再生できません。
- カード側の読み出し速度が遅いと、再生が一時停止したり、滑らかに再生できなかつたりする場合があります。



- 再生できない動画ファイルを修復できる場合があります。
(→ [動画修復: 470](#))
- 動画の再生終了後の動作を設定できます:
(→ [動画再生後の動作: 477](#))
- 撮影画面／再生画面の切り換えをFnボタンに登録できます:
(→ [撮影/再生切換: 493](#)、[撮影/再生切換: 495](#))

動画のリPEAT再生

動画の一部の区間を繰り返し再生できます。

1 リPEAT区間設定画面を表示する

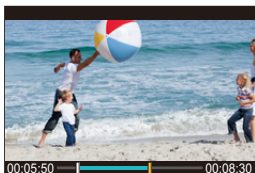
- 一時停止中に[Q]ボタンを押します。
- 一時停止中に[リPEAT再生]をタッチしても、リPEAT区間設定画面が表示されます。

2 リPEAT区間開始位置を設定する

- ◀▶で開始位置を選び、**MENU/SET**を押します。
- ☀️ または ⦿ を回しても選択できます。
- 再生バーをタッチしても開始位置を選択できます。

3 リPEAT区間終了位置を設定する

- 2と同じ手順で設定します。
- 開始位置と終了位置が近すぎる場合は設定できません。



4 再生を開始する

- リPEAT再生中の操作は「[動画再生中の操作](#)」と同じです。(→ [動画再生中の操作: 445](#))
- ▼を押して再生を停止するか、一時停止中に[Q]ボタンを押すと、リPEAT再生を終了します。



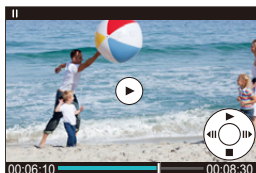
- 記録時間が短い場合はリピート再生できません。
- リピート区間の設定位置は、動画の一時停止位置からずれが生じることがあります。

写真の切り出し

動画の1フレームをJPEG画像として切り出して保存します。

1 写真を切り出す位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。



2 写真を保存する

- **MENU / SET** を押します。
- [保存]をタッチしても写真を保存できます。



- 動画から作成された写真は、写真画質[FINE]で保存されます。画像サイズは[動画画質]の解像度に応じたサイズで保存されます。
- 動画から作成された写真は、通常より画質が粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、詳細情報表示画面に[📷]が表示されます。
- 以下の機能を使用中は、写真の切り出しはできません。
 - [自動画像転送(Wi-Fi)](転送する画像が存在するとき)




動画分割

撮影した動画を2つに分割します。



- 分割した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから分割の操作をしてください。
- 分割処理中にカードやバッテリーをカメラから取り出さないでください。画像が消失するおそれがあります。

1 [動画分割]を選ぶ

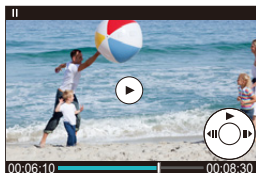
-  →  →  → [動画分割]

2 画像を選び、再生する


- ◀▶ で画像を選び、 を押します。

3 分割する位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。



4 動画を分割する

-  を押します。
- [分割]をタッチしても動画を分割できます。



- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。
- 以下の機能を使用中は、[動画分割]は使用できません。
 - [自動画像転送 (Wi-Fi)] (転送する画像が存在するとき)

表示方法の切り換え



- 拡大表示: 452
- サムネイル表示: 454
- カレンダー表示: 456

撮影画像を拡大表示したり、複数の画像を同時に表示するサムネイル表示（マルチ再生）に切り換えたりできます。撮影日を選んで表示するカレンダー表示に切り換えることもできます。

拡大表示




再生画像を拡大表示（再生ズーム）できます。

再生画面を拡大する

-  を右側に回します。
- 2倍 ⇨ 4倍 ⇨ 8倍 ⇨ 16倍の順で拡大表示します。
-  を左側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- 記録画素数の小さな画像は16倍で拡大表示できない場合があります。



❖ 拡大表示中の操作




ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	—	画面を拡大／縮小
—	ピンチアウト／ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動
	—	拡大倍率、拡大位置を保持したまま画像を送る





- AFでピントの合った位置を表示できます。その位置から拡大表示できます：
(→ [AF位置から拡大: 476](#))


サムネイル表示

1 サムネイル表示に切り換える

-  を左側に回します。
- 12画面 ⇄ 30画面の順に表示が切り換わります。
- 30画面表示中に  を左側に回すと、カレンダー表示に切り換わります。
(→ [カレンダー表示: 456](#))
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- アイコンをタッチして表示を切り換えることもできます。

[]: 1画面


[]: 12画面

[]: 30画面

[ CAL]: カレンダー(→ [カレンダー表示: 456](#))



2 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 を押します。





- サムネイル表示を上下にドラッグすると、画面をスクロールできます。

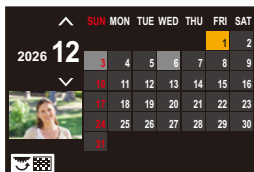


- [!]**と表示される画像は再生できません。


カレンダー表示

1 カレンダー表示に切り換える



-  を左側に回します。
- サムネイル表示(12画面) ⇨ サムネイル表示(30画面) ⇨ カレンダー表示の順に表示が切り換わります。
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。



2 撮影日を選ぶ

- ▲▼◀▶ で日付を選び、 を押します。

3 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 を押します。
-  を左側に回すと、カレンダー表示に戻ります。



- カレンダー表示中は、表示するカードを切り換えることができません。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

グループ画像

インターバル撮影やコマ撮り撮影で撮影した画像は、本機ではグループ画像として扱われ、グループ単位で消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます) また、グループ内の画像ごとに消去や編集もできます。

❖ 本機でグループ画像として扱われる画像



SH連写で撮影したグループ画像



フォーカスブラケット撮影したグループ画像



インターバル撮影したグループ画像




コマ撮り撮影したグループ画像



[深度合成]で撮影したグループ画像

❖ グループ内の画像を1枚ずつ再生／編集する

グループ内の画像に対して、サムネイル表示、画像の消去など通常の再生時と同じ操作ができます。

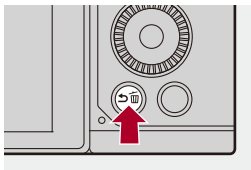
- 1 再生状態でグループ画像を選ぶ(→ [写真の再生: 441](#))
- 2 ▼を押してグループ内の画像を表示する
 - グループ画像のアイコンをタッチしても同じ操作ができます。
- 3 ◀▶で画像を選ぶ
 - 通常の再生画面に戻るには、もう一度▼を押す、または[▶]をタッチしてください。

画像の消去



- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます。

1 再生状態で[消去]を押す






2 ▲▼で消去方法を選び、を押す

1枚消去

選択中の画像を消去します。

複数消去

複数枚の画像を選んで消去します。

- 1 ▲▼◀▶で消去する画像を選び、を押す
 - 選択した画像にが表示されます。
 - もう一度を押すと、選択が解除されます。
 - 画像は100枚まで選択できます。
- 2 [DISP]ボタンを押して選択した画像を消去する



- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- 以下の機能を使用中は、画像の消去はできません。
 - [自動画像転送(Wi-Fi)](転送する画像が存在するとき)



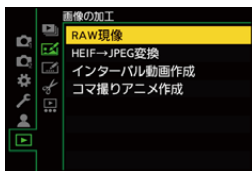
- 消去時の確認画面で、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます：
(→ [消去確認画面: 482](#))
- カード内のすべての画像を消去できます。
(→ [全画像消去: 482](#))

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式またはHEIF形式で保存します。

1 [RAW現像]を選ぶ

- **MENU/SET** → **[▶]** → **[📷]** → [RAW現像]

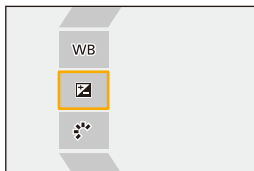


2 RAW画像を選ぶ



- **◀▶** で画像を選び、**MENU/SET** を押します。
- グループ画像を選んだ場合は、**▼** を押してから、グループ内の画像を選択してください。
もう一度 **▼** を押すと、通常の見出し画面に戻ります。
- 表示される画像には、撮影時の設定が反映されています。

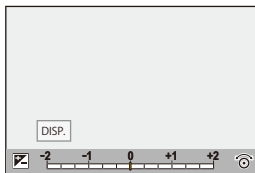
3 設定項目を選ぶ

- **▲▼** で項目を選び、**MENU/SET** を押します。




4 設定を変更する




-  または  を回します。
- 画面をピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小できます。

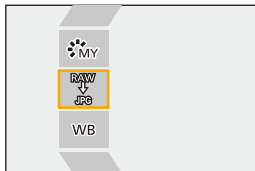


5 設定内容を決定する

-  を押します。
- 手順**3**の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは、手順**3**から**5**を繰り返してください。

6 画像を保存する

-   で[RAW現像実行]を選び、 を押します。





❖ 設定項目(RAW現像)

RAW現像実行

画像を保存します。

WB ホワイトバランス(⇒ホワイトバランス(WB): 294)

ホワイトバランスを選んで調整できます。[]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。

- [ホワイトバランス]の選択画面で▼を押すと、ホワイトバランスの調整画面が表示されます。(⇒ホワイトバランスの調整: 300)
- []～[]を選択中に▲を押すと、色温度の設定画面が表示されます。(⇒色温度設定: 299)

明るさ補正


明るさの補正ができます。

- [明るさ補正]の効果は、撮影時の露出補正と異なります。

フォトスタイル(⇒フォトスタイル: 302)

フォトスタイルを選択できます。


- [709ライク]を選択中に[Q]ボタンを押すと、二一設定画面が表示されます。(⇒白飛びを抑えて撮影する(二一): 361)
- [V-Log]で撮影した画像は、フォトスタイルを選択できません。[V-Log]以外で撮影した画像では、[V-Log]を選択できません。
- [シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]で撮影した画像は、[シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルを選択できません。[シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルで撮影した画像では、[シネライク A2]、[シネライク D2]、[シネライク V2]を選択できません。
- [リアルタイム LUT]は選択できません。[リアルタイム LUT]で撮影した画像は、ベースとなるフォトスタイルによって選択できるフォトスタイルが変わります。
- [スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]は、[HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定して撮影したRAW画像の現像で、[JPEG/HEIF切換]を[HEIF]に設定しているときに選択できます。

 **iダイナミックレンジ**


iダイナミックレンジの設定を選択できます。

 **コントラスト**


コントラストを調整できます。

 **ハイライト**

明るい部分の明るさを調整できます。

 **シャドウ**


暗い部分の明るさを調整できます。

 **彩度／色調**

彩度または色調を調整できます。

 **色相**

色相を調整できます。

 **フィルター効果**


フィルター効果を選択できます。

 **粒状**

粒状感の設定を選択できます。

 **色ノイズ**

粒状感に色味を追加します。

 **シャープネス**

解像感を調整できます。

NRノイズリダクション

ノイズを軽減する設定ができます。

LUT1 LUT2 LUT

[LUTライブラリ]に登録されているLUTファイルを選択できます。(→ [LUTライブラリ: 324](#))

LUT1 LUT2 LUT濃度

LUTファイルの効果を調整します。

🔧 詳細設定

[調整前に戻す]: 撮影時の設定に戻すことができます。

[JPEG/HEIF切換]: 保存する画像をJPEG形式またはHEIF形式のどちらで保存するか設定します。

[色空間]: 色空間を[sRGB]または[AdobeRGB]から選択できます。(→ [色空間: 520](#))

- [JPEG/HEIF切換]が[JPEG]のときに設定できます。

[画像サイズ]: 保存時の画像サイズを選択できます。

🌟 MY マイフォトスタイル読み込み

マイフォトスタイルに登録された画質調整の設定を読み込みます。


• 選択した[フォトスタイル]により、調整できる項目は変わります。

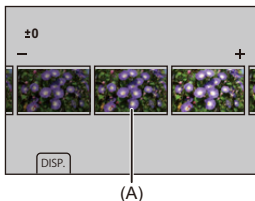
WB	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	
	✓*1	✓*1		
	✓	✓		
	✓	✓		
	✓	✓		
	✓		✓	✓*2
(彩度)				
		✓		
(色調)				
	✓		✓	
		✓		
	✓	✓	✓	✓*2
	✓*3		✓*3	✓*2, 3
NR	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓
LUT1 /	✓	✓	✓	✓
LUT2 /				



- *1 [スタンダード(HLG)],[モノクローム(HLG)]では設定できません。
- *2 [LUT1]または[LUT2]でLUTファイルを適用した場合に設定できます。
- *3 [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。

❖ 比較画面を表示する

設定値を反映した画像を並べて表示することで、効果を確認しながら設定を変更できます。

- 1 手順**4**の画面で、[DISP.]ボタンを押す
 - 現在の設定の画像(A)が中央に表示されます。
 - 現在の設定の画像をタッチすると拡大表示します。[]をタッチすると元の表示に戻ります。
 - [ノイズリダクション],[シャープネス]選択中は、比較画面の表示ができません。



- 2  または  を回して設定を変更する
- 3  を押して決定する



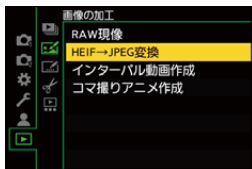
- 比較画面の表示に時間がかかる場合があります。
- RAW 画像は [画像横縦比] によって、以下の画像サイズで記録されます。
 - [4:3]: 5208×3912
 - [3:2]: 5416×3616
 - [16:9]: 5672×3200
 - [1:1]: 3912×3912
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
- 本機能では撮影時の画像横縦比や[クロップズーム(写真)]の画角で現像されます。
- [クロップズーム(写真)]を使用して撮影したRAW 画像は、現像時に選択できる [画像サイズ]が異なる場合があります。
- 本機能では、[JPEG/HEIF 写真画質]は [FINE] で現像されます。
- 本機能と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」のRAW 現像の結果は、完全には一致しません。
- 以下の機能を使用中は、RAW 現像はできません。
 - [自動画像転送 (Wi-Fi)] (転送する画像が存在するとき)

HEIF→JPEG変換


HEIF画像として保存した写真をJPEG画像に変換します。

1 [HEIF→JPEG変換]を選ぶ


-  →  →  → [HEIF→JPEG変換]



2 HEIF画像を選ぶ

- ◀▶で画像を選び、を押します。
- グループ画像を選んだ場合は、▼を押してから、グループ内の画像を選択してください。
もう一度▼を押すと、通常の見出し画面に戻ります。

3 画像を保存する

- ◀▶で[はい]を選び、を押します。



- 本機でHEIF画像をJPEG画像に変換した場合、カラーサンプリングは以下になります。

HEIF (4:2:0 10 bit) → JPEG (4:2:2 8 bit)

動画修復

動画記録が正常に完了しなかった場合に、再生できない動画ファイル(拡張子「.mdt」)が生成されることがあります。

本機能を使って、「.mdt」のファイルを再生可能な動画ファイルに修復できます。

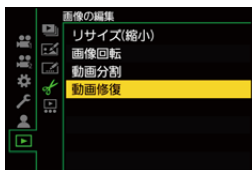
- 「.mdt」ファイルが生成される原因には以下のようなものがあります。
 - 動画記録中に電源が切れる(バッテリーを取り出す、電源コードが抜ける、ACアダプター使用中の停電、など)
 - 動画記録中にカードを取り出す
 - 動画記録後、カードへの書き込み中にカードを取り出す
 - 動画記録中／カード書き込み中に予期せぬフリーズが発生した場合



- 修復できる動画は、[記録ファイル形式(動画)]が[MOV]で撮影した動画です。[MP4(Lite)]または[MP4]で撮影した動画は修復できません。
- 修復には時間がかかるため、給電しながら操作してください。(→ [電力を供給しながらカメラを使う\(給電\): 49](#))

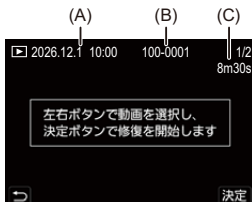
1 [動画修復]を選ぶ

- → → → [動画修復]



2 修復する動画ファイルを選ぶ

- ◀▶ でファイルを選び、**MENU/SET** を押します。
- 撮影日時 (A)、フォルダー・ファイル番号 (B)、動画記録時間 (C) を参考に動画ファイルを選んでください。



3 確認画面で[はい]を選ぶ

- 動画修復が始まります。修復には時間がかかります。
- 修復された動画ファイルは、修復前のファイルと同じフォルダーに保存されます。

❖ 動画修復を中止する

動画修復を中止してもファイルは消去されないため、後でやり直すことができます。

- 1 動画修復中画面で **MENU/SET** を押す
- 2 確認画面で [はい] を選ぶ



- 記録時間が短い動画は修復できない場合があります。
- データの状態によっては、動画を修復できない場合があります。
- カードの空き容量が著しく不足している場合は、動画修復を開始できません。
- 修復中は電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 修復中は他の操作をしないでください。
- 本機以外で撮影した動画は修復できません。
- 以下の機能を使用中は、[動画修復]は使用できません。
 - [自動画像転送(Wi-Fi)](転送する画像が存在するとき)



再生メニュー

- 再生メニューでの画像の選び方: 473
- 再生メニュー(表示方法): 475
- 再生メニュー(画像の加工): 478
- 再生メニュー(情報の付与・削除): 479
- 再生メニュー(画像の編集): 480
- 再生メニュー(その他): 482

再生メニューでの画像の選び方

画像を選ぶ画面が表示されたときは、以下の手順で選択してください。

❖ [1枚設定]選択中

- 1 ◀▶ で画像を選ぶ
- 2  を押す
 - 画面右下に[設定 / 解除]と表示される場合、もう一度  を押すと設定が解除されます。

❖ [複数設定] 選択中

- 1 ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/SET** を押す(繰り返す)
 - 設定を解除するには、もう一度 **MENU/SET** を押してください。



- 2 [DISP.]ボタンを押して実行する

[プロテクト]を選んだとき

- 1 ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/SET** で設定する(繰り返す)
 - 設定を解除するには、もう一度 **MENU/SET** を押してください。



再生メニュー(表示方法)

▶: 初期設定

再生モード

▶通常再生／写真のみ／動画のみ／レーティング

再生する画像の種類を絞り込みます。

- [レーティング]を設定したときは、表示させたいレーティングのレベルにチェックマークを入れ、[DISP.]ボタンを押してください。

スライドショー

全画像／写真のみ／動画のみ／レーティング

画像の種類を選び、一定間隔で順番に再生します。

- [レーティング]を設定したときは、表示させたいレーティングのレベルにチェックマークを入れ、[DISP.]ボタンを押してください。

開始: スライドショー再生を開始します。

再生間隔: 画像を再生する間隔を選びます。

リピート: リピート再生を設定します。

スライドショー中の操作

▲: 再生／一時停止 ([▶] / [⏸]) をタッチしても同じ操作ができます)

◀: 前の画像へ

▶: 次の画像へ

▼: スライドショーを終了する

⊙: 音量の調整

- [動画のみ]を設定したときは、[再生間隔]は使用できません。

縦位置自動回転

▶ON / OFF

カメラを縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。

画像表示順

ファイル名 / ▶撮影日時

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

ファイル名: フォルダー名 / ファイル名の順番で表示します。

撮影日時: 画像が撮影された日時の順番で表示します。

- 別のカードを入れたときは、すべてのデータを読み込むまで時間がかかるため、設定した順番で表示されない場合があります。

AF位置から拡大

ON / ▶OFF

AFでピントの合った位置を表示します。画像を拡大するときAFでピントの合った位置を中心に拡大します。

LUTビューアシスト(モニター)

ON / ▶OFF

[フォトスタイル]を[V-Log]に設定して記録した画像を再生するとき、LUTファイルを適用した映像をモニター / ファインダーに表示します。

- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト(モニター)]と連動しています。

(→ [Logビューアシスト: 426](#))

HLGビューアシスト(モニター)

MODE1 / ▶MODE2 / OFF

HLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。

- カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]と連動しています。
(→[HLGビューアシスト:429](#))

動画再生後の動作

▶再生終了 / 最終フレームで一時停止

動画の再生終了後の動作を設定できます。

再生終了: 動画再生を終了して画像選択画面に戻ります。

最終フレームで一時停止: 動画再生を終了せずに、最後のフレームで一時停止します。動画再生を終了するには▼を押してください。

再生メニュー(画像の加工)

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式またはHEIF形式で保存します。

(→ [RAW現像: 461](#))


HEIF→JPEG変換

HEIF画像として保存した写真をJPEG画像に変換します。

(→ [HEIF→JPEG変換: 469](#))

インターバル動画作成


[インターバル撮影]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

- 1 ◀▶で[インターバル撮影]のグループを選び、を押す
- 2 動画の作成方法を選び、動画化する
(→ [インターバル/コマ撮りアニメの動画: 225](#))

• [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[インターバル動画作成]は使用できません。

コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

- 1 ◀▶でコマ撮りグループを選び、を押す
- 2 動画の作成方法を選び、動画化する
(→ [インターバル/コマ撮りアニメの動画: 225](#))

• [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[コマ撮りアニメ作成]は使用できません。

再生メニュー(情報の付与・削除)

プロテクト

1枚設定／複数設定／全解除

誤って消去することがないように、画像にプロテクトを設定できます。ただし、カードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。


- 画像の選び方について(→再生メニューでの画像の選び方:473)
- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合があるためお気をつけください。

レーティング

1枚設定／複数設定／全解除

画像に5段階のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。

- レーティングを設定した画像以外を消去する。
- パソコンのファイル詳細表示などで、レーティングのレベルを確認する。

- 1 画像を選ぶ(→再生メニューでの画像の選び方:473)
- 2 ◀▶でレーティングのレベル(1~5)を選び、を押す
 - [複数設定]を選択したときは、手順1,2を繰り返してください。
 - 設定を解除するには、レーティングのレベルを[OFF]にしてください。



再生メニュー(画像の編集)

▶: 初期設定

リサイズ(縮小)

1枚設定／複数設定

ホームページ用やメール添付で送信しやすいように、画像の容量(画像サイズ)を小さくして、別の画像として保存します。

- 画像の選び方について(→ [再生メニューでの画像の選び方: 473](#))
 - [1枚設定]選択時は、画像を選んだあとに、▲▼でサイズを選んで  を押してください。
 - [複数設定]選択時は、画像を選ぶ前に、▲▼でサイズを選んで  を押してください。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)すると画質が粗くなります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像には、[リサイズ(縮小)]は使用できません。
 - 動画撮影
 - グループ画像
 - [記録ファイル形式(写真)]の[RAW]
 - C4K動画から作成した写真
 - [画像サイズ]の[XS]

画像回転

画像を手動で90°ずつ回転させます。



⤴: 時計回りに90°回転します。

⤵: 反時計回りに90°回転します。

- 画像の選び方について(→ [再生メニューでの画像の選び方: 473](#))
- [縦位置自動回転]が[OFF]のときは、[画像回転]は使用できません。

動画分割

撮影した動画を2つに分割します。

(→ [動画分割: 450](#))

動画修復

何らかの原因で記録が正常に終了しなかった動画ファイルを修復します。(→ [動画修復: 470](#))

再生メニュー(その他)

▶:初期設定

消去確認画面

「はい」がはじめ／▶「いいえ」がはじめ

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

「はい」がはじめ:最初に[はい]が選ばれます。

「いいえ」がはじめ:最初に[いいえ]が選ばれます。

全画像消去

カード内のすべての画像を消去します。

- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- [レーティング以外全消去]を選択すると、レーティング設定した画像以外のすべての画像を消去します。
- [全画像消去]は、[再生モード]を[通常再生]に設定しているときに使用できます。

カメラのカスタマイズ

本章では、カメラをお好みに合わせて設定できるカスタマイズ機能について説明します。

カメラの操作や画面表示の詳細な設定ができるカスタムメニューや、カメラの基本的な設定ができるセットアップメニューについても説明しています。

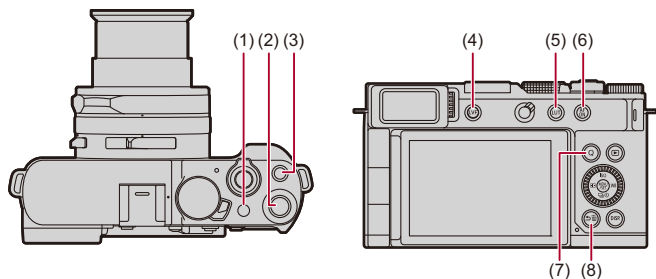
- [Fnボタン: 484](#)
- [Fnスイッチ: 498](#)
- [ダイヤル動作切換: 500](#)
- [クイックメニューのカスタマイズ: 503](#)
- [カスタムモード: 510](#)
- [カスタムメニュー: 516](#)
- [セットアップメニュー: 550](#)
- [マイメニュー: 566](#)

Fnボタン

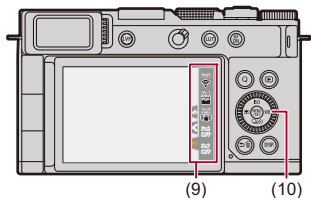
- Fnボタンへの機能の登録: 487
- Fnボタンを使う: 497

Fn(ファンクション)ボタンに機能を登録できます。写真モード時、動画/S&Qモード時、再生モード時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

❖ Fnボタンの初期設定



Fnボタン	写真モード時設定	動画/S&Qモード時設定	再生モード時設定
(1) 	露出補正	写真モード時設定 に連動	設定なし
(2) Fn2	フォトスタイル		設定なし
(3) 動画記録ボタン	動画撮影		動画撮影
(4) LVF	LVF/モニター切 換		LVF/モニター切 換
(5) LUT	リアルタイムLUT		設定なし
(6) AF ON	AF-ON		レーティング★3
(7) Q	Q.MENU		スマートフォンに 画像を送る
(8) Fn1 /  / 	水準器表示		<ul style="list-style-type: none"> 再生時はFnボタンとして使用できません。



Fnボタン	写真モード時設定	動画/S&Qモード時設定	再生モード時設定
(9)	Fn3	Wi-Fi	写真モード時設定に連動
	Fn4	ヒストグラム表示	WFM表示
	Fn5	手ブレ補正	写真モード時設定に連動
	Fn6	設定なし(長押し無効)	設定なし(長押し無効)
	Fn7	設定なし(長押し無効)	設定なし(長押し無効)
(10)	Fn8	ISO感度	写真モード時設定に連動
	Fn9	ホワイトバランス	
	Fn10	ドライブモード	
	Fn11	AFモード	



• 再生時はFnボタンとして使用できません。

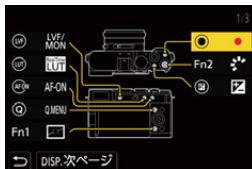
Fnボタンへの機能の登録

1 [Fnボタン設定]を選ぶ







- **MENU/SET** ⇒ [設定] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [写真モード時設定] / [動画/S&Qモード時設定] / [再生モード時設定]

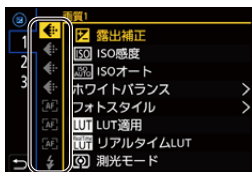
2 ボタンを選ぶ

- ▲▼でボタンを選び、**MENU/SET**を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- ページを切り換えるには、[DISP.]ボタンを押してください。







3 登録する機能を探す

- を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ [設定項目 \(Fnボタン設定 / 写真モード時設定 / 動画/S&Qモード時設定\): 489](#), [設定項目 \(Fnボタン設定 / 再生モード時設定\): 495](#))を選び、を押します。
- を押してサブタブの選択状態にしてから を押す、または を回し、を押しても選択できます。
- [Q]ボタンを押すと、[1]～[3]のタブが切り換わります。



4 機能を登録する

- で機能を選び、を押します。
- または を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。
- ボタンによっては、登録できない機能があります。




- コントロールパネル(→ [コントロールパネル\(写真モード\): 639](#))で[Fn]をタッチしても、手順 **2**の画面を表示できます。
- Fnボタンの長押し(2秒)でも、手順 **4**の画面を表示できます。(登録した機能やボタンの種類によっては表示されません)

❖ 設定項目(Fnボタン設定 / 写真モード時設定 / 動画/S&Qモード時設定)

[1] タブ

◀ 画質

- 露出補正 (→ [露出補正: 280](#))
- ISO感度 (→ [ISO感度: 288](#))
- ISOオート
 - 撮影画面で登録したボタンを押すたびに、ISOオートの[ON] / [OFF]が切り換わります。([OFF]のときは、元のISO感度に戻ります)
- ホワイトバランス (→ [ホワイトバランス\(WB\): 294](#))
- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 302](#))
- LUT適用
 - [リアルタイムLUT]または[MY PHOTO STYLE]の[LUT]で設定したLUTファイルを適用します。(→ [画質調整: 308](#))
- リアルタイムLUT (→ [リアルタイムLUT: 322](#))
- 測光モード (→ [測光モード: 261](#))
- 画像横縦比 (→ [画像横縦比: 107](#))
- 記録ファイル形式(写真) (→ [記録ファイル形式\(写真\): 111](#))
- JPEG/HEIF切換 (→ [JPEG/HEIF切換: 114](#))
- JPEG/HEIF写真画質 (→ [JPEG/HEIF写真画質: 116](#))
- HEIF形式 (→ [HLG撮影\(HEIF形式\): 332](#))
- 画像サイズ (→ [画像サイズ: 109](#))
- ワンショットスポット測光
 - 1回だけ測光モードを[(スポット)]にして撮影します。(→ [測光モード: 261](#))
- 長秒ノイズ除去 (→ [長秒ノイズ除去: 251](#))
- 下限シャッター速度 (→ [下限シャッター速度: 254](#))
- ワンショットRAW+JPEG / ワンショットRAW+HEIF
 - 1回だけRAW画像とJPEG/HEIF画像を同時に撮影します。(→ [記録ファイル形式\(写真\): 111](#))
- 美肌効果 (→ [美肌効果: 320](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 283](#))
- フィルター効果 (→ [フィルター設定: 315](#))

- ワンタッチAE
 - 絞り値やシャッタースピードを、カメラが決めた標準露出に合う設定にします。
(→ [露出補正: 280](#))
- タッチAE (→ [タッチAE: 101](#))
- AWBロック (→ [AWBロック設定: 519](#))
- 写真の露出設定 (→ [写真の露出設定: 521](#))
- 動画/S&Qの露出設定 (→ [動画/S&Qの露出設定: 521](#))
- シンクロスキャン(写真) (→ [シンクロスキャン\(写真\): 252](#))
- シンクロスキャン(動画) (→ [シンクロスキャン\(動画\): 430](#))

[AF] フォーカス/レリーズ

- AFS/AFC(写真) (→ [フォーカスモードの選択: 145](#))
- AFS/AFC(動画) (→ [フォーカスモードの選択: 145](#))
- AFモード (→ [AFモードの選択: 160](#))
- 自動認識設定 (→ [自動認識: 163](#))
- 自動認識の対象 (→ [自動認識: 163](#))
- AFカスタム設定(写真) (→ [AFカスタム設定\(写真\): 154](#))
- AFカスタム設定(動画) (→ [AFカスタム設定\(動画\): 356](#))
- フォーカスリミッター (→ [フォーカスリミッター: 156](#))
- フォーカスリミッター範囲設定 (→ [フォーカスリミッター: 156](#))
- フォーカス枠色設定 (→ [フォーカス枠色設定: 159](#))
- ピーキング (→ [ピーキング: 194](#))
- ピーキング感度 (→ [ピーキング: 194](#))
- フォーカス枠の移動速度 (→ [フォーカス枠の移動速度: 159](#))
- コントロールリングロック (→ [コントロールリングロック: 524](#))
- AE LOCK (→ [ピントや露出の固定\(AF / AEロック\): 286](#))
- AF LOCK (→ [ピントや露出の固定\(AF / AEロック\): 286](#))
- AF/AE LOCK (→ [ピントや露出の固定\(AF / AEロック\): 286](#))
- AF-ON (→ [\[AF ON\]ボタン: 149](#))
- AF-ON: 近側
 - 近くの被写体を優先してAFが働きます。(→ [AFを使う: 147](#))
- AF-ON: 遠側
 - 遠くの被写体を優先してAFが働きます。(→ [AFを使う: 147](#))
- AFポイントスコープ (→ [AFポイントスコープ: 152](#))

- フォーカスエリア選択
 - AFエリア／MFアシストの移動画面を表示します。(→[AFエリアの操作: 179](#)、[MFアシスト画面での操作: 191](#))
- 動画ライブビュー拡大表示(→[動画ライブビュー拡大表示: 357](#))

フラッシュ

- フラッシュモード(→[フラッシュモード: 339](#))
- フラッシュ光量調整(→[フラッシュ光量調整: 344](#))
- ワイヤレスフラッシュ設定(→[ワイヤレスフラッシュ撮影: 347](#))

[2] タブ

その他(写真)

- ドライブモード (→ [ドライブモードの選択: 203](#))
- ドライブモード設定 (→ [ドライブモードの選択: 203](#))
- ブラケット (→ [ブラケット撮影: 232](#))
- 深度合成 (→ [深度合成: 239](#))
- サイレントモード (→ [サイレントモード: 246](#))
- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 258](#))
- シャッター方式 (→ [シャッター方式: 248](#))
- クロップズーム(写真) (→ [クロップズーム\(写真\): 197](#))
- ライブビューコンポジット撮影 (→ [ライブビューコンポジット撮影: 242](#))

記録

- 記録ファイル形式(動画) (→ [記録ファイル形式\(動画\): 128](#))
- 動画画質 (→ [動画画質: 129](#))
- 動画画質(マイリスト) (→ [マイリストから設定する、消去する: 140](#))
- スロー & クイック設定 (→ [スロー & クイック動画: 397](#))

音

- オーディオ情報表示 (→ [オーディオ情報表示: 372](#))
- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 365](#))
- 音声入力ミュート (→ [音声入力ミュート: 365](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 367](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 368](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 370](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 379](#), [4chオーディオ記録: 384](#))
- ホットシューオーディオ入力 (→ [XLRマイクロホンアダプター\(別売\): 376](#), [デジタルガンマイクロホン\(別売\): 381](#))

その他(動画)

- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 258](#))
- 電子手ブレ補正(動画) (→ [電子手ブレ補正\(動画\): 259](#))
- 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 142](#))
- クロップズーム(動画) (→ [クロップズーム\(動画\): 199](#))
- フォーカストランジション (→ [フォーカストランジション: 414](#))
- ライブクロップ (→ [ライブクロップ: 418](#))
- ライブクロップ設定 (→ [ライブクロップ: 418](#))

操作

- Q.MENU (→ [クイックメニュー: 81](#))
- 撮影/再生切換
 - 再生画面に切り換えます。(→ [写真の再生: 441](#)、[動画の再生: 443](#))
- 動画撮影 (→ [動画を撮る: 118](#))
- LVF/モニター切換 (→ [モニターとファインダーの切り換え: 73](#))
- 操作ロック
- ズーム設定 (→ [ズーム設定: 531](#))
- ダイヤル動作切換 (→ [ダイヤルの動作を一時的に変更する: 502](#))

モニター/表示

- プレビュー (→ [プレビューモード: 278](#))
- プレビュー(絞りのみ)
 - Fnボタンを押している間、絞り効果を確認できます。(→ [プレビューモード: 278](#))
- 常時プレビュー (→ [常時プレビュー: 535](#))
- 水準器表示 (→ [水準器表示: 543](#))
- ヒストグラム表示 (→ [ヒストグラム表示: 536](#))
- スポット輝度メーター (→ [スポット輝度メーター: 390](#))
- フレーム表示 (→ [フレーム表示: 393](#))
- 写真グリッドライン表示 (→ [写真グリッドライン表示: 537](#))
- ライブビューブースト (→ [ライブビューブースト: 537](#))
- モノクロライブビュー (→ [モノクロライブビュー: 545](#))
- ナイトモード (→ [ナイトモード: 538](#))

- LVF/モニター表示設定
 - 表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換えます。
(→ [LVF/モニター表示設定: 539](#))
- ゼブラパターン表示 (→ [ゼブラパターン表示: 391](#))
- LUTビューアシスト(モニター) (→ [LUTビューアシスト\(モニター\): 426](#))
- LUTビューアシスト(アプリ) (→ [LUTビューアシスト\(アプリ\): 426](#))
- LUT選択(LUTビューアシスト) (→ [Logビューアシスト: 426](#))

[3] タブ

モニター/表示

- HLGビューアシスト(モニター) (→ [HLGビューアシスト: 429](#))
- オーバーレイ表示 (→ [オーバーレイ表示: 542](#))
- WFM表示 (→ [WFM表示: 388](#))

レンズ/その他

- MF時コントロールリング制御 (→ [MF時コントロールリング制御: 548](#))

IN/OUT

- Wi-Fi (→ [Wi-Fi / Bluetooth接続・設定: 615](#))

設定

- カスタムモード登録 (→ [インスタントカスタム登録: 511](#))

その他

- 設定なし
 - Fnボタンとして使用しないときに設定します。
- 設定なし(長押し無効)
 - Fnボタンとして動作しません。Fnボタンを長押し(2秒)しても、機能の登録画面を表示しません。
- 写真モード時設定に連動
 - [写真モード時設定]で設定したメニューと連動します。([動画/S&Qモード時設定]時のみ)
- デフォルトに戻す
 - Fnボタンを初期設定に戻します。(→ [Fnボタンの初期設定: 484](#))

❖ 設定項目(Fnボタン設定 / 再生モード時設定)

[1]タブ

表示方法

- AF位置から拡大(→[AF位置から拡大: 476](#))
- LUTビューアシスト(モニター)(→[LUTビューアシスト\(モニター\): 476](#))
- HLGビューアシスト(モニター)(→[HLGビューアシスト\(モニター\): 477](#))

画像の加工

- RAW現像(→[RAW現像: 461](#))
- HEIF→JPEG変換(→[HEIF→JPEG変換: 469](#))

情報の付与・削除

- 1枚消去(→[画像の消去: 459](#))
- プロテクト(→[プロテクト: 479](#))
- レーティング★1(→[レーティング: 479](#))
- レーティング★2(→[レーティング: 479](#))
- レーティング★3(→[レーティング: 479](#))
- レーティング★4(→[レーティング: 479](#))
- レーティング★5(→[レーティング: 479](#))

操作

- 撮影/再生切換
 - 撮影画面に切り換えます。(→[写真を撮る: 104](#)、[動画を撮る: 118](#))
- LVF/モニター切換(→[モニターとファインダーの切り換え: 73](#))
- 動画撮影(→[動画を撮る: 118](#))

モニター/表示

- ナイトモード(→[ナイトモード: 538](#))

IN/OUT

- 音声モニタチャンネル(再生時)(→[音声モニタチャンネル\(再生時\): 558](#))
- Wi-Fi(→[Wi-Fi / Bluetooth接続・設定: 615](#))
- スマートフォンに画像を送る(→[カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る: 598](#))

その他

- 設定なし
 - Fnボタンとして使用しないときに設定します。
- 設定なし(長押し無効)
 - Fnボタンとして動作しません。Fnボタンを長押し(2秒)しても、機能の登録画面を表示しません。
- デフォルトに戻す
 - Fnボタンを初期設定に戻します。(→[Fnボタンの初期設定: 484](#))

Fnボタンを使う

Fnボタンを押すと、それぞれの設定で登録した機能を使うことができます。

- [📷]モード時:[写真モード時設定]で登録した機能
- [📹] / [S&Q]モード時:[動画/S&Qモード時設定]で登録した機能
- 再生時:[再生モード時設定]で登録した機能

1 Fnボタンを押す

2 設定項目を選ぶ

- ◀▶ で設定項目を選び、**MENU SET** を押します。
- 🌞 または 🔄 を回しても選択できます。
- 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。

❖ [Fn3]～[Fn7]ボタンを使う(タッチアイコン)

撮影時は、タッチタブ内のFnボタンを使うことができます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ [タッチ設定: 530](#))

- 1 [Fn] をタッチする
- 2 [Fn3]～[Fn7]のいずれかをタッチする



Fnスイッチ

- Fnスイッチへの機能の登録: 498
- Fnスイッチを使う: 499

Fnスイッチに機能の割り当てと設定値の登録ができます。
登録した機能の設定値を簡単に切り換えることができます。

Fnスイッチへの機能の登録

1 [Fnスイッチ設定]を選ぶ

-  →  →  → [Fnスイッチ設定]

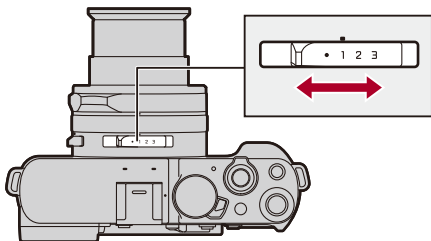
2 [割り当て機能]と[1の設定値]／[2の設定値]／[3の設定値]を設定する

割り当て機能	1の設定値／2の設定値／3の設定値で設定できる項目
ステップズーム	[24mm]／[28mm]／[35mm]／[50mm]／[70mm]／ [75mm]／[Cr85mm] [*] ／[Cr103mm] [*] ／[Cr104mm] [*] ／ [Cr135mm] [*] ／[Cr148mm] [*] ／[Cr150mm] [*] ／[最望遠] [*] * [下限画像サイズ]の設定によっては、設定値までクロップ できない場合があります。 [クロップズーム(写真)]／[クロップズーム(動画)]が [OFF]のときは、Fnスイッチを切り換えても[75mm]の設 定値になります。
フォトスタイル	(⇒ フォトスタイル: 302)
リアルタイムLUT	[LUTライブラリ]に登録したLUTファイルを設定できます。 (⇒ LUTライブラリ: 324)
画像横縦比	[4:3]／[3:2]／[16:9]／[1:1]
自動認識の対象	[人]／[目]／[人]／[鳥]／[猫]／[犬]／[魚]／[鳥]／[魚]／[鳥]／[魚]／ [魚]／[鳥]／[魚]／[鳥]／OFF

Fnスイッチを使う

Fnスイッチを切り換えると、登録した機能の設定値に切り換わります。

Fnスイッチを切り換える



- | | |
|---|-------------------------|
| • | メニューなどで設定している設定値で動作します。 |
| 1 | [1の設定値]で割り当てた設定値で動作します。 |
| 2 | [2の設定値]で割り当てた設定値で動作します。 |
| 3 | [3の設定値]で割り当てた設定値で動作します。 |






ダイヤル動作切換

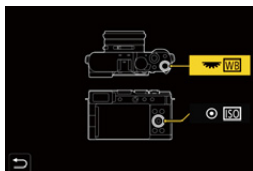
- [ダイヤルへの機能の登録: 500](#)
- [ダイヤルの動作を一時的に変更する: 502](#)

☂ (後ダイヤル)と ⚙ (コントロールダイヤル)で動作する機能を一時的に変更します。


ダイヤルへの機能の登録

1 [ダイヤル動作切換設定]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [ダイヤル設定] ⇒ [ダイヤル動作切換設定]
⇒  / 





2 機能に登録する

- ▲▼で機能を選び、 を押します。

❖ 登録できる機能

- 露出補正 (→ [露出補正: 280](#))
- ISO感度^{*1} (→ [ISO感度: 288](#))
- ホワイトバランス^{*2} (→ [ホワイトバランス\(WB\): 294](#))
- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 302](#))
- 画像横縦比 (→ [画像横縦比: 107](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 283](#))
- フィルター効果 (→ [フィルター設定: 315](#))
- AFモード (→ [AFモードの選択: 160](#))
- フラッシュモード (→ [フラッシュモード: 339](#))
- フラッシュ光量調整 (→ [フラッシュ光量調整: 344](#))
- ドライブモード (→ [ドライブモードの選択: 203](#))

*1  の初期設定

*2  の初期設定

ダイヤルの動作を一時的に変更する

1 Fnボタンに[ダイヤル動作切換]を設定する

(→Fnボタン:484)

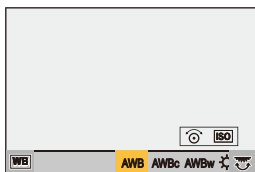
2 ダイヤルの動作を切り換える

- 手順1で設定したFnボタンを押します。
- ☂と⚙️に登録した機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしないと、数秒後にガイドの表示が消えます。



3 登録した機能を設定する

- ガイドが表示されている間に、☂️または⚙️を回します。



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。

クイックメニューのカスタマイズ

●クイックメニューへの登録: 503

クイックメニューに表示する項目や順番を、お好みに合わせて配置できます。

クイックメニューの操作方法について(→ [クイックメニュー: 81](#))

クイックメニューへの登録

クイックメニューに表示させるメニューを変更します。

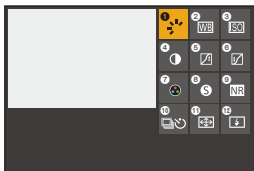
[]モードと[] / [S&Q]モードで別々に設定できます。

1 [Q.MENU設定]を選ぶ




- → [] → [] → [Q.MENU設定] → [表示項目カスタマイズ (写真モード)] / [表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)]

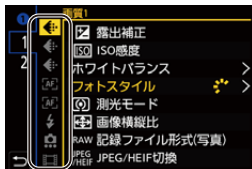
2 項目の位置(1~12)を選ぶ

- ▲▼◀▶ で位置を選び、 を押します。
- を回しても選択できます。





3 登録する機能を探す

- を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ [登録できるメニュー項目: 505](#))を選び、を押します。
- ◀を押してサブタブの選択状態にしてから▲▼を押す、または を回し、▶を押しても選択できます。
- [Q]ボタンを押すと、[1]～[3]のタブが切り換わります。



4 メニュー項目を登録する

- ▲▼で項目を選び、を押します。
- を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。

❖ 登録できるメニュー項目

[1]タブ

🔍 画質

- 露出補正 (→ [露出補正: 280](#))
- ISO感度 (→ [ISO感度: 288](#))
- ホワイトバランス (→ [ホワイトバランス\(WB\): 294](#))
- フォトスタイル (→ [フォトスタイル: 302](#))
- 測光モード (→ [測光モード: 261](#))
- 画像横縦比 (→ [画像横縦比: 107](#))
- 記録ファイル形式(写真) (→ [記録ファイル形式\(写真\): 111](#))
- JPEG/HEIF切換 (→ [JPEG/HEIF切換: 114](#))
- JPEG/HEIF写真画質 (→ [JPEG/HEIF写真画質: 116](#))
- HEIF形式 (→ [HLG撮影\(HEIF形式\): 332](#))
- 画像サイズ (→ [画像サイズ: 109](#))
- 長秒ノイズ除去 (→ [長秒ノイズ除去: 251](#))
- 下限シャッター速度 (→ [下限シャッター速度: 254](#))
- 美肌効果 (→ [美肌効果: 320](#))
- iダイナミックレンジ (→ [iダイナミックレンジ: 283](#))
- フィルター効果 (→ [フィルター設定: 315](#))
- 写真の露出設定 (→ [写真の露出設定: 521](#))
- 動画/S&Qの露出設定 (→ [動画/S&Qの露出設定: 521](#))
- シンクロスキャン(写真) (→ [シンクロスキャン\(写真\): 252](#))
- シンクロスキャン(動画) (→ [シンクロスキャン\(動画\): 430](#))

フォーカス/リリース

- AFS/AFC(写真) (→フォーカスモードの選択: 145)
- AFS/AFC(動画) (→フォーカスモードの選択: 145)
- AFモード (→AFモードの選択: 160)
- 自動認識設定 (→自動認識: 163)
- 自動認識の対象 (→自動認識: 163)
- AFカスタム設定(写真) (→AFカスタム設定(写真): 154)
- AFカスタム設定(動画) (→AFカスタム設定(動画): 356)
- フォーカス枠色設定 (→フォーカス枠色設定: 159)
- ピーキング (→ピーキング: 194)
- ピーキング感度 (→ピーキング: 194)
- フォーカス枠の移動速度 (→フォーカス枠の移動速度: 159)

フラッシュ

- フラッシュモード (→フラッシュモード: 339)
- フラッシュ光量調整 (→フラッシュ光量調整: 344)
- ワイヤレスフラッシュ設定 (→ワイヤレスフラッシュ撮影: 347)

その他(写真)

- ドライブモード (→ドライブモードの選択: 203)
- ドライブモード設定 (→ドライブモードの選択: 203)
- ブラケット (→ブラケット撮影: 232)
- サイレントモード (→サイレントモード: 246)
- 手ブレ補正 (→動作設定: 258)
- シャッター方式 (→シャッター方式: 248)
- クロップズーム(写真) (→クロップズーム(写真): 197)

記録

- 記録ファイル形式(動画) (→記録ファイル形式(動画): 128)
- 動画画質 (→動画画質: 129)
- 動画画質(マイリスト) (→マイリスト登録: 140)
- スロー & クイック設定 (→スロー & クイック動画: 397)

[2] タブ



音

- オーディオ情報表示 (→ [オーディオ情報表示: 372](#))
- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 365](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 367](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 368](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 370](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 379](#), [4chオーディオ記録: 384](#))
- ホットシューオーディオ入力 (→ [XLRマイクロホンアダプター\(別売\): 376](#), [デジタルガンマイクロホン\(別売\): 381](#))



その他(動画)

- 手ブレ補正 (→ [動作設定: 258](#))
- 電子手ブレ補正(動画) (→ [電子手ブレ補正\(動画\): 259](#))
- 動画撮影範囲 (→ [動画撮影範囲: 142](#))
- クロップズーム(動画) (→ [クロップズーム\(動画\): 199](#))
- フォーカストランジション (→ [フォーカストランジション: 414](#))
- ライブクロップ (→ [ライブクロップ: 418](#))
- ライブクロップ設定 (→ [ライブクロップ: 418](#))



操作

- ズーム設定 (→ [ズーム設定: 531](#))

モニター/表示

- 常時プレビュー(→[常時プレビュー: 535](#))
- 水準器表示(→[水準器表示: 543](#))
- ヒストグラム表示(→[ヒストグラム表示: 536](#))
- スポット輝度メーター(→[スポット輝度メーター: 390](#))
- フレーム表示(→[フレーム表示: 393](#))
- 写真グリッドライン表示(→[写真グリッドライン表示: 537](#))
- ライブビューブースト(→[ライブビューブースト: 537](#))
- モノクロライブビュー(→[モノクロライブビュー: 545](#))
- ナイトモード(→[ナイトモード: 538](#))
- LVF/モニター表示設定(→[LVF/モニター表示設定: 539](#))
- ゼブラパターン表示(→[ゼブラパターン表示: 391](#))
- LUTビューアシスト(モニター)(→[LUTビューアシスト\(モニター\): 426](#))
- LUTビューアシスト(アプリ)(→[LUTビューアシスト\(アプリ\): 426](#))
- HLGビューアシスト(モニター)(→[HLGビューアシスト: 429](#))
- オーバーレイ表示(→[オーバーレイ表示: 542](#))
- WFM表示(→[WFM表示: 388](#))

レンズ/その他

- MF時コントロールリング制御(→[MF時コントロールリング制御: 548](#))

IN/OUT




- Wi-Fi(→[Wi-Fi / Bluetooth接続・設定: 615](#))

その他

- 設定なし
– 使用しないときに設定します。

❖ クイックメニューの詳細な設定

クイックメニューの見た目の変更ができます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Q.MENU 設定] を選ぶ


表示スタイル

クイックメニューの見た目を変更します。

[MODE1]: ライブビューとメニューを同時に表示します。

[MODE2]: メニューを画面全体に表示します。

表示項目カスタマイズ(写真モード)

 モード時に表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)

 / [S&Q] モード時に表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

カスタムモード

- [カスタムモードへの登録: 510](#)
- [カスタムモードを使う: 513](#)
- [設定内容の呼び出し: 515](#)



お好みに合わせた撮影モードやメニューの設定内容を、カスタムモードに登録できます。登録した設定はモードダイヤルの[C1]～[C5]モードに切り換えることで使用できます。

カスタムモードへの登録

現在のカメラの設定内容を登録できます。

設定内容は[] / [] / [S&Q]モードごとに登録できます。

お買い上げ時のすべてのカスタムモードには、[P]モードのメニューの初期設定が登録されています。


1 保存したい状態の撮影モードと、メニュー設定にする

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを合わせます。(→ [写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65](#))
- モードダイヤルを合わせます。(→ [撮影モードの選択: 66](#))
- メニューを設定します。

2 [カスタムモード登録]を選ぶ

- → [] → [] → [カスタムモード登録(写真モード)] / [カスタムモード登録(動画モード)] / [カスタムモード登録(S&Qモード)]





3 登録する

- 登録先の番号を選び、 を押します。
- 確認画面が表示されます。[DISP]ボタンを押すと、カスタムモードの名前を変更できます。
文字の入力方法(→ [文字の入力: 91](#))

❖ インスタントカスタム登録

撮影待機画面で、[カスタムモード登録]を登録したFnボタンを押すと、現在の撮影設定を素早くカスタムモードに登録できます。(→ [Fnボタン: 484](#))






- 写真メニューと動画メニューで連動するメニュー項目でも、カスタムモードで登録したメニュー項目は[]/[]/[S&Q]モードごとに登録されるため連動しません。
例)[サイレントモード]を[]モードで[ON]として[C1]に登録した場合でも、[]/[S&Q]モードで[C1]に合わせると[サイレントモード]は[OFF]の設定になっています。
- [iA]モードはカスタムモードに登録できません。



- カスタムモードに登録できる設定の一覧(→ [初期設定/カスタム保存/設定コピーの一覧: 688](#))

❖ カスタムモードの詳細な設定

カスタムモードのセット数を増やしたり、一時的に変更した設定内容をどのタイミングまで維持させるかを設定したりできます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [カスタムモード設定]を選ぶ

カスタムモード表示の制限

[C5]に登録できるカスタムモードの数を設定します。

最大10セットに登録できますが、初期設定では3セットです。

名称変更

カスタムモードの名前を変更します。

[写真] / **[動画]** / **[S&Q]**: モードごとに名称変更できます。

入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

• 文字の入力方法(⇒ [文字の入力: 91](#))

登録内容の呼出タイミング

カスタムモード使用中に一時的に変更した設定内容を、登録時の状態に復帰させるタイミングを設定します。

[撮影モードの変更時] / **[スリープモード解除時]** / **[電源ON時]**

カスタムモードの呼出範囲

[カスタムモード内容の呼出(写真モード)] / **[カスタムモード内容の呼出(動画モード)]** / **[カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)]** で呼び出す設定内容の範囲を設定します。

[絞り値/SS/ISO感度]: 絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定内容を呼び出すことができます。

[ホワイトバランス]: ホワイトバランスの設定内容を呼び出すことができます。

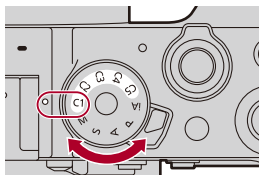
カスタムモードを使う

1 [Ⓜ]、[Ⓜ]または[S&Q]モードにする

(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)

2 撮影モードを[C1]～[C5]にする

- モードダイヤルを合わせます。(→ 撮影モードの選択: 66)
- [C5]の場合は、最後に使ったカスタムモードが呼び出されます。



❖ [C5]のカスタムモードの選択

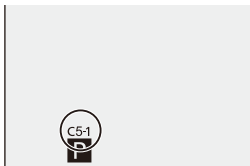
1 撮影モードを[C5]にする

2 を押す

- カスタムモードの選択メニューが表示されます。

3 ▲▼でカスタムモードを選び、 を押す

- 選択中のカスタムモードアイコンが撮影画面に表示されます。





❖ 登録内容の変更

モードダイヤルを[C1]～[C5]に合わせた状態で一時的にカメラの設定内容を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニュー(設定)の[カスタムモード登録(写真モード)]／[カスタムモード登録(動画モード)]／[カスタムモード登録(S&Qモード)]で登録内容を上書きしてください。

設定内容の呼び出し

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

- 1 [Ⓜ]、[Ⓜ]または[S&Q]モードにする
(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ:65)
- 2 使用する撮影モードにする
 - モードダイヤルを合わせます。(→撮影モードの選択:66)
- 3 [カスタムモード内容の呼出]を選ぶ
 -  ⇒ [⚙] ⇒ [⚙] ⇒ [カスタムモード内容の呼出(写真モード)]
／[カスタムモード内容の呼出(動画モード)]／[カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)]
- 4 呼び出すカスタムモードを選ぶ
 - カスタムモードを選び、 を押します。

⚙️ カスタムメニュー

- カスタムメニュー(画質): 517
- カスタムメニュー(フォーカス/レリーズ): 522
- カスタムメニュー(操作): 530
- カスタムメニュー(モニター/表示(写真)): 535
- カスタムメニュー(モニター/表示(動画)): 545
- カスタムメニュー(レンズ/その他): 548

カスタムメニュー(画質)

▶: 初期設定

フォトスタイル設定

フォトスタイル表示の制限	ヴィヴィッド/ナチュラル/L.クラシック/L.クラシックネオ/L.クラシックゴールド/フラット/風景/人物/L.モノクローム/L.モノクロームD/L.モノクロームS/LEICAモノクローム/シネライクA2/シネライクD2/シネライクV2/709ライク/V-Log/リアルタイムLUT/ハイブリッドログガンマ/MY PHOTO STYLE 1 ~ MY PHOTO STYLE 10
メニューに表示するフォトスタイルの項目を設定します。	
マイフォトスタイル設定	調整項目の追加
	登録された設定の呼出
マイフォトスタイルの画質調整に関する詳細設定ができます。	
<p>調整項目の追加:画質調整で[ISO感度]や[ホワイトバランス]の設定を可能にします。</p> <p>登録された設定の呼出:マイフォトスタイルで変更した画質調整値を、登録時の状態に戻すタイミングを設定します。</p>	
フォトスタイルのリセット	
[フォトスタイル]と[フォトスタイル設定]で変更した内容を、初期設定に戻します。	

LUTライブラリ

Vlog_709 / Sample LUT1 / Sample LUT2 / Sample LUT3 / Set4～Set39

LUTファイルをカメラに登録します。

(→ [LUTライブラリ: 324](#))

ISO感度ステップ

▶1/3 EV / 1 EV

ISO感度の調整値の刻みを変更します。

拡張ISO感度

ON / ▶OFF

ISO感度の設定範囲を拡張します。

基準露出レベル調節


マルチ測光	-1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
中央重点	-1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
スポット	-1 EV～+1 EV(▶±0 EV)
ハイライト重点	-1 EV～+1 EV(▶±0 EV)

[測光モード]の設定項目ごとに、標準露出の基準となる露出レベルを調整します。露出補正值(→ [露出補正: 280](#))に本機能の調整値を加えて記録します。

- 動画撮影の場合は、±3 EVの範囲を超えて調整値を加えることはできません。


マルチ測光時の顔優先

▶ON / OFF

[測光モード]を[

[OFF]に設定すると、[瞳・顔]の自動認識機能によって露出が変化することを防ぎます。

AWBロック設定

シャッター操作時のロック動作	押している間 / 連写中 / ▶OFF
Fnボタン操作時のロック維持	▶ON / OFF
<p>ホワイトバランスがオート([AWB] / [AWBc] / [AWBw])のとき、シャッターボタンまたはFnボタンを押している間、ホワイトバランスを固定します。 シャッターボタン半押し中や連写中、動画撮影中に、意図せずホワイトバランスが変化することを防ぎます。</p> <p>シャッター操作時のロック動作</p> <p>[押している間]: シャッターボタンを押している間(半押し中、連写中も含む)、ホワイトバランスを固定します。</p> <p>[連写中]: 連写している間、ホワイトバランスを固定します。</p> <p>[OFF]: ホワイトバランスを固定しません。</p> <p>Fnボタン操作時のロック維持</p> <p>[ON]: [AWBロック]を設定したFnボタンを押すと、ホワイトバランスを固定します。もう一度押すとロックを解除します。</p> <p>[OFF]: [AWBロック]を設定したFnボタンを押している間、ホワイトバランスを固定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホワイトバランス固定中は、画面に[AWBL]が表示されます。 • [] / [S&Q]モード時は、[シャッター操作時のロック動作]は動きません。 	

色空間

▶sRGB / AdobeRGB

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターで再現する場合に、正しく色再現するための方式を設定します。

sRGB: パソコンを中心とした機器で広く使われています。

AdobeRGB: AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いいため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 以下の機能を使用中は、[sRGB]に固定されます。
 - [HEIF形式]の[SDR]
 - 動画撮影
 - [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log]、[リアルタイムLUT](ベースフォトスタイルが[V-Log])
 - [フィルター設定]
- [HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定したときは、[色空間]は使用できません。


露出補正リセット

ON / ▶OFF

撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正值をリセットします。

写真モードの動画露出自動制御

▶ON / OFF

[]モード時に、モードダイヤルを[P] / [A] / [S] / [M]に合わせて動画を撮影するときの絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定方法を選びます。



ON:カメラが自動で設定した値で撮影します。

OFF:手動で設定した値で撮影します。

P/A/S/M時の露出設定

写真の露出設定	▶モードダイヤル / P / A / S / M
動画/S&Qの露出設定	▶モードダイヤル / P / A / S / M
モードダイヤルを[P] / [A] / [S] / [M]に合わせたときの写真または動画 / S&Qの露出設定を、任意の露出モードに固定できます。	
モードダイヤル :モードダイヤルに合わせて、[P] / [A] / [S] / [M]モードを切り換えます。	
P / A / S / M :モードダイヤルにかかわらず、設定したモードで撮影します。	

写真・動画/S&Q独立設定

絞り値/SS/ISO/露出補正	▶独立 / 共通
ホワイトバランス	▶独立 / 共通
フォトスタイル	▶独立 / 共通
測光モード	▶独立 / 共通
AFモード	▶独立 / 共通
[]モードで設定した内容と、[] / [S&Q]モードで設定した内容を分けることができます。	
(→ 写真・動画/S&Q独立設定: 355)	

カスタムメニュー(フォーカス/リリース)

▶:初期設定

フォーカス/リリース優先

AFS	▶フォーカス/バランス/リリース
AFC	フォーカス/▶バランス/リリース
AF時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。	
フォーカス:ピントが合っていないときは撮影できません。	
バランス:ピント合わせとリリースタイミングのバランスをとり撮影します。	
リリース:ピントが合っていないくても撮影できます。	

縦/横位置フォーカス切換

ON / ▶OFF
カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置(MF時はMFアシストの位置)を別々に記憶します。 (→ 縦/横位置フォーカス切換:186)


AF/AEロック維持

ON / ▶OFF
AF / AEロック時のボタン動作を設定します。[ON]にすると、ボタンを離したあと、もう一度押すまでロックを維持します。

AF+MF

ON / ▶OFF
<p>フォーカスモードを[AFS] / [AFC]にしたとき、AFロック中に手動でピントを微調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シャッターボタンを半押ししたとき • [AF ON]ボタンを押したとき • Fnボタンの[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]でロックしたとき <p>動画撮影中に、コントロールリングを回すとMFモードになり、コントロールリングを止めるとAFモードになります。</p>

MFアシスト

コントロールリング	▶ON / OFF
AFモード	▶ON / OFF
MFアシスト表示	全画面 / ▶PIP
全画面拡大時の最大倍率	6倍 / ▶20倍
<p>MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。</p> <p>コントロールリング:コントロールリングでピント合わせをすると拡大表示されません。</p> <p>AFモード:ボタン(◀)を押すと拡大表示されます。</p> <p>MFアシスト表示:MFアシスト(拡大画面)の表示方法(画面全体/画面の一部)を設定します。</p> <p>全画面拡大時の最大倍率:拡大表示([全画面])の最大倍率を設定します。[6倍]に設定すると、拡大できる範囲が広がります。</p>	

MFガイド


▶ON / OFF

MF時に、撮影距離の目安を示すMFガイドを画面に表示します。

コントロールリングロック

ON / ▶OFF

コントロールリング操作を無効にします。













- コントロールリングのロック中は、撮影画面に[MFL]または[]が表示されません。

撮影可能範囲表示

▶  /  / OFF

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)を表示します。表示単位をメートルとフィートから選択できます。

AFモード表示の制限

追尾	▶  / 
フルエリア	▶  / 
ゾーン(横・縦)	▶  / 
ゾーン	▶  / 
1点+補助	▶  / 
ピンポイント	▶  / 
AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定します。	

ピンポイントAF設定

ピンポイントAF時間	LONG / ▶MID / SHORT
ピンポイントAF表示	全画面 / ▶PIP

AFモードが[+]の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。

ピンポイントAF時間: シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。

ピンポイントAF表示: 拡大画面の表示方法(画面全体/画面の一部)を設定します。

ダイレクトフォーカス移動

ON / ▶OFF

撮影時にカーソルボタンを使って、AFエリアやMFアシストを移動します。

- 以下の位置をカーソルボタンで移動できます。
 - [.....]、[⦿]、[⦿]、[■] 選択時: AFエリア
 - [■] 選択時: ピントを合わせる被写体(自動認識が[ON]で複数の被写体が認識されているときに、ピントを合わせる被写体を切り換えることができます)
 - [⦿] 選択時: ロック開始位置
 - [+] 選択時: 拡大位置
- ホワイトバランス、ISO感度などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー(→ [クイックメニュー: 81](#))やFnボタン(→ [Fnボタン: 484](#))を使って設定してください。
- 以下の場合、[ダイレクトフォーカス移動]が[OFF]に固定されます。
 - [フィルター設定]設定時

AF ポイントスコープ設定

拡大表示維持	ON / ▶OFF
PIP表示	全画面 / ▶PIP

AF ポイントスコープ(→[AF ポイントスコープ: 152](#))の拡大表示の設定を変更します。

拡大表示維持: [ON]に設定すると、Fn ボタンを押したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。

PIP表示: 拡大画面の表示方法(画面全体^{*1} / 画面の一部^{*2})を設定します。

*1 約3倍～10倍に拡大できます。

*2 約3倍～6倍に拡大できます。

- [クロップズーム(写真)]が[ON]のとき、AF ポイントスコープの拡大倍率は約3倍～6倍になります。

自動認識枠の複数表示

▶ON / OFF

AF 時の自動認識枠の表示方法を設定します。

ON: 認識したすべての被写体に枠を表示します。

OFF: 主要な被写体だけに枠を表示します。

- 別の被写体に枠を表示したいときは、タッチ操作で被写体を切り換えてください。

人物瞳認識表示

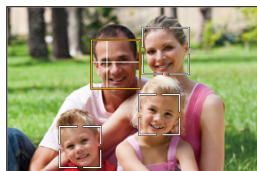
瞳の表示方法	▶ + / □
合焦時の十字線表示	▶ ON / OFF

人物の瞳を認識したときの表示方法を設定します。

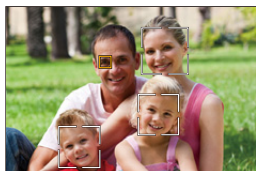
瞳の表示方法

【 + 】: 瞳の位置をAFエリア内に十字線で表示します。(A)

【 □ 】: 瞳の位置を四角の枠で表示します。(B)



(A)



(B)

合焦時の十字線表示

【ON】: シャッターボタンを半押ししたときなどの合焦時に、瞳の十字線を表示したままにします。

【OFF】: シャッターボタンを半押ししたときなどの合焦時に、瞳の十字線を非表示にします。

シャッター半押しAF

▶ ON / OFF
シャッターボタン半押し時に、自動でピントを合わせます。


シャッター半押しリリース

ON / ▶OFF

シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

シャッター全押し動画記録

▶ON / OFF

[] / [S&Q]モード時、動画記録の開始/終了操作にシャッターボタンを使用します。

[OFF]にすると、シャッターボタンを使用した記録開始/終了操作を無効にできます。

クイックAF

ON / ▶OFF

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動でピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。

- バッテリーの消費が早くなる場合があります。
- 以下の場合、[クイックAF]は働きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時

アイセンサーAF

ON / ▶OFF

ファインダーをのぞいてアイセンサーが動作したとき、AFが働きます。

- 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。

フォーカス枠のループ移動

ON / ▶OFF

AFエリアやMFアシスト、動画ライブビュー拡大表示移動時に、画面の端から逆の端にループできるようにします。

動画ライブビュー拡大表示設定

拡大表示維持

▶ON / OFF

PIP表示

全画面 / ▶PIP

動画ライブビュー拡大表示機能(→[動画ライブビュー拡大表示:357](#))の動作を設定します。

拡大表示維持

[ON]:Fn ボタンを離したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。

[OFF]:Fn ボタンを押している間だけ拡大表示します。

PIP表示

拡大画面の表示方法(画面全体 / 画面の一部)を設定します。

カスタムメニュー(操作)

▶:初期設定








Q.MENU設定

表示スタイル	▶MODE1 / MODE2
表示項目カスタマイズ(写真モード)	
表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)	
クイックメニューのカスタマイズができます。 (→ クイックメニューのカスタマイズ: 503)	


タッチ設定

タッチパネル	▶ON / OFF
タッチタブ	ON / ▶OFF
タッチAF	▶AF / AF+AE
タッチパッドAF	▶絶対位置 / 相対位置1～相対位置7 / OFF
<p>モニター画面のタッチ操作を有効にします。</p> <p>タッチパネル:すべてのタッチ操作。 タッチタブ:画面右に表示される[◀]などのタブ操作。 タッチAF:タッチした被写体にピントを合わせる操作([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作([AF+AE])。(→ タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE]): 183) タッチパッドAF:ファインダー表示中のタッチパッド操作。(→ タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作: 184)</p>	


操作ロック時の動作

カーソル	▶  / 
タッチパネル	▶  / 
ダイヤル	▶  / 
DISP.ボタン	▶  / 

Fnボタンの[操作ロック]で操作を無効にする対象を設定します。(撮影画面のみ)

カーソル:カーソルボタン、[MENU/SET]ボタン、および 

タッチパネル:タッチパネル

ダイヤル:  および 

DISP.ボタン: [DISP.]ボタン

ズーム設定



ズーム動作	▶ズーム／ステップズーム	
ズーム速度(写真)	▶H／L	
ズーム速度(動画)	撮影待機中	▶H／L
	撮影中	▶H／L

ズーム操作時の動作や速度を設定します。

ズーム動作

ズーム:通常のズーム動作です。

ステップズーム:一般的な単焦点レンズの焦点距離(35 mm フィルムカメラ換算)の画角(写せる角度)をイメージしやすいように、ズームの動作を設定できます。ステップズームを使うと、カメラのレンズ交換のように、ズーム倍率を操作できます。

- [ズーム速度(写真)]は [] モード時のズーム速度を設定します。
- [ズーム速度(動画)]は [] / [S&Q]モード時のズーム速度を設定します。
- [H]はズーム速度が速くなります。[L]はズーム速度が遅くなります。

Fn ボタン設定

写真モード時設定
動画/S&Qモード時設定
再生モード時設定
Fn ボタンに機能を登録できます。 (→Fn ボタンへの機能の登録: 487)






Fn スイッチ設定

割り当て機能	ステップズーム／フォトスタイル／リアルタイムLUT／▶画像縦横比／自動認識の対象
1の設定値	
2の設定値	
3の設定値	
Fn スイッチに割り当てる機能を設定します。 (→Fn スイッチ: 498)	

ISO 感度画面の操作

後ダイヤルの割当	▶ISO / ISO LIMIT / ISO AUTO / OFF
ISO 感度の設定画面でのダイヤル動作を設定します。 [ISO LIMIT] を割り当てると、[ISO オート上限設定] を変更できます。 [ISO AUTO] を割り当てたダイヤルを操作するたびに、ISO オートの[ON] / [OFF] が切り換わります。([OFF] のときは、元のISO 感度に戻ります)	

露出補正画面の操作

上/下ボタンの割当	 / ▶OFF
露出補正画面での ▼▲ ボタン動作を設定します。 [] を割り当てると、露出ブラケットの設定ができます。	
後ダイヤルの割当	▶  /  / OFF
露出補正画面でのダイヤル動作を設定します。 [] を割り当てると、フラッシュ発光量を調整できます。	

ダイヤル設定

F/SSダイヤルの割当		▶設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4 / 設定5			
[P] / [A] / [S] / [M]モード時のダイヤルに割り当てる操作を設定します。 P/☑: プログラムシフト、F: 絞り値、SS: シャッタースピード					
		P	A	S	M
設定1		P/☑	F	SS	F
		P/☑	F	SS	SS
設定2		—	F	—	F
		P/☑	—	SS	SS
設定3		—	—	SS	SS
		P/☑	F	—	F
設定4		—	—	—	F
		P/☑	F	SS	SS
設定5		P/☑	F	SS	F
		—	—	—	SS
F/SSダイヤルの回転					
絞り値とシャッタースピードを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。					
露出補正のダイヤル割当		/ / ▶OFF			
露出補正の操作を または に割り当てます。([M]モード時を除く) • [F/SSダイヤルの割当]の設定が優先されます。					
ダイヤル動作切換設定					
Fnボタンの[ダイヤル動作切換]で、 または に一時的に登録する機能を設定します。(→ ダイヤルへの機能の登録: 500)					
メニュー時の操作方向					
メニューを操作する際のズームレバーとダイヤルの回転方向を変更します。					

カスタムメニュー(モニター/表示(写真))

▶:初期設定

オートレビュー

時間(写真)	ホールド / 5秒～0.5秒 / ▶OFF
再生操作優先	ON / ▶OFF
<p>写真撮影後に撮影画像を表示します。</p> <p>時間(写真):写真撮影時のオートレビュー時間を設定します。</p> <p>再生操作優先:[ON]に設定すると、オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •[時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。 	

常時プレビュー

▶ON / OFF	
設定	効果
	MFアシスト中のプレビュー
	AF動作中のプレビュー
<p>[A] / [M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果を確認できます。[M]モード時は同時にシャッタースピードも確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •[効果]で絞り効果、シャッタースピード効果の組み合わせを設定できます。 •[MFアシスト中のプレビュー]を[ON]に設定すると、MFアシスト画面でもプレビューが働きます。 •[AF動作中のプレビュー]を[ON]に設定すると、AF動作中でもプレビューが働きます。 	

ヒストグラム表示

ON / ▶OFF

ヒストグラムを表示します。

[ON]にすると、ヒストグラムの移動画面が表示されます。▲▼◀▶で位置を設定できます。

- 撮影画面上でヒストグラムをドラッグしても位置を移動できます。
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。グラフの分布を見ることによって、現在の露出状況を判断できます。



(A) ← → (B)

(A) 暗い

(B) 明るい



- 以下の条件で撮影画像とヒストグラムが一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
 - 露出補正時
 - フラッシュが発光するとき
 - 低照度時など標準露出にならないとき
- 以下の機能を使用中は、[ヒストグラム表示]は動きません。
 - [WFM表示]
- 撮影時のヒストグラムは目安です。

写真グリッドライン表示

    / ▶OFF

撮影画面に表示するグリッドラインのパターンを設定します。

[]にすると、▲▼◀▶で位置を設定できます。

- []は、撮影画面上でグリッドラインの[]をドラッグしても位置を移動できません。

ライブビューブースト

MODE1 / MODE2 / ▶OFF

設定	P/A/S/M / ▶M
----	--------------

暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。

MODE1: 明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。


MODE2: 明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。

- [ライブビューブースト]が働く撮影モードは、[設定]で変更できます。
- 記録される画像に影響はありません。
- 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。
- 以下の場合、[ライブビューブースト]は働きません。
 - 露出を合わせるとき(シャッターボタンを半押ししたときなど)
 - 動画撮影中
 - [フィルター設定]使用中
 - [常時プレビュー]のシャッタースピード効果を表示中



ナイトモード

モニター	ON / ▶OFF
LVF	ON / ▶OFF


モニターやファインダーの表示を赤色にします。暗い環境で、画面のまぶしさにより周囲が見えにくくなることを軽減します。赤色で表示するときの輝度の設定もできます。

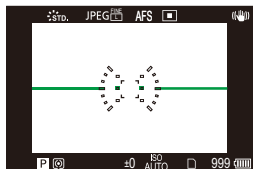
- 1 ▲▼◀▶でモニターまたはファインダー(LVF)の[ON]を選ぶ
- 2 [DISP.]ボタンを押し、輝度調整の画面を表示する
 - モニターを調整するときにはモニターを、ファインダーを調整するときにはファインダーを表示してください。
- 3 ◀▶で輝度を調整し、 を押す

LVF/モニター表示設定

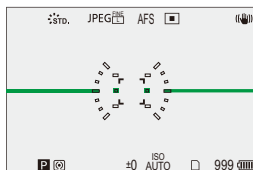
LVF表示設定	
モニター表示設定	

ライブビューを情報表示と重ならないように表示するか、全画面に表示するかを選択できます。

: 適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。



: 画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。



- 現在表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換える機能をFnボタンに登録できます。(→LVF/モニター表示設定: 494)

モニター左右反転表示	▶AUTO / ON / OFF
モニター上下反転表示	▶AUTO / ON / OFF

撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できます。

モニター左右反転表示

[AUTO]:モニターの開閉角度に合わせて、自動で左右を反転して表示します。
[ON]:常に左右を反転して表示します。
[OFF]:反転表示を行いません。

モニター上下反転表示

[AUTO]:モニターの回転角度に合わせて、自動で上下を反転して表示します。
[ON]:常に上下を反転して表示します。
[OFF]:反転表示を行いません。

- 本機能の設定は、再生画面には反映されません。

露出メーター

ON / ▶OFF

露出メーターを表示します。

SS	125	60	30	15	8
F	2.8	4.0	5.6	8.0	11

 30 F5.6

- [ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り、またはシャッタースピード設定時に露出メーターが表示されます。
- 一定時間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。

焦点距離

▶ON / OFF

ズーム操作中に、撮影画面に焦点距離を表示します。

ハイライト表示



ON / ▶OFF

オートレビュー中、または画像を再生中に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。



- 再生画面で [DISP.] ボタンを押したときの表示に、ハイライトなし表示が追加されます。ハイライト表示を消したいときに使います。(→ [再生画面: 78](#))

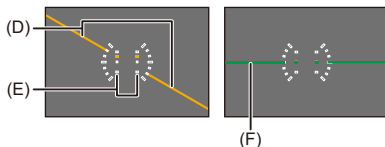
オーバーレイ表示

ON / OFF	
設定	透過度
	画像選択
	電源OFF時解除
	シャッター操作時の表示
<p>撮影済みの写真、または動画から切り出した画像を撮影画面に重ねて表示します。</p> <p>1 [画像選択]で表示する写真または動画を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> • ◀▶ で写真または動画を選び、 を押して決定します。 <p>2 (動画選択時)写真を切り出す位置で再生を一時停止する</p> <ul style="list-style-type: none"> • ▲ を押すと再生を一時停止します。 • 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。 <p>3 (動画選択時)写真を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> •  を押します。 <ul style="list-style-type: none"> • [シャッター操作時の表示]を[OFF]にすると、シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、[オーバーレイ表示]を解除します。 • 動画から切り出した写真は保存されます。 • 以下の機能を使用中は、[オーバーレイ表示]は動きません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影 - コマ撮りアニメ - [自動画像転送(Wi-Fi)] 	

水準器表示

▶ON / OFF

カメラの傾きを補正するときに便利な、水準器を表示します。



(D) 水平方向

(E) 垂直方向

(F) 緑色(傾きなし)

- 傾きが補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。
- カメラを大きく上や下に向けると、水準器が正しく表示できないことがあります。
- セットアップメニュー(モニター/表示)の[水準器調整]で、水準器の調整や、調整値のリセットができます。(→ [水準器調整: 557](#))

スポット輝度メーター

ON / ▶OFF

被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。
 (→ [スポット輝度メーター: 390](#))

ライブビュー境界線表示

ON / ▶OFF

ライブビューの境界線を表示します。

撮影画面の遷移(モニター)

コントロールパネル

▶ON / OFF

消灯画面

▶ON / OFF

[DISP] ボタンでの表示切り換え時に、コントロールパネルと消灯画面を表示します。
 (→ [撮影画面: 76](#))

ライブビューの縦表示

▶ON / OFF

カメラを縦向きにした場合に、画面も縦向きに表示します。
 (→ [ライブビューの縦表示: 79](#))

カスタムメニュー(モニター/表示(動画))

▶: 初期設定

Logビューアシスト

LUT 選択(V-Log)	
LUTビューアシスト(モニター)	ON / ▶OFF
LUTビューアシスト(アプリ)	ON / ▶OFF
LUT ファイルを適用した映像をモニター／ファインダーやスマートフォンに表示できます。 (→ Logビューアシスト: 426)	

HLGビューアシスト

モニター	MODE1 / ▶MODE2 / OFF
HLG 動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示します。 (→ HLGビューアシスト: 429)	

モノクロライブビュー

ON / ▶OFF
撮影画面を白黒で表示できます。 • [ナイトモード]使用中は、[モノクロライブビュー]は使用できません。

センターマーカ表示

/ ▶OFF	
撮影画面の中心を示す [+] を表示します。マーカ形状を変更できます。	

セーフティーゾーンマーカ表示

<input type="checkbox"/> / [] / ▶OFF		
設定	サイズ	95%
		▶90%
		80%
家庭用テレビで受像できる範囲の目安となる、セーフティーゾーンを撮影画面に表示します。		

フレーム表示

ON / ▶OFF	
設定	フレーム1
	フレーム2
	フレーム3
	フレームマスク
	ライブビューのタッチ操作
設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。 (→ フレーム表示: 393)	

ゼブラパターン表示

ゼブラ 1 / ゼブラ 2 / ゼブラ 1+2 / ▶OFF	
設定	ゼブラ 1
	ゼブラ 2
基準値より明るい部分をしま模様で表示します。 (→ ゼブラパターン表示: 391)	

WFM表示

ON / ▶OFF
撮影画面にウェーブフォームを表示します。 (→ WFM表示: 388)

動画記録中の赤枠表示

ON / ▶OFF
撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。

カスタムメニュー(レンズ/その他)

▶:初期設定

レンズ位置メモリー

ON / ▶OFF

電源を切ったときのピントの位置を記憶します。

レンズ収納

▶ON / OFF

再生画面に切り換えて、しばらくするとレンズ鏡筒を収納します。

AF時コントロールリング設定

▶ズーム/ステップズーム/露出補正/ISO感度/ホワイトバランス/色温度/AFモード/フォトスタイル/LUT選択/設定なし

カメラがAF時にコントロールリングに割り当てる機能を設定します。

MF時コントロールリング制御

▶ノンリニア/リニア/設定

カメラがMF時のコントロールリングによるピントの移動量を設定します。

ノンリニア:コントロールリングの回転速度に応じて、加速度をつけてピントを移動します。

リニア:コントロールリングの回転角度に応じた一定の量でピントを移動します。

設定:[リニア]選択時、コントロールリングの回転角度を設定します。

動画の縦位置情報

▶ON / OFF

動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する / しないを設定できます。

ON : 縦位置情報を記録します。カメラを縦にして撮影した動画は、パソコンやスマートフォンなどで再生時に自動で縦向きに再生されます。

OFF : 縦位置情報を記録しません。

- カメラの再生画面では、サムネイル表示だけで縦向きに再生します。

㊦ セットアップメニュー

- [セットアップメニュー\(カード/ファイル\): 551](#)
- [セットアップメニュー\(モニター/表示\): 555](#)
- [セットアップメニュー\(IN/OUT\): 558](#)
- [セットアップメニュー\(設定\): 561](#)
- [セットアップメニュー\(その他\): 563](#)

セットアップメニュー(カード/ファイル)

▶: 初期設定

フォーマット

カードをフォーマット(初期化)します。使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。

- フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- カードに保存したカメラの設定情報を残してカードをフォーマットできます。
(→ [カメラ設定の保存/読み込み: 562](#))

フォルダー/ファイル設定

フォルダー選択/新規フォルダー作成/ファイル名設定

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名

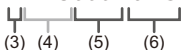
100ABCDE



- (1) フォルダー番号(3桁、100～999)
- (2) 任意の5桁

ファイル名

PABC0001.JPG



- (3) 色空間 ([P]:sRGB、[_]:AdobeRGB)
- (4) 任意の3桁
- (5) ファイル番号(4桁、0001～9999)
- (6) 拡張子

フォルダー選択:画像を保存するフォルダーを選択します。

新規フォルダー作成:フォルダー番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。

- カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。

[OK]:

任意の5桁(上記(2))は変更せずに、フォルダー番号を繰り上げます。

[フォルダー名変更]:

任意の5桁(上記(2))を変更します。フォルダー番号も繰り上がります。

ファイル名設定

[フォルダー番号連動]:

任意の3桁(上記(4))をフォルダー番号(上記(1))にします。

[ユーザー設定]:

任意の3桁(上記(4))を変更します。

- 文字の入力画面が表示されたら、「**文字の入力**」の手順に従って文字入力してください。(→ **文字の入力: 91**)
設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、[_]
- 1つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
 - フォルダー内のファイル数が1000に達したとき
 - ファイル番号が9999に達したとき
- フォルダー番号が100～999のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。

ファイル番号リセット

DCIMフォルダー内のフォルダー番号を更新し、ファイル番号を0001にリセットします。

- フォルダー番号が999になるとファイル番号リセットができなくなります。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- **フォルダー番号を100にリセットするには:**
 - 1 [フォーマット]を実行し、カードをフォーマットする(→ [フォーマット: 551](#))
 - 2 [ファイル番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットする
 - 3 フォルダー番号のリセット画面で、[はい]を選ぶ

著作権情報

撮影者	ON / ▶OFF / 設定
著作権者	ON / ▶OFF / 設定
著作権情報の表示	
登録した撮影者、著作権者の名称を、画像のExif情報に記録します。	
<ul style="list-style-type: none"> • [撮影者]、[著作権者]の[設定]から、それぞれの名称を登録できます。 文字の入力方法(→ 文字の入力: 91) • 入力できる文字数は最大63文字です。 • 登録した著作権情報は、[著作権情報の表示]で確認できます。 	

セットアップメニュー(モニター/表示)

▶: 初期設定

エコモード

スリープモード	10分 / 5分 / 2分 / ▶1分 / OFF
LVF/モニター自動OFF	5分 / 2分 / ▶1分 / OFF
省電力ファインダー撮影	スリープするまでの時間
	動作する条件
<p>一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー/モニターを消灯したりする機能です。 (→ エコモード: 52)</p>	

動画撮影時の制限緩和

動画記録停止温度	高 / ▶標準
<p>動画撮影時に、カメラが自動で撮影を停止する温度を設定します。[高]に設定すると、カメラの温度が上昇しても撮影を続けます。</p> <p>動画記録停止温度</p> <p>高: カメラの温度上昇により、撮影を停止する温度を高めに設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> より長時間の撮影が可能になりますが、カメラ本体が熱くなります。長時間、直接触れていると低温やけどの原因になるため、三脚などをご使用ください。 <p>標準: カメラの温度が上がると撮影を停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手持ち撮影のときは、[標準]に設定してください。 	

メニュー色

標準 / ▶ゴールド

(-Nのモデルだけ対応)

メニュー画面の色を設定します。

モニター表示速度

▶30fps / 60fps

モニターのライブビュー表示速度を設定します。

30fps : 電力消費を抑え、使用時間が長くなります。

60fps : 動きを滑らかに表示できます。


• カメラの温度が上がると、30 fpsになります。

モニター調整 / LVF調整

明るさ / コントラスト / 彩度 / 赤み / 青み

モニター / ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整します。

1 ▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する

2  を押して決定する

• モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。

モニター輝度 / LVF 輝度

▶AUTO / -3 ~ +3

モニター / ファインダーの輝度を調整します。

AUTO: 周囲の明るさに応じて、自動で明るさを調整します。

- モニター表示時はモニターの、ファインダー表示時はファインダーの輝度を調整します。
- [AUTO] または調整値をプラス側に設定中は、使用時間が減少します。
- [ナイトモード] 使用中は、[モニター輝度] / [LVF 輝度] は使用できません。
- カメラの温度が上がると、カメラが自動でモニターの輝度を下げることがあります。カメラの温度が下がると元の輝度に戻ります。

アイセンサー

感度

▶強 / 弱

アイセンサーの感度を設定します。

LVF / モニター切換


▶LVF/MON AUTO (ファインダー / モニター自動切換) / LVF (ファインダー表示) / MON (モニター表示)

ファインダー表示 / モニター表示の切り換えを設定します。

- [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF / モニター切換] の設定も切り換わります。

水準器調整

調整

カメラを水平な状態にし、 を押してください。水準器が調整されます。

調整値リセット

水準器の調整値を初期設定に戻します。

セットアップメニュー(IN/OUT)

▶: 初期設定

電子音

電子音音量	(大) / (小) / (OFF)
合焦音音量	(大) / (小) / (OFF)
合焦音音色	① (パターン1) / ② (パターン2) / ③ (パターン3)
シャッター音音量	(大) / (小) / (OFF)
シャッター音音色	① (パターン1) / ② (パターン2) / ③ (パターン3)
電子音や合焦音、シャッター音を設定します。	

音声モニタチャンネル(再生時)

▶CH1+CH2 / CH3+CH4 / CH1+CH2+CH3+CH4 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4
動画再生時に本体スピーカーに出力する音声チャンネルを選択します。
<ul style="list-style-type: none"> • 動画再生中は設定を変更できません。 • カメラのスピーカーからはLチャンネルとRチャンネルをミックスした音声を出力します。

Wi-Fi®

Wi-Fi 周波数帯
機器名称/パスワード
Wi-Fi 機能ロック
ネットワークアドレス表示
Wi-Fiの設定をします。(→ Wi-Fiメニュー: 617)

Bluetooth®

Bluetooth 機能 (→ Bluetooth機器との接続: 620)	
ペアリング	スマートフォン登録
	ジンバル登録
	解除

LUMIX Lab

スマートフォンに画像を送る (→ メニュー操作で簡単に転送する: 599)
自動画像転送(Wi-Fi) (→ 自動画像転送(Wi-Fi): 602)
位置情報記録 (→ 位置情報記録: 605)

USB

USBモード	接続時に選択 / PC(Storage) / PC(Webカメラ) / LUMIX Lab
<p>USB接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続時に選択: 機器と接続したときにUSB通信方式を選びます。(→ USB端子: 624) PC(Storage): パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。(→ パソコンに画像を取り込む: 608) PC(Webカメラ): パソコン用のWebカメラとして使用する場合に設定します。(→ パソコン用のWebカメラとして使用する: 613) LUMIX Lab: 「LUMIX Lab」をインストールしたスマートフォンでカメラを操作する場合に設定します。(→ 「LUMIX Lab」との接続(USB接続): 589) 	
USB給電	▶ON / OFF
<p>USB接続ケーブルから給電します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ACアダプターに接続したときは、[OFF]に設定していても給電されます。 	
Webカメラ画質	<p>4K/15p / 4K/12.5p / FHD/60p / FHD/50p / FHD/30p^{*1} / FHD/25p^{*2} / HD/30p / HD/25p</p> <p>*1 [システム周波数]が[59.94Hz(NTSC)]時の初期設定</p> <p>*2 [システム周波数]が[50.00Hz(PAL)]時の初期設定</p>
<p>Webカメラとして使用する場合の画質を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。 	

NETWORK接続ランプ

▶ON / OFF
NETWORK接続ランプを点灯します。

セットアップメニュー(設定)

カスタムモード登録(写真モード) / カスタムモード登録(動画モード) / カスタムモード登録(S&Qモード)

C1 / C2 / C3 / C4 / C5-1 ~ C5-10

現在のカメラの設定内容を登録できます。

(→ [カスタムモードへの登録: 510](#))

カスタムモード内容の呼出(写真モード) / カスタムモード内容の呼出(動画モード) / カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)

C1 / C2 / C3 / C4 / C5-1 ~ C5-10

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

(→ [設定内容の呼び出し: 515](#))

カスタムモード設定

カスタムモード表示の制限

名称変更

登録内容の呼出タイミング

カスタムモードの呼出範囲

カスタムモードの使いやすさの設定をします。

(→ [カスタムモードの詳細な設定: 512](#))

カメラ設定の保存/読み込み

保存 / 読み込み / 消去 / カードフォーマット時に保持

カメラの設定情報をカードに保存します。保存した設定情報はカメラに読み込みできるため、複数のカメラを同じ設定にできます。

保存 : カメラの設定情報をカードに保存します。

- 新規で保存する場合は[新規保存]を、既存のファイルに上書きする場合は既存のファイルを選んでください。
- [新規保存]を選択した場合は、保存するファイル名が画面に表示されます。

[OK] :

画面に表示されたファイル名で保存します。

[ファイル名変更] :

ファイル名を変更して保存します。

- 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで
- 文字の入力方法(→ [文字の入力: 91](#))

読み込み : カード内の設定情報を読み込んで、カメラにコピーします。

消去 : カード内の設定情報を消去します。

カードフォーマット時に保持 : カードをフォーマットする際に、カードに保存したカメラの設定情報を残してフォーマットできます。

- 設定情報を読み込むことができるのは、同じ機種だけです。
- 1枚のカードに保存できる設定情報は10件までです。
- 設定情報の保存が可能な機能の一覧(→ [初期設定 / カスタム保存 / 設定コピーの一覧: 688](#))

設定リセット

カメラの設定を初期設定に戻します。(→ [設定リセット: 90](#))

セットアップメニュー(その他)

▶: 初期設定

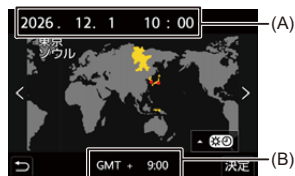
時計設定

日付や時刻を設定します。(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 59](#))

タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。

◀▶でタイムゾーンを選び、**MENU/SET**を押して決定してください。



(A) 現在日時

(B) GMT(グリニッジ標準時)との時差

- サマータイム[▲*⊙](夏時間)を採用している場合は、▲を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度▲を押してください。

システム周波数

▶59.94Hz(NTSC) / 50.00Hz(PAL) / 24.00Hz(CINEMA)


本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。

(→ [システム周波数: 126](#))

ピクセルリフレッシュ

即時開始	
自動実行	▶ON / OFF
撮像素子と画像処理の最適化を行います。	
<p>即時開始: 直ちにピクセルリフレッシュを開始します。終了後は、電源を入れ直してください。</p> <p>自動実行: 一定期間経過後、電源オフ時に自動的にピクセルリフレッシュを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮像素子と画像処理は、初期設定で最適な状態になっています。被写体でない明るい点が記録される場合に、本機能をお使いください。 [サイレントモード]が[ON]のときは、[自動実行]でのピクセルリフレッシュは実行されません。 	

言語設定


▶[日本語]/[ENGLISH](英語)/[简体中文](簡体字中国語)/[繁體中文](繁体字中国語)/[한국어](韓国語)
画面表示の言語を設定します。
<ul style="list-style-type: none"> 誤った言語に設定した場合は、のアイコンが付くメニューを選び、言語を設定し直してください。

バージョン表示

ファームウェアアップデート/ソフト情報

ファームウェアバージョンを確認できます。ファームウェアアップデートの実行や、カメラのソフトウェア情報の表示もできます。

ファームウェアアップデート:アップデートを実行します。

- 1 「[カメラのファームウェアについて](#)」のサイトからファームウェアをダウンロードする(→[カメラのファームウェアについて:24](#))
- 2 カードのルートディレクトリー(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)にファームウェアを保存し、カメラに挿入する
- 3 [ファームウェアアップデート]を選んで  を押し、[はい]を選んでアップデートを実行する

ソフト情報:カメラのソフトウェアに関する情報を表示します。

- XLRマイクロホンアダプターやデジタルガンマイクロホンなどの対応別売品を装着中は、別売品のファームウェアバージョンも確認できます。

CLUB Panasonic 登録

URL表示/QRコード表示

CLUB Panasonicに登録するためのURLまたはQRコードを表示します。
(→[「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします:733](#))

認証情報

認証情報などを表示します。

マイメニュー

- [マイメニューへの登録: 566](#)
- [マイメニューの編集: 567](#)

よく使うメニューをマイメニューとして登録します。最大で23項目登録できます。


登録したメニューは[] ~ [] から呼び出すことができます。

マイメニューへの登録

1 [登録]を選ぶ






-  → [] → [] → [登録]

2 登録する

- 登録するメニューを選び、 を押します。

❖ マイメニューの呼び出し

登録したマイメニューを呼び出します。

 → [] → [] / [] / [] → 登録したメニュー

マイメニューの編集

マイメニューの表示順を並べ換えたり、不要なメニューを消去したりできます。

 →  →  を選ぶ

登録

マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。

並べ換え

マイメニューの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。

消去

マイメニューに登録したメニューを消去します。

[項目消去]:メニューを選び、消去します。

[全消去]:マイメニューに登録したメニューをすべて消去します。

マイメニューから表示

メニューを表示するとき、最初にマイメニューを表示します。

[ON]:マイメニューを表示します。

[OFF]:最後に使ったメニューを表示します。

メニュー一覧

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。本章では、メニューの全項目を一覧形式で紹介しています。




- メニューの操作方法について(→ [メニューの操作方法: 85](#))
- 以下の一覧資料は、「[資料](#)」の章をお読みください。
 - [初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 688](#)
 - [各撮影モードで設定できる機能一覧: 708](#)

- [写真メニュー: 569](#)
- [動画メニュー: 572](#)
- [カスタムメニュー: 575](#)
- [セットアップメニュー: 579](#)
- [マイメニュー: 581](#)
- [再生メニュー: 582](#)



○ 写真メニュー

写真メニューは、[📷]モード時に表示されます。













- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを[📷]に合わせてください。

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

🔑 画質

- フォトスタイル(→ [フォトスタイル: 302](#)) 
- 測光モード(→ [測光モード: 261](#)) 
- 画像横縦比(→ [画像横縦比: 107](#))
- 記録ファイル形式(写真)(→ [記録ファイル形式\(写真\): 111](#))
- JPEG/HEIF切換(→ [JPEG/HEIF切換: 114](#))
- JPEG/HEIF写真画質(→ [JPEG/HEIF写真画質: 116](#))
- HEIF形式(→ [HLG撮影\(HEIF形式\): 332](#))
- 画像サイズ(→ [画像サイズ: 109](#))
- 長秒ノイズ除去(→ [長秒ノイズ除去: 251](#))
- ISO感度設定(写真)(→ [ISO感度設定\(写真\): 292](#))
- シンクロスキャン(写真)(→ [シンクロスキャン\(写真\): 252](#))
- 下限シャッター速度(→ [下限シャッター速度: 254](#))
- 美肌効果(→ [美肌効果: 320](#))
- iダイナミックレンジ(→ [iダイナミックレンジ: 283](#)) 
- 回折補正(→ [回折補正: 334](#)) 
- フィルター設定(→ [フィルター設定: 315](#)) 
- 動画撮影時のフリッカー軽減(→ [動画撮影時のフリッカー軽減: 387](#))




フォーカス

- AFS/AFC(写真) (→ [フォーカスモードの選択: 145](#))
- 自動認識設定 (→ [自動認識: 163](#))  
- 自動認識の対象 (→ [自動認識: 163](#))  
- AFカスタム設定(写真) (→ [AFカスタム設定\(写真\): 154](#))
- フォーカスリミッター (→ [フォーカスリミッター: 156](#))  
- AF補助光 (→ [AF補助光: 158](#))  
- フォーカス枠色設定 (→ [フォーカス枠色設定: 159](#))  
- ピーキング (→ [ピーキング: 194](#))  
- フォーカス枠の移動速度 (→ [フォーカス枠の移動速度: 159](#))  

フラッシュ


- フラッシュモード (→ [フラッシュモード: 339](#))
- 発光モード (→ [発光モード、マニュアル発光量設定: 342](#))
- フラッシュ光量調整 (→ [フラッシュ光量調整: 344](#))
- フラッシュシンクロ (→ [フラッシュシンクロ: 345](#))
- マニュアル発光量設定 (→ [発光モード、マニュアル発光量設定: 342](#))
- 露出補正連動 (→ [露出補正連動: 346](#))
- ワイヤレスモード (→ [ワイヤレスフラッシュ撮影: 347](#))
- ワイヤレスチャンネル (→ [ワイヤレスフラッシュ撮影: 347](#))
- ワイヤレス通信光量 (→ [ワイヤレス通信光量: 352](#))
- ワイヤレス設定 (→ [設定項目\(ワイヤレス設定\): 351](#))


その他(写真)

- ブラケット(→ [ブラケット撮影: 232](#))
- 深度合成(→ [深度合成: 239](#))
- サイレントモード(→ [サイレントモード: 246](#)) 
- クロップズーム(写真)(→ [クロップズーム\(写真\): 197](#))
- 手ブレ補正(→ [手ブレ補正: 256](#)) 
- 連写設定(→ [連写する: 205](#))
- シャッター方式(→ [シャッター方式: 248](#))
- シャッターディレイ(→ [シャッターディレイ: 255](#))
- インターバル/コマ撮り撮影(→ [インターバル撮影: 215](#) / [コマ撮りアニメ撮影: 221](#))
- ライブビューコンポジット撮影(→ [ライブビューコンポジット撮影: 242](#))
- セルフタイマー(→ [セルフタイマー撮影: 227](#)) 
- 多重露出(→ [多重露出: 284](#))

👤 動画メニュー

動画メニューは、[] / [S&Q]モード時に表示されます。

- 写真/動画/S&Q切り換えスイッチを[]または[S&Q]に合わせてください。

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。







🔧 画質

- フォトスタイル(→ [フォトスタイル: 302](#)) 
- 測光モード(→ [測光モード: 261](#)) 
- ISO感度設定(動画)(→ [ISO感度設定\(動画\): 363](#))
- シンクロスキャン(動画)(→ [シンクロスキャン\(動画\): 430](#))
- iダイナミックレンジ(→ [iダイナミックレンジ: 283](#)) 
- 回折補正(→ [回折補正: 334](#)) 
- フィルター設定(→ [フィルター設定: 315](#)) 

📄 記録

- 記録ファイル形式(動画)(→ [記録ファイル形式\(動画\): 128](#))
- 動画撮影範囲(→ [動画撮影範囲: 142](#))
- 動画画質(→ [動画画質: 129](#))
- 動画画質(マイリスト)(→ [マイリスト登録: 140](#))
- スロー & クイック設定(→ [スロー & クイック動画: 397](#))
- 輝度レベル設定(→ [輝度レベル設定: 359](#))




フォーカス

- AFS/AFC(動画) (→ [フォーカスモードの選択: 145](#))
- 自動認識設定 (→ [自動認識: 163](#)) 
- 自動認識の対象 (→ [自動認識: 163](#)) 
- AFカスタム設定(動画) (→ [AFカスタム設定\(動画\): 356](#))
- フォーカスリミッター (→ [フォーカスリミッター: 156](#)) 
- AF補助光 (→ [AF補助光: 158](#)) 
- フォーカス枠色設定 (→ [フォーカス枠色設定: 159](#)) 
- ピーキング (→ [ピーキング: 194](#)) 
- フォーカス枠の移動速度 (→ [フォーカス枠の移動速度: 159](#)) 

音

- 録音レベル表示 (→ [録音レベル表示: 365](#))
- 音声入力ミュート (→ [音声入力ミュート: 365](#))
- 録音ゲイン切換 (→ [録音ゲイン切換: 366](#))
- 録音レベル設定 (→ [録音レベル設定: 367](#))
- 録音音質 (→ [録音音質: 368](#))
- 録音レベルリミッター (→ [録音レベルリミッター: 370](#))
- 風音キャンセラー (→ [風音キャンセラー: 371](#))
- 風音低減 (→ [風雑音の低減: 375](#))
- レンズ動作音低減 (→ [レンズ動作音低減: 372](#))
- マイク端子 (→ [外部マイク\(別売\): 373](#))
- 4chオーディオ記録 (→ [4chオーディオ記録: 379](#)、[4chオーディオ記録: 384](#))
- ホットシューオーディオ入力 (→ [XLRマイクロホンアダプター\(別売\): 376](#)、[デジタルガンマイクロホン\(別売\): 381](#))
- MS2マイク設定 (→ [收音範囲の設定\(別売:DMW-MS2\): 375](#))

その他(動画)

- サイレントモード(→[サイレントモード: 246](#)) 
- クロップズーム(動画)(→[クロップズーム\(動画\): 199](#))
- 手ブレ補正(→[手ブレ補正: 256](#)) 
- セルフタイマー設定(→[セルフタイマー撮影: 227](#)) 
- フォーカストランジション(→[フォーカストランジション: 414](#))
- ライブクロップ(→[ライブクロップ: 418](#))

⚙️ カスタムメニュー

🔍 画質(→ [カスタムメニュー\(画質\): 517](#))

- [フォトスタイル設定\(→ \[フォトスタイル設定: 517\]\(#\)\)](#)
- [LUTライブラリ\(→ \[LUTライブラリ: 324\]\(#\)\)](#)
- [ISO感度ステップ\(→ \[ISO感度ステップ: 518\]\(#\)\)](#)
- [拡張ISO感度\(→ \[拡張ISO感度: 518\]\(#\)\)](#)
- [基準露出レベル調節\(→ \[基準露出レベル調節: 518\]\(#\)\)](#)
- [マルチ測光時の顔優先\(→ \[マルチ測光時の顔優先: 519\]\(#\)\)](#)
- [AWBロック設定\(→ \[AWBロック設定: 519\]\(#\)\)](#)
- [色空間\(→ \[色空間: 520\]\(#\)\)](#)
- [露出補正リセット\(→ \[露出補正リセット: 520\]\(#\)\)](#)
- [写真モードの動画露出自動制御\(→ \[写真モードの動画露出自動制御: 521\]\(#\)\)](#)
- [P/A/S/M時の露出設定\(→ \[P/A/S/M時の露出設定: 521\]\(#\)\)](#)
- [写真・動画/S&Q独立設定\(→ \[写真・動画/S&Q独立設定: 521\]\(#\)\)](#)

[AF] フォーカス/リリース(⇒カスタムメニュー(フォーカス/リリース): 522)

- フォーカス/リリース優先(⇒フォーカス/リリース優先: 522)
- 縦/横位置フォーカス切換(⇒縦/横位置フォーカス切換: 522)
- AF/AEロック維持(⇒AF/AEロック維持: 522)
- AF+MF(⇒AF+MF: 523)
- MFアシスト(⇒MFアシスト: 523)
- MFガイド(⇒MFガイド: 524)
- コントロールリングロック(⇒コントロールリングロック: 524)
- 撮影可能範囲表示(⇒撮影可能範囲表示: 524)
- AFモード表示の制限(⇒AFモード表示の制限: 524)
- ピンポイントAF設定(⇒ピンポイントAF設定: 525)
- ダイレクトフォーカス移動(⇒ダイレクトフォーカス移動: 525)
- AFポイントスコープ設定(⇒AFポイントスコープ設定: 526)
- 自動認識枠の複数表示(⇒自動認識枠の複数表示: 526)
- 人物瞳認識表示(⇒人物瞳認識表示: 527)
- シャッター半押しAF(⇒シャッター半押しAF: 527)
- シャッター半押しリリース(⇒シャッター半押しリリース: 528)
- シャッター全押し動画記録(⇒シャッター全押し動画記録: 528)
- クイックAF(⇒クイックAF: 528)
- アイセンサーAF(⇒アイセンサーAF: 528)
- フォーカス枠のループ移動(⇒フォーカス枠のループ移動: 529)
- 動画ライブビュー拡大表示設定(⇒動画ライブビュー拡大表示設定: 529)

操作(→カスタムメニュー(操作): 530)

- Q.MENU設定(→Q.MENU設定: 530)
- タッチ設定(→タッチ設定: 530)
- 操作ロック時の動作(→操作ロック時の動作: 531)
- ズーム設定(→ズーム設定: 531)
- Fnボタン設定(→Fnボタン設定: 532)
- Fnスイッチ設定(→Fnスイッチ設定: 532)
- ISO感度画面の操作(→ISO感度画面の操作: 532)
- 露出補正画面の操作(→露出補正画面の操作: 533)
- ダイアル設定(→ダイアル設定: 534)

モニター/表示(写真)(→カスタムメニュー(モニター/表示(写真)): 535)

- オートレビュー(→オートレビュー: 535)
- 常時プレビュー(→常時プレビュー: 535)
- ヒストグラム表示(→ヒストグラム表示: 536)
- 写真グリッドライン表示(→写真グリッドライン表示: 537)
- ライブビューブースト(→ライブビューブースト: 537)
- ナイトモード(→ナイトモード: 538)
- LVF/モニター表示設定(→LVF/モニター表示設定: 539)
- 露出メーター(→露出メーター: 541)
- 焦点距離(→焦点距離: 541)
- ハイライト表示(→ハイライト表示: 541)
- オーバーレイ表示(→オーバーレイ表示: 542)
- 水準器表示(→水準器表示: 543)
- スポット輝度メーター(→スポット輝度メーター: 544)
- ライブビュー境界線表示(→ライブビュー境界線表示: 544)
- 撮影画面の遷移(モニター)(→撮影画面の遷移(モニター): 544)
- ライブビューの縦表示(→ライブビューの縦表示: 544)

📺 モニター/表示(動画) (→ カスタムメニュー(モニター/表示(動画)): 545)

- Logビューアシスト (→ Logビューアシスト: 545)
- HLGビューアシスト (→ HLGビューアシスト: 545)
- モノクロライブビュー (→ モノクロライブビュー: 545)
- センターマーカー表示 (→ センターマーカー表示: 546)
- セーフティーゾーンマーカー表示 (→ セーフティーゾーンマーカー表示: 546)
- フレーム表示 (→ フレーム表示: 546)
- ゼブラパターン表示 (→ ゼブラパターン表示: 547)
- WFM表示 (→ WFM表示: 547)
- 動画記録中の赤枠表示 (→ 動画記録中の赤枠表示: 547)

🔍 レンズ/その他 (→ カスタムメニュー(レンズ/その他): 548)

- レンズ位置メモリー (→ レンズ位置メモリー: 548)
- レンズ収納 (→ レンズ収納: 548)
- AF時コントロールリング設定 (→ AF時コントロールリング設定: 548)
- MF時コントロールリング制御 (→ MF時コントロールリング制御: 548)
- 動画の縦位置情報 (→ 動画の縦位置情報: 549)

セッティングメニュー

カード/ファイル(→ [セットアップメニュー\(カード/ファイル\): 551](#))

- フォーマット(→ [フォーマット: 551](#))
- フォルダー/ファイル設定(→ [フォルダー/ファイル設定: 552](#))
- ファイル番号リセット(→ [ファイル番号リセット: 554](#))
- 著作権情報(→ [著作権情報: 554](#))

モニター/表示(→ [セットアップメニュー\(モニター/表示\): 555](#))

- エコモード(→ [エコモード: 555](#))
- 動画撮影時の制限緩和(→ [動画撮影時の制限緩和: 555](#))
- メニュー色(→ [メニュー色: 556](#))
- モニター表示速度(→ [モニター表示速度: 556](#))
- モニター調整/LVF調整(→ [モニター調整/LVF調整: 556](#))
- モニター輝度/LVF輝度(→ [モニター輝度/LVF輝度: 557](#))
- アイセンサー(→ [アイセンサー: 557](#))
- 水準器調整(→ [水準器調整: 557](#))

IN/OUT(→ [セットアップメニュー\(IN/OUT\): 558](#))

- 電子音(→ [電子音: 558](#))
- 音声モニタチャンネル(再生時)(→ [音声モニタチャンネル\(再生時\): 558](#))
- Wi-Fi®(→ [Wi-Fi®: 559](#))
- Bluetooth®(→ [Bluetooth®: 559](#))
- LUMIX Lab(→ [LUMIX Lab: 559](#))
- USB(→ [USB: 560](#))
- NETWORK接続ランプ(→ [NETWORK接続ランプ: 560](#))

設定(→[セットアップメニュー\(設定\): 561](#))

- カスタムモード登録(写真モード)／カスタムモード登録(動画モード)／カスタムモード登録(S&Qモード)(→[カスタムモード登録\(写真モード\)／カスタムモード登録\(動画モード\)／カスタムモード登録\(S&Qモード\): 561](#))
- カスタムモード内容の呼出(写真モード)／カスタムモード内容の呼出(動画モード)／カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)(→[カスタムモード内容の呼出\(写真モード\)／カスタムモード内容の呼出\(動画モード\)／カスタムモード内容の呼出\(S&Qモード\): 561](#))
- カスタムモード設定(→[カスタムモード設定: 561](#))
- カメラ設定の保存/読み込み(→[カメラ設定の保存/読み込み: 562](#))
- 設定リセット(→[設定リセット: 562](#))

その他(→[セットアップメニュー\(その他\): 563](#))

- 時計設定(→[時計設定: 563](#))
- タイムゾーン(→[タイムゾーン: 563](#))
- システム周波数(→[システム周波数: 563](#))
- ピクセルリフレッシュ(→[ピクセルリフレッシュ: 564](#))
- 言語設定(→[言語設定: 564](#))
- バージョン表示(→[バージョン表示: 565](#))
- CLUB Panasonic登録(→[CLUB Panasonic登録: 565](#))
- 認証情報(→[認証情報: 565](#))

マイメニュー

 **1** ページ1 (→ [マイメニュー: 566](#))

 **2** ページ2 (→ [マイメニュー: 566](#))

 **3** ページ3 (→ [マイメニュー: 566](#))

 **マイメニュー編集** (→ [マイメニューの編集: 567](#))

- 登録
- 並べ換え
- 消去
- マイメニューから表示

▶ 再生メニュー

📺 表示方法(→再生メニュー(表示方法):475)

- 再生モード(→再生モード:475)
- スライドショー(→スライドショー:475)
- 縦位置自動回転(→縦位置自動回転:476)
- 画像表示順(→画像表示順:476)
- AF位置から拡大(→AF位置から拡大:476)
- LUTビューアシスト(モニター)(→LUTビューアシスト(モニター):476)
- HLGビューアシスト(モニター)(→HLGビューアシスト(モニター):477)
- 動画再生後の動作(→動画再生後の動作:477)

🔧 画像の加工(→再生メニュー(画像の加工):478)

- RAW現像(→RAW現像:478)
- HEIF→JPEG変換(→HEIF→JPEG変換:478)
- インターバル動画作成(→インターバル動画作成:478)
- コマ撮りアニメ作成(→コマ撮りアニメ作成:478)

🔒 情報の付与・削除(→再生メニュー(情報の付与・削除):479)

- プロテクト(→プロテクト:479)
- レーティング(→レーティング:479)

✂ 画像の編集(→再生メニュー(画像の編集):480)

- リサイズ(縮小)(→リサイズ(縮小):480)
- 画像回転(→画像回転:480)
- 動画分割(→動画分割:481)
- 動画修復(→動画修復:481)

 その他 (→ [再生メニュー\(その他\): 482](#))

- 消去確認画面 (→ [消去確認画面: 482](#))
- 全画像消去 (→ [全画像消去: 482](#))


スマートフォンで操作する

本章では、スマートフォン用アプリケーションとカメラの接続方法や使用方法を説明します。

• 本書ではスマートフォンとタブレットを併せてスマートフォンと表記します。

- 「LUMIX Lab」のインストール: 585
- 「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続): 586
- 「LUMIX Lab」との接続(USB接続): 589
- 「LUMIX Lab」を使う: 590

❖ 使用できるアプリケーション

	特長	接続方法
Panasonic LUMIX Lab 	LUTライブラリの操作や画像の転送などができます。	Bluetooth接続 USB接続

「LUMIX Lab」のインストール


「LUMIX Lab」はパナソニックが提供するスマートフォン用アプリケーションです。



対応OS

Android™: Android 11以上

iOS: iOS 17以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ストア」を選ぶ
(iOS)「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「LUMIX」または「panasonic lumix lab」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Lab」を選び、インストールする



- [リアルタイムLUT]で表示されるQRコードからダウンロードすることもできます。
- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2026年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 操作方法などについては、「LUMIX Lab」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Lab」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続)

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。
2回目以降の接続時は、カメラの[Bluetooth機能]を[スマートフォン]にすると自動で接続されます。



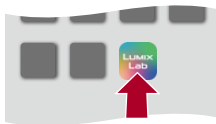
対応スマートフォン

Android™: Android 11以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載(Bluetooth Low Energy非対応の一部の端末を除く)

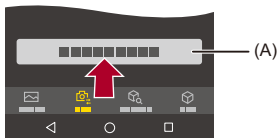
iOS: iOS 17以上

- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。

1 スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する






- 2 表示されるガイドの内容を確認し、アプリの使用を開始する
- 3 [カメラ]画面に切り換え、[カメラを登録]を選ぶ






(A) カメラを登録

4 [Bluetoothで接続]を選ぶ

5 カメラをBluetoothのペアリング待機状態にする

●  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [スマートフォン]



- カメラがペアリングの待機状態になります。
- ペアリング済みのスマートフォンがある場合は、接続待機状態になります。新規でスマートフォンとペアリングしたい場合は、以下の手順でペアリング待機状態にしてください。

●  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [スマートフォン登録]

6 「LUMIX Lab」で接続するカメラを選ぶ




- 確認画面で[ペアリング]を選ぶと、ペアリングを実行します。



- ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。
- Bluetooth接続中は、撮影画面に[]が表示されます。Bluetooth機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、[]が半透明で表示されます。
- Bluetooth機器は16台まで登録できます。16台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [OFF]を選ぶ



- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリングの解除

1 カメラのペアリング設定を解除する

•  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [解除]

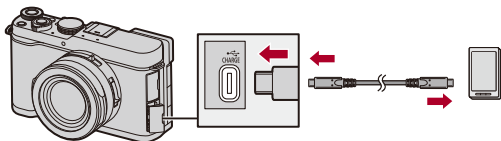
2 ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ



- スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

「LUMIX Lab」との接続(USB接続)

- 1 スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する
- 2 表示されるガイドの内容を確認し、アプリの使用を開始する
- 3 [カメラ]画面に切り換え、[カメラを登録]を選ぶ
- 4 [USBで接続]を選ぶ
- 5 USB接続ケーブル(市販)でカメラとスマートフォンをつなぐ



6 ▲▼で[LUMIX Lab]を選び、**MENU/SET**を押す

- カメラの画面に[🔗]が表示されます。
- スマートフォンの画面に、接続デバイスのアクセス許可を確認するメッセージが表示された場合は、許可してください。許可するまで、接続は完了しません。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

7 スマートフォンで[次へ]を選ぶ



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[LUMIX Lab]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、スマートフォンと接続します。(➡USBモード: 560)



- USBで接続した場合、以下の機能は使用できません。
 - [自動画像転送(Wi-Fi)]
 - リモート撮影
 - シャッターリモコン

「LUMIX Lab」を使う

- LUTライブラリ操作: 590
- リモート撮影: 592
- シャッターリモコン: 594
- マイフォトスタイルを編集する: 596
- カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る: 598
- 写真・動画転送: 600
- 自動画像転送 (Wi-Fi): 602
- 位置情報記録: 605

「LUMIX Lab」からカメラを操作する機能について説明します。

LUTライブラリ操作

「LUMIX Lab」を操作して、カメラ内の[LUTライブラリ]を更新できます。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続): 586、「LUMIX Lab」との接続(USB接続): 589)
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[LUT転送]を選ぶ

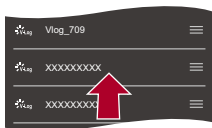
- Bluetooth接続の場合、カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。



(A) LUT転送

2 [LUTライブラリ]画面でLUTファイルを選んで編集する

- LUTファイルの転送、名前の変更、削除、順番の変更ができます。
- [スマホ]には「LUMIX Lab」に保存されているLUTファイルが一覧表示されます。
- [カメラ]にはカメラに保存されているLUTファイルが一覧表示されます。



3 [スマホ]の中から転送するLUTファイルを選ぶ

4 [カメラに転送]を選び、カメラの[LUTライブラリ]を更新する

リモート撮影

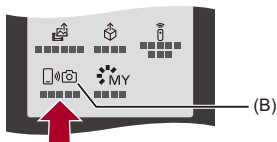
離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続):
586)
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[リモート撮影]を選ぶ

- カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。



(B) リモート撮影

2 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。

- : 写真撮影
- : 動画撮影開始/終了




- [自動画像転送(Wi-Fi)]と組み合わせて使用すると、リモート撮影した画像をスマートフォンに自動で転送できます。(→ [自動画像転送\(Wi-Fi\): 602](#))
- リモート撮影の設定メニューで[自動画像転送(Wi-Fi)]をONにした場合、リモート撮影画面からカメラ画面に戻ることによって機能が有効になります。



- 設定など一部利用できないものがあります。
- USB接続では、リモート撮影はできません。

❖ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。

「LUMIX Lab」のリモート撮影画面で[□]をタッチする

- タッチするたびにアイコンが切り換わります。

(カメラ優先)


カメラとスマートフォンの両方で操作できます。

- 写真／動画／S&Qモードや撮影モードなどの設定をスマートフォンで変更できません。

(スマートフォン優先)

スマートフォンだけで操作できます。

- 写真／動画／S&Qモードや撮影モードなどの設定をスマートフォンで変更できます。
- リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了]を選んでください。

- 初期設定は[□](カメラ優先)に設定されています。

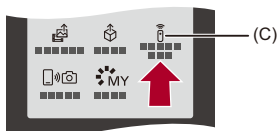
シャッターリモコン

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→「[LUMIX Lab](#)」との接続(Bluetooth接続):
[586](#))
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[シャッターリモコン]を選ぶ



(C) シャッターリモコン

2 撮影する



●
動画撮影開始/終了

●
写真撮影





- [バルブ撮影: 595](#)

❖ バルブ撮影

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるため、星空や夜景の撮影に便利です。

準備:

- カメラを[M]モードにする(→ [マニュアル露出モード: 273](#))
- カメラのシャッタースピードをT(タイム)に設定する(→ [T\(タイム\): 277](#))

- 1 []をタッチして、撮影を開始する(タッチしたまま、指を離さない)
- 2 []から指を離して、撮影を終了する
 - []をLOCK方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。([]を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します)
 - B(バルブ)撮影中にBluetooth接続が切れた場合は、再度Bluetooth接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。



- [自動画像転送(Wi-Fi)]を[ON]に設定しているときは、[シャッターリモコン]が使用できません。
- USB接続では、シャッターリモコンは使用できません。

マイフォトスタイルを編集する

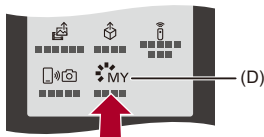
「LUMIX Lab」を操作して、カメラ内のマイフォトスタイルを編集できます。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続): 586、「LUMIX Lab」との接続(USB接続): 589)
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[マイフォトスタイル編集]を選ぶ

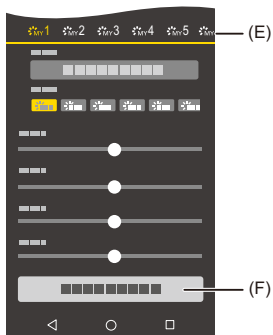
- Bluetooth接続の場合、カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。



(D) マイフォトスタイル編集

2 [マイフォトスタイル編集]画面でマイフォトスタイルを選んで編集する

- 名称変更、ベースとなるフォトスタイルの選択、画質の調整ができます。



(E) マイフォトスタイル

(F) マイフォトスタイル登録

3 [マイフォトスタイル登録]を選び、カメラのマイフォトスタイルに登録する




- カメラの設定が以下の場合、マイフォトスタイルの編集はできません。
 - [iA]モード
 - [HEIF形式]を[HDR(HLG)]に設定時

カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る


再生時に [Q] ボタンを押すだけで、スマートフォンに画像を転送できます。メニューから簡単に転送することもできます。

- [スマートフォンに画像を送る] を登録した Fn ボタンを押しても同じ操作ができます。(→ [Fn ボタン: 484](#))



準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→ [「LUMIX Lab」との接続\(Bluetooth接続\): 586](#)、[「LUMIX Lab」との接続\(USB接続\): 589](#))
- カメラの[] ボタンを押して再生画面を表示する




写真を1枚送る

- 1  で画像を選ぶ
- 2 [Q] ボタンを押す
- 3 [1枚選択] を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 603](#))
- 4 Bluetooth 接続の場合、[Wi-Fiで送る] または [USBで送る] を選ぶ
 - [Wi-Fiで送る] の場合、Wi-Fi 接続を自動で行います。


複数枚の写真を送る

- 1 [Q] ボタンを押す
- 2 [複数選択] を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 603](#))
- 3 画像を選び、転送する
 -  : 画像の選択
 -  : 設定 / 解除
 - [DISP.] : 転送の実行
- 4 Bluetooth 接続の場合、[Wi-Fiで送る] または [USBで送る] を選ぶ
 - [Wi-Fiで送る] の場合、Wi-Fi 接続を自動で行います。

❖ メニュー操作で簡単に転送する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [LUMIX Lab] ⇒ [スマートフォンに画像を送る]

設定: [1枚選択] / [複数選択]

- [1枚選択]のときは、◀▶で画像を選び、を押して実行します。
- [複数選択]のときは、「[複数枚の写真を送る](#)」の場合と同じ操作で実行できます。
(→ [複数枚の写真を送る: 598](#))



- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [MOV]の動画
- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができない場合があります。
- [自動画像転送(Wi-Fi)]を[ON]に設定しているときは、[スマートフォンに画像を送る]が使用できません。

写真・動画転送

「LUMIX Lab」を操作して、カメラからスマートフォンへ画像を転送します。

準備:

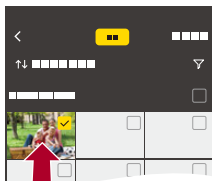
- カメラとスマートフォンを接続する(→「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続): 586、「LUMIX Lab」との接続(USB接続): 589)
- スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動する

1 [カメラ]画面で[写真・動画転送]を選ぶ

- Bluetooth接続の場合、カメラとWi-Fi接続を行います。[接続]を選んで接続を開始してください。

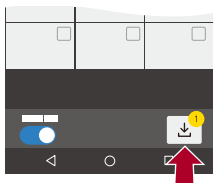
2 転送する画像を選ぶ

- チェックボックスをタッチして選びます。



3 画像を転送する

- [↓]を選びます。





- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [MOV]の動画
- カメラの温度が上がると、転送速度が低下します。



自動画像転送 (Wi-Fi)

撮影するたびに、カメラからスマートフォンへ画像を自動転送します。


準備:

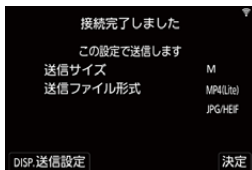
- カメラとスマートフォンを接続する(→「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続): 586)

1 カメラの[自動画像転送 (Wi-Fi)]を有効にする


- **MENU/SET** → [] → [] → [LUMIX Lab] → [自動画像転送 (Wi-Fi)] → [ON]
- 「LUMIX Lab」で機能を有効にすることもできます。
- スマートフォンとWi-Fi接続を行います。

2 カメラで送信設定を確認し、**MENU/SET** を押す

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(→ [画像の送信設定: 603](#))
- カメラの撮影画面に [] が表示されると、自動画像転送ができます。



3 カメラで撮影する

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に [] が表示されます。

❖ 画像の送信設定

送信する画像のサイズやファイル形式を設定します。

- 1 送信設定の確認画面が表示されたら、[DISP.] ボタンを押す
- 2 送信設定を変更する

送信サイズ

送信する画像のサイズを変更します。




[元画像] / [変更]([M]、[S]、[XS]または[VGA])

送信ファイル形式

送信する画像のファイル形式を設定します。

[MP4(Lite)] / [JPG/HEIF] / [RAW]

❖ 自動画像転送を終了する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [LUMIX Lab] ⇒ [自動画像転送(Wi-Fi)] ⇒ [OFF] を選ぶ

- Wi-Fi接続の終了確認画面が表示されます。



- カメラの[Bluetooth機能]を[スマートフォン]に設定し、[自動画像転送(Wi-Fi)]を[ON]に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンとWi-Fi/Bluetoothの接続を自動で行います。スマートフォンで「LUMIX Lab」を起動して、カメラと接続してください。



- 動画の撮影中や再生中は、自動画像転送が一時中断します。送信を再開すると、中断したファイルの先頭から転送を行います。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
 - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- 周囲の温度が高いところで自動画像転送を行うと、通信が切断される場合があります。カメラの電源を切って、カメラの温度が下がるまでお待ちください。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
 - [記録ファイル形式(動画)]の[MP4]、[MOV]
- USB接続では、自動画像転送はできません。




位置情報記録

スマートフォンの位置情報をカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備:

- スマートフォンのGPS機能を有効にする
- カメラとスマートフォンを接続する(→「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続): 586、「LUMIX Lab」との接続(USB接続): 589)

1 カメラの[位置情報記録]を有効にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [LUMIX Lab] ⇒ [位置情報記録] ⇒ [ON]
- 「LUMIX Lab」で機能を有効にすることもできます。
- 位置情報の記録ができる状態になり、カメラの撮影画面に[GPS]が表示されます。

2 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。



- 撮影画面の[GPS]が半透明で表示されるときは、位置情報が未取得のため書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。

パソコンで操作する

本章では、パソコンとの接続について説明します。
接続にはカメラのUSB端子を使用します。

- [パソコンとの接続\(USB接続\): 607](#)
- [パソコンに画像を取り込む: 608](#)
- [パソコン用のWebカメラとして使用する: 613](#)

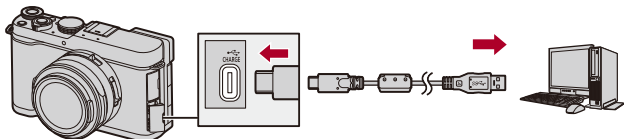
パソコンとの接続(USB接続)



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

USB端子

USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンをつなぐ



- USB接続ケーブルはUSB規格に準拠したケーブルをお使いください。

パソコンに画像を取り込む

- [パソコンに画像をコピーする: 609](#)
- [ソフトウェアのインストール: 612](#)

カメラをパソコンと接続すると、撮影した画像をパソコンにコピーできません。

パソコンで動画の再生や編集をするには、記録した動画形式に対応したソフトウェアをご使用ください。

また、RAW画像を現像、編集するためのソフトウェアをご利用いただけます。(→ [ソフトウェアのインストール: 612](#))

パソコンに画像をコピーする

パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップして、撮影した画像をコピーできます。



- マスストレージデバイス(大容量記憶装置)が認識可能な以下のパソコンに接続できます。

対応OS

Windows: Windows 10、Windows 11

Mac: macOS 12.0～12.7、13.0～13.7、14.0～14.7、15.0～15.6

- Mac:

「Final Cut Pro X」に対応しています。

「Final Cut Pro X」の詳細は、Appleにお問い合わせください。

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる

1 USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンをつなぐ

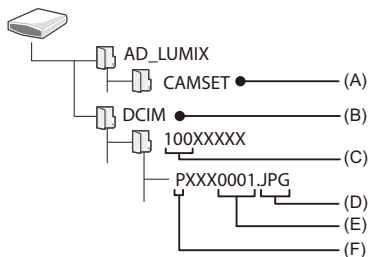
(→ [パソコンとの接続\(USB接続\): 607](#))

2 ▲▼で[PC(Storage)]を選び、を押す

- Windows: 「PC」にドライブ(「LUMIX」)が表示されます。
- Mac: デスクトップ上にドライブ(「LUMIX」)が表示されます。

3 カメラのファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする

❖ カード内のフォルダー構造



(A) カメラの設定情報

(B) 画像

(C) フォルダ番号

(D) JPG: JPEG形式の写真

HIF: HEIF形式の写真

RW2: RAW形式の写真

MP4: MP4(Lite)動画、MP4動画

MOV: MOV動画

(E) ファイル番号

(F) 色空間

P: sRGB

_: AdobeRGB



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→ [USBモード: 560](#))



- 画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 画像の取り込み後は、パソコンを操作してUSB接続ケーブルを安全に取り外してください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

RAW画像を現像、編集するためのソフトウェアをインストールします。



- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 対応OSは2026年5月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。

❖ SILKYPIX Developer Studio SE

RAW画像を現像、編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

動作環境

● 対応OS

Windows: Windows 10(64 bit)、Windows 11

Mac: macOS 10.13～10.15、11、12、13、14、15、26

- SILKYPIX Developer Studioの使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」またはテクノホライゾンのサポートサイトをお読みください。

パソコン用のWebカメラとして使用する



S&Q

iA P A S M

カメラをパソコンとUSB接続すると、カメラをWebカメラとして使用できます。

- UVC(USB Video Class)の規格に対応しています。



- 以下のパソコンに接続できます。

対応OS

Windows: Windows 10、Windows 11

Mac: macOS 14.0～14.7、15.0～15.6

ご利用のパソコンの環境によっては正しく映像が出力されない場合があります。その場合は、Webカメラ画質の設定を変更するか、USB接続ポートを変更することで改善されることがあります。

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる

1 [Webcam]モードにする

(→写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)




2 USB接続ケーブル(市販)でカメラとパソコンをつなぐ

(→パソコンとの接続(USB接続): 607)

3 ▲▼で[PC(Webカメラ)]を選び、を押す

- カメラの画面にが表示されます。

❖ Webカメラ画質を設定する

 ⇒  ⇒  ⇒ [USB] ⇒ [Webカメラ画質] を選ぶ

Webカメラ画質	システム周波数	解像度	フレームレート	接続端子	
				USB3.0	USB2.0
4K/15p	59.94Hz(NTSC)	3840×2160	14.99p	✓	—
FHD/60p		1920×1080	59.94p	✓	—
FHD/30p		1920×1080	29.97p	✓	—
HD/30p		1280×720	29.97p	✓	✓
4K/12.5p	50.00Hz(PAL)	3840×2160	12.50p	✓	—
FHD/50p		1920×1080	50.00p	✓	—
FHD/25p		1920×1080	25.00p	✓	—
HD/25p		1280×720	25.00p	✓	✓

- 映像フォーマット: MJPEG
- 音声フォーマット: LPCM(2ch、48 kHz/16 bit)



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Webカメラ)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。
(→ [USBモード: 560](#))



- 長時間使用すると、音声の遅延が発生する場合があります。
- Webカメラとして接続中は、メニュー画面を表示できません。
- [PC(Webカメラ)]でパソコンと接続しているときは、以下の機能は使用できません。
 - [Bluetooth]
 - ファインダーの表示
- [高温表示について](#)(→ [高温表示について: 125](#))

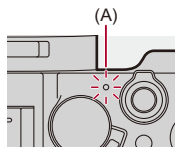
Wi-Fi / Bluetooth 接続・設定

本章では、Wi-Fi®およびBluetooth®を使った接続や設定について説明します。

- [Wi-Fiメニュー: 617](#)
- [Bluetooth機器との接続: 620](#)

❖ Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認

ランプ(青色)	モニター	動作
点灯		Wi-Fi機能を設定しているとき、または接続中
		Bluetooth機能を設定しているとき、または接続中
点滅		カメラ操作による画像データ送信時



(A) NETWORK接続ランプ



- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に通信が切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。



- NETWORK接続ランプが点灯しないように設定できます：
(→ [NETWORK接続ランプ: 560](#))

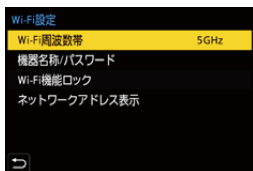
Wi-Fiメニュー

- [Wi-Fi]を登録したFnボタン: 619

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定ができます。Wi-Fi接続中は設定を変更できません。

Wi-Fiメニューを表示する

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Wi-Fi]



Wi-Fi 周波数帯

スマートフォンと直接接続するとき使用する周波数帯を設定します。

2.4GHz: 2.4 GHzの周波数帯で接続します。

5GHz: 5 GHzの周波数帯で接続します。

- 5 GHzの周波数帯は電波法により屋外での使用を禁じられています。屋外で使用する場合は [2.4GHz] に設定してください。
-

機器名称/パスワード

カメラの名前 (SSID) とパスワードを変更できます。

- 機器名称、パスワードを変更するには、[DISP] ボタンを押してください。
 - 入力できる文字数は、機器名称は最大32文字、パスワードは8文字から63文字です。
-

Wi-Fi 機能ロック

誤操作や、第三者による Wi-Fi 機能の使用を防止し、カメラ内および撮影した画像に含まれる個人情報を保護するため、パスワードを設定できます。

【設定】: 数字4桁で任意のパスワードを設定します。

- パスワードを設定すると、[Wi-Fi] を選択したときに、パスワードの入力が必要になります。

【解除】: パスワードを解除します。

ネットワークアドレス表示

Wi-Fi 接続時のカメラの MAC アドレスと IP アドレスを表示します。



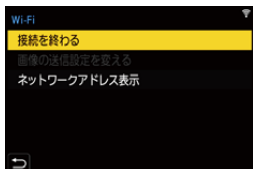
- パスワードを忘れた場合、セットアップメニュー (設定) の [設定リセット] でネットワーク設定をリセットすると、パスワードをリセットできます。



- 文字の入力方法 (→ [文字の入力: 91](#))

[Wi-Fi]を登録したFnボタン

Wi-Fi接続後に[Wi-Fi]を登録したFnボタンを押すと、以下の操作ができます。(→[Fnボタン: 484](#))



接続を終わる

Wi-Fi接続を終了します。

画像の送信設定を変える

画像を送信する際の画像のサイズやファイル形式などを設定します。(→[画像の送信設定: 603](#))

ネットワークアドレス表示

本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。(→[ネットワークアドレス表示: 618](#))

-
- お使いのWi-Fi機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

Bluetooth機器との接続

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth機器と接続します。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。
2回目以降の接続時は、カメラの[Bluetooth機能]を接続機器に設定すると自動で接続されます。

スマートフォンのアプリを使用してBluetooth接続する場合：
(→[「LUMIX Lab」との接続\(Bluetooth接続\): 586](#))

1 カメラをBluetoothのペアリング待機状態にする

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [スマートフォン] / [ジンバル]
- カメラがペアリングの待機状態になります。
- ペアリング済みのBluetooth機器がある場合は、接続待機状態になります。新規でBluetooth機器とペアリングしたい場合は、以下の手順でペアリング待機状態にしてください。
 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [スマートフォン登録] / [ジンバル登録]




2 Bluetooth機器でカメラとペアリングする



- ペ어링設定した Bluetooth 機器はペ어링済み機器として登録されます。
- 複数の Bluetooth 機器とペ어링設定していても、一度に接続できる Bluetooth 機器は1つです。
- ペ어링に時間がかかるときは、Bluetooth 機器とカメラ両方のペ어링設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。
- Bluetooth 接続中は、撮影画面に[✖]が表示されます。Bluetooth 機能が有効になっていても、Bluetooth 機器と接続されていないときは、[✖]が半透明で表示されます。
- Bluetooth 機器は 16 台まで登録できます。16 台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth機能] ⇒ [OFF]を選ぶ



- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリングの解除

1 カメラのペアリング設定を解除する

•  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ペアリング] ⇒ [解除]

2 ペアリングを解除するBluetooth機器を選ぶ



- Bluetooth機器側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

他機器との接続

本章では、レコーダーなど、他機器との接続について説明します。
接続にはカメラのUSB端子を使用します。

- [接続する: 624](#)
- [レコーダーにダビングする: 625](#)

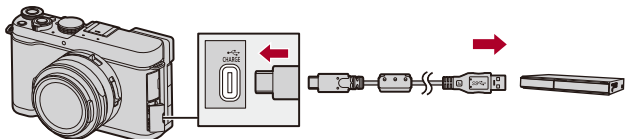
接続する



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

USB端子

USB接続ケーブル(市販)でカメラとレコーダーをつなぐ




- USB接続ケーブルはUSB規格に準拠したケーブルをお使いください。

レコーダーにダビングする

カメラを当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーに接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備:

- カメラとレコーダーの電源を入れる

- 1 **USB接続ケーブル(市販)でカメラとレコーダーをつなぐ**
(→USB端子:624)
- 2 **▲▼で[PC(Storage)]を選び、を押す**
- 3 **レコーダーを操作してダビングする**



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でレコーダーと接続します。(→USBモード:560)



- ダビング中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- レコーダーによっては、4K動画などに対応していない場合があります。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- ダビングや再生の方法については、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

資料

本章では、困ったときの対処方法や、参考となる仕様情報について説明しています。

- 別売品のご紹介: 627
- 別売品を使う: 629
- モニター／ファインダーの表示: 632
- メッセージ表示: 652
- Q&A 故障かな?と思ったら: 654
- 使用上のお願い: 666
- 無線機能(Wi-Fi／Bluetooth)使用上のお願い: 673
- 本体温度上昇による動画連続記録時間: 675
- バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間: 677
- カードの写真撮影枚数、動画記録時間: 680
- 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧: 688
- 各撮影モードで設定できる機能一覧: 708
- 仕様: 714
- 商標、ライセンス: 726
- 保証とアフターサービス(よくお読みください): 729

別売品のご紹介

(品番は2026年5月現在)

バッテリーパック	DMW-BLK22
バッテリーチャージャー	DMW-BTC15 ^{*1}
ACアダプター	DMW-AC11 ^{*2}
DCカプラー	DMW-DCC18 ^{*3}
自動開閉レンズキャップ	DMW-LFAC1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
デジタルガンマイクロホン	DMW-DMS1
XLRマイクロホンアダプター	DMW-XLR2
トライポッドグリップ	DMW-SHGR2

*1 ACアダプター、電源コード、USB接続ケーブル付き(充電時間:約175分)

*2 電源コード、USB接続ケーブル付き

*3 別途、ACアダプターとUSB接続ケーブルが必要です。当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。

- 別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはサイトをご覧ください。
パナソニックの公式通販サイト
<https://panasonic.jp/store/>



別売品を使う

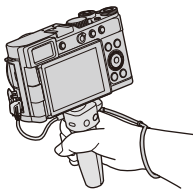
- [トライポッドグリップ\(別売\): 630](#)
- [DCカプラー\(別売\): 631](#)

- [外部フラッシュについて\(→外部フラッシュを使う: 336\)](#)
- [外部マイクについて\(→外部マイク\(別売\): 373\)](#)
- [XLRマイクロホンアダプターについて\(→XLRマイクロホンアダプター\(別売\): 376\)](#)
- [デジタルガンマイクロホンについて\(→デジタルガンマイクロホン\(別売\): 381\)](#)

トライポッドグリップ(別売)

トライポッドグリップ(別売:DMW-SHGR2)を取り付けて、歩き撮り用のグリップや、三脚、シャッターリモコンとして使用できます。

- カメラのUSB端子にグリップのケーブルを差し込んでください。



- カメラを取り付けた状態で、ハンドストラップだけを持って運ばないでください。
- 詳しくは、トライポッドグリップの取扱説明書をお読みください。

DCカプラー(別売)

DCカプラー(別売:DMW-DCC18)を使うと、バッテリー残量を気にせずに使用できます。



- 別途、ACアダプターとUSB接続ケーブルが必要です。当社製のACアダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。
- 詳しくは、ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書をお読みください。



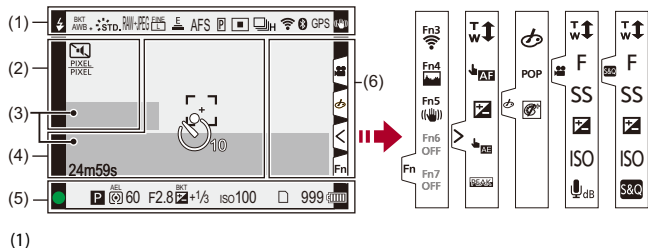
- DCカプラー装着時の画面表示(→ [電源に関する表示: 50](#))

モニター／ファインダーの表示

- 撮影画面: 632
- 再生画面: 647

● 画面は[LVF/モニター表示設定]を[]にしたときのモニター表示の例です。

撮影画面



	フラッシュモード(⇒ フラッシュモード: 339)
	フラッシュ設定(⇒ フラッシュシンクロ: 345 、 ワイヤレスフラッシュ撮影: 347)
AWBc AWBw  2500K	ホワイトバランス(⇒ ホワイトバランス(WB): 294) / 色温度(⇒ 色温度設定: 299)
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケット(⇒ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット): 238)
AWB+ AWB-	ホワイトバランス調整(⇒ ホワイトバランスの調整: 300)
AWBL	AWBロック設定(⇒ AWBロック設定: 519)






	フォトスタイル(→ フォトスタイル: 302)
	フィルター設定(→ フィルター設定: 315)/ フィルター効果調整(→ フィルター効果の調整: 316)
MON LUT APP LUT	LUTビューアシスト(→ Logビューアシスト: 426)
MON MODE2	HLGビューアシスト(→ HLGビューアシスト: 429)
RAW+ JPEG  JPEG  HEIF  HEIF 	記録ファイル形式(写真) (→ 記録ファイル形式(写真): 111)/ JPEG/HEIF 写真画質 (→ JPEG/HEIF 写真画質: 116)/ 画像サイズ(→ 画像サイズ: 109)
  	クロップズーム(写真) (→ クロップズーム(写真): 197)
CrZ	クロップズーム(動画) (→ クロップズーム(動画): 199)
 420/10-L  30P	記録ファイル形式(動画) (→ 記録ファイル形式(動画): 128)/ 動画画質(→ 動画画質: 129)
MOV 4K 420/10-L	記録ファイル形式(動画) (→ 記録ファイル形式(動画): 128)/ 動画画質(→ 動画画質: 129)
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート(→ 動画画質: 129)/ スロー & クイック設定 (→ スロー & クイック動画: 397)
	電子シャッター(→ シャッター方式: 248)
AFS AFC MF	フォーカスモード(→ フォーカスモードの選択: 145 、MFで撮る: 189)
AFS  AFC 	フォーカスリミッター(→ フォーカスリミッター: 156)
 AFS	フォーカスブラケット(→ 詳細設定(フォーカスブラケット): 237)
AFL	AFロック(→ ピントや露出の固定(AF / AEロック): 286)
MFL	コントロールリングロック(→ コントロールリングロック: 524)
	ピーキング(→ ピーキング: 194)
FULL  PIXEL	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 142)

	AFモード(→ AFモードの選択: 160)
	自動認識設定(→ 自動認識: 163)
	ドライブモード(→ ドライブモードの選択: 203)
	Wi-Fi接続状態(→ Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認: 616)
	Bluetooth接続状態(→ 「LUMIX Lab」との接続(Bluetooth接続): 586)
GPS	位置情報記録(→ 位置情報記録: 605)
	手ブレ補正(→ 手ブレ補正: 256)
	手ブレ警告(→ 手ブレ補正: 256)

(2)

	多重露出(→ 多重露出: 284)
	深度合成(→ 深度合成: 239)
AF 	マクロ撮影(→ 近づいて撮る(マクロ撮影): 187)
	サイレントモード(→ サイレントモード: 246)
PIXEL PIXEL	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 142)
LC	ライブビューコンポジット撮影(→ ライブビューコンポジット撮影: 242)
	オーバーレイ表示(→ オーバーレイ表示: 542)
	LUTビューアシスト(→ Logビューアシスト: 426)

(3)





	内蔵マイク、外部マイク(→録音レベル表示: 365、外部マイク(別売): 373)
96kHz/24bit	録音音質(→録音音質: 368)
	XLRマイクアダプター(別売)接続時(→XLRマイクロホンアダプター(別売): 376)
4ch/96kHz/24bit	4chオーディオ記録(→4chオーディオ記録: 379)
	デジタルガンマイクロホン(別売)接続時(→デジタルガンマイクロホン(別売): 381)
4ch/48kHz/24bit	4chオーディオ記録(→4chオーディオ記録: 384)
	録音レベルリミッター(→録音レベルリミッター: 370)
	ミュート(→音声入力ミュート: 365)
録音レベル(→録音レベル表示: 365)	
露出メーター(→露出メーター: 541)	

(4)


	ヒストグラム(→ヒストグラム表示: 536)
	AFエリア(→AFエリアの操作: 179)
+	スポット測光ターゲット(→測光モード: 261)
+	センターマーカー(→センターマーカー表示: 546)
	セルフタイマー(→セルフタイマー撮影: 227)
XXmXXs	記録経過時間(→動画を撮る: 118)
	画像送信中(→自動画像転送(Wi-Fi): 602)

(5)

	フォーカス(緑点灯)(→ 写真を撮る: 104)／ 記録動作表示(赤点灯)(→ 動画を撮る: 118)
LOW 	フォーカス(低照度AF時)(→ 低照度AF: 149)
STAR 	フォーカス(星空AF時)(→ 星空AF: 149)
	フラッシュ光量調整(→ フラッシュ光量調整: 344)
 	動画モード／S&Qモード(→ 写真/動画/S&Q切り換えスイッチ: 65)
iA     	撮影モード(→ 撮影モードの選択: 66)
	プログラムシフト(→ プログラムシフト: 265)
    	測光モード(→ 測光モード: 261)
AEL	AEロック(→ ピントや露出の固定(AF / AEロック): 286)
60	シャッタースピード(→ 写真を撮る: 104)
F2.8	絞り値(→ 写真を撮る: 104)
^{BKT} F2.8	絞りブラケット(→ 詳細設定(絞りブラケット): 236)
^{BKT}  +1/3	露出補正值(→ 露出補正: 280) 露出ブラケット(→ 詳細設定(露出ブラケット): 236)
 +1	マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 275)
iso100	ISO感度(→ ISO感度: 288)
	カードアクセス表示(赤点灯)(→ 動画を撮る: 118)
	カードなし
	カード残量なし
999	写真撮影枚数(→ カードの写真撮影枚数、動画記録時間: 680)

	連続撮影可能枚数(→連続撮影可能枚数: 212)
	動画記録時間(→動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒): 682)
	バッテリー残量(→電源に関する表示: 50)
	給電(→電力を供給しながらカメラを使う(給電): 49)

(6)

	温度上昇警告アイコン(→撮影: 656, Wi-Fi機能: 662)
---	------------------------------------

タッチタブ(→タッチ設定: 530)

	
	Fn ボタン(→[Fn3]～[Fn7] ボタンを使う(タッチアイコン): 497)
	
	ズーム(→ズームを使って撮る: 195)
	タッチ AF、タッチシャッター(→タッチ AF / タッチシャッター: 99)
	露出補正(→露出補正: 280)
	タッチ AE(→タッチ AE: 101)
	ピーキング(→ピーキング: 194)

 (→ タッチ操作でフィルターを設定する: 317) /  /  (→ 動画撮影中の操作: 120)	
	フィルター効果調整(→ フィルター効果の調整: 316)
	フィルターの入/切(→ タッチ操作でフィルターを設定する: 317)
POP	フィルター設定(→ フィルター設定: 315)
	ズーム(→ ズームを使って撮る: 195)
F	絞り値(→ 動画撮影中の操作: 120)
SS	シャッタースピード(→ 動画撮影中の操作: 120)
	露出補正(→ 動画撮影中の操作: 120)
ISO	ISO感度(→ 動画撮影中の操作: 120)
	録音レベル設定(→ 動画撮影中の操作: 120)
	スロー & クイック設定(→ 動画撮影中の操作: 120)

❖ コントロールパネル(写真モード)



(1)

P	撮影モード(→ 撮影モードの選択: 66)
1/60	シャッタースピード(→ 写真を撮る: 104)
F2.8	絞り値(→ 写真を撮る: 104)
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 50) /
	給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電): 49)






(2)

ISO 100	ISO感度(→ ISO感度: 288)
± 0 	露出補正值(→ 露出補正: 280) / マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 275)
± 0 	フラッシュ設定(→ フラッシュ光量調整: 344 、 フラッシュシンクロ: 345 、 ワイヤレスフラッシュ撮影: 347) / フラッシュモード(→ フラッシュモード: 339)

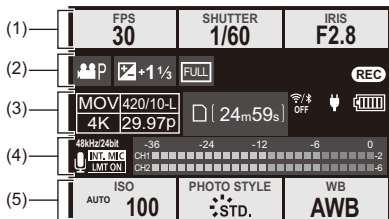
(3)

	ドライブモード(→ ドライブモードの選択: 203)
AFS	フォーカスモード(→ フォーカスモードの選択: 145 、MFで撮る: 189)
	AFモード(→ AFモードの選択: 160)
JPEG FINE	記録ファイル形式(写真)(→ 記録ファイル形式(写真): 111) / JPEG/HEIF切換(→ JPEG/HEIF切換: 114) / JPEG/HEIF 写真画質 (→ JPEG/HEIF 写真画質: 116)
PIXEL PIXEL 	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 142) / 記録ファイル形式(動画)(→ 記録ファイル形式(動画): 128) / 動画画質(→ 動画画質: 129)
4:3 	画像サイズ／画像横縦比(→ 画像サイズ: 109)
	Wi-Fi / Bluetooth 接続状態(→ Wi-Fi / Bluetooth 機能の動作確認: 616)
Fn 	Fn ボタン設定(→ Fn ボタン: 484)

(4)

 STD.	フォトスタイル(→ フォトスタイル: 302)
AWB	ホワイトバランス(→ ホワイトバランス(WB): 294)
 iOFF	iダイナミックレンジ(→ iダイナミックレンジ: 283)
	測光モード(→ 測光モード: 261)
	カードなし
	カード残量なし
999	写真撮影枚数(→ カードの写真撮影枚数、動画記録時間: 680)
r20	連続撮影可能枚数(→ 連続撮影可能枚数: 212)
残XXmXXs	動画記録時間(→ 動画記録時間 (h:時間、m:分、s:秒): 682)
----	カードなし

❖ コントロールパネル(動画モード／S&Qモード)



(1)

FPS 60	記録フレームレート(→ 動画画質: 129)／ スロー & クイック設定(→ スロー & クイック動画: 397)
SHUTTER 1/60	シャッタースピード(→ シャッター優先AEモード: 270)
IRIS F2.8	絞り値(→ 絞り優先AEモード: 267)






(2)

	動画/S&Qの露出設定(→ 動画/S&Qの露出設定: 521)
 	露出補正值(→ 露出補正: 280)／ マニュアル露出アシスト(→ マニュアル露出アシスト: 275)
	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 142)
	記録動作表示

(3)

	記録ファイル形式(動画) (→ 記録ファイル形式(動画): 128) / 動画画質 (→ 動画画質: 129)
24m59s	動画記録時間 (→ 動画記録時間(h:時間, m:分, s:秒): 682)
	Wi-Fi / Bluetooth 接続状態 (→ Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認: 616)
	バッテリー残量 (→ 電源に関する表示: 50) / 給電 (→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電): 49)

(4)

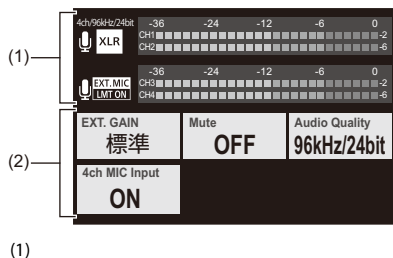
	内蔵マイク、外部マイク (→ 録音レベル表示: 365 、 外部マイク(別売): 373)
96kHz/24bit	録音音質 (→ 録音音質: 368)
 4ch/96kHz/24bit	XLRマイクアダプター(別売)接続時 (→ XLRマイクロホンアダプター(別売): 376) 4chオーディオ記録 (→ 4chオーディオ記録: 379)
 4ch/48kHz/24bit	デジタルガンマイクロホン(別売)接続時 (→ デジタルガンマイクロホン(別売): 381) 4chオーディオ記録 (→ 4chオーディオ記録: 384)
	録音レベルリミッター (→ 録音レベルリミッター: 370)
	ミュート (→ 音声入力ミュート: 365)


録音レベル (→ [録音レベル表示: 365](#))

(5)

ISO AUTO 100	ISO感度(→ISO感度:288)
PHOTO STYLE STD. MON LUT APP LUT MON MODE2	フォトスタイル(→フォトスタイル:302)／ LUTビューアシスト(→Logビューアシスト:426)／ HLGビューアシスト(→HLGビューアシスト:429)
WB AWB	ホワイトバランス(→ホワイトバランス(WB):294)

❖ オーディオ情報表示

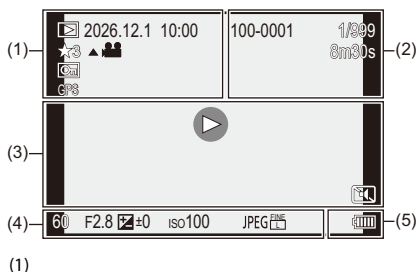


INT. MIC EXT. MIC	内蔵マイク、外部マイク(→ 録音レベル表示: 365、外部マイク(別売): 373)
96kHz/24bit	録音音質(→ 録音音質: 368)
XLR 4ch/96kHz/24bit	XLRマイクアダプター(別売)接続時(→ XLRマイクロホンアダプター(別売): 376) 4chオーディオ記録(→ 4chオーディオ記録: 379)
DMS1 4ch/48kHz/24bit	デジタルガンマイクロホン(別売)接続時(→ デジタルガンマイクロホン(別売): 381) 4chオーディオ記録(→ 4chオーディオ記録: 384)
LMT ON LMT OFF	録音レベルリミッター(→ 録音レベルリミッター: 370)
	ミュート(→ 音声入力ミュート: 365)
録音レベル(→ 録音レベル表示: 365)	

(2)





EXT.GAIN 標準	録音ゲイン切換(→録音ゲイン切換: 366)
Mute OFF	音声入力ミュート(→音声入力ミュート: 365)
Audio Quality 96kHz/24bit	録音音質(→録音音質: 368)
4ch MIC Input ON	4chオーディオ記録(→4chオーディオ記録: 379)

再生画面



	再生モード(→再生モード: 475)
2026.12.1 10:00	撮影日時(→時計の設定(初めて電源を入れるとき): 59)
★3	レーティング(→レーティング: 479)
	動画再生(→動画の再生: 443)
	プロテクト(→プロテクト: 479)
GPS	位置情報記録(→位置情報記録: 605)
	情報取得中

(2)

100-0001	フォルダー・ファイル番号(→ フォルダー/ファイル設定: 552)
1/999	画像番号/トータル枚数
9枚 9ファイル	グループ画像枚数/ ファイル数
XXmXXs	動画記録時間(→ 動画の再生: 443)
 XXmXXs  XXs	スロー & クイック動画(→ スロー & クイック動画: 397)
	LUTビューアシスト(→ Logビューアシスト: 426)
	HLGビューアシスト(→ HLGビューアシスト: 429)



(3)

	再生(動画)(→ 動画の再生: 443)
    	グループ画像(→ グループ画像: 457)
96kHz/24bit	録音音質(→ 録音音質: 368)
MOV 4K 420/10-L	記録ファイル形式(動画)(→ 記録ファイル形式(動画): 128)/ 動画画質(→ 動画画質: 129)
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート(→ 動画画質: 129)/ スロー & クイック設定(→ スロー & クイック動画: 397)
FULL  PIXEL	動画撮影範囲(→ 動画撮影範囲: 142)
 	Wi-Fi / Bluetooth 接続状態(→ Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認: 616)
	サイレントモード(→ サイレントモード: 246)

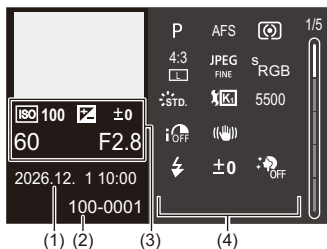
(4)

撮影情報

(5)

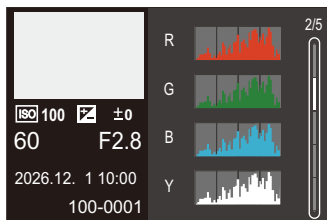
	バッテリー残量(→ 電源に関する表示: 50)
	給電(→ 電力を供給しながらカメラを使う(給電): 49)

詳細情報表示



- (1) 撮影日時(→ [時計の設定 \(初めて電源を入れるとき\): 59](#))
- (2) フォルダー・ファイル番号(→ [フォルダー/ファイル設定: 552](#))
- (3) 撮影情報(基本)
- (4) 撮影情報(詳細)

ヒストグラム表示



フォトスタイル表示

ISO 100 ±0
60 F2.8
2026.12. 1 10:00
100-0001

名: スタダード 3/5
コントラスト ±0
ハイライト ±0
シャドウ ±0
彩度 ±0
色相 ±0
粒状 OFF
色ノイズ
シャープネス ±0
ノイズリダクション ±0

ホワイトバランス表示

ISO 100 ±0
60 F2.8
2026.12. 1 10:00
100-0001

5500K
G
A B
M

レンズ情報表示

ISO 100 ±0
60 F2.8
2026.12. 1 10:00
100-0001

DC VARIO-SUMMILUX 5/5
1:1.7-2.8/10.9-34 ASPH.
焦点距離 10.9mm
35mm焦点距離 24mm
長秒ノイズ除去 OFF

メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

❖ カード

メモリーカードエラー／フォーマットしますか？

- 本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 551](#))

メモリーカードエラー／このカードは使用できません

- 本機に対応したカードをお使いください。(→ [使用できるメモリーカード: 30](#))

カードを入れ直してください／別のカードでお試してください

- カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試してください。

リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- カードが壊れている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試してください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- カードが、撮影に必要な書き込み速度を満たしていません。対応するスピードクラスのカードをお使いください。(→ [本機で使用できるSDカード: 31](#))
- 指定されたスピードクラスのカードを使用しても撮影が停止する場合は、カードのデータ書き込み速度が低下しています。データのバックアップを取り、フォーマットすることをお勧めします。(→ [フォーマット: 551](#))

❖ バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

バッテリーの寿命です。このバッテリーのご使用をお控えください。

- バッテリーが劣化しています。該当バッテリーのご使用はお控えください。

❖ その他

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(→ [フォーマット: 551](#))

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。カードをフォーマットしたあと、セットアップメニュー(カード/ファイル)の[ファイル番号リセット]を実行してください。(→ [ファイル番号リセット: 554](#))

電源を入れ直してください / システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

Q&A 故障かな?と思ったら

- 電源、バッテリー: 655
- 撮影: 656
- 動画: 660
- 再生: 660
- モニター/ファインダー: 661
- フラッシュ: 661
- Wi-Fi機能: 662
- パソコン: 664
- その他: 665

故障かな?と思ったら、まず**1**の内容をお試してください。
それでも解決できない場合は、**2、3、4**の順にお試してください。

1 本項目(Q&A)の内容を試す

- 電源、バッテリー: 655
- 撮影: 656
- 動画: 660
- 再生: 660
- モニター/ファインダー: 661
- フラッシュ: 661
- Wi-Fi機能: 662
- パソコン: 664
- その他: 665

2 カメラを初期設定に戻す

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [設定リセット]

3 パナソニックのサポートサイトを確認する

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

- 最新のサポート情報を掲載しています。

4 ご相談窓口にお問い合わせ

- 本書の「[保証とアフターサービス\(よくお読みください\)](#)」をお読みください。
(→ [保証とアフターサービス\(よくお読みください\): 729](#))

電源、バッテリー

電源が勝手に切れる。

- [エコモード]が働いています。(→ [エコモード: 52](#))

バッテリーの消費が早い。

- Wi-Fi接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード](→ [エコモード: 52](#))を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合や、高精細な動画撮影などを連続して使用しているときは、カメラの温度が上昇しやすくなります。カメラの温度が上がると、画面に[△]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続けると、画面に使用不可のメッセージが表示され、撮影など一部の機能が停止し、[△]が点灯表示されます。カメラの電源を切って、カメラの温度が下がるまでお待ちください。(→ [本体温度上昇による動画連続記録時間: 675](#))
 - * 三脚などに設置して撮影する場合、撮影を停止する温度を高めを設定できます。(→ [動画撮影時の制限緩和: 555](#))

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/リリース優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。(→ [フォーカス/リリース優先: 522](#))


撮影した画像が白っぽい。

- レンズに指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなる場合があります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロックがかかっていないか確認してください。(→ [ピントや露出の固定\(AF/AEロック\): 286](#))

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードが[] (連写)のときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。(→ [ドライブモードの選択: 203](#))
- [ブラケット]を設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。(→ [ブラケット撮影: 232](#))

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
 - ピントが合う範囲から外れていないか。
 - [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていないか。(→ [シャッター半押しAF: 527](#))
 - [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっていないか。(→ [フォーカス/リリース優先: 522](#))
 - 不適切な状態でAFロック(→ [ピントや露出の固定\(AF/AEロック\): 286](#))がかかっていないか。
 - [フォーカスリミッター]が[ON]になっていないか。(→ [フォーカスリミッター: 156](#))

MF時にレンズでピント合わせができない。

- 以下の内容を確認してください。
 - [コントロールリングロック]が[ON]になっていないか。(→ [コントロールリングロック: 524](#))

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試しく下さい。
 - ISO感度を低くする(→[ISO感度: 288](#))
 - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整する(→[画質調整: 308](#))
 - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定する(→[長秒ノイズ除去: 251](#))
- カメラを連続して使用しているときは、カメラ内部の温度が上昇し、画質が低下する場合があります。撮影時以外はこまめに電源を切ることをお勧めします。

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
 - 電子シャッター
 - 動画撮影
- これは、本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しماが出る。



- 本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター(→[シャッター方式: 248](#))使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[動画撮影時のフリッカー軽減](→[動画撮影時のフリッカー軽減: 387](#))を設定するか、[P] / [S&Q]モードでシャッタースピードを固定してください。
- [シンクロスキャン(写真)]または[シンクロスキャン(動画)]を使うと、シャッタースピードを細かく設定できます。([シンクロスキャン\(写真\): 252](#)、[シンクロスキャン\(動画\): 430](#))

ISO感度が高いとき、横しماが出る。

- ISO感度が高いとき、横しماが撮影されることがあります。ISO感度を低くしてください。(→[ISO感度: 288](#))

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しماが現れたりすることがあります。

被写体でない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性がります。[ピクセルリフレッシュ](→[ピクセルリフレッシュ: 564](#))を実行してください。

動画


動画が撮影できない。

- [システム周波数]を元の設定に戻すか、別のカードを入れてお試しください。
- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画に「カチッ」、「ジー」などの音が記録される。記録される音声非常に小さい。

- 撮影環境によっては、絞りやフォーカス、ズームなどの動作音が動画に記録されることがありますが、異常ではありません。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、[] / [S&Q]モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。(→ [動画撮影中の操作: 120](#))

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。
- [再生モード]を設定すると、一部の画像が表示されません。[通常再生]に設定してください。(→ [再生モード: 475](#))
- [システム周波数]が異なる設定で記録した動画は再生できません。[システム周波数]を撮影したときの設定に戻してください。(→ [システム周波数: 126](#))

モニター／ファインダー

電源が入っているときに、モニター／ファインダーが消える。

- 設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF](→LVF/モニター自動OFF: 52)が働き、モニター／ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りを変化して発生する現象です。故障ではありません。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付きが発生します。記録される画像に影響はありません。

ファインダー表示がカクつく。

- カメラの温度が上がると、カメラが自動でファインダーの表示速度を抑える場合があります。カメラの温度が下がると元の速度に戻ります。

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- 以下の機能を使用中は、フラッシュは発光しません。
 - 動画撮影
 - 電子シャッター、[サイレントモード]
 - [フィルター設定]

Wi-Fi機能

Wi-Fi接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れることがあります。それらの機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続する無線アクセスポイントが使用可能であることを確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
 - カメラと無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの電源を入れ直してください。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で本機に対応したチャンネルに設定してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動で接続が切断されることがあります。接続し直してください。

無線アクセスポイントに接続できない。

- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できないことがあります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、他の無線機器の使用状況をご確認ください。

iOS機器でWi-Fi接続に失敗する。

- 表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定画面でカメラのSSIDを選択して接続してください。SSIDが表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してから、もう一度Bluetooth接続の設定をしてください。

スマートフォンとWi-Fi接続できない。

- スマートフォン側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。



動画・画像送信が途中で失敗する。送信できない動画・画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
 - [送信サイズ](→送信サイズ: 603)で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割](→動画分割: 450)で動画を分割して送信してください。
- 送信する動画のファイル形式を設定してください。(→送信ファイル形式: 603)
- 動画・画像の送信に失敗する場合は、USB接続ケーブルによる転送を推奨します。

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットしてください。(→設定リセット: 90)ただし、[Wi-Fi]や[Bluetooth]で設定した情報もすべてリセットされます。

Wi-Fi / Bluetooth機能が停止する。使えない。

- Wi-Fi / Bluetooth機能を使用中にカメラの温度が上がると、画面に[]が点滅表示されます。そのままカメラを使用し続け、[]が点灯表示に変わると、Wi-Fi / Bluetooth機能が停止します。(設定の変更もできません)
カメラの電源を切って、カメラの温度が下がるまでお待ちください。

パソコン

パソコンに接続しても画像を取り込むことができない。

- カメラの[USBモード]を[PC(Storage)]に設定してください。(→ [USBモード: 560](#))
- カメラの電源を入れ直してください。

その他

レンズから音がする。

- 電源を入れたり、切ったりするときにレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

カメラが熱くなる。

- ご使用中、カメラの表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

使用上のお願い

❖ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使用してください。

- テレビの近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使用しないでください。

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなる場合があります。

コード、ケーブルは延長しないでください。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

- 外装ケースが変質したり塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品を長期間接触したままにしないでください。

❖ お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースやマウントなど、本機の表面が変質したり、塗装がはがれたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

❖ ファインダーのお手入れについて

ファインダーが汚れた場合は、市販のプロワーでファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

❖ モニター／ファインダー

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- モニター／ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター／ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

❖ レンズ

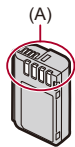
- レンズを強く押さないでください。
- レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。(レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります)
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

❖ バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

バッテリーの端子部(A)を汚さないでください。

- 汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- 取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ

<http://www.jbrc.com>



充電式

リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

❖ カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。

カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。

カードに強い振動を与えないでください。

- カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カードの端子部にゴミや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

❖ 個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、Wi-Fi 機能ロックを設定してセキュリティーを強化することをお勧めします。(→ [Wi-Fiメニュー: 617](#))

- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。
- 誕生日など第三者に推測されやすいパスワードの使用は避けるようにしてください。
- 他社サービスとは異なるパスワードの設定をお願いします。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線LAN接続設定等の個人情報を含む情報を、[設定リセット](→ [設定リセット: 90](#))を実行して必ず消去してください。
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(→ [設定リセット: 90](#))
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻ることがあります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを廃棄／譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。

廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

❖ 長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにすると過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15℃～25℃、推奨湿度: 40%RH～60%RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

❖ 画像データ

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ 三脚／一脚

- 三脚を使用する場合は、カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚／一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- ねじを締めすぎるとカメラに傷がつくことがあるためお気をつけください。
- 三脚／一脚の取扱説明書もよくお読みください。

❖ レンズクロス(-Nのモデルに付属)

- 直射日光の当たる場所での長期間保管は、変色の原因になりますので避けてください。

❖ Wi-Fi機能

本機は無線LAN機器としてお使いください。

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています。

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。



- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください。

Wi-Fi使用時は、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあるため接続しないでください。

-
- 本製品に対応するソフトウェアを無断で営業目的として複製 (コピー) したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
 - 本製品の使用 (他社製品との組み合わせ使用含む)、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

無線機能(Wi-Fi / Bluetooth)使用上のお願い

本機は2.4 GHz/5 GHz帯の周波数帯を使用します。本機の認証情報および周波数表示は、[MENU]ボタン ➡  [セットアップ] ➡  [その他]の[認証情報]で確認できます。

■ 電波干渉について

他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。本機の無線機能(2.4 GHz帯)が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4: 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX: 変調方式がDSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。

1: 想定される与干渉距離が約10 mであることを示します。

4: 想定される与干渉距離が約40 mであることを示します。

無線機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

ご相談窓口(使い方・お手入れなどのご相談)(→ [ご相談窓口:731](#))

本体温度上昇による動画連続記録時間

動画撮影時、周囲の温度が高かったり連続で撮影を行ったりした場合、カメラ内の温度が高温になると本機保護のため、自動で撮影が停止します。

- 動画連続記録時間については、下記サポートサイトもご確認ください。

https://panasonic.jp/support/dsc/info/L10_rec.html

❖ コールドスタート*¹からの動画連続記録時間の目安

- [動画撮影範囲]: [FULL]

記録ファイル形式(動画)	動画画質	[動画撮影時の制限緩和]の[動画記録停止温度]	
		標準	高
MOV	C4K/120p/420/10-L	約5分* ²	約6分* ²
	C4K/60p/422/10-L	約10分* ²	約10分* ²
	C4K/30p/422/10-L	約15分* ²	約20分* ²
	FHD/60p/422/10-L	約10分* ²	約15分* ²

- 当社測定条件による撮影時
 - 環境温度(カメラ周囲温度)23℃
 - お買い上げ時のカメラ設定
 - 外部機器接続なし、無線接続なし
 - Nextorage製SDXCメモリーカード使用

*¹ カメラの電源がオフ、カメラ内部・外部の温度が23℃の状態ではカメラの電源をオンにして、直ちに動画記録を開始する場合。

*² 使用する環境や条件、カメラの使用状態、動画撮影前の使用状況によっては、表内の時間より短くなることがあります。

高温になりやすい条件

- 周囲の温度が高いところや直射日光下での使用
- 繰り返し動画を撮影する
- 電源オンの状態で長時間放置し、その後動画を撮影する
- 外部機器(USB、Wi-Fi/Bluetooth)接続時
- 以下の機能を使用または設定しているとき
 - [クロップズーム(動画)]
 - [AFポイントスコープ]

❖ カメラ内温度上昇による停止後の動画記録再開

カメラ内の温度上昇により動画記録が停止した場合、再度、動画記録を開始するには、カメラ内の温度を下げる必要があります。

- カメラの電源を切って、カメラ内の温度を下げてください。
- 再開後の動画連続記録時間は、待機時間(カメラの電源を切っていた時間)によって異なります。

バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる枚数と時間は下記のとおりです。

- 写真の撮影可能枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による。
- Nextorage 製 SDXC メモリーカード使用。
- 記載している数値は目安です。

❖ 写真記録(モニター使用時)

撮影可能枚数(枚)	420
-----------	-----

❖ 写真記録(ファインダー使用時)

撮影可能枚数(枚)	410
-----------	-----

❖ 動画撮影(モニター使用時)

• [動画撮影範囲]: [FULL]

記録ファイル形式 (動画)	動画画質	連続撮影可能時間 (分)	実撮影可能時間 (分)
MP4(Lite)	3.8K/10bit/50M/30p	110	55
	3.8K/10bit/50M/25p		
MP4	4K/10bit/100M/60p 4K/10bit/100M/50p	100	50
	FHD/8bit/20M/30p FHD/8bit/20M/25p	140	70
MOV	5.6K/60p/420/10-L 5.6K/50p/420/10-L	70	35
	C4K/120p/420/10-L C4K/100p/420/10-L	60	30
	C4K/60p/422/10-L C4K/50p/422/10-L	90	45
	FHD/30p/420/10-L FHD/25p/420/10-L	130	65

• 実撮影可能時間とは、電源の[ON] / [OFF]切り換え、撮影の開始 / 終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。



- 本体温度上昇による動画連続記録時間:
(→ 本体温度上昇による動画連続記録時間: 675)

❖ 再生(モニター使用時)

再生使用時間(分)	290
-----------	-----



- 撮影可能枚数と撮影可能時間は、周囲の環境や使用条件によって変わります。
例えば、以下の場合には減少します。
 - スキー場などの低温下
- 満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

カードの写真撮影枚数、動画記録時間

カードに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。

- Nextorage製SDXCメモリーカード使用。

❖ 写真撮影枚数(枚)

- 記載している数値は最少撮影枚数の目安です。撮影する被写体によっては、変動する場合があります。
 - 画像横縦比:[4:3]
 - JPEG/HEIF写真画質:[FINE]
- 記録ファイル形式(写真):[JPEG]の場合

画像サイズ	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
L(20.5M)	20480	40180
M(10.5M)	35650	69940
S(5M)	60160	118030
XS(3M)	87500	171670

- 記録ファイル形式(写真):[RAW+JPEG]の場合

画像サイズ	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
L(20.5M)	4070	8000
M(10.5M)	4450	8740
S(5M)	4690	9210
XS(3M)	4810	9440

• 記録ファイル形式(写真):[HEIF]の場合

画像サイズ	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
L(20.5M)	24680	48420
M(10.5M)	41850	82110
S(5M)	68760	134890
XS(3M)	96250	188830

• 記録ファイル形式(写真):[RAW+HEIF]の場合

画像サイズ	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
L(20.5M)	4230	8310
M(10.5M)	4560	8940
S(5M)	4760	9340
XS(3M)	4860	9530

❖ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒)

- 動画記録時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記載している数値は目安です。

• 記録ファイル形式(動画):[MP4(Lite)]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

動画画質	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
4K/10bit/70M/120p	7h55m	15h35m
3.8K/10bit/50M/30p 4K/10bit/50M/60p	11h05m	21h50m
FHD/10bit/24M/120p	23h00m	45h20m
FHD/10bit/16M/60p	34h30m	67h45m

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]

動画画質	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
4K/10bit/70M/100p	7h55m	15h35m
3.8K/10bit/50M/25p 4K/10bit/50M/50p	11h05m	21h50m
FHD/10bit/24M/100p	23h00m	45h20m
FHD/10bit/16M/50p	34h30m	67h45m

• 記録ファイル形式(動画):[MP4]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]		
動画画質	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
4K/10bit/100M/60p 4K/8bit/100M/30p 4K/8bit/100M/24p	5h30m	10h55m
4K/10bit/72M/30p 4K/10bit/72M/24p	7h45m	15h10m
FHD/8bit/28M/60p	19h45m	38h50m
FHD/8bit/20M/30p	26h20m	51h45m
FHD/8bit/24M/24p	23h00m	45h20m

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]		
動画画質	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
4K/10bit/100M/50p 4K/8bit/100M/25p	5h30m	10h55m
4K/10bit/72M/25p	7h45m	15h10m
FHD/8bit/28M/50p	19h45m	38h50m
FHD/8bit/20M/25p	26h20m	51h45m

• 記録ファイル形式(動画):[MOV]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]		
動画画質	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
C4K/60p/422/10-I C4K/48p/422/10-I 4K/60p/422/10-I 4K/48p/422/10-I	55m00s	1h45m
C4K/30p/422/10-I C4K/24p/422/10-I 4K/30p/422/10-I 4K/24p/422/10-I FHD/120p/422/10-I	1h20m	2h40m
5.6K/60p/420/10-L 5.6K/48p/420/10-L 4.4K/60p/420/10-L 4.4K/48p/420/10-L C4K/120p/420/10-L 4K/120p/420/10-L	1h50m	3h35m
5.6K/30p/420/10-L 5.6K/24p/420/10-L 5.2K/30p/420/10-L 5.2K/24p/420/10-L C4K/60p/422/10-L C4K/60p/420/10-L C4K/48p/422/10-L C4K/48p/420/10-L 4K/60p/422/10-L 4K/60p/420/10-L 4K/48p/422/10-L 4K/48p/420/10-L FHD/240p/422/10-L FHD/240p/420/10-L FHD/60p/422/10-I FHD/48p/422/10-I FHD/30p/422/10-I FHD/24p/422/10-I	2h45m	5h25m

C4K/60p/420/8-L C4K/30p/422/10-L C4K/30p/420/10-L C4K/24p/422/10-L C4K/24p/420/10-L 4K/60p/420/8-L 4K/30p/422/10-L 4K/30p/420/10-L 4K/24p/422/10-L 4K/24p/420/10-L FHD/120p/422/10-L FHD/120p/420/10-L	3h40m	7h10m
C4K/30p/420/8-L C4K/24p/420/8-L 4K/30p/420/8-L 4K/24p/420/8-L FHD/60p/422/10-L FHD/60p/420/10-L FHD/48p/422/10-L FHD/48p/420/10-L FHD/30p/422/10-L FHD/30p/420/10-L FHD/24p/422/10-L FHD/24p/420/10-L	5h25m	10h40m
FHD/60p/420/8-L	10h40m	20h55m
FHD/30p/420/8-L FHD/24p/420/8-L	20h25m	40h10m


システム周波数: [50.00Hz(PAL)]		
動画画質	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
C4K/50p/422/10-I 4K/50p/422/10-I	55m00s	1h45m
C4K/25p/422/10-I 4K/25p/422/10-I FHD/100p/422/10-I	1h20m	2h40m
5.6K/50p/420/10-L 4.4K/50p/420/10-L C4K/100p/420/10-L 4K/100p/420/10-L	1h50m	3h35m
5.6K/25p/420/10-L 5.2K/25p/420/10-L C4K/50p/422/10-L C4K/50p/420/10-L 4K/50p/422/10-L 4K/50p/420/10-L FHD/200p/422/10-L FHD/200p/420/10-L FHD/50p/422/10-I FHD/25p/422/10-I	2h45m	5h25m
C4K/50p/420/8-L C4K/25p/422/10-L C4K/25p/420/10-L 4K/50p/420/8-L 4K/25p/422/10-L 4K/25p/420/10-L FHD/100p/422/10-L FHD/100p/420/10-L	3h40m	7h10m
C4K/25p/420/8-L 4K/25p/420/8-L FHD/50p/422/10-L FHD/50p/420/10-L FHD/25p/422/10-L FHD/25p/420/10-L	5h25m	10h40m
FHD/50p/420/8-L	10h40m	20h55m
FHD/25p/420/8-L	20h25m	40h10m


システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]		
動画画質	SDXCメモリーカードの容量	
	256 GB	512 GB
C4K/24p/422/10-I 4K/24p/422/10-I FHD/120p/422/10-I	1h20m	2h40m
5.6K/48p/420/10-L 4.4K/48p/420/10-L C4K/120p/420/10-L 4K/120p/420/10-L	1h50m	3h35m
5.6K/24p/420/10-L 5.2K/24p/420/10-L FHD/24p/422/10-I	2h45m	5h25m
C4K/24p/422/10-L C4K/24p/420/10-L 4K/24p/422/10-L 4K/24p/420/10-L FHD/120p/422/10-L FHD/120p/420/10-L	3h40m	7h10m
C4K/24p/420/8-L 4K/24p/420/8-L FHD/24p/422/10-L FHD/24p/420/10-L	5h25m	10h40m
FHD/24p/420/8-L	20h25m	40h10m




- 撮影条件、記録メディアの種類により写真撮影枚数、動画記録時間は変動します。
- 写真撮影枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面に[9999+]と表示されます。
- 画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。

初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能













: [カスタムモード登録(写真モード)]／[カスタムモード登録(動画モード)]／[カスタムモード登録(S&Qモード)]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 写真:  画質					
フォトスタイル		 STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
画像横縦比		4:3	✓	✓	✓
記録ファイル形式(写真)		JPEG	✓	✓	✓
JPEG/HEIF切換		JPEG	✓	✓	✓
JPEG/HEIF写真画質		FINE	✓	✓	✓
HEIF形式		SDR	✓	✓	✓
画像サイズ		L	✓	✓	✓
長秒ノイズ除去		ON	✓	✓	✓
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	3200	✓	✓	✓
シンクロスキャン(写真)		OFF	✓	✓	✓
下限シャッター速度		AUTO	✓	✓	✓
美肌効果		OFF	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓
動画撮影時のフリッカー軽減		OFF	✓	✓	✓



メニュー		初期設定			
 写真:  フォーカス					
AFS/AFC(写真)		AFS	✓	✓	✓
自動認識設定		OFF	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体	人物	✓	✓	✓
	認識モード(人物) 被写体の部位		✓	✓	✓
AFカスタム設定(写真)		設定 1	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	ON/OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
フォーカス枠色設定		<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓
ピーキング	ON/OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		高速	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 写真:  フラッシュ					
フラッシュモード			✓	✓	✓
発光モード		TTL	✓	✓	✓
フラッシュ光量調整		±0 EV	✓	✓	✓
フラッシュシンクロ		先幕	✓	✓	✓
マニュアル発光量設定		1/1	✓	✓	✓
露出補正連動		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスモード		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスチャンネル		1CH	✓	✓	✓
ワイヤレス通信光量		強	✓	✓	✓
ワイヤレス設定		—	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 写真:  その他(写真)					
ブラケット	ブラケット種類	OFF	✓	✓	✓
	詳細設定	—	✓	✓	✓
深度合成	開始	—			
	補正幅	+5	✓	✓	✓
	撮影枚数	10	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	2秒	✓	✓	✓
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
クロップズーム(写真)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
連写設定		H	✓	✓	✓
シャッター方式		メカシャッター	✓	✓	✓
シャッターディレイ		OFF	✓	✓	✓
インターバル/コマ撮り撮影	撮影方法	インターバル撮影	✓	✓	✓
	撮影間隔設定	ON	✓	✓	✓
	開始時刻	即時開始	✓	✓	✓
	撮影枚数	1	✓	✓	✓
	撮影間隔	1m00s	✓	✓	✓
	露出平滑化	OFF	✓	✓	✓
	撮影開始時のフォルダー作成	—	✓	✓	✓
ライブビューコンポジット撮影	開始	—			
	シャッターディレイ	OFF	✓	✓	✓
セルフタイマー	 10 /  10 /  2 /  5 ~  30	 10	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓

多重露出	開始	—			
	自動ゲイン補正	ON	✓	✓	✓
	再生画像と多重	OFF	✓	✓	✓






メニュー		初期設定			
 動画 :  画質					
フォトスタイル		 STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	3200	✓	✓	✓
シンクロスキャン(動画)		OFF	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓

メニュー	初期設定			
 動画:  記録				
記録ファイル形式(動画)	[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]または [50.00Hz(PAL)]に設 定時:MP4(Lite)	✓	✓	✓
	[システム周波数]を [24.00Hz(CINEMA)]に 設定時:MOV			
動画撮影範囲	FULL	✓	✓	✓
動画画質	[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]に設 定時:3.8K/10bit/50M/ 30p			
	[システム周波数]を [50.00Hz(PAL)]に設定 時:3.8K/10bit/50M/ 25p	✓	✓	✓
	[システム周波数]を [24.00Hz(CINEMA)]に 設定時:4K/24p/420/ 10-L			
動画画質(マイリスト)	—	✓	✓	✓
スロー & クイック設定	30fps	✓	✓	✓
輝度レベル設定	64-940	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  フォーカス					
AFS/AFC(動画)		AFC	✓	✓	✓
自動認識設定		OFF	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体	人物	✓	✓	✓
	認識モード(人物) 被写体の部位		✓	✓	✓
AFカスタム設定 (動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカスリミッター	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
フォーカス枠色設定		<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		高速	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  音					
録音レベル表示	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
音声入力ミュート		OFF	✓	✓	✓
録音ゲイン切換		標準	✓	✓	✓
録音レベル設定		0dB	✓	✓	✓
録音音質		48kHz/24bit	✓	✓	✓
録音レベルリミッター		ON	✓	✓	✓
風音キャンセラー		標準	✓	✓	✓
風音低減		OFF	✓	✓	✓
レンズ動作音低減		ON	✓	✓	✓
マイク端子		MIC 	✓	✓	✓
4chオーディオ記録		OFF	✓	✓	✓
ホットシューオー ディオ入力	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
MS2マイク設定		ステレオ	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 動画:  その他(動画)					
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
クローズズーム(動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
セルフタイマー設定	セルフタイマー	 10	✓	✓	✓
	動画時のセルフタイマー	OFF	✓	✓	✓
フォーカストランジション	フォーカス位置設定	—			
	フォーカストランジション速度	M	✓	✓	✓
	フォーカストランジションレック	OFF	✓	✓	✓
	フォーカストランジションウエイト	OFF	✓	✓	✓
ライブクローズ		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  画質					
フォトスタイル設定	フォトスタイル表示の制限	—	✓	✓	✓
	マイフォトスタイル設定	—	✓	✓	✓
	フォトスタイルのリセット	—			
LUTライブラリ		—	✓		✓
ISO感度ステップ		1/3 EV	✓	✓	✓
拡張ISO感度		OFF	✓	✓	✓
基準露出レベル調節	マルチ測光	±0 EV	✓	✓	✓
	中央重点	±0 EV	✓	✓	✓
	スポット	±0 EV	✓	✓	✓
	ハイライト重点	±0 EV	✓	✓	✓
マルチ測光時の顔優先		ON	✓	✓	✓
AWBロック設定	シャッター操作時のロック動作	OFF	✓	✓	✓
	Fnボタン操作時のロック維持	ON	✓	✓	✓
色空間		sRGB	✓	✓	✓
露出補正リセット		OFF	✓		✓
写真モードの動画露出自動制御		ON	✓	✓	✓
P/A/S/M時の露出設定	写真の露出設定	モードダイヤル	✓	✓	✓
	動画/S&Qの露出設定	モードダイヤル	✓	✓	✓
写真・動画/S&Q独立設定	絞り値/SS/ISO/露出補正	独立	✓	✓	✓
	ホワイトバランス	独立	✓	✓	✓
	フォトスタイル	独立	✓	✓	✓
	測光モード	独立	✓	✓	✓
	AFモード	独立	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  フォーカス/リリース					
フォーカス/リリース優先	AFS	フォーカス	✓	✓	✓
	AFC	バランス	✓	✓	✓
縦/横位置フォーカス切換		OFF	✓	✓	✓
AF/AEロック維持		OFF	✓	✓	✓
AF+MF		OFF	✓	✓	✓
MFアシスト	コントロールリング	ON	✓	✓	✓
	AFモード	ON	✓	✓	✓
	MFアシスト表示	PIP	✓	✓	✓
	全画面拡大時の最大倍率	20倍	✓	✓	✓
MFガイド		ON	✓	✓	✓
コントロールリングロック		OFF	✓	✓	✓
撮影可能範囲表示			✓	✓	✓
AFモード表示の制限	追尾		✓	✓	✓
	フルエリア		✓	✓	✓
	ゾーン(横・縦)		✓	✓	✓
	ゾーン		✓	✓	✓
	1点+補助		✓	✓	✓
	ピンポイント		✓	✓	✓
ピンポイントAF設定	ピンポイントAF時間	MID	✓	✓	✓
	ピンポイントAF表示	PIP	✓	✓	✓
ダイレクトフォーカス移動		OFF	✓	✓	✓
AFポイントスコープ設定	拡大表示維持	OFF	✓	✓	✓
	PIP表示	PIP	✓	✓	✓
自動認識枠の複数表示		ON	✓	✓	✓
人物瞳認識表示	瞳の表示方法	+	✓	✓	✓
	合焦時の十字線表示	ON	✓	✓	✓
シャッター半押しAF		ON	✓	✓	✓
シャッター半押しリリース		OFF	✓	✓	✓
シャッター全押し動画記録		ON	✓	✓	✓

クイックAF		OFF	✓	✓	✓
アイセンサーAF		OFF	✓	✓	✓
フォーカス枠のループ移動		OFF	✓	✓	✓
動画ライブビュー 拡大表示設定	拡大表示維持	ON	✓	✓	✓
	PIP表示	PIP	✓	✓	✓


メニュー		初期設定			
 カスタム:  操作					
Q.MENU設定	表示スタイル	MODE1	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(写真モード)	—	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(動画/S&Qモード)	—	✓	✓	✓
タッチ設定	タッチパネル	ON	✓	✓	✓
	タッチタブ	OFF	✓	✓	✓
	タッチAF	AF	✓	✓	✓
	タッチパッドAF	絶対位置	✓	✓	✓
操作ロック時の動作	カーソル		✓	✓	✓
	タッチパネル		✓	✓	✓
	ダイヤル		✓	✓	✓
	DISP.ボタン		✓	✓	✓
ズーム設定	ズーム動作	<u>ZOOM</u>	✓	✓	✓
	ズーム速度(写真)	H	✓	✓	✓
	ズーム速度(動画)	—	✓	✓	✓
Fnボタン設定	写真モード時設定	—	✓	✓	✓
	動画/S&Qモード時設定	—	✓	✓	✓
	再生モード時設定	—	✓	✓	✓
Fnスイッチ設定	割り当て機能		✓	✓	✓
	1の設定値	1:1	✓	✓	✓
	2の設定値	16:9	✓	✓	✓
	3の設定値	3:2	✓	✓	✓

ISO感度画面の操作	後ダイヤルの割当		✓	✓	✓
露出補正画面の操作	上/下ボタンの割当	OFF	✓	✓	✓
	後ダイヤルの割当		✓	✓	✓
ダイヤル設定	F/SSダイヤルの割当	設定1	✓	✓	✓
	F/SSダイヤルの回転		✓	✓	✓
	露出補正のダイヤル割当	OFF	✓	✓	✓
	ダイヤル動作切換設定	—	✓	✓	✓
	メニュー時の操作方向		✓	✓	✓


メニュー		初期設定			
 カスタム:  モニター/表示(写真)					
オートレビュー	時間(写真)	OFF	✓	✓	✓
	再生操作優先	OFF	✓	✓	✓
常時プレビュー	ON/OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ヒストグラム表示		OFF	✓	✓	✓
写真グリッドライン表示		OFF	✓	✓	✓
ライブビューブースト	MODE1/MODE2/OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	M	✓	✓	✓
ナイトモード	モニター	OFF	✓	✓	✓
	LVF	OFF	✓	✓	✓
LVF/モニター表示設定	LVF表示設定		✓	✓	✓
	モニター表示設定		✓	✓	✓
	モニター左右反転表示	AUTO	✓	✓	✓
	モニター上下反転表示	AUTO	✓	✓	✓
露出メーター		OFF	✓	✓	✓
焦点距離		ON	✓	✓	✓
ハイライト表示		OFF	✓	✓	✓
オーバーレイ表示	ON/OFF	OFF	✓		
	設定	—	✓		
水準器表示		ON	✓	✓	✓

スポット輝度メーター	OFF	✓	✓	✓	
ライブビュー境界線表示	OFF	✓	✓	✓	
撮影画面の遷移(モニター)	コントロールパネル	ON	✓	✓	✓
	消灯画面	ON	✓	✓	✓
ライブビューの縦表示	ON	✓	✓	✓	









メニュー		初期設定			
 カスタム:  モニター/表示(動画)					
Logビューアシスト	LUT選択(V-Log)	Vlog_709	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	✓
	LUTビューアシスト(アプリ)	OFF	✓	✓	✓
HLGビューアシスト	モニター	MODE2	✓	✓	✓
モノクロライブビュー		OFF	✓	✓	✓
センターマーカ表示		OFF	✓	✓	✓
セーフティゾーンマーカ表示		OFF	✓	✓	✓
フレーム表示	ON/OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ゼブラパターン表示	ゼブラ1/ゼブラ2/ゼブラ1+2/OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
WFM表示		OFF	✓	✓	✓
動画記録中の赤枠表示		OFF	✓	✓	✓






メニュー	初期設定			
 カスタム:  レンズ/その他				
レンズ位置メモリー	OFF	✓	✓	✓
レンズ収納	ON	✓	✓	✓
AF時コントロールリング設定	<u>ZOOM</u>	✓	✓	✓
MF時コントロールリング制御	ノンニア	✓	✓	✓
動画の縦位置情報	ON	✓	✓	✓

メニュー	初期設定			
 セットアップ:  カード/ファイル				
フォーマット	—			
フォルダー/ファイル設定	フォルダー選択	—		
	新規フォルダー作成	—		
	ファイル名設定	フォルダー番号連動	✓	✓
ファイル番号リセット	—			
著作権情報	撮影者	OFF	✓	✓
	著作権者	OFF	✓	✓
	著作権情報の表示	—		






メニュー		初期設定			
 セットアップ:  モニター/表示					
エコモード	スリープモード	1分	✓		✓
	LVF/モニター自動OFF	1分	✓		✓
	省電力ファインダー撮影	—	✓		✓
動画撮影時の制限緩和	動画記録停止温度	標準	✓		✓
メニュー色*		ゴールド	✓		✓
モニター表示速度		30fps	✓		✓
モニター調整／LVF調整		—	✓		
モニター輝度／LVF輝度		AUTO	✓		✓
アイセンサー	感度	強	✓		✓
	LVF/モニター切換	LVF/MON AUTO	✓		✓
水準器調整	調整	—	✓		
	調整値リセット	—			

* -Nのモデルだけ対応






メニュー		初期設定				
🔧 セットアップ:  IN/OUT						
電子音	電子音音量		✓		✓	
	合焦音音量		✓		✓	
	合焦音音色		✓		✓	
	シャッター音音量		✓		✓	
	シャッター音音色		✓		✓	
音声モニタチャンネル(再生時)		CH1+CH2	✓	✓	✓	
Wi-Fi		—	✓			
Bluetooth		—	✓			
LUMIX Lab	スマートフォンに画像を送る	—				
	自動画像転送(Wi-Fi)	OFF	✓		✓	
	位置情報記録	OFF	✓		✓	
USB	USBモード	 接続時に選択	✓		✓	
	USB給電	ON	✓		✓	
	Webカメラ画質	[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]に設定時:FHD/30p		✓		✓
		[システム周波数]を [50.00Hz(PAL)]に設定時:FHD/25p		✓		✓
NETWORK接続ランプ		ON	✓		✓	






メニュー		初期設定			
 セットアップ:  設定					
カスタムモード登録(写真モード)／カスタムモード登録(動画モード)／カスタムモード登録(S&Qモード)		—	✓		✓
カスタムモード内容の呼出(写真モード)／カスタムモード内容の呼出(動画モード)／カスタムモード内容の呼出(S&Qモード)		—	✓		✓
カスタムモード設定	カスタムモード表示の制限	3	✓		✓
	名称変更	—	✓		✓
	登録内容の呼出タイミング	—	✓		✓
	カスタムモードの呼出範囲	—	✓		✓
カメラ設定の保存／読み込み	保存	—			
	読み込み	—			
	消去	—			
	カードフォーマット時に保持	OFF	✓		✓
設定リセット		—			






メニュー		初期設定			
 セットアップ:  その他					
時計設定		2026. 1. 1 0:00:00			
タイムゾーン		GMT + 9:00			✓
システム周波数		59.94Hz(NTSC)	✓		✓
ピクセルリフレクション	即時開始	—			
	自動実行	ON	✓		✓
言語設定		日本語	✓		✓
バージョン表示		—			
CLUB Panasonic 登録		—			
認証情報		—			






メニュー		初期設定			
 マイメニュー:  マイメニュー編集					
登録		—	✓		✓
並べ換え		—			
消去		—			
マイメニューから表示		OFF	✓		✓

メニュー	初期設定			
 再生:  表示方法				
再生モード	通常再生	✓		✓
スライドショー	—	✓		✓
縦位置自動回転	ON	✓		✓
画像表示順	撮影日時	✓		✓
AF位置から拡大	OFF	✓		✓
LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	✓
HLGビューアシスト(モニター)	MODE2	✓	✓	✓
動画再生後の動作	再生終了	✓		✓

メニュー	初期設定			
 再生:  画像の加工				
RAW現像	—			
HEIF→JPEG変換	—			
インターバル動画作成	—			
コマ撮りアニメ作成	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  情報の付与・削除				
プロテクト	—			
レーティング	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  画像の編集				
リサイズ(縮小)	—			
画像回転	—			
動画分割	—			
動画修復	—			

メニュー	初期設定			
 再生:  その他				
消去確認画面	「いいえ」がはじめ	✓		✓
全画像消去	—			

各撮影モードで設定できる機能一覧



メニュー		iA	P	A	S	M
写真: 画質						
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓	✓
画像横縦比		✓	✓	✓	✓	✓
記録ファイル形式(写真)		✓	✓	✓	✓	✓
JPEG/HEIF切換		✓	✓	✓	✓	✓
JPEG/HEIF写真画質		✓	✓	✓	✓	✓
HEIF形式			✓	✓	✓	✓
画像サイズ		✓	✓	✓	✓	✓
長秒ノイズ除去			✓	✓	✓	✓
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定		✓	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定		✓	✓	✓	✓
シンクロスキャン(写真)					✓	✓
下限シャッター速度			✓	✓		
美肌効果		✓	✓	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓
回折補正			✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓
動画撮影時のフリッカー軽減			✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
📷 写真:  フォーカス						
AFS/AFC(写真)		✓	✓	✓	✓	✓
自動認識設定			✓	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体		✓	✓	✓	✓
	認識モード(人物) 被写体の部位		✓	✓	✓	✓
AFカスタム設定(写真)			✓	✓	✓	✓
フォーカスリミッター		✓	✓	✓	✓	✓
AF補助光			✓	✓	✓	✓
フォーカス枠色設定		✓	✓	✓	✓	✓
ピーキング		✓	✓	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
📷 写真:  フラッシュ						
フラッシュモード		✓	✓	✓	✓	✓
発光モード			✓	✓	✓	✓
フラッシュ光量調整			✓	✓	✓	✓
フラッシュシンクロ			✓	✓	✓	✓
マニュアル発光量設定			✓	✓	✓	✓
露出補正連動			✓	✓	✓	✓
ワイヤレスモード			✓	✓	✓	✓
ワイヤレスチャンネル			✓	✓	✓	✓
ワイヤレス通信光量			✓	✓	✓	✓
ワイヤレス設定			✓	✓	✓	✓



メニュー		iA	P	A	S	M
📷 写真: 📷 その他(写真)						
ブラケット	ブラケット種類	✓	✓	✓	✓	✓
	詳細設定	✓	✓	✓	✓	✓
深度合成	開始	✓	✓	✓	✓	✓
	補正幅	✓	✓	✓	✓	✓
	撮影枚数	✓	✓	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	✓	✓	✓	✓	✓
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓
クロップズーム(写真)		✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
連写設定		✓	✓	✓	✓	✓
シャッター方式		✓	✓	✓	✓	✓
シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	✓
インターバル/コマ撮り撮影		✓	✓	✓	✓	✓
ライブビューコンポジション撮影	開始					✓
	シャッターディレイ					✓
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓
多重露出	開始		✓	✓	✓	✓
	自動ゲイン補正		✓	✓	✓	✓
	再生画像と多重		✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 動画:  画質						
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓	✓
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定		✓	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定		✓	✓	✓	✓
シンクロスキャン(動画)					✓	✓
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓
回折補正			✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 動画:  記録						
記録ファイル形式(動画)		✓	✓	✓	✓	✓
動画撮影範囲		✓	✓	✓	✓	✓
動画画質		✓	✓	✓	✓	✓
動画画質(マイリスト)		✓	✓	✓	✓	✓
スロー & クイック設定		✓	✓	✓	✓	✓
輝度レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M
 動画:  フォーカス						
AFS/AFC(動画)		✓	✓	✓	✓	✓
自動認識設定			✓	✓	✓	✓
自動認識の対象	認識する被写体		✓	✓	✓	✓
	認識モード(人物) 被写体の部位		✓	✓	✓	✓
AFカスタム設定(動画)		✓	✓	✓	✓	✓
フォーカスリミッター		✓	✓	✓	✓	✓
AF補助光			✓	✓	✓	✓
フォーカス枠色設定		✓	✓	✓	✓	✓
ピーキング		✓	✓	✓	✓	✓
フォーカス枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓

メニュー	iA	P	A	S	M
 動画:  音					
録音レベル表示	✓	✓	✓	✓	✓
音声入力ミュート	✓	✓	✓	✓	✓
録音ゲイン切換	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベル設定	✓	✓	✓	✓	✓
録音音質	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベルリミッター	✓	✓	✓	✓	✓
風音キャンセラー	✓	✓	✓	✓	✓
風音低減	✓	✓	✓	✓	✓
レンズ動作音低減	✓	✓	✓	✓	✓
マイク端子	✓	✓	✓	✓	✓
4chオーディオ記録	✓	✓	✓	✓	✓
ホットシューオーディオ入力	✓	✓	✓	✓	✓
MS2マイク設定	✓	✓	✓	✓	✓

メニュー	iA	P	A	S	M
 動画:  その他(動画)					
サイレントモード	✓	✓	✓	✓	✓
クローズズーム(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓
	電子手ブレ補正(動画)	✓	✓	✓	✓
セルフタイマー設定	セルフタイマー	✓	✓	✓	✓
	動画時のセルフタイマー	✓	✓	✓	✓
フォーカストランジション		✓	✓	✓	✓
ライブクローズ		✓	✓	✓	✓

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源

9.0 V===

消費電力

4.1 W(モニター撮影時)、3.1 W(モニター再生時)

型式

● 型式

デジタルカメラ

● 記録メディア

SDメモリーカード／SDHCメモリーカード*1／SDXCメモリーカード*1

*1 UHS-I／UHS-II UHS Speed Class 3対応、UHS-II Video Speed Class 90対応

撮像素子

● 撮像素子

4/3型 裏面照射型(BSI)CMOSイメージセンサー、
総画素数 約2650万画素、原色カラーフィルター

● カメラ有効画素数

約2040万画素

レンズ

- **レンズ名称**
Leica DC VARIO-SUMMILUX
- **マウント**
固定
- **焦点距離**
f=10.9 mm ~ 34 mm
(35 mm フィルムカメラ換算: 24 mm ~ 75 mm)
- **レンズ構成**
8群 11枚 (非球面 8面 5枚)
- **絞り形式**
9枚羽根 円形虹彩絞り
- **開放絞り**
F1.7(W端時) ~ F2.8(T端時)
- **最小絞り値**
F16
- **撮影範囲**
AF: 50 cm ~ ∞
AFマクロ / MF / インテリジェントオート / 動画:
3 cm(W端時) / 30 cm(T端時) ~ ∞
- **最大撮影倍率**
0.22x(35 mm フィルムカメラ換算: 0.48x)
- **手ブレ補正**
あり
- **フィルター径**
43 mm

ラチチュード

- 13+ストップ(センサー出力 60 fps 以下)、
- 12+ストップ(センサー出力 61 fps 以上)(V-Log)

静止画記録形式

- 静止画ファイル形式

JPEG (DCF 準拠、Exif 3.0 準拠) / HEIF / RAW

- 画像サイズ(画素)

画像横縦比 [4:3] 設定時

L: 5200×3904

M: 3744×2808

S: 2624×1968

XS: 1920×1440

画像横縦比 [3:2] 設定時

L: 5408×3608

M: 3888×2592

S: 2736×1824

XS: 1920×1280

画像横縦比 [16:9] 設定時

L: 5664×3192

M: 4096×2304

S: 2832×1592

XS: 1920×1080

画像横縦比 [1:1] 設定時

L: 3904×3904

M: 2816×2816

S: 1968×1968

XS: 1440×1440

- 写真画質

ファイン / スタンダード

動画記録形式

● 動画フォーマット

MP4 (H.264/MPEG-4 AVC、H.265/HEVC)

MP4(Lite) (H.265/HEVC)

MOV (H.264/MPEG-4 AVC、H.265/HEVC)

● 音声圧縮形式

4chオーディオ記録「OFF」選択時

MP4 リニア形式: AAC(ステレオ 2ch 48 kHz/16 bit)

MP4(Lite) リニア形式: AAC(ステレオ 2ch 48 kHz/16 bit)

MOV リニア形式: LPCM(ステレオ 2ch 48 kHz/24 bit、96 kHz/24 bit)^{*2}

フロート形式: LPCM(ステレオ 2ch 48 kHz/32 bit、96 kHz/32 bit)^{*3}

4chオーディオ記録「XLR」選択時

MOV リニア形式: LPCM(モノラル4ch 48 kHz/24 bit)^{*3}

フロート形式: LPCM(モノラル4ch 48 kHz/32 bit)^{*3}

4chオーディオ記録「XLR+カメラ」選択時

MOV リニア形式: LPCM(モノラル4ch 48 kHz/24 bit、96 kHz/24 bit)^{*2, 3}

4chオーディオ記録「DMS1 バックアップ1」/「DMS1 バックアップ2」選択時

MOV リニア形式: LPCM(モノラル4ch 48 kHz/24 bit)^{*4}

フロート形式: LPCM(モノラル4ch 48 kHz/32 bit)^{*4}

*2 内蔵マイク使用時は48 kHzのみ対応

*3 XLRマイクロホンアダプターDMW-XLR2装着時

*4 デジタルガンマイクロホンDMW-DMS1装着時

● システム周波数

59.94 Hz / 50.00 Hz / 24.00 Hz

● 動画画質

解像度や記録フレームレートなど、動画画質については「[動画画質](#)」のページをお読みください。(→ [動画画質: 129](#))

● S&Q(スロー & クイック)

スロー&クイック動画を撮影できる動画画質や、フレームレートの組み合わせと再生速度については「[スロー & クイック動画](#)」のページをお読みください。(→ [スロー & クイック動画: 397](#))

ファインダー

- **形式**
アスペクト比 4:3、0.39型、約236万ドット、有機EL (OLED) ライブビューファインダー
- **視野率**
約100 %
- **倍率**
約0.74倍(-1.0 m⁻¹ 50 mm 無限遠時、画像横縦比[4:3] 設定時)
- **アイポイント**
約20 mm(-1.0 m⁻¹ 時)
- **視度調整範囲**
-4.0 ~ +4.0 diopter
- **アイセンサー**
あり

モニター

- **形式**
アスペクト比 3:2、3.0型、約184万ドットモニター、静電容量方式タッチパネル
- **視野率**
約100 %

フォーカス

- **AF方式**

映像検出によるTTL方式(像面位相差AF/コントラストAF)

- **フォーカスモード**

AFS/AF-C/MF

- **AFモード**

追尾^{*5}/フルエリア^{*5}/ゾーン(横・縦)^{*5}/ゾーン^{*5}/1点+補助^{*5}/1点^{*5}/ピンポイント

タッチによるフォーカスエリア選択可能

^{*5} 自動認識(人物/動物/車/バイク・自転車/列車/飛行機)のON/OFF切り換え可能

露出制御

● 測光方式、測光モード

1728分割測光、マルチ測光／中央重点測光／スポット測光／ハイライト重点測光

● 露出

プログラムAE(P)／絞り優先AE(A)／シャッター優先AE(S)／マニュアル露出(M)

● 露出補正

1/3 EVステップ、±5 EV

● 静止画時ISO感度(標準出力感度)

通常:オート／50^{*6}／100～25600

V-Log: オート／125^{*6}／500～12800

*6 [拡張ISO感度]設定時

- 1/3、1 EVステップ切り換え可能

● 動画時ISO感度(標準出力感度)

通常:

センサー出力60 fps以下:

オート／50^{*7}／100～12800(ベース感度 ISO100)

センサー出力61 fps以上:

オート／50^{*7}／100～3200／4000^{*7}～12800^{*7}(ベース感度 ISO100)

V-Log:

センサー出力60 fps以下:

オート／125^{*7}～400^{*7}／500～12800(ベース感度 ISO500)

センサー出力61 fps以上:

オート／125^{*7}～200^{*7}／250～3200／4000^{*7}～12800^{*7}(ベース感度 ISO250)

ハイブリッドログガンマ:

センサー出力60 fps以下:

オート／250～12800(ベース感度 ISO250)

センサー出力61 fps以上:

オート／250～3200／4000^{*7}～12800^{*7}(ベース感度 ISO250)

*7 [拡張ISO感度]設定時

- 1/3、1 EVステップ切り換え可能

手ブレ補正

- 手ブレ補正方式

レンズ駆動方式、2軸補正

ホワイトバランス

- ホワイトバランスモード

AWB / AWBc / AWBw / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / フラッシュ / セットモード

1・2・3・4 / 色温度 1・2・3・4

AWBロック対応

シャッター

- 形式

電子シャッター連動メカニカルシャッター

- シャッター速度

静止画:

メカシャッター: タイム(最大約60秒)、60～1/2000秒

電子シャッター: タイム(最大約60秒)、60～1/32000秒

電子シャッター+NR: タイム(最大約60秒)、60～1/32000秒

動画:

1/25～1/25000秒

フレームレートを下回るシャッタースピードには設定できません。(ただし、低照度時はシャッタースピードがフレームレートを下回る場合があります)

連写撮影

● メカシャッター

H: 11コマ/秒 (AFS、MF) / 9コマ/秒 (AFC)

M: 7コマ/秒 (AFS、MF) / 5コマ/秒 (AFC)

L: 2コマ/秒 (AFS、AFC、MF)

● 電子シャッター

SH30: 30コマ/秒 (AFS、AFC、MF)

SH20: 20コマ/秒 (AFS、AFC、MF)

SH10: 10コマ/秒 (AFS、AFC、MF)

SH30 PRE: 30コマ/秒 (AFS、AFC、MF)

SH20 PRE: 20コマ/秒 (AFS、AFC、MF)

SH10 PRE: 10コマ/秒 (AFS、AFC、MF)

H: 11コマ/秒 (AFS、MF) / 9コマ/秒 (AFC)

M: 7コマ/秒 (AFS、MF) / 5コマ/秒 (AFC)

L: 2コマ/秒 (AFS、AFC、MF)

● 最大撮影可能コマ数 (SH連写)

JPEG連写 / RAW+JPEG連写 / RAW連写: 45コマ

HEIF連写 / RAW+HEIF連写: 35コマ

● 最大撮影可能コマ数 (H、M、L)

JPEG連写: 100コマ以上^{*8}

RAW+JPEG連写: 40コマ以上^{*8}

RAW連写: 55コマ以上^{*8}

HEIF連写: 35コマ以上^{*8}

RAW+HEIF連写: 25コマ以上^{*8}

*8 Nextorage製 UHS-II UHS Speed Class 3対応SDXCメモリーカード使用時
(当社測定条件による撮影時)

ズーム

- **クロップズーム(写真)**
最大 約2.7倍(下限画像サイズ:[XS] 選択時)
- **クロップズーム(動画)**
最大 約2.7倍(動画画質:FHD動画選択時)

表示言語切り換え

[日本語]/[ENGLISH](英語)/[简体中文](簡体字中国語)/[繁體中文](繁体字中国語)/[한국어](韓国語)

マイク／スピーカー

- **マイク**
ステレオ
- **スピーカー**
モノラル

インターフェース

- **USB**
USB Type-C[®]、USB 10Gbps
- **[MIC]**
Ø3.5 mmステレオミニジャック
マイク入力 Plug-in Power / マイク入力 / ライン入力(メニューによる切り換え)
入力基準レベル: -55 dBV(マイク入力) / -10 dBV(ライン入力)

防じん防滴

なし

外形寸法／質量

● 外形寸法

約幅 127.1 mm×高さ 73.9 mm×奥行き 66.9 mm(突起部除く)

● 質量

約508 g(カード、バッテリー含む)

約425 g(本体)

動作環境

● 推奨使用温度

0℃～40℃

● 許容相対湿度

10%RH～80%RH

Wi-Fi

● 準拠規格

IEEE 802.11a/b/g/n/ac(無線LAN標準プロトコル)

● 使用周波数範囲(中心周波数)

2412 MHz～2472 MHz(1～13ch)

5180 MHz～5320 MHz(36 / 40 / 44 / 48 / 52 / 56 / 60 / 64ch)

5500 MHz～5720 MHz(100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140 / 144ch)

● 暗号化方式

WPA™ / WPA2™ / WPA3™、Wi-Fi準拠

● アクセス方式

インフラストラクチャーモード

Bluetooth

- 準拠規格
Bluetooth v5.0、Bluetooth Low Energy (BLE)
- 使用周波数範囲(中心周波数)
2402 MHz～2480 MHz

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLK22

電圧/容量

7.2 V / 2200 mAh

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

=== DC(直流)

商標、ライセンス

- LEICA/ライカはライカマイクロシステムズIR GmbHの登録商標です。
- SUMMILUX/ズミルックスはライカカメラ社の登録商標です。
- “Nextorage”はNextorage株式会社の登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C[®] および USB-C[®] は USB Implementers Forum の登録商標です。
- QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される Apple Inc. の商標または登録商標です。



- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Final Cut Pro、Mac、macOS は、米国 Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- “Wi-Fi®”は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- “WPA™”、“WPA2™”、“WPA3™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックが独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0(GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1(LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET]→[セットアップ]→[その他]→[バージョン表示]→[ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0またはLGPL V2.1に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://ospo.panasonic.com/oss>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () —
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」(→メッセージ表示:652)「Q&A 故障かな?と思ったら」(→Q&A 故障かな?と思ったら:654)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーも一緒に修理をご依頼ください。

製品名	デジタルカメラ
品番	DC-L10
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保証書承諾内容、仅限于产品在日本国内使用时有效。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料:診断・修理・調整・点検などの費用

部品代:部品および補助材料代

出張料:技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間:8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

❖ ご相談窓口

使い方・お手入れなどのご相談

よくあるご質問(FAQ)やチャットなどでご確認、ご相談できます。

<https://panasonic.jp/support/>

固定電話をご利用の方はこちら



0120-878-638

スマートフォン等をご利用の方はこちら



0570-087-858(有料)

受付時間 9:00 ~ 18:00 月~土曜日(祝日・正月三が日を除く)

FAX フリーダイヤル



0120-878-236

修理に関するご相談

修理のご相談・お申し込みができます。

【オンライン24時間365日受付】

<https://panasonic.jp/support/repair.html>

フリーダイヤル



0120-878-554

携帯OK

受付時間 9:00 ~ 18:00 (一部地域を除く)

上記電話番号がご利用いただけない場合は

03-6633-6700

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。(パケット定額サービス未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。
- 受付時間などの最新情報はWebサイトをご確認ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を!



こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体やACアダプターが破損した
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。



「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、商品のサポートも充実
詳しくはこちら

<https://panasonic.jp/membership/mylist>

- カメラのモニターに表示されるQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。

以下の操作をするとQRコードを表示できます。

- 1 [MENU] ボタンを押す
- 2  [セットアップ]の  [その他] から [CLUB Panasonic登録] の [QRコード表示] を選ぶ